

史料目録 第88集

信濃国松代真田家文書目録
(その9)

平成21年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第88集

信濃国松代真田家文書目録
(その9)

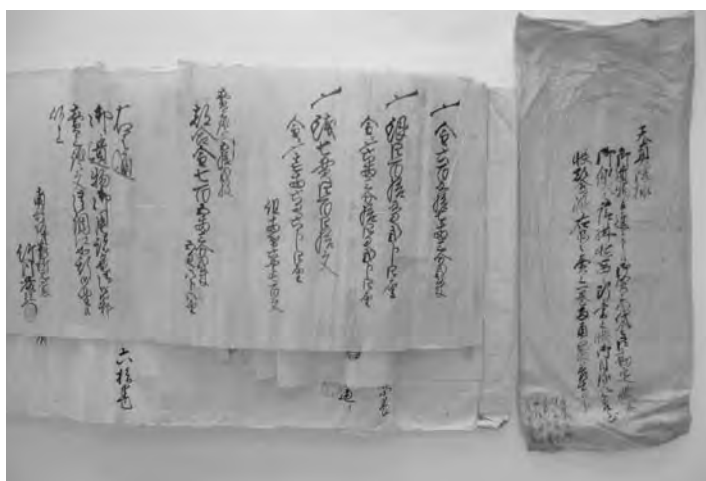


写真1 天真院葬送につき買物代金受取証文一括 (す93)

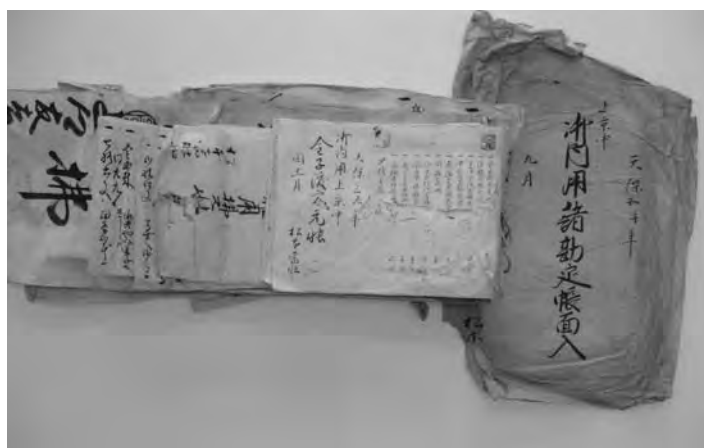


写真2 御内用上京につき勘定関係証文一括 (す94)

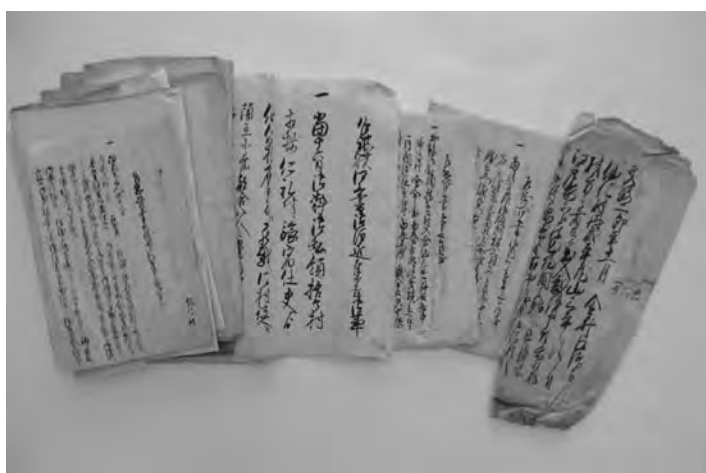


写真3 仙仁山入会争論一件書類一括 (す95)



写真4 外鹿谷村分年貢割付状綴(す1)

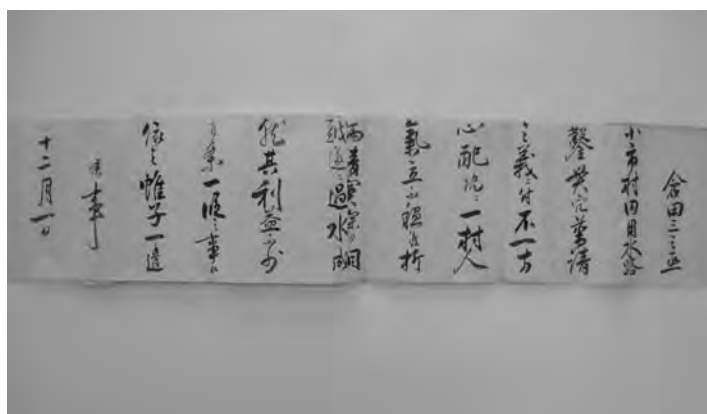


写真5 真田幸民用水開鑿関連褒状(す10-20-1)



写真6 金井精藏貞道錦袖御印(す96-2)

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第88集として「信濃国松代真田家文書（その9）」を収めた。「信濃国真田家文書（その一）」は『史料館所蔵史料目録』第二十八集として、昭和53（1978）年に刊行した。その後、目録（その二）から目録（その8）まで刊行してきた。今年度は目録（その9）・目録（その10）を刊行する。これでもまだ全部の目録編成は終了しないが、来年度の平成21年度でもって完了する予定である。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の管理・保存部局と作成部局に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、項目で編成する方式をとった。
- 3 各まとまり単位に区分け配列し、各区分け名称を付し、また区分け名称の後に、「勘定所」や「計政局」など部局名を記しているが、それは当該文書群を最終的に管理・保存していたと考えられる部局である。部局名を付していないものがあるが、それは部局を特定できなかったためである。
- 4 真田家文書の未整理史料の把握のため現状調査した折りに、解題で述べるように箱番号としてアルファベットを付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「L・G・K・F」をそれぞれ「す・せ・そ・た」と置き換えた。場合によっては、「す（L）・せ（G）・そ（K）・た（F）」と併記した形で表示した。
- 5 袋・こより紐などによる一括史料は、史料館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、すべて現状のまま一括掲載し、枝番号付与で物理的階層を示すこととした。一括内の個々の史料配列順も原則として現状通りとし、並び替えは行わなかった。一括史料に表題がない場合は、仮に全体表題を付与して（ ）内に記した。
- 6 史料1点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③数量・形態、④整理番号、の順に記載した。

表題は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、原則として差出人＋文書名のかたちで付与した。表題の付与に当たり、原文書に柱書がある場合は表題の後に〔 〕で記した。また、柱書がない場合で端裏書など文書管理文言がある場合は、それを採用し、（端裏書）〔 〕と標記した。また、表題や柱書だけで不十分な場合は、さらに（ ）で内容を摘記した。表題などで、□・□ □が付されているのは、原史料が虫損などにより解読不能のためである。

形態は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、縦紙、横折紙、縦継紙、横切紙、切紙などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。
- 7 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上では史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁も併記することをお願いしたい。
- 8 本目録はアーカイブズ研究系の高橋実が担当し、荒川将、山本英貴（以上2006年度）、荒木仁朗（2007年度）、清水邦俊、高橋伸拓、種村威史（以上2007年～2008年度）、榎本博、太田弥保、小酒井大悟、志田達彦、中村只吾、長谷川雅也（以上2008年度）の諸氏の協力を得た。なかでも、種村威史氏の協力は大きい。

総 目 次

口絵

凡例

総目次

本文細目次	1
信濃国松代真田家文書目録（その9）解題	3
文書群記号	3
文書群名	3
年 代	3
数 量	3
入手の経路	3
真田家文書について	3
1 真田家と松代藩の歴史	3
2 真田家文書の管理と伝来	3
①真田家文書の管理・保存	4
②真田家文書の伝来	5
③戦後に分割された真田家文書	7
④国文学研究資料館真田家文書の整理の歴史	8
⑤真田家文書群の特色	9
3 収録文書群の構造と目録編成方式	10
4 松代藩の職制について	11
5 個別文書群内の配列と概要	13
6 真田家文書関連文献一覧	26

本文細目次〔文書群の構造〕

す文書群

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送 勘定所	29
2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拝 勘定所	31
3 藩政／在方／争論・訴訟 勘定所	33
4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢 勘定所	34
5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印	57

せ文書群

1 藩主（藩侯）／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼 勘定所・計政局	60
2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定 勘定所・計政局	77
3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定 勘定所・計政局	91
4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定 勘定所・計政局	101
5 藩政／預所・財方／預所運用金中借 勘定所・計政局	108
6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定 計政局	109
7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金 勘定所	109
8 藩政／郡方／道中人馬賃銭 勘定所	110
9 藩政／番方／武具調達 勘定所・計政局	111
10 藩政／厚生治療 勘定所	112
11 藩政／家臣・財方／拝借金 勘定所	112
12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借用金 勘定所	115
13 藩政／町方／御救い拝借金 勘定所	120
14 藩政／在方／御救い拝借金 勘定所・計政局	121
15 藩政／在方／御救い拝借金返済 勘定所	122
16 その他 勘定所・計政局	123

そ文書群

1 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局	125
2 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局	128
3 真田家／地所代金等 真田家家令・家扶	130
4 真田家／家政／寄付金 真田家家令・家扶	130
5 真田家／家政 真田家家令・家扶	130
6 真田家／吉凶／祝儀 真田家家令・家扶	131
7 藩政／財方／財方上申書 勘定所	132
8 藩政／財方／財方取計い伺書並びに指示書ほか 勘定所	132
9 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか 勘定所・計政局	135

10	藩政／財方／勘定向き用状ほか	勘定所	145
11	藩政／財方／勘定向き用状ほか	勘定所・計政局	154
12	藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか	勘定所・計政局	182
13	藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか	勘定所・計政局	185
14	藩政／番方／兵糧・武具・火薬購入ほか	勘定所・計政局	196
15	藩政／番方／京詰出兵費用	勘定所	198
16	藩政／財方／村々御救金策献言	計政局	199
17	藩政／庶務方／各部署の人事・人員配置		200
18	藩政／庶務方／町在諸職等の名前書上		200
19	藩政／庶務方／硝石製造褒賞	計政局	201
20	藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金	真田家家令・会計掛	203
た文書群			
1	藩主（藩侯）／吉凶／葬送	勘定所	211
2	藩主（藩侯）／吉凶／婚姻	勘定所	212
3	真田家／家政／白鳥神社金銭勘定	真田家会計掛	213
4	真田家／家政／旧松代藩調達上納金証書再交付願い	真田家会計掛	217
5	藩政／財方／御蔵籾入払勘定ほか諸勘定	勘定所	219
6	藩政／財方／収納粕差引ほか諸勘定	勘定所	220
7	藩政／財方／上納金取立帳	勘定所	221
8	藩政／財方／中借金運用	勘定所・計政局	221
9	藩政／財方／藩札引替用資金中借	計政局	222
10	藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか	勘定所・計政局	225
11	松代庁／財方／旧松代藩家臣借入金ほか諸勘定	計政局	236
12	藩政／財方／家臣・町在献金勘定ほか	勘定所	238
13	藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金	計政局	239
14	藩政／家臣・財方／家臣借入金	勘定所・計政局	242
15	藩政／番方／新小銃隊用買物・出勤調	勘定所	243
16	藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調	計政局	244
17	藩政／番方／戊辰出兵錦御印		245
18	藩政／庶務方／明治職制		246
19	藩政／在方・町方／争論・訴訟	勘定所	248
20	藩政／在方・町方／市場定・川除など諸取計い	勘定所・計政局	251
21	藩政／在方／村々御救い用資金中借	勘定所	252
22	藩政／在方／凶作状況調	勘定所	253
23	藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与	勘定所	253
24	藩政／鉾山経営	勘定所	258
25	松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定	真田家家令・家扶	258
26	その他		259

信濃国松代真田家文書目録（その9）解題

文書群記号 26A

文書群名 信濃国松代真田家文書「す（L）」「せ（G）」「そ（K）」「た（F）」の部

年 代 寛文4（1664）年～明治43（1910）年

数 量 4,840点

入手の経路

本目録は、当館所蔵の信濃国松代真田家文書（文書群記号26A）のうち、既刊史料目録の収録対象からはずされ、書庫の側壁棚に別置されていた文書群の現状を把握するため行った仮整理の段階で「す（L）」「せ（G）」「そ（K）」「た（F）」の記号が付された書付型史料群を収録したものである。真田家文書の入手経路については『信濃国松代真田家文書』（その一）～（その六）、とくに（その一）と本目録の解題を参照されたい。

真田家文書の未整理文書の把握のため現状調査した折り、後述するように箱番号としてアルファベットの付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「L・G・K・F」をそれぞれ「す・せ・そ・た」と置き換えた。場合によっては、「す（L）・せ（G）・そ（K）・た（F）」と併記した形で表示した。

真田家文書について

1 真田家と松代藩の歴史

真田家と松代藩の歴史については、『史料館所蔵史料目録 第二十八集（信濃国松代真田家文書〈その一〉）』から『目録（その8）』の解題、とくに（その一）（その二）の解題を参照されたい。さらに、解題末に掲載した、『長野市誌』『長野県史』などの地方史誌類も参照願いたい。

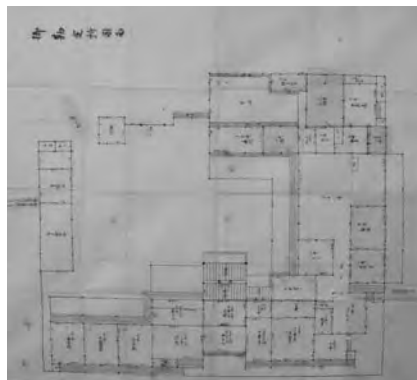
2 真田家文書の管理と伝来

真田家文書の文書管理や伝来については、これまで種々論じられてきた。『真田家文書目録』（その一）（その二）の解題で、その段階までに明らかとなっていた事実を整理している。これまで刊行された目録（その8）までは、この解題に依拠してきた。しかしその後、真田家文書の管理と伝来についての調査・研究が進み、また30年前に刊行された『真田家文書目録』（その一・二）を参照することができない場合も生じているようなので、この段階で、その後の調査・研究成果をも取り入れ、真田家文書の管理と伝来についてまとめておくことにしたい。

①真田家文書の管理・保存

日記や文書類はそれぞれの部局で作成され、管理保管されてきたものであろうが、それぞれ一定の年限が経過すると長期保存・永年保存の文書記録を専管する部署に引き渡される。それを引き継いだ文書記録専管部署は、「御日記御土蔵」（場所は三の丸で、花之丸御殿へつながる中御門近くに建設されていた二階建ての土蔵）などに保存し、管理していたようである。その管理台帳の全体は不明であるが、その一つが国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩の文書管理』（名著出版、2008年）に収録した「日記并諸帳面入注文」である。

「御勘定所図面」（年代不明。真田家文書し10〈『信濃国松代真田家文書目録（その8）』63頁〉）によれば、勘定所の敷地内の少し離れた場所に飯米蔵と棟続きで「御日記土蔵」（御勘定所御帳蔵）がある。執務場所や台所から離れた場所で、土蔵造りであるから防火に配慮した設置であるといえよう。さらに離れたところに「御用紙御蔵」などが配置されているところから、日記土蔵（帳蔵）は、執務場所から少し離れているが、日常的参照のためにも出納が難しい場所に設けられたものと考えられる。この「御勘定所図面」とほぼ同じ平面図が、『松代城絵図集成』（66頁、真田宝物館、2006年）に掲載されており、「松代御蔵屋舗絵図」という名称が付されている。おそらく「御勘定所」には、年貢米などを保管する蔵が多く設けられていたため一般に「御蔵屋敷」と称されていたのであろう。



勘定所図面（L 10 館蔵）

この勘定所（御蔵屋敷）は、松代城東側の堀のさらに北東の場所にある「蔵屋敷」がそれであろう（『松代城絵図集成』所収「信州松代之城図」〈年代不明〉。真田宝物館の原田和彦氏教示）。勘定所の北は筑摩川（千曲川）の河川敷につながり、東と南は侍屋敷である。

「御勘定所図面」によれば、この勘定所（御蔵屋敷）には、郡方の執務部屋の他に、勘定元、代官、物書、初掛、御金掛、御内借掛、拝借掛、御蔵番、手代、仲間らが勤める部屋が配置されている。いっぽう「松代御蔵屋舗絵図」には、御郡方役所、拝借方役所（御金掛、御内借掛、拝借掛という名称は付されていないが部屋の位置と大きさは「御勘定所図面」と同じである）、勘定所、御勘定所御帳蔵とあり、「御勘定所図面」とほぼ同じ配置である。

そういう点で、勘定所（御蔵屋敷）は、在方・財方の中核部署の役所といえよう。ここで業務にとも

なって作成し、受け取り、管理し参照してきた文書記録が、時の経過とともに日常的参照の機会が少なくなると、同じく年数の経過した執務日記類とともに「御日記土蔵」（御勘定所御帳蔵）という帳蔵（文書庫）で管理・保管していたのではないだろうか。後述するが、本目録に収録した文書の大半は、最終的にこの勘定所ないし勘定所所管の帳蔵（文書庫）において管理され、保管・保存されていたものと思われる。

②真田家文書の伝来

信濃国松代藩の文書群は、現在、真田宝物館（長野市松代町）と国文学研究資料館に分割されて所蔵されている（伝来の概要については、原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」〈国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究』岩田書院、2008年〉によっている。）。

真田宝物館所蔵史料は、総数1万3千点余りで、保存蔵の中でさらに大小の箱や筆筒・長持などに収納されていたという特徴がある。国文学研究資料館（譲渡当時は、文部省史料館）所蔵史料は、昭和26（1951）年に真田家から譲渡を受けたもので、現在も継続して史料目録を作成し刊行中の膨大な文書記録群である（そのほか寄託文書2千点余）。譲渡した分と残した分を内容的に区分けした明確な基準はみられないが、譲渡段階でそれぞれ異なる場所で管理・保存されていたとみられている。なお譲渡分は3万点余という点数がしばらく示されていたが、それは1980年代での既整理分を含めた予想の点数であり、整理が完了するとおそらく6万点近い点数になると思われる。

原田和彦氏の研究によると（原田和彦『『真田家文書』について』（『信濃』第50巻第4号、1998年）、松代藩文書は、A大名真田家としての戦国時代からの伝来の文書群（「古文書」）とB松代藩の各部局が作成し、管理・保存してきた文書群に分けられ、前者Aの多くが真田宝物館に所蔵されている（現在、それらの一部は長野県宝に指定されている）。

真田家は明治政府から歴史編纂のための史料提供の要請を受け、日記類を中心とした調査と整理を行った。さらに大正7（1918）年から14年にかけても、史資料の整理を行ったが、その際Aに関しては天保4（1833）年に作成された「吉光御長持入記」（「古文書」）という目録が用いられ、Bについては「旧藩御日記其外書類入記」が新しく作成され、その後の文書群の管理・保存に用いられてきたという。

大正期の整理記録に、松代の真田家別邸の二番倉一階全部に「民政上累年の書留帳簿類」が保存されていたとあり、また土蔵の中でさらに筆筒類に保存されていた「多数の書類や伝来の図書」があったことが述べられている。原田氏は、前者が文部省史料館（現在、国文学研究資料館）に譲渡されたBで、後者が真田宝物館（1966年、真田家から当時の松代町〈同年に長野市へ編入〉に寄贈）に伝えられたAであろうと推定している。Aの文書管理史については、解題末の関連文献にあげた原田和彦氏の一連の論考を参照していただきたい。

真田宝物館のものと国文学研究資料館のものをあわせると7万点を超える膨大な史料群であるが、Bの松代藩政文書全体の特徴は大きくわけて二つある。一つは幕府老中関係の文書群で、もう一つは約2,000冊の日記である。その多くは各役・各部署が公的に記録した公的御用日記である。種類は「家老

日記（江戸・国許）」をはじめ約50種ほどである。中には欠本のために連続性を欠くものや、1冊しか残っていないものもあるが、家老のほか御側向諸役、勘定方・郡方に御目付を加えた主要奉行所などの役職日記が伝えられていることに特色がある（原島陽一「宝物館所蔵真田家文書の特色と意義」〈『松代—真田の歴史と文化—』第4号、1991年〉）。この日記類については『史料館所蔵史料目録 第二十八集（信濃国松代真田家文書〈その一〉）』（国立史料館、1978年）の「解題」を参照されたい。中でも「家老日記」は貞享3（1684）年から明治4（1871）年まで、289冊現存している。これらの日記の大半は国文学研究資料館にあるが、真田宝物館にも200冊あまりの日記が確認されている。

明治4年7月に廃藩置県が行われ、松代藩も松代県となった。しかし、その後、明治4年11月、それまでの信濃国内諸県の統廃合があり、松代はじめ飯山・須坂・上田・小諸・岩村田、椎谷（一部）の7県は廃止となり、長野県に統合された。松代には長野県松代庁が置かれたが、明治5年2月に松代庁のすべてを長野県庁に移管し、閉庁となった。松代県村々はこのような統治体制の改編にともなって長野県に引き継がれることとなった（『長野市誌 第五巻・歴史編近代一』長野市、1997年）。廃藩置県の折に、全ての藩で事務引継と文書記録の引き渡しが行われたであろう。松代県から長野県への引継書類の記録は、前出の『藩の文書管理』に収録されている。

廃藩置県によって、藩侯の文書記録と、松代藩庁管理の文書記録のうち松代県・長野県に引き継がれない文書記録は、元知県事真田家のもとにおかれ、時を移さず新御殿（通称、真田家別邸）内の蔵に収蔵されたものと推測される。

明治期になると諸般の事情で、家臣諸家から文書記録が流出する事態が生ずるが、真田家では積極的にそれらを収集している（原田和彦「真田家文書の基礎的考察—流入文書について—」〈『松代—真田の歴史と文化—』第10号、1997年〉）。このように流入文書があり、さらに東京の真田邸からの道具類を合わせて明治13（1880）年に整理が加えられているが、それでも明治期には幕末期の文書管理保存の形態をほぼそのまま受け継がれていたようである。その伝来形態に手が加えられたのは、前述した大正7（1918）年からはじまる伝来の絵画・諸道具および古文書類を合わせた総合整理によるものであった。大正7年から14年にかけて、真田家別邸に伝えられていた大名道具類や古書・古文書類が全面的に整理されたのである。

このように伝来形態の改変があったことはたしかであるが、しかし箱単位や塊の形は大きくくずされてはいない。文書記録の「ウブ」な形が多く伝えられていたことが松代藩文書群の一つの特徴である。

それはいうまでもないが、真田家をはじめとする多くの関係者の配慮と努力があったためであり、様々な諸条件がうまく整っていたからである。廃藩置県から戦前期までは、真田家政組織による美術工芸品や道具類、あるいは古書・古文書類の管理・保存のために大きな努力と配慮の積み上げがあったため、多くの資料が今日まで伝えられてきたのである（以上、前掲『藩の文書管理』の解題にもとづいている）。

③戦後に分割された真田家文書

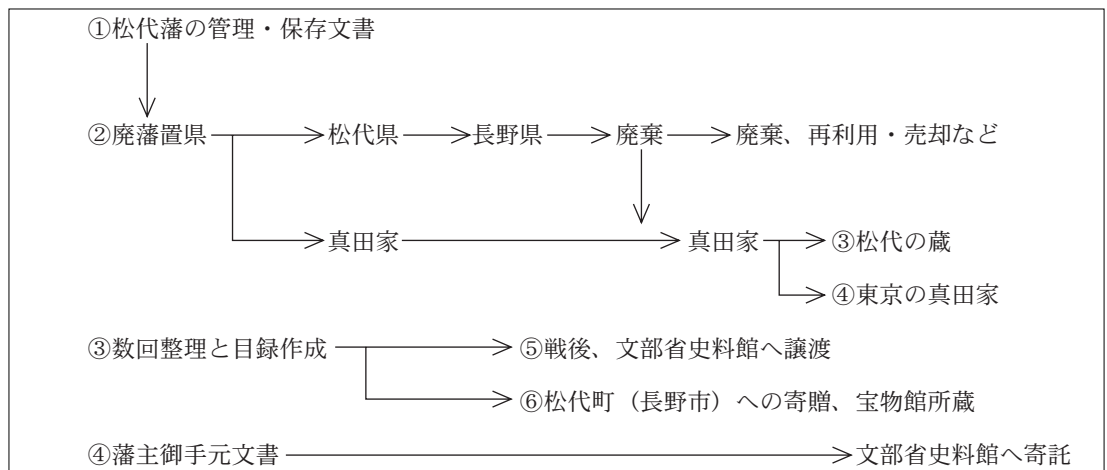
真田家文書は、現在、国文学研究資料館と真田宝物館に二分されているが、この分割についてさまざまに論じられてきたが、史料館で整理を担当したお一人原島陽一氏は、この分割については両者に重なる部分があるために、厳密に分割基準らしきものはなかったとしている（原島陽一「宝物館所蔵真田家文書の特色と意義」〈『松代』第4号、1991年〉）。

一方、北村保氏は、真田宝物館文書はそれぞれある種のまとまりをもって収納されており、一番から三一番に分類された大小不揃の容器に収納され、真田家の分類にもとづいて真田邸内の土蔵に収納された状態のままで整理されたものであるという。そして、他の文書記録類とは区別され、真田家では「異なる扱いを受け、異なる土蔵に収納されていた」と指摘している（北村保「真田宝物館所蔵真田家文書について」〈『信濃』44-2、1992年〉）。この北村氏の指摘は、真田宝物館所蔵の真田家文書の管理・保存のあり方を端的に示すものである。つまり、戦国期以来の家伝の文書は、真田家として重要な文書であるため、特別の保存措置がはかられていたのである。

北村氏の指摘を受けた原田和彦氏は、大正7（1918）年の再整理時記録の検討によって、真田家文書には二つのまとまりがあって、一つは筆笥などの中に収納されていた多数の書類と、一つは二番倉の階下全部には図書と民政上累年の書留帳簿類があったことを指摘した。さらに、この状態は文部省史料館に譲渡された時にもそのままであったであろうとした上で、真田宝物館所蔵の真田家文書はその多くが筆笥などに収納されているところから前者の「筆笥の中に所在する多数の書類や伝来の図書」にあたり、一方、国文学研究資料館の真田家文書については「民政上累年の書留帳簿類」であったとした（前掲、原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」など）。

このように、真田宝物館と国文学研究資料館の所蔵文書には、多少重なるところはあるが、真田宝物館の文書は真田家の「家伝の文書」、国文学研究資料館の文書は「藩政の文書」で、後述するようにその多くは主として勘定所で管理・保存されていた文書群であると考えられる。

真田家文書伝来経路図



④国文学研究資料館真田家文書の整理の歴史

以上のような経緯で、戦後、真田家文書の一部が文部省史料館の所蔵史料となった。真田家文書を松代から東京へ輸送するのに鉄道貨車1輛を要したといわれるほどの大量なものであったため、冊子目録編成するための整理では、まず簿冊型史料と一紙型の書付・絵図とに形態分けをしている。この方法は、史料館の整理方針とも相異し、利用にも不便であることは認識しつつも、多量の史料を少しでも早く目録化して一般の利用に供するための例外的な措置として採用したものだと思っている（『信濃国松代真田家文書目録（その一）』解題、1978年3月）。そして『信濃国松代真田家文書目録（その一）』には簿冊型史料約1万1千点を収録し、『信濃国松代真田家文書目録（その二）』以降には、主として一紙型の書付・絵図の目録が収録され、現在、『信濃国松代真田家文書目録（その8）』まで刊行している。しかし、いまなお未整理史料があり、そのため平成20年度は『信濃国松代真田家文書目録（その9）』と（その10）で約1万点の史料を収録し、平成21年度は残り全部の未整理史料と補遺分をあわせて約1万点を『信濃国松代真田家文書目録（その11）』と（その12）として刊行し、真田家文書目録の編成と刊行を終了させる予定となっている。

なお、旧真田家別邸に残され、その後、長野市に寄贈となり、現在、真田宝物館で管理・保存されている真田家文書については、前掲の原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」を参照されたい。

史料館では、印刷目録を6冊刊行した段階で、なお膨大な未整理史料があったため、平成12年度に、残存史料状況を把握し、目録編成の方向性を探るため、概要調査を実施した（史料館リサーチアシスタント倉持隆『史料館所蔵真田家文書未整理史料調査報告書』2001年。この報告書は刊行したものではない）。この段階で、未整理史料は、2階史料庫前室（棚3・箱2）、2階史料庫奥室側壁に棚（箱11・籠）に置かれており、全部で34箱（文書箱25・衣装箱7・ダンボール箱2）に残存史料が収納されていた。このとき、棚や衣装箱など保存単位ごとに番号・記号が付されて、史料収納現状のスケッチや概要調査が行われている。この概要調査のとき便宜的に付されたのがA～Fの記号である。本目録に収録した「す（L）」「せ（G）」「そ（K）」「た（F）」はこのとき付された収納単位ごとの中間記号である（前掲『史料館所蔵真田家文書未整理史料調査報告書』）。

未整理史料といっても、一部仮整理済みで内容的にまとまっているものがあり、一紙書付型史料のみでなく、簿冊型史料も未整理史料の中に混在している。

史料搬入からしばらく、前述したような事情で、史料館では史料そのものの形態分類や内容分類による整理が行われてきた。それでも書付が一括して残存している場合にはその伝来形状を尊重して一括のまま配列し、また事案毎に「一件史料」として封筒・袋等に一括伝存しているものはその伝存形状を尊重して史料を配列したと明示しているように、紙縫で綴ったり、包紙で包んだりしていた個々の小文書群の固まりの原状はくずしていない。しかし、同じような内容・形態の文書をまとめて新しく綴ったり、紙紐などで束ねたり、新しく封筒にまとめたりしていることは多く見られ、これは史料原形の破壊である。当時の史料調査整理論の未発達や諸般の事情があつて一概に批判できないところであるが、たいへ

ん残念なことである。それはともかく、史料館で新たに加えられた作為も、これも一つの「作られた現形」としてその纏まりを、物理的に崩さず、整理を行い、番号を付与していった。

そして、本目録編成にあたっては、「管理・保存の原形」の場合も「作られた現形」の場合も区別せず、その小文書群単位をばらすことなく一括して配列した。したがって、「作られた現形」の小文書群には、内在的に関連をもたない文書が混在しているものも少なくない。

この「作られた現形」に関連して、史料館に搬入された真田家文書の整理に当初から係わってこられた方は次のように話している（前掲『史料館所蔵真田家文書未整理史料調査報告書』）。つまり、①黒い衣装箱に入れられているもあるが、これは史料館で改めて入れ直したものである。また、箱ごとの意味はなく、雑多なものが入っているということであった。さらに②受け入れ当初の整理は文書をすべてばらして一点ごとに旧封筒に入れ、文書の内容を記載していた。その際に内容に合わせて「部門」を記入したが、現在ではそれが適当なものかどうかは問題がある。そして③封筒に入れることが間に合わなくなり、文書の端裏に鉛筆で内容や分類を記すようになる。④最初の内は文書を一点一点ばらしていたが、その後一括されていた文書の端をこよりで綴じるようになったということである。

なお、衣装箱は三井文庫時代からのもので、松代からの搬入後、それほど時間が経過していない時期に、一紙書付型文書をそれなりに形や内容を勘案してこの衣装箱に収納したのではないかとされている。

⑤真田文書群の特色

前述したように、文部省史料館に移された文書記録は、松代の真田家別邸の二番倉一階に保存され、その所在が確認されていた「民政上累年の書留帳簿類」であることが明らかとなった。民政上とは主として郡奉行所（勘定所・蔵屋敷）のことであると考えられる。既刊目録収録史料の大半も郡奉行所（勘定所・蔵屋敷）に伝存された史料であると推定されている。

目録（その7）の解題でも、かなりの部分は郡奉行所（勘定所・蔵屋敷）に伝存した文書ではないかと推定しているが、①真田家文書の管理・保存の項で勘定所の絵図にもとづいて検討したように、当館所蔵の真田家文書（藩庁の文書）、そして本目録に収録した文書の大半は、郡奉行所（勘定所・蔵屋敷）及びその管理する帳蔵に保管・保存されていた勘定所関係の文書記録といってよいであろう。廃藩置県後、帳蔵文書の大方は、散逸することなくそのまま真田家別邸の二番倉一階に移され、保存されてきたのであろう。

このような出所をもつ当館所蔵の真田家文書の特色について、これまで刊行した8冊の目録解題から整理すれば次のようになろう。

- ・各役局で日常の執務の必要から作成された、いわゆる生の文書が圧倒的に多い。代官の年貢徴収のために作製された「上納差出」から、奥向きの支払い帳簿まで、後年編さんされた文書がほとんどない。
- ・藩の要路に片寄らず、藩の職制や業務の上では末端に近いと思われる諸役人の仕事に関する事柄を示す文書が少なくない。

- ・真田家文書の全体構成としては化政期以後の文書が圧倒的である。これは、嘉永6年の火災で、藩政文書も大きな損害を受けた結果と思われる。
- ・勘定帳簿には、作成者のほかに、その勘定について確認し、立ち合い、見届け吟味するものなどが次々に署名捺印している。
- ・一般的に廃棄されてしまっても何ら不思議でないような零細な書類が、しかも多量に残存しているところに特色がある。
- ・文書の作成または受理を担当した部署で取扱った文書を一括して袋入などにして保存を計ったものが見うけられる。
- ・多いものは百通以上に達する組文書が見られる。
- ・村方騒動文書や争論文書など、およそ事件に関係する一連文書が包括的にまとめられ、一括保存されているところに大きな特質がある。
- ・評議書類などで、恒例化した事案でも毎回、伺を立てて決済を求めるという官僚的文書管理制度は確立していたと見受けられる。
- ・綴込伺書は農民上申文書をその中に含み込むが、本質的には藩の部局内授受文書というべきものである。これら諸文書の伝存の理由は、これらが後代の事務参考に供すべき先例文書としての意味をもつこと、またそこに封入された農民提出の請書・済口証文・各種の誓約文書が永続的な証拠効力を有するといった事情によるものであろう。

3 収録文書群の構造と目録編成方式

本目録に収録した「す（L）せ（G）そ（K）た（F）」の文書群は、文部省史料館に搬入された後で黒い衣装箱に入れられていたものである。一部藩政期にまとめられたものもあるが、大方は内容を勘案して真田家文書群のあちこちから集めて収納したものである。また、当時の整理担当者は箱ごとの意味はなく、雑多なものが入っているものもある、と述べている（前掲『史料館所蔵真田家文書未整理史料調査報告書』）。このように本目録に収録した「す（L）せ（G）そ（K）た（F）」の各文書群は、そのかたまりにあまり意味がないものである。したがって、内容上必ずしも明確なまとまりがあるわけではなく、また藩庁での作成部局あるいは保管部局を直接特定できる文書も多くない。

アーカイブズ学の原則に従えば、目録編成は本来、各文書の最終保管部局を確定した上で、組織構造に対応した文書群体系を示す編成にする必要がある。しかし、「す（L）せ（G）そ（K）た（F）」の部の文書群の場合、保管部局を確認できる文書はほとんどない。

とはいえ、もともと関連文書を袋に収納して保存していたり、綴込んでいたり、紙縫で束ねていたり、いわゆる「管理・保存の原形」もある程度残っている。そこで、作成や宛先の人名をたよりに『真田家中明細書』（史料館叢書8 東京大学出版会、1986年）で担当役職を特定することはある程度可能であった。もっとも松代藩の場合、諸役を兼任する 경우가少なくないこともあり、各文書を最終的に保

管したと推定される部局を一つに絞ることはなかなか困難であったが、複数の宛先人名および作成者がわかる場合は相当高い確度で推定でき、少なくとも職務の傾向はつかむことができた。

それによって、本目録に収録した文書で差出人（作成部局）・宛名（受理部局）が分かるか推定できるかなりの部分は、あるいは類推される文書伝達経路や取り扱われている事案の内容から考えて、在方・財方業務に直接関わった郡奉行所、なかでも郡奉行の管轄のもとにある勘定所で管理・保存されてきた文書記録である可能性が高い。

つづいて具体的編成についてである。衣装箱単位の大枠は崩さないで、その大枠のなかでの区分けと編成を行った。前述したように各「す（L）せ（G）そ（K）た（F）」と記号を付された衣装箱単位と、その次のレベルのまとまりは、ある段階で整理担当者によって人為的に集められたものであるのであまり意味を持っていない。そのため次の第2層、つまり小文書群の塊、包み、結びなど、いわゆる「保存の現状」（原形の痕跡）が残っている「まとまりと括り」を編成の基本単位とした。そして、「まとまりと括り」（小文書群）単位の文書記録の受取部局を第一義編成基準とし、ついで作成部局や文書機能・文書の動きを勘案して区分けし、編成した。どうしてもまとまりや関連を見出せない若干の文書は、各箱単位の後に「その他」としてまとめた。

具体的には、まず第一に受取部署に着目し、ついで作成部署と文書記録の機能・移動などを勘案し、さらに次の階層段階でも、2001年の概要調査時の写真や中間番号順や整理時の現状（目録採録の順序）を重視したが、部分的に従来の目録の内容区分けを加味した部分併用方式を採用した。

一応この様な方式で区分け編成しているが、不明確なものも少なくない。したがって、一群全体を見ていただきたい。かかる編成方式による目録は、たしかに主題別などの分類目録に比べて検索に少し時間がかかるであろうが、しかし検索からもれる文書は少なくなるはずである。

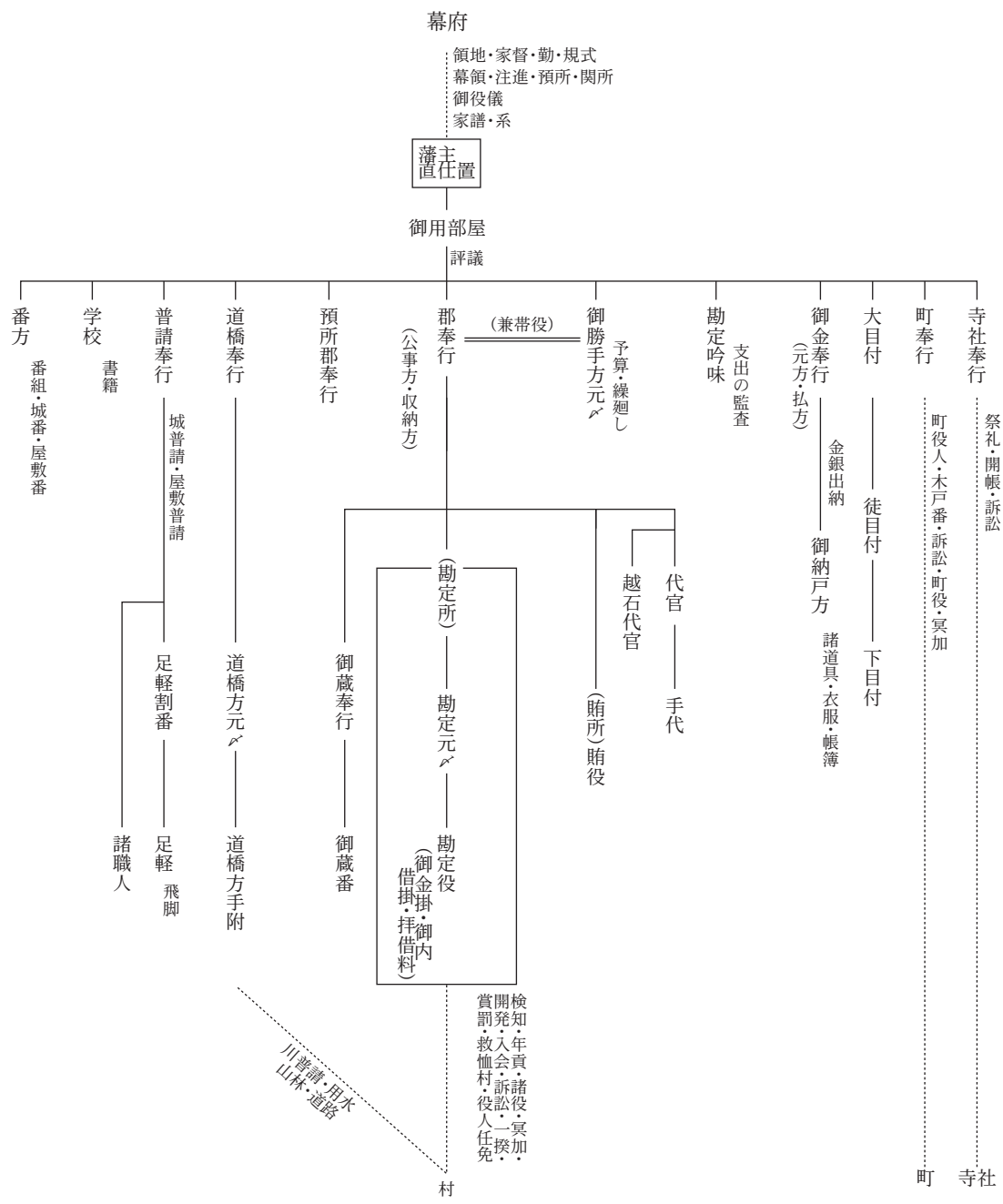
4 松代藩の職制について

文書の作成と管理システムを検討するためには、職制・部局とその機能が明確になっている必要があるが、残念ながら松代藩に関する職制研究は進んでいない。わずかに『史料館所蔵史料目録第二十八集（信濃国松代真田家文書その一）』（国立史料館、1978年）の解題や『史料館研究紀要』第10号（1978年）に収録された、原島陽一「真田家文書と松代藩家臣団の職制機構」及び井上勝生「藩財政史料の構造と分類方法について」によってその一端を知ることができるだけである。

2001年に『長野市誌 第三巻・歴史編・近世一』（長野市）が刊行され、その一項目に「歴代藩主と藩組織」が設けられ、叙述されているが、必ずしも立体的に把握できるようになっていない。今後の検討課題であろう。

本目録では、笠谷和比古氏が1988年に公表した「大名家文書の史料的特質と目録編成」（史料館編『史料の整理と管理』岩波書店所収。のち笠谷和比古『近世武家文書の研究』法政大学出版局、1998年に再録）に掲載した「『大名家文書』成立の模式図」をもとに、真田家文書の整理の過程でえた知見を

松代藩職制図



出典：笠谷和比古『近世武家文書の研究』、250頁所収の「図2『大名家文書』成立の模式図」に種村威史が加筆・修正し作図。

くわえて「松代藩職制図」（種村威史作成）を作成してみた。文書利用の参考にしていきたい。

5 個別文書群内の配列と概要

以下、各まとまり単位に区分け配列し、各区分け名称を付し、さらに当該文書群の概要を記述した。また、区分け名称の後に、「勘定所」や「計政局」など部局名を記しているが、それは当該文書群を最終的に管理・保存していたと考えられる部局である。部局名を付していないものがあるが、それは部局を特定できなかったためである。

す（L）文書群

年 代 文化12（1815）年～明治3（1870）年

数 量 593点



す（L）箱の現状写真

す（L）文書群の主な作成者・部局と宛所を上げれば次の通りである。

南部坂表御屋敷買物方・表御役所・御台所元ヰ・公事方掛・群奉行所・御勝手元ヰ・代官・代官所・大御目付・職御奉行所

いずれにしても郡奉行管轄の勘定所・計政局（明治2年の藩制改革によって設置）で管理・保存されていた文書記録であると思われる。

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送

勘定所

天真院（第8代藩主・真田幸広）葬送入用関係の諸勘定文書や買物代金受取証などで、作成は文化12年である。総点数は54点。なお、本目録では「藩主（藩侯）」と「真田家」は区別しており、藩政期の藩主関係は「藩主（藩侯）」に区分けし、「真田家」は明治4年の廃藩置県以降の元藩主家である真田家に関係するものを示している。

この「す93」の文書群は、個別に作成された関係文書を集め、その個別文書の折りを伸して展開した上でまとめ、端を三つ目かぶせ袋綴じ（反故紙を使用）で封緘している（口絵写真1参照）。この形

が藩政期における財方関係の一件諸文書の永年保存形態の一つではないだろうか。その上で包紙を作成し、上書きをしたものであろう。これは、永年保存と参照など利用のために講じられた文書管理方式といえよう。この文書管理方式は、留帳など記録への筆写と原本廃棄方式から、18世紀後半以降の文書量の増大にともなう原本綴り込み方式の部分的採用の流れにそうものである。文書記録作成者として出てくる「近藤」は近習系統の役人である。

なお、江戸の南部坂には松代藩の中屋敷が置かれていた。

2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拝

勘定所

京都にある真田家「二十四日様」位牌所への代参に関わる諸勘定文書である。作成は天保3年～天保5年である。総点数は23点。内用代参に関わった松本嘉十郎は「公事方掛・一代御目見席」である。

この「す94」は、個別作成された文書・横帳を集約し、展開した上で、端を紙縫で綴じ、一番上の横帳の余白部分に、朱書きで綴じ込んだ文書記録の目録を記述している。その上で包紙を作成し、上書きをしたものであろう（口絵写真2参照）。これは、上記「す93」と同様、一件文書の永年保存、そして参照など利用のために講じられた文書管理方式といえよう。

3 藩政／在方／争論・訴訟

勘定所

天保9年の妻科村宿預け一件文書3点と文化12～文政2年の仙仁山入会争論一件文書16点である（口絵写真3参照）。後者は、入会開発をめぐる争論関係文書で、その多くは争論に関わる村より代官所・職奉行所・郡奉行所・大目付役所への嘆願書類である。『信濃国松代真田家文書目録（その四）』の31頁～34頁に同じ仙仁山入会争論文書が収録されている。

諸藩は、他領と領村の訴訟に直接・間接の関わりをもっている。藩領のひいては藩の利害得失にかかわるからである。松代藩の争論関与の事例に関しては、山本英二「近世後期の地主経営と温泉」（国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『近世・近代の地主経営と社会文化環境』名著出版、2008年）を参照されたい。また渡辺尚志「大名家文書の中の『村方文書』（高木俊輔・渡辺浩一 編著『日本近世史料学研究—史料空間論への旅立ち—』北海道大学図書刊行会、2000年、のち渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩地域の研究—』（岩田書院、2005年）に再録）は、仙仁村入会出入関係文書（史料は真田家文書目録〈その四〉所収のものである）を用いた論考である。

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

勘定所

藩領村々の年貢割付状で、慶応3年～明治3年のものである。113か村分、総点数435点である。すべて代官から各村に割り付けられたもので、慶応3年・明治元年・2年・3年の4通が1セットである。

おそらく松代県の廃止と長野県への引継ぎにともなって、下付していた直近の年貢割付状を提出させたのであろう。年貢割付状は折りを伸ばして展開し、村ごとに端を紙縫でくくっている。これは史料館での整理の時に加えられた措置で、原形はまったく不明である。そのため、他村のものが混じって5通綴っていたり、逆に少なかったり、あるいは年代順でないくりもある。利用にあたっては注意していただきたい。

史料館での整理のとき施した綴りの右上に、ワラ半紙小片を貼り付けており、それには鉛筆書きで「外鹿谷村 慶3-明3 山中 四通」などと記述されている（口絵写真4参照）。なお「里方」など、領内の行政区分については渡辺尚志編『藩地域の構造と変容』（岩田書院、2005年、10頁）及び『長野市誌 第三巻・歴史編・近世一』（長野市、2001年、111頁）を参照していただきたい。

代官の数と担当管轄地域は、安政6年段階で4人である（『更級埴科地方史誌』第三巻）。

5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印

松代藩は、東征軍の命により越後や甲府へ出兵している。その時に兵士へ下付されたのがこの錦袖印で、明治初年になり藩が回収したのであろう。全部で65点である（口絵写真5参照）。

『長野市誌』第5巻、13頁にも錦袖印の写真が掲載されているが、この錦袖印と異なっている。

せ（G）群文書

年 代 宝暦7（1757）年～明治15（1882）年

数 量 1,355点



せ（G）箱の現状写真

せ（G）文書群の主な作成者・部局と宛所を上げれば次の通りである。

御宮御用達、元松代庁御役所、元松代御庁、御目付方御役所、大病院御役所、御用大病院、御勘定吟味助、御勘定吟味御役所、御勘定所拝借御懸り御役所、計政出納御掛り御役所、計政御役所、御奉行所、御勝手御元、出納御掛、表御納戸御役所、会計掛中、御奉行所、御金御奉行所、元方御金奉行中、御払方、御金掛御役所、御金掛、郡御奉行所、郡方、郡政御役所・市政御役所、銀銅山御掛り御役所、御武具方、御武具方御徳居、武庫庶務、御武庫方御役所、松代元御預所御役所、元御門番、御宮御用達、表御納戸御役所、御台所御役所、御買物御徳居

せ（G）文書群は、全体として財政部署の文書記録で、作成部局ごとのまとまりが見られる点に特徴

がある。とくに、勘定元々、勘定、勘定吟味、払方御金奉行、元方御金奉行、計政局司金らが作成した文書が多い。受取部署としては、勘定元々、勘定、勘定吟味、元方御金奉行、計政局（特に計政局司金）が大半を占めている。

いずれにしても郡奉行管轄の勘定所や計政局（明治2年の藩制改革によって設置）で管理・保存されていた文書記録と思われる。

1 藩主（藩侯）／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼 勘定所・計政局

家臣から藩主への年始慶賀に対する返礼青銅銭の受取証文で、年代幅は慶応4年～明治3年で、総点数は386点である。担当・関係部局は御金奉行・計政局司金である。

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定 勘定所・計政局

藩庁内諸金銭出納・勘定関係文書で、大半が年欠である。年代がわかる文書の年代幅は、文化8年～明治5年で、総点数は321点である。

担当・関係部局は、代官・御勝手方元々・元方御金奉行（御勝手方元々・収納掛など兼務）・勘定役・計政局司金・計政局算師である。

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定 勘定所・計政局

藩庁内金銭勘定関係文書で、年代幅は宝暦7年～明治4年で、総点数は216点である。

担当・関係部局は、御勝手方元々・勘定役・諸掛（拝借掛、銀銅山会所掛、初方掛、御側納戸、社倉方、融通方、御勘定吟味役、武具方、御台所目付、御買物役、表納戸、元方御金奉行）・計政出納掛役所である。

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定 勘定所・計政局

藩庁内・真田家金銭勘定関係文書で、年代幅は嘉永5年～明治15年で、総点数は164点である。藩領内外の豪農商との御用金や資金運用関係の文書が少なくない。明治2年の藩制改革後、勘定所の文書記録が、そのまま計政局に移管されたものであろう。

担当・関係部局は、郡奉行・御勝手方元々・勘定役・計政役所などである。

5 藩政／預所・財方／預所運用金中借 勘定所・計政局

松代藩預所運営・運用経費などの諸入用内借金受取証文ほか関係文書で、年代幅は慶応4年～明治4年で、総点数は8点である。

担当・関係部局は、松代預り役所（御預所郡奉行一元々役―御用役・御勘定役）・松代藩預所民政判事（明治2年の藩制改革での職制）・勘定役・会計方である。

6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定 計政局

松代藩預所の諸入用内借金受取証文で、年代は明治3年で、総点数3点である。

担当・関係部局は松代藩預所民政判事・計政局である。

7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金 勘定所

松代藩預所関係の諸入用内借金受取証文で、年代幅は安政4年～明治2年で、総点数は9点である。

預所の村々が松代預役所の「別段御繰回し御用金」の内から要金借用や、預所運営金の拝借などに関係する証文である。

担当部局は、松代預役所（御預所郡奉行一元〆役御用役・御勘定役）・勘定役である。

8 藩政／郡方／道中人馬賃銭 勘定所

主として人馬掛が運用する道中人馬賃銭の関係文書で、年代は慶応2年で、総点数は10点である。

担当・関係部局は目付役所・人馬掛・勘定役である。

9 藩政／番方／武具調達 勘定所・計政局

武具調達関係文書で、年代幅は幕末～明治4年で、総点数は33点である。

担当部局は、武具役所・武庫主事・武庫勘定諸務・武庫局諸務御役所・御勝手方元〆・勘定役である。

10 藩政／厚生治療 勘定所

薬種代の請求書で、年欠で、総点数4点である。担当部署は大病院役所であるが、この病院がどういう性格のものは不明である。

11 藩政／家臣・財方／拝借金 勘定所

家臣が藩から拝借金したときの証文で、すべて年月があり、年代幅は嘉永6年～文久3で、総点数は37点である。

担当・関係部局は、元方御金奉行・勘定吟味役・払方御金奉行である。

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借用金 勘定所

家臣の御用向きでの内預金受取等の証文や家臣の内借関係の願書・用状などである。年欠文書が多いが、年代ある文書の年代幅は嘉永元年～明治2年で、総点数は101点である。

担当部局は、払方御金奉行である。

13 藩政／町方／御救い拝借金 勘定所

松代町の町民からの内借金返済猶予措置願書で、年代は文久3年、総点数14点である。

担当・関係部局は、払方御金奉行・郡奉行所・勘定役である。

14 藩政／在方／御救い拝借金 勘定所・計政局

領内各村の拝借金証文で、年代は安永9年・寛政8年で、点数は4点である。

担当・関係部局は、郡奉行所・計政役所である。

15 藩政／在方／御救い拝借金返済 勘定所

各村の内借年賦上納金受取切手で、年代は天保12年～弘化2年で、総点数は29点である。天保凶作などで藩が措置した御救い金を村々が借用したものを分割返済した折りに発行した複数の小切手（帳簿との照合割り印である「押切印」がある）を返納させ、それと引き替えに借用証文を返したものであろう。

この「せ（G）1-1」の綴りは、もともとから現状のように仮綴りしていたものでなく、包紙（上書きに「南長池村引替切手」とある）に包んでいたものを、史料館が包紙から取り出して折りを伸して展

開し、千枚通しで穴をあけ、紙コヨリで綴ったものである。

担当・関係部局は、郡奉行所・勘定役である。

16 その他

勘定所・計政局

年貢・金銭勘定の関する文書記である。年代幅は安政6年～明治3年で、総点数は16点である。

そ（K）群文書

年 代 享保8（1723）年～明治37（1904）年

数 量 1,890点



そ（K）の現状写真

「そ（K）」文書群は、全体として財政部署の文書記録で、郡奉行管轄の勘定所や計政局（明治2年の藩制改革によって設置）で管理・保存されていた文書記録と思われる。

「そ（K）」文書群の主な作成者・部局と宛所を上げれば次の通りである。

郡奉行支配関係では御郡奉行中（御郡御奉行所）、財方関係では御払方御役所、御勘定所惣御元々御役所（御元々御役所）・御勘定所御金掛御役所（御金掛御役所）。藩主関係では御側衆御納戸中・御納戸御役所・表御用人中・御奥元役中・御奥元々役中・御守役中・両御守役中・御台所御役所・信濃守御執政御衆中御披露・御賄所・御買物所、普請関係では道橋御奉行所（道橋方）・御水道方御奉行所（御水道方）、産物関係では御産物御掛り・御産物方、町方では町奉行中（御町方）、および御武具方御元分中、松代隊長、大坂御内用掛中生蓮寺御納所中、元表柴町、諸務方御役所、松代御役所、樹芸御掛り御役所などがある。

松代藩では、明治2年12月と明治3年9月に職制を改正するが、明治2年改正での役職として監督御役所（軍隊関係）、明治3年改正での役職名称として計政方御役所・御用度御役所（用度方御役所、御用度局御役所）などが、「そ（K）」文書群に登場している。

1 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局

御側向き等の金銭勘定出納関係文書で、大方は年欠文書であるが、年代が分かる文書の年代幅は弘化2年～明治14年で、総点数は80点である。

担当・関係部局は、用度司・近習・御側納戸・払方御金奉行・勘定元〆・勘定所・勘定役・計政局・計政局算師である。

2 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局

藩主の側方勘定関係文書である。年欠文書が多いが、年代幅は嘉永6年～明治7年で、総点数は30点である。

担当部局は御側納戸役である。

3 真田家／地所代金等 真田家家令・家扶

真田家の地所代金など勘定関係文書で、年代幅は明治4年～明治20年で、総点数は5点である。

4 真田家／家政／寄付金 真田家家令・家扶

伯爵真田家に対して松代兵後優待組合への寄付金を拝受した旨の上申書で、明治37年の文書1通である。

5 真田家／家政 真田家家令・家扶

真田幸民家令・家扶用状並びに真田幸民関係文書で、年代幅は明治13年～明治16年で、総点数16点である。

6 真田家／吉凶／祝儀 真田家家令・家扶

真田家関係の祝儀袋で、年欠で、総点数は16点である。

7 藩政／財方／財方上申書 勘定所

勝手元〆・収納郡方の上申書で、全部年欠（幕末）で、点数は5点である。

担当・関係部署は、御勝手元〆・御収納郡方である。

8 藩政／財方／財方取計伺書並びに指示書ほか 勘定所

藩庁諸務・勘定関係及び各部署業務取り計らい方伺書並びに家老指示書などで、ほとんど年欠（幕末・明治）文書で、2点のみ明治4年の文書である。総点数は52点である。各部署宛の文書でも、勘定に関係するものは最終的には勘定所に送られ、管理・保存されていたのであろう。

担当・関係部局は、郡奉行・勘定所・勘定役・諸掛（武庫諸務、武庫司事、小銃方頭取、諸務、計政方役所、御勘定吟味、御刀番、用度属、御用度御役所、納戸、家老、御収納郡方、両御守役中）である。

9 藩政・県政／財方／財方取計向き用状ほか 勘定所・計政局

郡政・藩庁内諸務・勘定関係や送金要請・金銭勘定・御側費用関係文書及び江戸勘定吟味役の用状などである。年欠文書が多く、年代のある文書の年代幅は文化元年～明治17年で、総点数は209点である。勘定関係文書でも比較的、施策などに関係するものが多い。

担当・関係部局は、郡奉行・勘定所惣元〆役所・御勝手元〆・勘定所・勘定役・諸掛（普請奉行・水

道方奉行所・賄所・武具方・御台所・御金掛・用番家老・中老・御勘定吟味・勘定吟味留役・道橋奉行所・職事掛・刀番・側役)、松代県役所・計政局・計政局算師・参政などである。

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

勘定所

勘定役間及び御勝手方元^ㇺ・勘定吟味役・勘定役・諸役との業務関係書状などで、ほとんど年欠(幕末期)文書であるが、3点のみ年代があり、その年代幅は文政10年～明治2年である。総点数は199点である。無年号文書であるから重要性に欠ける文書というわけではなく、内容的に重要でも部局間の連絡の場合、月日のみで年代を記さないことが多い。

担当・関係部局は、勘定所・勘定役・払方役所・御納戸役所・水道役・勝手方元^ㇺ・諸掛(養子側役・御収納方掛・御払方役所・御納戸役所・御水道方・月番家老・家老・監督・御目付・御武具方・記録掛・計政副主事・御郡方・給禄掛・江府産物会所掛・鷹商人・御刀番・拝借掛・御収納郡方・御町方・御買物所・表御納戸・道橋方・御側納戸・御馬方・町奉行中・会計懸り・御奥元^ㇺ役中・表祐筆組頭・御側役・払方御金奉行)である。

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

勘定所・計政局

財政評議・御収納郡方上申書・郡政費用・藩庁内勘定諸務・金銭勘定関係文書・勘定役の業務関係書状・家臣拝借金・賄向き等の文書・諸役用状・物品購買・贈答儀礼・家臣内用金関係文書及び若殿誕生祝儀金関係文書などである。

ほとんど年欠(幕末期)文書で、年代のわかる文書の年代幅は享保8年～明治5年で、総点数は637点である。

担当・関係部局は、御用部屋・勘定所・勘定役・諸掛(御勘定吟味役・御勝手元^ㇺ・御目付・会計掛・学監・出納掛・監督・御収納賄方・御奥元役・御守役・御手附・家老・執事)である。

12 藩政・県政／財方／財方取計向き用状ほか

勘定所・計政局

藩庁内勘定諸務・金銭勘定関係文書及び財方取り計らい用状で、年欠文書が多い。年代がわかる文書の年代幅は天保9年～明治17年である。総点数は66点である。他に比べて財方施策に関係する文書が多い。

担当・関係部局は、勘定所・勘定役・諸掛(御勝手方元^ㇺ・産物掛・勘定吟味役)、大属・執政・公儀人などである。

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

勘定所・計政局

藩庁勘定諸務・金銭勘定・台所賄・買物代支払受取・月給関係文書で、ほとんど年欠(幕末)文書である。年代がわかる文書の年代幅は、慶応4年～明治5年である。総点数は252点である。

担当・関係部局は、御用部屋・御勘定元^ㇺ・勘定所・勘定役・計政局・計政局算師・諸務方役所・諸掛(御台所役所・出納掛・家老・御評掛・計政副主事・御普請奉行・営繕方・割番・大坂御内用掛・郡政主事・御台所・御買物役・御賄所・御収納賄方・計政局司金・執政・徒士頭・御収納郡方・御奥元^ㇺ役・初方掛・御水道方・養子御側役)である。

14 藩政／番方／兵糧・武具・火薬購入ほか

勘定所・計政局

武具・火薬購入及び出兵費用勘定関係文書で、大半は年欠（幕末期）文書である。年代が分かる文書の年代幅は天保3年～明治5年で、総点数は53点である。

担当・関係部局は、勘定所・勘定役・市政局・計政局・諸掛（御勝手方元ペ・御徒目付、兵糧方・武庫司事・武具奉行・家老・徒頭・道橋方・水道方・用度方）である。

15 藩政／番方／京詰出兵費用

勘定所

京詰め足輕の増強関係文書で、慶応元年の文書である。長州出兵の翌年の慶応元年6月に、幕府より松代藩は京都御所警衛、つづいて大坂伝法川口警衛を命じられた。総点数は16点である。

担当部局は、勘定所・勘定役である。

16 藩政／財方／村々御救金金策献言

計政局

領内村々の御救金の準備のため大阪から借用すべきことを再歎願した献策書で、年欠文書であるが、明治初年のものである。総点数は5点である。

担当部局は、計政方である。

17 藩政／庶務方／各部署の人事・人員配置

各部署の人事・人員等についての用状で、多くは年欠文書である。年代がわかる2点は明治5年のものである。総点数は9点である。

担当・関係部局は、郡奉行・勘定所・勘定役・諸掛（納戸役・御勘定吟味・計役副事・郡奉行・用度司・兵政副主事）である。

18 藩政／庶務方／町在諸職等の名前書上

町在諸職等の名前書上で、すべて年欠（幕末）文書である。総点数は19点である。

19 藩政／庶務方／硝石製造褒賞

計政局

硝石製造にかかわる褒賞関係文書で、年代幅は明治2年～5年で、総点数は33点である。

担当・関係部局は、武具奉行・武庫局・諸掛（会計掛・監督・町奉行・代官所）である。

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

真田家家令・会計掛

旧家臣の差出金や町在からの甲府出兵献金に対する真田幸民（最後の藩主）の褒賞褒美下賜状で、ほとんど明治7年発給の文書であるが、数点、明治5年のものがある。総点数は185点である。松代藩は、戊辰戦争の時、飯山・会津・甲府への出兵を命じられた。

す10－20の文書3点は、在方の用水路開削に対する褒賞状である（口絵写真5参照）。

た（F）群文書

年 代 寛文4（1664）年～明治43（1890）年

数 量 1,002点



た（F）箱の現状写真

た（F）文書群は、全体として財政部署の文書記録で、郡奉行管轄の勘定所や計政局（明治2年の藩制改革によって設置）で管理・保存されていた文書記録と思われる。特に「た（F）」文書群の文書は、明治初年の藩政から県政への移行期のものが多い。

「た（F）」文書群の主な作成者・部局と宛所をあげれば次の通りである。

藩政期では、御勘定元々御役所・御勝手元々・論所御見分御役人中・御郡方・郡御奉行所・御産物方御掛・御余慶・松代藩御目付・近習・御足輕奉行・小銃組・銅山見立・割番取立掛り・大検見・初方掛・割番である。

明治2年と3年の藩制改革で職制・職名が変わって以降では、司金・用広方・用金方・庶務・会計方出納方御役所・元松代御県御役所・割番・御飛脚才領組・才領組・会計官・元松代庁・長野県・松代御役所・松代商法御掛り御役・道橋附・元松代県少属・出納懸である。

真田家関係では、白鳥社世話方・白鳥山世話人惣代・家扶である。

なお、「た（F）」文書群の中にあつた絵図類558点（元「た（F）」39）は、『信濃国松代真田家文書』（その8）の「規式／葬祭／日光社参」の項目に「し568」として収録されているので（56頁）、その目録及び解題を参照されたい。この措置は、「管理・保存の原形」尊重の考え方に反する面もあるが、『信濃国松代真田家文書』（その8）は絵図史料を収録したものであり、かつ「た（F）」容器にあつた図面と他の書付型史料の関連性は低いことが明らかとなったので、「作られた現形」および記号・番号を変えて絵図関連のみを収録したものである。

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送

勘定所

第8代藩主真田幸弘の正室である真松院（松平定賢の女）の遺物処分及びその勘定関係証文である。

文化14年のもので、総点数は27点である。

担当部局は勘定所・勘定役である。

2 藩主（藩侯）／吉凶／婚姻 勘定所

第9代藩主真田幸教の正室である晴姫（春姫）の婚姻関係文書であるが、年欠文書である。総点数は22点である。

3 真田家／家政／白鳥神社金銭勘定 真田家会計掛

白鳥神社の管理運営費用関係文書で、年代幅は明治9年から明治22年である。総点数は90点である。真田家の祈願寺は開善寺であるが、開善寺が別当を勤めていたのがこの白鳥神社である。真田家が前の居城地であった上田から勧請したもので、真田家の祖先を祀っている。ことに幕末には真田家の祖として信之が祀られるようになった。

担当部局は、白鳥神社世話方・真田家会計掛である。

4 真田家／家政／旧松代藩調達上納金証書再交付願い 真田家会計掛

旧松代藩に調達上納した証文が焼失したことによる証書下付願い関係文書で、年代幅は天保3年～明治10年で、総点数は29点である。松代藩は、明治4年6月に廃藩置県で松代県となり、さらに11月には信濃国内の統廃合があり、松代県は他の諸県とともに長野県に統合されている。

担当部局は、旧松代県会計掛・真田家会計掛である。

5 藩政／財方／御蔵初入払勘定ほか諸勘定 勘定所

藩庁内諸部局の勘定諸務・金銭勘定関係文書及び御蔵初入払積勘定帳である。多くは年欠文書であるが、年代がわかる文書の年代幅は天保元年～安政7年である。総点数は39点である。

担当部局は、勘定所・勘定役・諸掛（御郡方・糶方掛・御収納郡方）である。

6 藩政／財方／収納料差引ほか諸勘定 勘定所

収納料差引・金銭勘定関係文書記録で、年欠文書で、総点数は7点である。

担当部局は、勘定所・勘定役である。

7 藩政／財方／上納金取立帳 勘定所

利金・上納金に関する取立帳で、年欠のものである。総点数は10点である。

担当部局は、勘定所・勘定役である。

8 藩政／財方／中借金運用 勘定所・計政局

中借金差引・金銭勘定に関する出納懸からの上申書などの文書で、明治2年の文書である。総点数は12点である。

この「た-1」文書群は、かつて個別に作成され、管理・保管されていた関係文書を集め、それらを横二つ折りにした反故紙〔明治2年11月の金銭覚〕で包み込んだものであろう。「明治二年 出納掛」と上書きしている。これは、一つの文書整理であり、出納掛が文書の管理・利用のために行った措置である。

担当部局は、勘定所・計政局である。

9 藩政／財方／藩札引替用資金中借

計政局

藩札引替用資金の中借金証文の受取書並びに関係文書で、明治4年のものである。総点数は53点である。

この「た-2」文書は、同じ「上金口官札」関係文書を集め、筒状の包紙に入れ、上書きしている。これは、一つの文書整理であり、出納掛が文書の管理・利用のために行った措置である。

担当部局は、計政局・司金掛（司金役）・諸掛（中老・用度方・用金方）である。

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

勘定所・計政局

藩県庁内勘定諸務や金銭勘定関係及び各部署業務関係文書で、大半は年欠文書である。年代が明らかな文書の年代幅は天保6年～明治5年である。総点数は267点である。廃藩置県後の真田家会計掛の文書もある。

担当部局は、払方御金奉行・勘定所・勘定役・諸掛（松代商法御掛役人・道橋附・御勝手掛・会計掛・割付取立掛・近習・表用人・納戸・家老・養子御側御納戸・勝手元々・計政局）である。

11 松代庁／財方／旧松代藩家臣借入金ほか諸勘定

計政局

松代庁内諸部局勘定諸務や金銭勘定関係文書で、年代幅は明治3年～明治4年である。総点数は35点である。

担当部局は、計政局・市政副主事である。

12 藩政／財方／家臣・町在献金勘定ほか

勘定所

家臣や領内町在から上納金にかかわる元利金・礼金など書付文書で、全て年欠文書である。総点数は15点である。

担当部局は、勘定所・勘定役である。

13 藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金

計政局

騒擾にともなう家臣からの献上金・還付金の受取証文で、年代幅は明治3年～明治5年である。総点数は50点である。この騒擾は松代騒擾のことで、藩札の通用禁止令に端を発した全国的な騒擾の一つで、明治3年11月末からの打ち壊しをとともなう騒擾であった。

担当部局は、計政局司金掛である。計政局司金掛は、家臣からの献金を受け取ると「御金方」へ納めるシステムになっていた。

14 藩政／家臣・財方／家臣借入金

勘定所・計政局

松代藩より家臣が借入金した証文で、年代幅は嘉永6年～明治4年で、総点数は13点である。

担当部局は、勘定所・勘定役・民政局勘定諸務である。

15 藩政／番方／新小銃隊用買物・出勤調

勘定所

新小銃隊組編成・勤務評定関係文書で、全て年欠文書であるが、慶応2年頃のものである。総点数は50点である。

担当・関係部局は、御足輕奉行・割番・諸隊組・勘定役である。

16 藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調 計政局

松代藩は、戊辰役のとき官軍の命で越後に出兵するが、出兵した御飛脚宰領組らの勤務状態調査関係文書で、明治4年の文書である。総点数は24点である。

担当・関係部局は、割番所・勘定役である。

17 藩政／番方／戊辰出兵錦御印

戊辰役に出兵した家臣から藩に返却された錦御印である。慶応4年4月以降、松代藩をはじめとする信濃諸藩は、東山道総督府の指揮の下で飯山や高田、そして北越・甲府へと出兵していった。その時に兵士に下付されたのがこの錦袖印で、明治初年になり藩が回収したのであろう。「す」文書群の5にも錦袖印がある。一連のものであろう。総点数は20点である。

18 藩政／庶務方／明治職制

松代藩及び高島藩・忍藩の職制表で、総点数は46点である。

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟 勘定所

市村・千田新田・川合3か村境で生じた論所の現地見分関係文書で、文政2年のものである。総点数は32点である。

担当部局は、郡奉行所・代官役所である。

20 藩政／在方・町方／市場定・川除など諸取計い 勘定所・計政局

藩債・旧松代藩御林・家禄などに関係する文書である。年代幅は寛文4年～明治7年で、総点数は21点である。

21 藩政／在方／村々御救い資金中借 勘定所

村方に御救い金貸出資金のための借用した折りの中借金証文の受取書で、文久元年のものである。総点数は5点である。

中借とは、一時的な立て替え貸出という意味合いで、藩全体の渡し金の内、必要に応じて部分的に渡すシステムであり、最終的には決算で差引勘定し、決算が済むと中借金証文を戻すこととなる。中借金証文は引替手形のようなもので、元方御金奉行から出されるものである。この一連の会計について勘定吟味役が監査にあたっていた。このシステムについては『信濃国松代真田家文書』（その四）の解題（143頁）に説明がある。

担当・関係部局は、元方御金奉行・郡奉行・勝手元々・勘定役である。

22 藩政／在方／凶作状況調 勘定所

天保凶作の在方への御救費関係文書で、年代幅は天保2年～天保7年で、総点数は7点である。

担当・関係部局は、郡奉行・勘定所・勘定役・代官である。

23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与 勘定所

天保凶作の在方・町方への御救費関係文書で、年代幅は天保8年～天保9年で、総点数は100点であ

る。

担当・関係部局は、郡奉行・勘定所・勘定役・代官・諸掛（御郡方・代官所・御蔵番・御手代）である。

24 藩政／鉾山経営

勘定所

鉾山・銅山経費関係文書で、年欠文書である。総点数は6点である。

担当部局は、勘定所・勘定役である。

25 松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定

真田家家令・家扶

藩債・旧松代藩御林・家禄などに関係する文書。年代幅は明治5年～明治8年で、総点数は9点である。

26 その他

短歌や年頭御礼日記、書状などの諸文書記録。年代幅は天保9年～明治43年で、総点数は13点である。

6 真田家文書関連文献一覧

松代藩含む藩政文書関係文献

笠谷和比古『近世武家文書の研究』法政大学出版局、1998年。

福田千鶴氏「近世領主文書の伝来と構造」（国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学・下』柏書房、2003年）。

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究』岩田書院、2008年。

松代藩関係文献

『史料館所蔵史料目録第二十八集（信濃国松代真田家文書その一）』国立史料館、1978年。

『史料館所蔵史料目録第三十七集（信濃国松代真田家文書その二）』国立史料館、1983年。

『史料館所蔵史料目録第四十集（信濃国松代真田家文書その三）』国立史料館、1985年。

『史料館所蔵史料目録第四十三集（信濃国松代真田家文書その四）』国立史料館、1986年。

『史料館所蔵史料目録第五十一集（信濃国松代真田家文書その五）』国文学研究資料館史料館、1990年。

『史料館所蔵史料目録 第五十九集（信濃国松代真田家文書〈その六〉）』国文学研究資料館史料館、1993年。

『史料館所蔵史料目録 第86集（信濃国松代真田家文書〈その7〉）』人間文化研究機構国文学研究資料館、2008年。

『史料館所蔵史料目録 第87集（信濃国松代真田家文書〈その8〉）』人間文化研究機構国文学研究資料館、2008年。

国立史料館編『史料館叢書 真田家家中明細書』東京大学出版会、1986年。

『松代町史 上巻』松代町、1929年。

藤沢直枝『上田市史 下』信濃毎日新聞社、1940年。

『更級埴科地方誌 第三巻 近世編上』更級埴科地方誌刊行会、1980年。

『更級埴科地方誌 近世編下』更級埴科地方誌刊行会、1981年。

『中野市誌 歴史編（後編）』中野市、1981年。

『長野市誌 第三巻・歴史編・近世一』長野市、2001年。

『長野市誌 第四巻・歴史編・近世二』長野市、2004年。

『長野市誌 第五巻・歴史編・近代一』長野市、1997年。

『長野市誌 第十三巻・資料編・近世』長野市、1997年。

『長野県史 通史編・第四巻・近世一』長野県、1987年。

『長野県史 通史編・第五巻・近世二』長野県、1988年。

『長野県史 通史編・第六巻・近世三』長野県、1989年。

『長野県史 通史編・第七巻・近代一』長野県、1988年。

『長野県史 近世史料編・第七巻・一』長野県、1981年。

『長野県史 近世史料編・第七巻・二』長野県、1981年。

『長野県史 近世史料編・第七巻・三』長野県、1982年。

『長野県史 近世史料編・第八巻・一』長野県、1975年。

『長野県史 近世史料編・第八巻・二』長野県、1976年。

『長野県史 近代史料編・第一巻・維新』長野県、1980年。

吉永昭「藩財政についての基礎的研究（上）・（下）」（『史学研究』第55号・56号、1954年）

笠谷和比古「大名文書の史的特質と目録編成」（国文学研究資料館史料館編『史料の整理と管理』岩波書店、1988年）。

原島陽一「真田家文書と松代藩家臣団の職制機構」（『史料館研究紀要』第10号、1978年）

井上勝生「藩財政史料の構造と分類法について」（『史料館研究紀要』第10号、1978年）

原島陽一「宝物館所蔵真田家文書の特色と意義」（『松代—真田の歴史と文化—』第4号、1991年）。

北村保「真田宝物館所蔵真田家文書について」（『信濃』第44巻第12号、1992年）。

原島陽一「明治三年の『職員録』」（『松代—真田の歴史と文化—』第7号、1994年）。

原田和彦「長野県史『真田家文書』の基礎的考察—流入文書について」（真田宝物館『松代—真田の歴史と文化—』第10号、1997年）。

原田和彦「真田家の印章について—「真田家文書」における位置—」（『松代—真田の歴史と文化—』第11号、1998年）。

山中さゆり「近代における真田家資料の展示と整理—長岡助次郎資料から—」（『松代—真田の歴史と文化—』第11号、1998年）

原田和彦「『真田家文書』について」（『信濃』第50巻第4号、1998年）。

原田和彦「『真田家文書』拾遺」(『信濃』第50巻第11号、1998年)。

原田和彦「松代城の『城付諸道具』—真田家大名道具論(一)—」(『松代—真田の歴史と文化—』第12号、1999年)。

原田和彦「江戸時代における真田昌幸像」(小林計一郎編『真田昌幸のすべて』、新人物往来社、1999年)。

原田和彦「真田家伝来の大名道具と道具帳—真田家大名道具論(二)—」(『松代—真田の歴史と文化—』第13号、2000年)。

渡辺尚志「大名家文書の中の『村方文書』」(高木俊輔・渡辺浩一 編著『日本近世史料学研究—史料空間論への旅立ち—』北海道大学図書刊行会、2000年、のち渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩地域の研究—』岩田書院、2005年に再録)。

北村典子「史料紹介『御腰物帳』」(『松代—真田の歴史と文化—』第16号、2003年)。

『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書(1)』松代藩文化施設管理事務所、2004年。

『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書(2)』松代藩文化施設管理事務所、2005年。

『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書(3)』松代藩文化施設管理事務所、2006年。

『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書(4)』松代藩文化施設管理事務所、2007年。

原田和彦「『木地蠟金御紋附御文庫』の文書類について」(『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書(2)』松代文化施設等管理事務所、2005年)。

渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩 地域の研究—』(岩田書院、2005年)。

北村典子「資料紹介『御腰物元帳』と真田家伝来の御腰物」(『松代—真田の歴史と文化—』第18号、2005年)。

原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」(国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究』岩田書院、2008年)。

山中さゆり「真田家文書目録編成試論—研究の現状と展望—」(『松代—真田の歴史と文化—』第21号、2008年)。

渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』(岩田書院、2008年)。

古川貞雄「松代藩御勘定所元々役・御勘定役史料」(『市誌ながの』第7号、2000年)。

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究—近世における文書管理と保存—』(岩田書院、2008年)。

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩の文書管理』(名著出版、2008年)。

表題・作成等	年代	数量・形態	整理番号
--------	----	-------	------

す（L）

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送 勘定所

(天真院遺物下賜につき買物代金受取証文一括 文化12年8月～12月) 封筒一括		54点	す93
[天真院様御遺物被進被下候二付御買上物代金御勘定帳并御側金請払帳品々断書上帳御目録金差出帳都合四帳右品々売上一巻両角要助差出候分](封筒) 近藤民之助・伊東伝吾・寺内多宮他2名→ 天真院は真田幸弘の戒名、す93-52までかぶせ綴一括		1点・封筒	す93-1
両角要助金銭受取証文[御買上物御勘定帳并御側金請払帳](天真院様御遺物御入料御側御下金支払につき) 両角要助ノ(奥印)伊東伝治・宮沢彦左衛門・伊東伝吾→	文化12年亥11月	1通・縦継紙	す93-2
両角要助金銭受取証文[覚](御目附金差出につき) 両角要助→	文化12年亥10月	1通・縦切紙	す93-3
竹内藤左衛門金銭受取証文[覚](杉式本入扇子箱等買上金差出につき) 御台所元へ竹内藤左衛門→	(文化12年)亥10月	1通・縦切紙	す93-4
万や源八金銭受取証文[覚](大細引等代金につき) 万や源八→御役人中様	(文化12年)10月	1通・横切紙	す93-5
荒物屋七郎左衛門金銭受取証文[覚](琉球紬10枚代金につき) 荒物屋七郎左衛門→	(文化12年)10月19日	1通・横切紙	す93-6
脇田錠之助金銭受取証文[覚](御糸代金につき) 脇田錠之助→両角要助殿	文化12年亥10月	1通・縦切紙	す93-7
脇田錠之助金銭受取証文[覚](仕立物手伝代金28人分につき) 脇田錠之助→両角要助殿	文化12年亥10月	1通・縦切紙	す93-8
脇田錠之助金銭受取証文[覚](御細下木綿・御腰板等代金につき) 脇田錠之助→両角要助殿	(文化12年)亥10月	1通・横切継紙	す93-9
壺永伊平次金銭受取証文[覚](松井縞代金につき) 壺永伊平次→両角要助様	(文化12年)亥10月	1通・縦継紙	す93-10
つちや藤八金銭受取証文[覚](召上下等代金につき) つちや藤八→両角要助様	(文化12年)10月	1通・縦継紙	す93-11
蛭子屋清五郎金銭受取証文[覚](黒羽式重表等代金につき) 蛭子屋清五郎→両角要助様	(文化12年)亥10月	1通・縦継紙	す93-12
蛭子屋清五郎金銭受取証文[覚](織麻間斗目等代金につき) 蛭子屋清五郎→両角要助様	(文化12年)亥10月	1通・縦継紙	す93-13
平松屋喜兵衛金銭受取証文[覚](硯ふた等代金につき) 平松屋喜兵衛→御役所御役人衆中様	(文化12年)10月11日	1通・縦継紙	す93-14
藤木政八金銭受取証文[覚](蒔絵硯蓋等代金につき) 日本橋南二丁目藤木政八→御役所御役人衆中様	(文化12年)10月18日	1通・横切継紙	す93-15
藤木政八金銭受取証文[覚](極上蒔絵盃代金につき) 日本橋南二丁目藤木政八→御役所御役人衆中様	(文化12年)10月22日	1通・横切継紙	す93-16
近江や忠兵衛金銭受取証文[覚](盃代金につき) 麴町平川三丁目角近江や忠兵衛→御役人衆中様	(文化12年)10月23日	1通・横切紙	す93-17
近江や忠兵衛金銭受取証文[覚](硯蓋代金につき)	(文化12年)10月19日	1通・横切継紙	す93-18

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送

近江や忠兵衛→南部坂御役人衆中様			
近江や忠兵衛金銭受取証文[覚]（硯蓋代金につき） 近江や忠兵衛→御役人衆中様	（文化12年）10月2日	1通・横切紙	す93-19
紀伊国や勘十郎金銭受取証文[覚]（付金等につき） 紀伊国や勘十郎→伊東伝吾様	（文化12年）9月	1通・横切継紙	す93-20
土方清七金銭受取証文[覚]（脇差鯁代金につき） 土 方清七→近藤民之助様	（文化12年）10月1日	1通・横切紙	す93-21
大こく屋忠兵衛金銭受取証文[覚]（下緒代金につき） 大こく屋忠兵衛→近藤民之助様	（文化12年）9月27日	1通・横切継紙	す93-22
大こく屋忠兵衛金銭受取証文[覚]（下緒代金につき） 大こく屋忠兵衛→近藤民之助様	（文化12年）8月26日	1通・横切継紙	す93-23
松坂屋佐兵衛金銭受取証文[覚]（酒塗徳利二番長持4 棹代金につき） 松坂屋佐兵衛→御役所様	（文化12年）9月21日	1通・横切紙	す93-24
万や刃兵衛金銭受取証文[覚]（大鳥檀紙代金につき） 万や刃兵衛→	（文化12年）9月15日	1通・横切紙	す93-25
かざりや伊三郎金銭受取証文[覚]（千鳥水入代金に つき） かざりや伊三郎（印文「金輪細工所」）→南部坂表 御役所	（文化12年）9月23日	1通・堅切紙	す93-26
高嵩久治郎金銭受取証文[覚]（赤間石硯代金につき） （印文「江戸芝神明前」）高嵩久治郎→	（文化12年）9月12日	1通・横切継紙	す93-27
かめや彦四郎庄藏金銭受取証文[覚]（白羽2重代金に つき） かめや彦四郎庄藏→御買物方御役人衆中様	（文化12年）亥8月	1通・堅継紙	す93-28
升屋万兵衛代源五郎金銭受取証文[覚]（紋織鏡袖帯 等代金につき） 升屋万兵衛代源五郎→表御役所様	（文化12年）10月19日	1通・横切継紙	す93-29
やさつきや留五郎金銭受取証文[覚]（梨子地着物代 金につき） やさつきや留五郎→	（文化12年）9月23日	1通・堅切紙	す93-30
若松屋清八金銭受取証文[覚]（御見台修復代金につ き） 若松屋清八→御表御役所様	（文化12年）亥	1通・堅継紙	す93-31
若松屋清八金銭受取証文[覚]（茶通損じ箇所修復等 代金につき） 若松屋清八→御役所様	（文化12年）亥9月	1通・堅切紙	す93-32
若松屋清八金銭受取証文[覚]（御櫓番煙草盆修復等 代金につき） 若松屋清八→表御役所御役人衆中様	（文化12年）亥9月	1通・堅切紙	す93-33
利倉屋伝吉金銭受取証文[覚]（芳野紙等代金等につ き）（印文「阪布」）利倉屋伝吉→御役所様	（文化12年）亥10月18日	1通・横切継紙	す93-34
ますたや安兵衛金銭受取証文[覚]（茶入袋代金につ き）（印文「芝神明前」）ますたや安兵衛→御役人中様	（文化12年）亥9月9日	1通・横切継紙	す93-35
増田屋安兵衛金銭受取証文[覚]（箱の紐八掛蛇口付 手間代等につき）（印文「芝神明前糸物所」）増田屋安兵 衛→御役所御役人衆中様	（文化12年）亥9月	1通・堅継紙	す93-36
永野庄兵衛金銭受取証文[覚]（横物立物古用仕立等 代金につき） 永野庄兵衛→表御役所様	（文化12年）亥10月	1通・堅切紙	す93-37
永野庄兵衛金銭受取証文[覚]（横物立物仕立直し等 代金につき） 永野庄兵衛→表御役所御役人衆中様	（文化12年）亥9月	1通・堅継紙	す93-38
経師永野庄兵衛金銭受取証文[覚]（懸物等代金につ き） 経師永野庄兵衛→表御役所様	（文化12年）亥8月	1通・堅継紙	す93-39
檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（大小白木台代金に つき） 檜物屋助三郎→両角要助様	（文化12年）亥10月	1通・堅継紙	す93-40

2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拝

檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（懸物箱等代金につき） 檜物屋助三郎→表御役所様	（文化12年）亥9月	1通・縦切紙	す93-41
檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（蒔き沢田紐代金につき） 檜物屋助三郎→表御役所御役人中様	（文化12年）亥9月	1通・縦継紙	す93-42
檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（掛物箱等代金につき） 檜物屋助三郎→両角要助様	（文化12年）亥9月	1通・縦継紙	す93-43
紀伊国や勘十郎金銭受取証文[覚]（刀身研上ケ等代金につき） 紀伊国や勘十郎→両角要助様	（文化12年）9月	1通・縦継紙	す93-44
つちや藤八金銭受取証文[覚]（白木綿・京八丈嶋等代金につき） つちや藤八→両角要助様	（文化12年）亥10月	1通・縦継紙	す93-45
清水屋久兵衛金銭受取証文[覚]（洪朱筒張等着物代金につき） 清水屋久兵衛→両角要助様	（文化12年）9月	1通・縦切紙	す93-46
檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（紐付箱代金につき） 檜物屋助三郎→両角要助様	（文化12年）亥9月	1通・縦切紙	す93-47
今利屋喜兵衛金銭受取証文[覚]（唐草7寸等代金につき）（印文「銀座四丁目」）今利屋喜兵衛→御役所御役人中様	（文化12年）8月18日	1通・横切紙	す93-48
清水屋久兵衛金銭受取証文[覚]（黒塗膳高代金につき） 清水屋久兵衛→両角要助様	（文化12年）8月	1通・縦切紙	す93-49
若松屋清八金銭受取証文[覚]（本膳塗直し等代金につき） 若松屋清八→御表御役所御役人衆中様	（文化12年）亥9月	1通・縦継紙	す93-50
塗師治郎兵衛金銭受取証文[覚]（膳御定椀塗直等代金につき） 塗師治郎兵衛→御表御役所御役人衆中様	（文化12年）亥8月	1通・縦切紙	す93-51
檜物屋助三郎金銭受取証文[覚]（屏風箱代金につき） 檜物屋助三郎→表御役所御役人中様	（文化12年）亥9月	1通・縦切紙	す93-52
伊平次金銭受取証文[覚]（緞子夜着代金につき） 壺家伊平次→両角要助様	（文化12年）亥9月	1通・縦切紙	す93-53
蛭子屋清五郎金銭受取証文[覚]（嶋縮綿・白羽式重等代金につき） 蛭子屋清五郎→両角要助様	（文化12年）亥10月	1通・縦継紙	す93-54

2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拝

勘定所

（御内用上京につき勘定関係書類一括 天保3年2月～天保5年9月） 包紙一括			す94
[上京中御内用諸勘定帳面入]（包紙） 松本（富壮）→	天保5年午9月	1点・包紙	す94-1
（御内用上京につき勘定関係書類綴 天保3年2月～天保4年5月）		13点	す94-2
[御内用上京中金子渡方元帳] 松本富壮→ 表紙に目録付、状物の綴や下ケ札あり	（天保3年）辰11月	1冊・横半半	す94-2-1
[御内御用上京中諸雑用払之帳] 松本富壮→	（天保3年壬辰閏11月14日～晦日・天保4年5月7日）	1冊・横長半	す94-2-2
[道中金銭請払之帳]（京都分） 荒友手→ 表紙に朱書あり	（天保3年壬辰閏11月14日～天保14年4月13日）	1冊・横半半	す94-2-3
二十四日様御牌所真田園内上郷友吉達[先触]（宿々人馬拋出につき） 二十四日様御牌所真田園内上郷友吉→宿々問屋役人中 包紙が糊付されている	（天保3年）11月13日巳刻出	1通・横切継紙	す94-2-4

2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拝

[人馬駄賃錢] (京都の二十四日様御牌所への旅行分) 真田園内上郷友吉→		1冊・横長半	す94-2-5
真田伊豆守内松本嘉十郎達[覚] (京都より品川までの宿々へ人馬抛出の先触につき) 真田伊豆守内松本嘉十郎→京都より東海道通品川迄右宿々問屋役人中	(天保4年) 巳3月29日	1通・横切継紙	す94-2-6
[京都ヨリ江戸迄宿々人馬駄賃帳] (4月1日～4月13日) 松代家中松本嘉十郎内宰領宮入友吉→	天保4年巳4月朔日	1冊・横長半	す94-2-7
[京都ヨリ東海道通江戸迄旅籠帳] 松代家中松本嘉十郎内宮入友吉→	天保4年巳4月朔日ヨリ	1冊・横長半	す94-2-8
[江戸ヨリ松代迄旅籠帳] 松代松本嘉十郎・上下式人→	天保4年巳5月7日	1冊・横長半	す94-2-9
[江戸ヨリ松代迄諸雑用帳] 松代家中松本嘉十郎・上下式人→	(天保4年) 巳5月7日	1冊・横長半	す94-2-10
[形糸三通り相場附] (上糸・中糸・中ノ下分) 貼紙あり	(天保3年) 辰閏11月	1冊・横長半	す94-2-11
[白紬四拾匹代金附]		1冊・横長半	す94-2-12
[白紬四拾匹代金附] 貼紙、下ケ札、掛札あり		1冊・横長半	す94-2-13
信州松代荒物屋友吉用状(白紬20疋を10両3分余にて売捌き依頼につき) 信州松代荒物屋友吉→越後屋御内伝三郎様 越後屋伝兵衛・嘉右衛門よりの白紬受取書は貼付	(天保4年) 巳2月23日	1通・横切紙	す94-2-14
松代町荒物屋友吉用状(駄賃錢・紙代他代金書上につき) 松代町荒物屋友吉→堺住吉屋十三郎様 住吉屋十三郎よりの金子支払状貼付	(天保4年) 巳2月	1通・横切継紙	す94-2-15
[御内用上京惣御入料御勘定一紙帳] 松本嘉十郎 以下す94-7-2まで一括してす94-2-1とす94-2-2の間に挟込まれていた	天保5年午9月	1冊・横長半	す94-3
(御内用勘定書等書類関係綴) 張り混ぜも含め18点、虫損甚大		1冊(18点一綴)・仮綴	す94-4
[上京中跡雑用附込帳] (手前内入料分) 松本嘉十郎分→	天保3年辰閏11月より	1冊・横長半	す94-5
[御内用御入料并兩人内入用共惣差引一紙帳] (天保13年閏11月上京より14年5月江戸より帰国まで分) 松本嘉十郎→	天保5年午9月	1冊・横長半	す94-6
(松本嘉十郎上京費返納関係書類一括) 包紙一括		2点	す94-7
[覚] (包紙) 松本嘉十郎→		1点・包紙	す94-7-1
松本嘉十郎願書[覚] (上京費返納金見込み違いの件執成しにつき) 松本嘉十郎→奥津権右衛門殿・岡嶋莊藏殿・菅沼弥惣右衛門殿	天保5年午9月	1通・縦継紙	す94-7-2

3 藩政／在方／争論・訴訟

勘定所

(仙仁山入会争論一件書類一括) す95-4まで紐一括			す95
[文政二卯年十一月金井左源太仙仁村丹蔵平蔵山三平之儀二付村方之者共と出入裁許申付候所相拒江戸表等江罷出帰国之始未且御料所上布施村要吉より右山之儀付仙仁村之者共相手取中之条添簡を以願出候儀内済二相成候右一件](包紙)		1点	す95-1
仙仁村他四ヶ村申上書留(入会仙人山境開発の件仙仁村と中嶋村他争論につき) 仙仁村名主平蔵・組頭要右衛門・長百姓清五郎他2名／仙仁村名主平蔵・組頭要右衛門・長百姓清五郎他1名／福嶋村名主勘左衛門・組頭利左衛門・同富五郎他2名／仁礼村名主清五郎・組頭甚兵衛・同富吉他2名／八町村両組名主清吉・同利助・組頭治右衛門他3名→御代官所／御代官所／御郡御奉行所／御郡御奉行所／御郡御奉行所	文化10年酉11月 ～文化10年酉閏11月	1冊・豎半	す95-2
仙仁村名主常右衛門他二十名申上書他入会仙仁山関係書類留(入会仙仁山一件中嶋村と仙仁村丹蔵・平蔵と他村不争论につき) 仙仁村名主常右衛門・組頭吉右衛門・長百姓幸右衛門3ヶ村他18名／福嶋村名主要左衛門・頭立文八・同段沖他4ヶ村8名／高梨村名主幸左衛門／仙仁村名主常右衛門・組頭吉右衛門・長百姓幸右衛門他2名／仙仁村名主常右衛門・組頭吉右衛門・長百姓幸右衛門他2名／仙仁村預人丹蔵・同断平蔵→御郡御奉行所／御郡御奉行所／福嶋村竹内文八殿・御名主衆中／御郡御奉行所／御代官所／御代官所	文化12年亥6月	1冊・豎半	す95-3
福嶋村文八他二ヶ村八名申上書[乍恐以口上書御注進奉申上候御事](入会山出入一件論所見分も11ヶ村一同書面取り交わせずにつき) 福嶋村[摺]文八・頭立出役出役沖八・[摺]名右衛門他2ヶ村6名→御郡御奉行所 裏打ち済	文化12年戌[摺]	1通・豎継紙	す95-4
仙仁村願人丹蔵他一名口上書・願書留(入会地の内大木ノ入山下し置かれずにつき大目付役所へ欠訴一件) 仙仁村願人丹蔵・願人平蔵／仙仁村願人丹蔵・同断平蔵→大御目付様御役所／大御目付様御役所	文政元年寅6月 ～文政元年7月	1冊・豎半	す95-5
(仙蔵・平蔵出訴一件関係書類綴)	文政元年寅11月	5点	す96-6
仙仁村願人丹蔵他一名願書(大木の入山福嶋村文八等に掠め取られにつき江戸大目付役所へ出訴願) 仙仁村願人丹蔵・同断平蔵→		1冊・豎半	す95-6-1
某用状(仙仁山一件裁許の旨書上 下書) 下ヶ札あり		3通・豎紙	す95-6-2
某用状(丹蔵・平蔵出訴につき取り計らい方依頼)		1冊・横長半	す95-6-3
仙仁村治郎右衛門親類辰治郎他一町七名一札[恐乍口上書口口御事](丹蔵子治郎右衛門他4名手鎖・宿預につき) 仙仁村治郎右衛門親類辰治郎・長治郎親類口治郎・清蔵親類伊助他1ヶ村5名→御郡御奉行所 摺れ甚大	文政2年卯8月5日	1通・豎紙	す95-7
中町取扱人喜代八願書[乍恐以口上書奉願候御事](小布施村安吉仙仁村へ懸かる一件内済調達金調達中のため謝免願につき) 中町取扱人喜代八→中町仙仁村御郷宿太三郎の奥印あり	文政2年卯10月	1通・豎紙	す95-8
仙仁村丹蔵子治郎兵衛他三名請書[乍恐以口上書御請奉申上候御事](丹蔵・平蔵吟味流れの上帰住に	文政2年卯11月	1通・豎継紙	す95-9

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

つき) 仙仁村丹蔵子治郎兵衛・平蔵子長治郎・丹蔵親類 丈右衛門他1名→職御奉行所・御郡御奉行所 仙仁村名主 小兵衛他2名の奥印あり			
仙仁村丹蔵他一名請書〔乍恐以上書御請申上候御 事〕(山三平一件吟味流れの上帰住押込めにつき) 仙仁村丹蔵・平蔵→職御奉行所・御郡御奉行所 仙仁村名 主小兵衛他2名の奥印あり、端裏書あり、摺れ甚大	文政2年卯11月	1通・豎継紙	す95-10
小山村奥国寺他一寺願書〔以口上書奉願候〕(参林訴 訟につき丹蔵・平蔵帰住御免願) 小山村奥国寺・井 之上村浄運寺→職御奉行所・御郡御奉行所	文政2年卯11月	1通・豎継紙	す95-11
(妻科村宿預け請書一括) 旧史料館封筒一括			す95-12
妻科村市右衛門親類兵左衛門他一町六名請書〔乍恐 以書付御請奉申上候〕(市右衛門吟味中手鎖町宿預 けにつき) 妻科村市右衛門親類兵左衛門・同人組合福 松・名主与市他4名→御郡御奉行所 端裏書あり	天保9年12月	1通・豎紙	す95-12-1
妻科村市右衛門親類兵左衛門他七名請書〔乍恐以書 付御請奉申上候〕(吟味中町宿預けの市右衛門帰村 につき) 妻科村市右衛門親類兵左衛門・同人組合福 松・佐兵衛親類利喜蔵他5名→御郡御奉行所 旧史料館封 筒に一括、端裏書あり	天保9年12月	1通・豎紙	す95-12-2
妻科村佐兵衛親類刀蔵他一町六名請書〔乍恐以書付 御請奉申上候〕(佐兵衛吟味中腰縄町宿預けにつ き) 妻科村佐兵衛親類刀蔵・同組合仁兵衛・名主与兵衛 他1町4名→御郡御奉行所 端裏書あり	天保9年12月	1通・豎紙	す95-12-3

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

勘定所

(外鹿谷村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す1
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(外鹿谷村 分) 野本力太郎→外鹿谷村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す1-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(外鹿谷村 分) 野本力太郎→外鹿谷村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す1-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(外鹿谷村 分) 野本力太郎→外鹿谷村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す1-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(外鹿谷村分) 野本力太郎→外鹿谷村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す1-4
(上小嶋村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す2
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上小嶋村分) 細田久作→上小嶋村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す2-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上小嶋村分) 細田久作→上小嶋村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す2-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上小嶋村分) 細田久作→上小嶋村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す2-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(小嶋村分) 細田 久作→上小嶋村	明治3年12月	1通・豎継紙	す2-4
(川合村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す3
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(川合村分)	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す3-1

野本力太郎→川合村			
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(川合村分) 野本力太郎→川合村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す3-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(川合村分) 野本力太郎→川合村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す3-3
野本力太郎貢割付状〔午貢税割附〕(河合村分貢税割付状) 野本力太郎→河合村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す3-4
(川合新田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す4
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(川合村分) 野本力太郎→川合新田村 下ケ札「極印」	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す4-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(新田川合村分年) 野本力太郎→新田川合村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す4-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(新田川合村分) 野本力太郎→新田川合村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す4-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(河合新田村分) 野本力太郎→河合新田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す4-4
(大室村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す5
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(大室村分) 細田久作→大室村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す5-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(大室村分) 細田久作→大室村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す5-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(大室村分) 細田久作→大室村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す5-3
細田久作貢税割付状〔午年貢税割附〕(大室村分) 細田久作→大室村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す5-4
(町川田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す6
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(町川田村分) 細田久作→町川田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す6-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(町川田村分) 細田久作→町川田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す6-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(町川田村分) 細田久作→町川田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す6-3
細田久作貢税割付状〔午年貢税割附〕(町川田村分) 細田久作→町川田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す6-4
(西和田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す7
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(西和田村分) 伊東賢治→西和田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す7-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(西和田村分) 伊東賢治→西和田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す7-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(西和田村分) 伊東賢治→西和田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す7-3
伊東賢治貢税割付状〔午貢税割附〕(西和田村分) 伊東賢治→西和田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す7-4
(北尾張部村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す8

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕（北尾張部村分） 伊東賢治→北尾張部村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す8-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕（北尾張部村分） 伊東賢治→北尾張部村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す8-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕（北尾張部村分） 伊東賢治→北尾張部村 綴より剥離	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す8-3
伊東賢治貢税割付状〔午貢税割附〕（北尾張部村分） 伊東賢治→北尾張部村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す8-4
（東和田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年） 里方		4点	す9
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕（東和田村分） 伊東賢治→東和田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す9-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕（東和田村分） 伊東賢治→東和田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す9-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕（東和田村分） 伊東賢治→東和田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す9-3
伊東賢治貢税割付状〔午貢税割附〕（東和田村分） 伊東賢治→東和田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す9-4
（北長池村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年） 里方		4点	す10
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕（北長池村分） 柳遊亀尾→北長池村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す10-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕（北長池村分） 柳遊亀尾→北長池村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す10-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕（北長池村分） 柳遊亀尾→北長池村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す10-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕（北長池村分） 柳遊亀尾→北長池村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す10-4
（東風間村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年） 里方		4点	す11
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕（東風間村分） 西村源兵衛→東風間村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す11-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕（東風間村分） 西村源兵衛→東風間村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す11-2
西村源兵衛年貢割付状〔卯御年貢土目録〕（東風間村分） 南沢甚之介→東風間村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す11-3
西村源兵衛貢税割付状〔午貢税割附〕（東風間村分） 野本力太郎→東風間村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す11-4
（西風間村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年） 里方		4点	す12
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕（西風間村分） 南沢甚之介→西風間村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す12-1
南沢甚之介年貢割付状〔辰御年貢土目録〕（西風間村分） 南沢甚之介→西風間村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す12-2
南沢甚之介年貢割付状〔巳御年貢土目録〕（西風間村分） 南沢甚之介→西風間村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す12-3
南沢甚之介貢税割付状〔午貢税割附〕（西風間村分） 南沢甚之介→西風間村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す12-4
（上高田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年） 里方		4点	す13

柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上高田村分) 柳遊亀尾→上高田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す13-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上高田村分) 柳遊亀尾→上高田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す13-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上高田村分) 柳遊亀尾→上高田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す13-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(上高田村分) 柳 遊亀尾→上高田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す13-4
(欠村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す14
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(欠村分) 細 田久作→欠村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す14-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(欠村分) 細 田久作→欠村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す14-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(欠村分) 細 田久作→欠村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す14-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(欠村分) 細田久 作→欠村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す14-4
(中越村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す15
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(中越村分) 細田久作→中越村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す15-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(中越村分) 細田久作→中越村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す15-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(中越村分) 細田久作→中越村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す15-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(中越村分) 細田 久作→中越村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す15-4
(南堀村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す16
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(南堀村分) 柳遊亀尾→南堀村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す16-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(南堀村分) 柳遊亀尾→南堀村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す16-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(南堀村分) 柳遊亀尾→南堀村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す16-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(南堀村分) 柳遊 亀尾→南堀村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す16-4
(石渡村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す17
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(石渡村分) 柳遊亀尾→石渡村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す17-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(石渡村分) 柳遊亀尾→石渡村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す17-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(石渡村分) 柳遊亀尾→石渡村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す17-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(石渡村分) 柳遊 亀尾→石綿村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す17-4
(布施高田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す18

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(布施高田村分) 柳遊亀尾→布施高田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す18-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(布施高田村分) 柳遊亀尾→布施高田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す18-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(布施高田村分) 柳遊亀尾→布施高田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す18-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(布施高田村分) 柳遊亀尾→布施高田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す18-4
(福嶋村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す19
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(福嶋村分) 柳遊亀尾→福島村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す19-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(福嶋村分) 柳遊亀尾→福島村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す19-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(福嶋村分) 柳遊亀尾→福島村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す19-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(福嶋村分) 柳遊亀尾→福島村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す19-4
(牧島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す20
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(牧島村分) 細田久作→牧島村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す20-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(牧島村分) 細田久作→牧島村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す20-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(牧島村分) 細田久作→牧島村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す20-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(牧島村分) 細田久作→牧島村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す20-4
(幸高村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		5点	す21
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(幸高村分) 柳遊亀尾→幸高村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す21-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(幸高村分) 柳遊亀尾→幸高村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す21-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(幸高村分) 柳遊亀尾→幸高村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す21-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(幸高村分) 柳遊亀尾→幸高村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す21-4
伊東賢治貢税割付状〔卯御年貢土目録〕(辺見村分) 伊東賢治→辺見村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す22
(南長池村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す23
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(南長池村分) 柳遊亀尾→南長池村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す23-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(南長池村分) 柳遊亀尾→南長池村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す23-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(南長池村分) 柳遊亀尾→南長池村 綴より剥離	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す23-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(南長池村分) 柳遊亀尾→南長池村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す23-4

(上横田村分年貢割付状綴 明治元年～明治3年) 里方		3点	す24
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上横田村分) 野本力太郎→上横田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す24-1
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上横田村分) 野本力太郎→上横田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す24-2
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(上横田村分) 野本力太郎→上横田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す24-3
(北高田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す25
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(北高田村分) 柳遊亀尾→北高田村 付札で訂正	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す25-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(北高田村分) 柳遊亀尾→北高田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す25-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(北高田村分) 柳遊亀尾→北高田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す25-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(北高田村分) 柳遊亀尾→北高田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す25-4
(下高田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す26
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下高田村分) 柳遊亀尾→下高田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す26-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(下高田村分) 柳遊亀尾→下高田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す26-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(下高田村分) 柳遊亀尾→下高田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す26-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(下高田村分) 柳遊亀尾→下高田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す26-4
(大豆島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		3点	す27
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(大豆島村分) 西村源兵衛→大豆島村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す27-1
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(大豆島村分) 西村源兵衛→大豆島村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す27-2
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(大豆島村分) 野本力太郎→大豆島村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す27-3
(妻科村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		3点	す28
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(妻科村分) 細田久作→妻科村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す28-1
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(妻科村分) 細田久作→妻科村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す28-2
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(妻科村分) 細田久作→妻科村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す28-3
(北堀村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す29
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(北堀村分) 柳遊亀尾→北堀村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す29-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(北堀村分) 柳遊亀尾→北堀村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す29-2

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

柳遊亀尾年貢割付状〔已御年貢土目録〕(北堀村分) 柳遊亀尾→北堀村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す29-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(北堀村分) 柳遊 亀尾→北堀村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す29-4
(中御所村分年貢割付状綴 明治元年～明治3年) 里 方		3点	す30
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(中御所村 分) 西村源兵衛→中御所村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す30-1
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(中御所村 分) 西村源兵衛→中御所村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す30-2
細田久作税割付状〔午貢税割附〕(中御所村分) 細田 久作→中御所村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す30-3
(小柴見村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す31
南澤甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小柴見村 分) 南澤甚之介→小柴見村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す31-1
西村源之丞年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小柴見村 分) 西村源兵衛→小柴見村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す31-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小柴見村 分) 西村源兵衛→小柴見村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す31-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(小柴見村分) 細 田久作→小柴見村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す31-4
(瀧本新田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す32
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(瀧本新田 村分) 野本力太郎→東條村之内瀧本新田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す32-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(瀧本新田 村分) 野本力太郎→瀧本新田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す32-2
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(瀧本新田 村分) 野本力太郎→東條村之内瀧本新田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す32-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(瀧本新田村分) 野本力太郎→瀧本新田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す32-4
(松岡新田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す33
西村源兵衛年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(松岡新田 村分) 西村源兵衛→松岡新田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す33-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(松岡新田 村分) 西村源兵衛→松岡新田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す33-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳年貢土目録〕(松岡新田村 分) 西村源兵衛→松岡新田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す33-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(松岡新田村分) 野本力太郎→松岡新田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す33-4
(瀬戸川村他22ヶ村分年貢割付状一括) 以下す34はす べて山中			す34
(瀬戸川村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-1
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(瀬戸川村 分) 野本力太郎→瀬戸川村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-1-1

野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(瀬戸川村分) 野本力太郎→瀬戸川村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-1-2
野本力太郎年貢割付状〔巳年貢土目録〕(瀬戸川村分) 野本力太郎→瀬戸川村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-1-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(瀬戸川村分) 野本力太郎→瀬戸川村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-1-4
(小根山村分年貢割付状綴 慶応3年～明治元年)		2点	す34-2
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小根山村分) 野本力太郎→小根山村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-2-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小根山村分) 野本力太郎→小根山村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-2-2
(久木村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-3
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(久木村分) 野本力太郎→久木村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-3-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(久木村分) 野本力太郎→久木村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-3-2
野本力太郎年貢割付状〔巳年貢土目録〕(久木村分) 野本力太郎→久木村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-3-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(久木村分) 野本力太郎→久木村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-3-4
(上條村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-4
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上條村分) 野本力太郎→上條村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-4-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上條村分) 野本力太郎→上條村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-4-2
野本力太郎年貢割付状〔巳年貢土目録〕(上條村分) 野本力太郎→上條村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-4-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(上條村分) 野本力太郎→上條村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-4-4
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(上條村分) 野本力太郎→上條村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-5
(古山村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-6
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(古山村分) 野本力太郎→古山村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-6-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(古山村分) 野本力太郎→古山村 端裏書「古山村」	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-6-2
野本力太郎年貢割付状〔巳年貢土目録〕(古山村分) 野本力太郎→古山村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-6-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(古山村分) 野本力太郎→古山村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-6-4
(山上條村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-7
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(山上條村分) 野本力太郎→山上條村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-7-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(山上條村分) 野本力太郎→山上條村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-7-2

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

野本力太郎年貢割付状〔已年貢土目録〕(山上條村分) 野本力太郎→山上條村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-7-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(山上條村分) 野本力太郎→山上條村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-7-4
(大原村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-8
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(大原村分) 野本力太郎→大原村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-8-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(大原村分) 野本力太郎→大原村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-8-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(大原村分) 野本力太郎→大原村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-8-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(大原村分) 野 本力太郎→大原村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-8-4
(山穂苅村分年貢割付状綴 慶応3年～明治2年)		3点	す34-9
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(山穂苅村 分) 野本力太郎→山穂苅村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-9-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(山穂苅村 分) 野本力太郎→山穂苅村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-9-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(山穂苅村 分) 野本力太郎→山穂苅村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-9-3
(里穂苅村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-10
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(里穂苅村 分) 野本力太郎→里穂苅村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-10-1
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(里穂苅村 分) 野本力太郎→里穂苅村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-10-2
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(里穂苅村 分) 野本力太郎→里穂苅村	明治元年巳12月	1通・豎継紙	す34-10-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(里穂苅村分) 野本力太郎→里穂苅村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-10-4
(夏和村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-11
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(夏和村分) 野本力太郎→武生村之内夏和村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-11-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(夏和村分) 野本力太郎→夏和村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-11-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(夏和村分) 野本力太郎→夏和村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-11-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(夏和村分) 野 本力太郎→夏和村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-11-4
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(青木村中組分) 野本力太郎→青木村中組	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-12
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(青木村平組分) 野本力太郎→青木村平組	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-13
(上真島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-14
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上真島村分) 細田久作→上真島村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-14-1

細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上真島村分) 細田久作→上真島村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-14-2
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上真島村分) 細田久作→上真島村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-14-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(上真島村分) 細 田久作→上真島村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-14-4
(本鹿谷村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-15
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(本鹿谷村 分) 野本力太郎→本鹿谷村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-15-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(本鹿谷村 分) 野本力太郎→本鹿谷村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-15-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(本鹿谷村 分) 野本力太郎→本鹿谷村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-15-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(本鹿谷村分) 野本力太郎→本鹿谷村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-15-4
(日名村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-16
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(日名村分) 野本力太郎→日名村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-16-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(日名村分) 野本力太郎→日名村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-16-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(日名村分) 野本力太郎→日名村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-16-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(日名村分) 野 本力太郎→日名村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-16-4
(花尾村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-17
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(花尾村分) 野本力太郎→竹生村之内花尾村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-17-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(花尾村分) 野本力太郎→花尾村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-17-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(花尾村分) 野本力太郎→竹生村之内花尾村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-17-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(花尾村分) 野 本力太郎→花尾村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-17-4
(竹生村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-18
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(竹生村分) 野本力太郎→竹生村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す34-18-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(竹生村分) 野本力太郎→竹生村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す34-18-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(竹生村分) 野本力太郎→竹生村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-18-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(竹生村分) 野 本力太郎→竹生村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す34-18-4
(水内村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-19
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(水内村分) 野本力太郎→水内村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す34-19-1

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(水内村分) 野本力太郎→水内村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す34-19-2
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(水内村分) 野本力太郎→水内村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す34-19-3
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(水内村分) 野 本力太郎→水内村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す34-19-4
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(三水村分) 野 本力太郎→三水村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す34-20
野本力太郎貢税割付状〔午貢税割附〕(奈良井村分) 野本力太郎→奈良井村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す34-21
(久保寺村分年貢割付状綴 明治2年～明治3年)		2点	す34-22
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(久保寺村 分) 西村源兵衛→久保寺村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す34-22-1
細田久作年貢割付状〔午貢税割附〕(久保寺村分) 細 田久作→久保寺村 下ヶ札あり	明治3年午12月	1通・竪継紙	す34-22-2
(越道村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す34-23
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(越道村分) 野本力太郎→越道村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す34-23-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(越道村分) 野本力太郎→越道村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す34-23-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(越道村分) 野本力太郎→越道村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す34-23-3
野本力太郎貢税割付状并付札〔午貢税割附〕(越道村 分並びに回答済の旨) 野本力太郎→越道村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す34-23-4
(湯田中村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す35
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(湯田中村分) 柳遊亀尾→湯田中村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す35-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(湯田中村分) 柳遊亀尾→湯田中村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す35-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(湯田中村分) 柳遊亀尾→湯田中村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す35-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(湯田中村分) 柳 遊亀尾→湯田中村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す35-4
(佐野村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里分		4点	す36
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(佐野村分) 柳遊亀尾→佐野村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す36-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(佐野村分) 柳遊亀尾→佐野村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す36-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(佐野村分) 柳遊亀尾→佐野村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す36-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(佐野村分) 柳遊 亀尾→佐野村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す36-4
(牛島村・下宇木村分年貢割付状一括) 以下す37は里分		7点	す37
(牛島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年)		4点	す37-1
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(牛島村分)	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す37-1-1

細田久作→牛嶋村			
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(牛島村分) 細田久作→牛嶋村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す37-1-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(牛島村分) 細田久作→牛嶋村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す37-1-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(牛島村分) 細田 久作→牛嶋村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す37-1-4
(下宇木村分年貢割付状綴 慶応3年・明治2年・3年) 里方		3点	す37-2
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下宇木村分) 伊東賢治→下宇木村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す37-2-1
伊東賢治貢税割付状〔午貢税割附〕(下宇木村分) 伊 東賢治→下宇木村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す37-2-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(下宇木村分) 伊東賢治→下宇木村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す37-2-3
(小出村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す38
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小出村分) 細田久作→小出村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す38-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小出村分) 細田久作→小出村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す38-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小出村分) 細田久作→小出村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す38-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(小出村分) 細田 久作→小出村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す38-4
(原村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す39
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(原村分) 柳 遊亀尾→原村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す39-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(原村分) 柳 遊亀尾→原村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す39-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(原村分) 柳 遊亀尾→原村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す39-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(原村分) 柳遊亀 尾→原村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す39-4
(保科村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す40
南澤甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(保科村分) 南澤甚之介→保科村 虫損大	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す40-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(保科村分) 西村源兵衛→保科村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す40-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(保科村分) 西村源兵衛→保科村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す40-3
細田久作年貢割付状〔午貢税割附〕(保科村分) 細田 久作→保科村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す40-4
(会村・上横田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		5点	す41
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(会村分) 野本力太郎→会村 端裏書「会村」	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す41-1

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(会村分) 野本力太郎→会村 端裏書「会村」	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す41-2
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上横田分) 野本力太郎→上横田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す41-3
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(会村分) 野本力太郎→会村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す41-4
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(会村分) 野本 力太郎→会村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す41-5
(小沼村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す42
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小沼村分) 柳遊亀尾→小沼村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す42-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小沼村分) 柳遊亀尾→小沼村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す42-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小沼村分) 柳遊亀尾→小沼村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す42-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(小沼村分) 柳遊 亀尾→小沼村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す42-4
(上野村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す43
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上野村分) 柳遊亀尾→竹生村之内上野村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す43-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上野村分) 柳遊亀尾→上野村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す43-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上野村分) 柳遊亀尾→上野村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す43-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(上野村分) 柳遊 亀尾→竹生村之内上野村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す43-4
(小布施村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す44
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小布施村分) 柳遊亀尾→小布施村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す44-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小布施村分) 柳遊亀尾→小布施村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す44-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小布施村分) 柳遊亀尾→小布施村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す44-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(小布施村分) 柳 遊亀尾→小布施村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す44-4
(布野村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す45
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(布野村分) 柳遊亀尾→布野村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す45-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(布野村分) 柳遊亀尾→布野村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す45-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(布野村分) 柳遊亀尾→布野村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す45-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(布野村分) 柳遊 亀尾→布野村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す45-4
(仁礼村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す46

南澤甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](仁礼村分) 南澤甚之介→仁礼村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す46-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](仁礼村分) 西村源兵衛→仁礼村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す46-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](仁礼村分) 西村源兵衛→仁礼村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す46-3
伊東賢治年貢割付状[午貢税割附](仁礼村分) 伊東 賢治→仁礼村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す46-4
(桑根井村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す47
細田久作年貢割付状[卯御年貢土目録](桑根井村分) 細田久作→桑根井村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す47-1
細田久作年貢割付状[辰御年貢土目録](桑根井村分) 細田久作→桑根井村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す47-2
細田久作年貢割付状[巳御年貢土目録](桑根井村分) 細田久作→桑根井村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す47-3
細田久作年貢割付状[午貢税割附](桑根井分) 細田 久作→桑根井村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す47-4
(牧内村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す48
野本力太郎年貢割付状[卯御年貢土目録](牧内村分) 野本力太郎→牧内村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す48-1
野本力太郎年貢割付状[辰御年貢土目録](牧内村分) 野本力太郎→牧内村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す48-2
野本力太郎年貢割付状[巳御年貢土目録](牧内村分) 野本力太郎→牧内村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す48-3
野本力太郎年貢割付状[午貢税割附](牧内村分) 野 本力太郎→牧内村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す48-4
(廣田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す49
南澤甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](廣田村分) 南沢甚之介→廣田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す49-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](廣田村分) 西村源兵衛→廣田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す49-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](廣田村分) 西村源兵衛→廣田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す49-3
柳遊亀尾年貢割付状[午貢税割附](廣田村分) 柳遊 亀尾→廣田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す49-4
(北平林村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す50
伊東賢治年貢割付状[卯御年貢土目録](北平林村分) 伊東賢治→北平林村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す50-1
伊東賢治年貢割付状[辰御年貢土目録](北平林村分) 伊東賢治→北平林村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す50-2
伊東賢治年貢割付状[巳御年貢土目録](北平林村分) 伊東賢治→北平林村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す50-3
伊東賢治年貢割付状[午貢税割附](北平林村分) 伊 東賢治→北平林村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す50-4
(下永鉋村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す51

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下永鉋村分) 南沢甚之介→下永鉋村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す51-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(下永鉋村分) 西村源兵衛→下永鉋村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す51-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(下永鉋村分) 西村源兵衛→下永鉋村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す51-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(下永鉋村分) 野本力太郎→下永鉋村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す51-4
(上布施村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す52
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上布施村分) 南沢甚之介→上布施村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す52-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上布施村分) 西村源兵衛→上布施村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す52-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上布施村分) 西村源兵衛→上布施村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す52-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(上布施村分) 伊東賢治→上布施村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す52-4
(藤牧村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す53
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(藤牧村分) 南沢甚之介→藤牧村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す53-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(藤牧村分) 西村源兵衛→藤牧村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す53-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(藤牧村分) 西村源兵衛→藤牧村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す53-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(藤牧村分) 柳遊亀尾→藤牧村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す53-4
(大塚村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す54
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(大塚村分) 野本力太郎→大塚村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す54-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(大塚村分) 野本力太郎→大塚村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す54-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(大塚村分) 野本力太郎→大塚村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す54-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(大塚村分) 野本力太郎→大塚村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す54-4
(仙仁村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す55
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(仙仁村分) 南沢甚之介→仙仁村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す55-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(仙仁村分) 西村源兵衛→仙仁村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す55-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(仙仁村分) 西村源兵衛→仙仁村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す55-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(仙仁村分) 伊東賢治→仙仁村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す55-4
(宇原村分年貢割付状綴 明治元年～明治3年) 里方		3点	す56

西村源兵衛年貢割付状〔已御年貢土目録〕(宇原村分) 西村源兵衛→宇原村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す56-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(宇原村分) 西村源兵衛→宇原村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す56-2
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(宇原村分) 伊東 賢治→宇原村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す56-3
(東川田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す57
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(東川田村分) 細田久作→東川田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す57-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(東川田村分) 細田久作→東川田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す57-2
細田久作年貢割付状〔已御年貢土目録〕(東川田村分) 細田久作→東川田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す57-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(東川田村分) 細 田久作→東川田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す57-4
(大熊村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す58
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(大熊村分) 柳遊亀尾→大熊村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す58-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(大熊村分) 柳遊亀尾→大熊村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す58-2
柳遊亀尾年貢割付状〔已御年貢土目録〕(大熊村分) 柳遊亀尾→大熊村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す58-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(大熊村分) 柳遊 亀尾→大熊村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す58-4
(荒町村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す59
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(荒町村分) 野本力太郎→荒町村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す59-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(荒町村分) 野本力太郎→荒町村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す59-2
野本力太郎年貢割付状〔已御年貢土目録〕(荒町村分) 野本力太郎→荒町村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す59-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(荒町村分) 野 本力太郎→荒町村 作成・受取に貼紙あり	明治3年午12月	1通・竪継紙	す59-4
(檀田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す60
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(檀田村分) 伊東賢治→檀田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す60-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(檀田村分) 伊東賢治→檀田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す60-2
伊東賢治年貢割付状〔已御年貢土目録〕(檀田村分) 伊東賢治→檀田村	明治2年巳	1通・竪継紙	す60-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(檀田村分) 伊東 賢治→檀田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す60-4
(西條村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す61
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(西條村分) 細田久作→西條村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す61-1

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(西條村分) 細田久作→西條村	慶応(明治)元年辰12月	1通・竪継紙	す61-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(西條村分) 細田久作→西條村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す61-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(西條村分) 細田 久作→西條村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す61-4
(関屋村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す62
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(関屋村分) 細田久作→関屋村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す62-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(関屋村分) 細田久作→関屋村	慶応(明治)元年辰12月	1通・竪継紙	す62-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(関屋村分) 細田久作→関屋村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す62-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(関屋村分) 細田 久作→関屋村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す62-4
(平林村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す63
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(平林村分) 細田久作→平林村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す63-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(平林村分) 細田久作→平林村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す63-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(平林村分) 細田久作→平林村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す63-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(平林村分) 細田 久作→平林村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す63-4
(田中村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す64
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(田中村分) 南沢甚之介→田中村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す64-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(田中村分) 西村源兵衛→田中村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す64-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(田中村分) 西村源兵衛→田中村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す64-3
柳遊亀尾年貢割付状〔午貢税割附〕(田中村分) 柳遊 亀尾→田中村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す64-4
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(三輪村分) 伊東賢 治→三輪村 里方	明治3年午12月	1通・竪継紙	す65
(押鐘村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す66
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(押鐘村分) 伊東賢治→押鐘村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す66-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(押鐘村分) 伊東賢治→押鐘村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す66-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(押鐘村分) 伊東賢治→押鐘村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す66-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(押鐘村分) 伊東 賢治→押鐘村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す66-4
(長礼村他4カ村分年貢割付状一括 慶応3年～明治3 年) 巻込一括		16点	す67

(長礼村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す67-1
南沢甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](長礼村分) 南沢甚之介→長礼村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す67-1-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](長礼村分) 西村源兵衛→長礼村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す67-1-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](長礼村分) 西村源兵衛→長礼村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す67-1-3
柳遊亀尾年貢割付状[午貢税割附](長礼村分) 柳遊 亀尾→長礼村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す67-1-4
(腰村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す67-2
伊東賢治年貢割付状[卯御年貢土目録](腰村分) 伊 東賢治→腰村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す67-2-1
伊東賢治年貢割付状[辰御年貢土目録](腰村分) 伊 東賢治→腰村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す67-2-2
伊東賢治年貢割付状[巳御年貢土目録](腰村分) 伊 東賢治→腰村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す67-2-3
伊東賢治年貢割付状[午貢税割附](腰村分) 伊東賢 治→腰村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す67-2-4
(東条村の町分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す67-3
野本力太郎年貢割付状[卯御年貢土目録](東条村の 町分) 野本力太郎→東条村の内町分	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す67-3-1
野本力太郎年貢割付状[辰御年貢土目録](東条村の 町分) 野本力太郎→東条村の内町分 端裏書「町分」	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す67-3-2
野本力太郎年貢割付状[巳御年貢土目録](東条村の 町分) 野本力太郎→東条村町分 端裏書「町分」	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す67-3-3
野本力太郎年貢割付状[午貢税割附](東条村の町分) 野本力太郎→東条村町分	明治3年午12月	1通・豎継紙	す67-3-4
(加賀井村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す67-4
南沢甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](加賀井村 分) 南沢甚之介→加賀井村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す67-4-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](加賀井村 分) 西村源兵衛→加賀井村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す67-4-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](加賀井村 分) 西村源兵衛→加賀井村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す67-4-3
柳遊亀尾年貢割付状[午貢税割附](加賀井村分) 柳 遊亀尾→加賀井村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す67-4-4
(市村南組分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す68
南沢甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](市村南組 分) 南沢甚之介→市村南組	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す68-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](市村南組 分) 西村源兵衛→市村南組	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す68-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](市村南組 分) 西村源兵衛→市村南組	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す68-3
野本力太郎年貢割付状[午貢税割附](市村南組分)	明治3年午12月	1通・豎継紙	す68-4

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

野本力太郎→市村南組			
(千田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す69
南沢甚之介年貢割付状[卯御年貢土目録](千田村分) 南沢甚之介→千田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す69-1
西村源兵衛年貢割付状[辰御年貢土目録](千田村分) 西村源兵衛→千田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す69-2
西村源兵衛年貢割付状[巳御年貢土目録](千田村分) 西村源兵衛→千田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す69-3
野本力太郎年貢割付状[午貢税割附](千田村分) 野 本力太郎→千田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す69-4
(桐原村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す70
伊東賢治年貢割付状[卯御年貢土目録](桐原村分) 伊東賢治→桐原村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す70-1
伊東賢治年貢割付状[辰御年貢土目録](桐原村分) 伊東賢治→桐原村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す70-2
伊東賢治年貢割付状[巳御年貢土目録](桐原村分) 伊東賢治→桐原村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す70-3
伊東賢治年貢割付状[午貢税割附](桐原村分) 伊東 賢治→桐原村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す70-4
(上宇木村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す71
伊東賢治年貢割付状[卯御年貢土目録](上宇木村分) 伊東賢治→上宇木村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す71-1
伊東賢治年貢割付状[辰御年貢土目録](上宇木村分) 伊東賢治→上宇木村	明治元年辰	1通・豎継紙	す71-2
伊東賢治年貢割付状[巳御年貢土目録](上宇木村分) 伊東賢治→上宇木村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す71-3
伊東賢治年貢割付状[午貢税割附](上宇木村分) 伊 東賢治→上宇木村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す71-4
(福島新田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里 方		4点	す72
柳遊亀尾年貢割付状[卯御年貢土目録](福島新田村 分) 柳遊亀尾→福島新田村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す72-1
柳遊亀尾年貢割付状[辰御年貢土目録](福島新田村 分) 柳遊亀尾→福島新田村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す72-2
柳遊亀尾年貢割付状[巳御年貢土目録](福島新田村 分) 柳遊亀尾→福島新田村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す72-3
柳遊亀尾貢税割付状[午貢税割附](福島新田村分) 柳遊亀尾→福島新田村	明治3年午12月	1通・豎継紙	す72-4
(中俣村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す73
柳遊亀尾年貢割付状[卯御年貢土目録](中俣村分) 柳遊亀尾→中俣村	慶応3年卯12月	1通・豎継紙	す73-1
柳遊亀尾年貢割付状[辰御年貢土目録](中俣村分) 柳遊亀尾→中俣村	明治元年辰12月	1通・豎継紙	す73-2
柳遊亀尾年貢割付状[巳御年貢土目録](中俣村分) 柳遊亀尾→中俣村	明治2年巳12月	1通・豎継紙	す73-3

柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(中俣村分) 柳遊 亀尾→中俣村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す73-4
(小島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す74
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小島村分) 柳遊亀尾→小島村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す74-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小島村分) 柳遊亀尾→小島村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す74-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小島村分) 柳遊亀尾→小島村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す74-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(小島村分) 柳遊 亀尾→小島村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す74-4
(里村山村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す75
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(里村山村分) 柳遊亀尾→里村山村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す75-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(里村山村分) 柳遊亀尾→里村山村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す75-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(里村山村分) 柳遊亀尾→里村山村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す75-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(里村山村分) 柳 遊亀尾→里村山村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す75-4
(新町村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す76
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(新町村分) 野本力太郎→新町村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す76-1
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(新町村分) 野本力太郎→新町村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す76-2
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(新町村分) 野本力太郎→新町村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す76-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(新町村分) 野 本力太郎→新町村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す76-4
(市村北組分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す77
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(市村北組 分) 南沢甚之介→市村北組	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す77-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(市村北組 分) 西村源兵衛→市村北組	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す77-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(市村北組 分) 西村源兵衛→市村北組	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す77-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(市村北組分) 野本力太郎→市村北組	明治3年午12月	1通・竪継紙	す77-4
(小松原村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す78
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小松原村 分) 南沢甚之介→小松原村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す78-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(小松原村 分) 西村源兵衛→小松原村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す78-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(小松原村 分) 西村源兵衛→小松原村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す78-3

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

細田久作年貢割付状〔午租税割附〕(小松原村分) 細田久作→小松原村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す78-4
(綱島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す79
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(綱島村分) 野本力太郎→綱島村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す79-1
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(綱島村分) 西村源兵衛→綱島村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す79-2
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(綱島村分) 西村源兵衛→綱島村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す79-3
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(綱島村分) 南沢甚之介→綱島村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す79-4
(南俣村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す80
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(南俣村分) 南沢甚之介→南俣村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す80-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(南俣村分) 西村源兵衛→南俣村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す80-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(南俣村分) 西村源兵衛→南俣村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す80-3
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(南俣村分) 野本力太郎→南俣村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す80-4
(太田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す81
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(太田村分) 細田久作→太田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す81-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(太田村分) 細田久作→太田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す81-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(太田村分) 細田久作→太田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す81-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(太田村分) 細田久作→太田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す81-4
(矢崎新田村皆畑方分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す82
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(矢崎新田村皆畑方分) 細田久作→矢崎新田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す82-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(矢崎新田村皆畑方分) 細田久作→矢崎新田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す82-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(矢崎新田村皆畑方分) 細田久作→矢崎新田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す82-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(関屋村之内矢崎新田村皆畑方分) 細田久作→関屋村之内矢崎新田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す82-4
(杓野村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す83
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(杓野村分) 柳遊亀尾→杓野村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す83-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(杓野村分) 柳遊亀尾→杓野村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す83-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(杓野村分) 柳遊亀尾→杓野村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す83-3

柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(杵野村分) 柳遊亀尾→杵野村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す83-4
(白石新田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す84
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(白石新田村分) 細田久作→白石新田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す84-1
細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(白石新田村分) 細田久作→白石新田村	慶応(明治)元年辰12月	1通・竪継紙	す84-2
細田久作年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(白石新田村分) 細田久作→白石新田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す84-3
細田久作貢税割付状〔午貢税割附〕(白石新田村分) 細田久作→白石新田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す84-4
(下布施村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す85
南沢甚之介年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下布施村分) 南沢甚之介→下布施村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す85-1
西村源兵衛年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(下布施村分) 西村源兵衛→下布施村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す85-2
西村源兵衛年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(下布施村分) 西村源兵衛→下布施村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す85-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(下布施村分) 伊東賢治→下布施村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す85-4
(西尾張部村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す86
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(西尾張部村分) 柳遊亀尾→西尾張部村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す86-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(西尾張部村分) 柳遊亀尾→西尾張部村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す86-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(西尾張部村分) 柳遊亀尾→西尾張部村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す86-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(西尾張部村分) 柳遊亀尾→西尾張部村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す86-4
(北郷村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す87
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(北郷村分) 伊東賢治→北郷村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す87-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(北郷村分) 伊東賢治→北郷村	明治元年辰	1通・竪継紙	す87-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(北郷村分) 伊東賢治→北郷村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す87-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(北郷村分) 伊東賢治→北郷村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す87-4
(吉田村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す88
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(吉田村分) 伊東賢治→吉田村	明治元年辰	1通・竪継紙	す88-1
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(吉田村分) 伊東賢治→吉田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す88-2
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(吉田村分) 伊東	明治3年午12月	1通・竪継紙	す88-3

4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢

賢治→吉田村			
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(吉田村分) 伊東賢治→吉田村 下部破損多し	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す88-4
(相之島村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す89
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(相之島村分) 柳 遊亀尾→相之島村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す89-1
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(相之島村分) 柳遊亀尾→相野島村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す89-2
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(相之島村分) 柳遊亀尾→相野嶋村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す89-3
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(相之島村分) 柳遊亀尾→相野島村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す89-4
(上松村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す90
伊東賢治年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(上松村分) 伊東賢治→上松村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す90-1
伊東賢治年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(上松村分) 伊東賢治→上松村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す90-2
伊東賢治年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(上松村分) 伊東賢治→上松村	明治2年巳	1通・竪継紙	す90-3
伊東賢治年貢割付状〔午貢税割附〕(上松村分) 伊東 賢治→上松村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す90-4
(御幣川村分年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		4点	す91
柳遊亀尾年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(御幣川村分) 柳遊亀尾→御平川村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す91-1
柳遊亀尾年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(御幣川村分) 柳遊亀尾→御幣川村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す91-2
柳遊亀尾年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(御幣川村分) 柳遊亀尾→御幣川村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す91-3
柳遊亀尾貢税割付状〔午貢税割附〕(御幣川村分) 柳 遊亀尾→御平川村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す91-4
(下横田村・小森村年貢割付状綴 慶応3年～明治3年) 里方		5点	す92
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下横田村 分) 野本力太郎→下横田村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す92-1
野本力太郎年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(小森村分) 野本力太郎→小森村	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	す92-2
野本力太郎年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(下横田村 分) 野本力太郎→下横田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	す92-3
野本力太郎年貢割付状〔巳御年貢土目録〕(下横田村 分) 野本力太郎→下横田村	明治2年巳12月	1通・竪継紙	す92-4
野本力太郎年貢割付状〔午貢税割附〕(下横田村分) 野本力太郎→下横田村	明治3年午12月	1通・竪継紙	す92-5

5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印

(御印類一括)			す96
乍恐以口上書欠訴御願奉申上候御事下書(細尾山下 賜の仕方につき) 後欠		1点・縦紙	す96-1
(金井精蔵貞道錦袖御印)		3点	す96-2
[錦御印](包紙) 以下す96-2・3を一括		1点・包紙	す96-2-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-2-2
(松代騎士金井精蔵貞道錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-2-3
(多田鎌三郎返上錦袖御印)		2点	す96-3
[錦御印](包紙) 多田鎌三郎→ す96-3-2入		1点・包紙	す96-3-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-3-2
(錦袖御印一括) 以下す96-4-8-2まで紙縫一括 (紙縫)			す96-4
(岡本八男人返上錦袖御印)		1点	す96-4-1
		2点	す96-4-2
[錦章](包紙) 岡本八男人→ 紙縫付、す96-4-2-2入		1点・包紙	す96-4-2-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-2-2
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-3
(増澤義介返上錦袖御印)		2点	す96-4-4
[錦御袖印](包紙) 増澤義介→ す96-4-2入		1点・包紙	す96-4-4-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-4-2
(玉川渡返上錦袖御印)		2点	す96-4-5
(包紙) 玉川渡→ す96-5-2入		1点・包紙	す96-4-5-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-5-2
(大日方孫三郎返上錦袖御印)		2点	す96-4-6
(包紙) 大日方孫三郎→ す96-6-2入		1点・包紙	す96-4-6-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-6-2
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-7
(阿藤隆岳返上錦袖御印)		2点	す96-4-8
[奉返上候](包紙) 阿藤隆岳→ す96-4-8-2入		1点・包紙	す96-4-8-1
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-4-8-2
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-5
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-6
(錦袖御印) 紐付		1点・御印(織布)	す96-7

5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印

(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-8
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-9
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-10
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-11
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-12
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-13
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-14
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-15
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-16
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-17
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-18
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-19
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-20
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-21
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-22
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-23
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-24
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-25
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-26
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-27
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-28
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-29
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-30
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-31
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-32
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-33
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-34
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-35
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-36
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-37
(池田富之進返上錦袖御印)	2点	す96-38
[御印返上](包紙) 池田富之進→	1点・包紙	す96-38-1
(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-38-2
(岡田慶次郎返上錦袖御印)	2点	す96-39
(包紙) 岡田慶次郎→	1点・包紙	す96-39-1

5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印

(錦袖御印) 紐付	1点・御印(織布)	す96-39-2
(錦袖御印) 紐付、破損あり	1点・御印(布)	す96-40
(錦袖御印) 紐付、破損あり	1点・御印(布)	す96-41
(包紙)	1点・包紙	す96-42
(包紙)	1点・包紙	す96-43
(錦袖御印) 紐なし	1点・御印(布)	す96-44
(錦袖御印) 紐なし	1点・御印(布)	す96-45

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

表題・作成等	年代	数量・形態	整理番号
--------	----	-------	------

せ (G)

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

勘定所・計政局

(青銅受取証文一括 慶応4年～明治3年) 紙縫一括 (紙縫)		1点・紙縫	せ88 せ88-1
(青銅受取証文綴 いの部)			せ88-27
谷口左仲青銅受取証文[覚](24銅につき) 谷口左仲 →飯嶋楠蔵殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-1
谷口左仲青銅受取証文[覚](5匹につき) 谷口左仲→ 飯嶋楠左衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-2
池田富之進青銅受取証文[覚](24銅につき) 池田富 之進→飯嶋楠蔵殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-3
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村 何右衛門→飯嶋楠蔵殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-4
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→飯嶋楠左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-5
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→石倉男之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-6
上村何右衛門青銅受取証文[覚](10匹につき) 上村 何右衛門→伊藤一学殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-7
水井市治青銅受取証文[覚](10匹につき) 水井市治 →伊藤一学殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-27-8
池田富之進青銅受取証文[覚](24銅につき) 池田富 之進→伊藤一学殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-9
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村 何右衛門→一色三郎右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-10
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村 何右衛門→一色三郎右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-27-11
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村 何右衛門→一色三郎右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-12
池田富之進青銅受取証文[覚](24銅につき) 池田富 之進→一色三郎右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-13
水井市治青銅受取証文[覚](10疋につき) 水井市治 →岩下勇殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-14
谷口左仲青銅受取証文[覚](5匹につき) 谷口左仲→ 岩下勇殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-15
谷口左仲青銅受取証文[覚](10匹につき) 谷口左仲 →岩下縫殿丞殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-16
水井市治青銅受取証文[覚](24銅につき) 水井市治 →石坂市郎右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-27-17
谷口左仲青銅受取証文[覚](24銅につき) 谷口左仲 →石坂市郎右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-18

上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→石坂市郎右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-19
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→石坂市郎右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-20
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→伊木三之丞殿	明治3年午	1通・切紙	せ88-27-21
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→伊木億右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-27-22
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→伊木億右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-27-23
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→伊木億右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-24
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(32銅につき) 上村何右衛門→池田平角殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-25
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 上村何右衛門→井上五郎左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-27-26
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→長谷川直太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-1
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→長谷川直太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-31-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→萩原富士太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-3
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→萩原富士太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-31-4
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→萩原富士太郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-5
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→萩原富士太郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-31-6
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→林喜久馬殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-7
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→林喜久馬殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-8
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→林喜久馬殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-31-9
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→林喜久馬殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-31-10
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 水井市治→原忠治郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-11
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→原忠治郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-12
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→原田糺殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-13
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→原田糺殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-14
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治→原田勝弥殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-15
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-31-16

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

九郎→橋詰専太郎殿			
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →橋詰専太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-17
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24疋につき) 谷口左仲 →橋詰専太郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-18
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →八田慎蔵殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-19
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 上村 何右衛門→八田慎蔵殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-20
水井市治青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 水井市治 →八田慎蔵殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-31-21
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →八田喜兵衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-22
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 上村 何右衛門→八田喜兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-23
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 水井市治→ 八田喜兵衛殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-31-24
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →八田五十司殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-25
水井市治青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 水井市治 →八田五十司殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-31-26
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 上村 何右衛門→八田五十司殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-31-27
水井市治青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 水井市治 →八田五十司殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-31-28
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →橋本孫太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-31-29
(青銅受取証文綴 への部)			せ88-49
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →仁科章碩殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-49-1
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川 又左衛門→仁科章碩殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-49-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →西村久之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-49-3
板垣彦四郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 板垣彦 四郎→西村茂平殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-49-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →西村重左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-49-5
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →西山恒三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-49-6
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →西村孝三郎殿 下ケ札あり	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-49-7
(青銅受取証文綴 ほの部)			せ88-45
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →堀内権之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-45-1
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-45-2

何右衛門→堀内権之進殿			
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →堀内権之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-45-3
(青銅受取証文綴 との部)			せ88-5
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→富沢勇之進殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-5-1
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→富沢勇之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-5-2
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川 又左衛門→富沢勇之進殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-3
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →戸根山徳三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-4
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川 又左衛門→戸根山徳三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-5
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→戸根山徳三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-5-6
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →轟文助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-7
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→轟文助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-5-8
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →鳥海忠次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-9
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又 八郎→鳥海忠次郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-5-10
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川 又左衛門→鳥海藤五郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-11
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 斉藤善 九郎→富沢善之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-5-12
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川 又左衛門→富沢善之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-5-13
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又 八郎→富沢善之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-5-14
(青銅受取証文綴 かの部)			せ88-13
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→片山岩男殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-13-1
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→片山岩男殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-13-2
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→片山岩男殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-3
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→加藤金五郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-4
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 上村 何右衛門→海沼源之進殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-13-5
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →海沼俊治郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-13-6
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 池田富	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-7

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

之進→海沼源之進殿			
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→海沼俊治郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-8
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→海沼俊治郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-13-9
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→海沼源之進殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-13-10
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →海沼源之進殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-13-11
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 海→沼俊治郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-13-12
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市 治→海沼辰之丞殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-13
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 池田富 之進→川崎仲太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-14
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→川崎源吾殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-13-15
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→川崎源吾殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-13-16
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 上村 何右衛門→川崎忠太郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-13-17
(青銅受取証文綴 たの部)			せ88-22
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →館孝右衛門殿	明治2年巳6月6日	1通・切紙	せ88-22-1
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →館三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-22-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(14銅につき) 水井市治 →館孝右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-22-3
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →館孝右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-22-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →竹花亀之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-22-5
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →竹花亀之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-22-6
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →竹花亀之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-22-7
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(22銅につき) 徳嵩広馬 →竹花茂殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-22-8
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(22銅につき) 徳嵩広馬 →竹花茂殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-22-9
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →竹花茂殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-22-10
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →田中権之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-22-11
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →田中権之助殿	明治4年末正月	1通・切紙	せ88-22-12

谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →田中権之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-22-13
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→上村何右衛門	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-22-14
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →田中権之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-22-15
(青銅受取証文 つの部)			せ88-10
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →土屋常左衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-10-1
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →土屋常左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-10-2
柘植彦四郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 柘植彦 四郎→土屋常左衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-10-3
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →土屋常左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-10-4
(青銅受取証文綴 ねの部)			せ88-48
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→根来斧右衛門殿	明治3年午	1通・切紙	せ88-48-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→ 根津千里殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-48-2
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 徳嵩広馬→ 根津左盛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-48-3
(青銅受取証文綴 なの部)			せ88-52
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →中村栄太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-52-1
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→中村栄太郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-52-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →中村五郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-3
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →中村栄太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →中村原民殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-5
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→ 成沢荘蔵殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-6
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 徳嵩広馬 →成沢荘蔵殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-52-7
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→中嶋直蔵殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-52-8
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →中嶋直蔵殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-9
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →中嶋直蔵殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-52-10
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →中條精一郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-52-11
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-52-12

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

→中條精一郎殿			
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→中條精一郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-52-13
拓植彦四郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 拓植彦四郎→中條大治殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-52-14
拓植彦四郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 拓植彦四郎→中條精一郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-52-15
(年始御礼銭・褒賞御礼銭等青銅受取証文 うの部)			せ88-3
齊藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 齊藤善九郎→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-1
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 上村何右衛門→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-2
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 池田富之進→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-3
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又左衛門→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-4
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-5
拓植彦四郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 拓植彦四郎→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-6
齊藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 齊藤善九郎→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-7
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-8
拓植彦四郎青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 拓植彦四郎→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-9
徳高広馬青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 徳高広馬→内川小六殿		1通・切紙	せ88-3-10
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 池田富之進→上村治右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-3-11
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又左衛門→上村治右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-3-12
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24疋につき) 池田富之進→上村島太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-3-13
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 池田富之進→植木昇殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-3-14
(青銅受取証文綴 のの部)			せ88-18
池田富之進受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→野中量左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-18-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→野中良左衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-18-2
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→野村弥左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-18-3
(青銅受取証文綴 おの部)			せ88-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→大木伊左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-4-1

池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→大嶋忠古殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-2
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→岡本精一郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-3
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→奥山八十治殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-4
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→小野善之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-4-5
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→小野善之助殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-4-6
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→小野善之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-7
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→奥村小文吾殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-4-8
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→奥村小文吾殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-9
池田富之進受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→小川一学殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-10
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又左衛門→小川小源太殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-4-11
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 池田富之進→小川一学殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-12
水井市治青銅受取証文〔覚〕(10疋につき) 水井市治→岡野敬一郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-4-13
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(10疋につき) 佐川又左衛門→岡野弥右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-4-14
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(10疋につき) 谷口左仲→岡野弥右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-4-15
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(10疋につき) 上村何右衛門→岡野弥右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-4-16
(青銅受取証文綴 くの部)			せ88-51
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→倉田多久殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-51-1
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→倉田左焉殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-51-2
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又八郎→倉田高順殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-51-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→窪田友之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-51-4
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 池田富之進→窪田太一郎殿	明治3年午	1通・切紙	せ88-51-5
板垣彦四郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 板垣彦四郎→窪田太一郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-51-6
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→倉沢政治郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-51-7
(青銅受取証文綴 やの部)			せ88-28

1 藩主(藩侯)/家臣・用達ほか/儀礼・年始返礼

水井市治青銅受取証文[覚](10匹につき) 水井市治 →矢嶋清人殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-28-1
佐川又八郎青銅受取証文[覚](10疋につき) 佐川又 八郎→矢嶋清人殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-28-2
水井市治青銅受取証文[覚](につき) 水井市治→柳遊 亀尾殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-28-3
佐川又左衛門青銅受取証文[覚](5匹につき) 佐川 又左衛門→柳遊亀尾殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-28-4
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→柳遊亀尾殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-28-5
佐川又左衛門青銅受取証文[覚](5疋につき) 佐川 又左衛門→柳遊亀尾殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-28-6
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→柳直之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-28-7
佐川又八郎青銅受取証文[覚](10疋につき) 佐川又 八郎→矢野式左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-28-8
佐川又八郎青銅受取証文[覚](5疋につき) 佐川又八 郎→矢野六蔵殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-28-9
(青銅受取証文綴 まの部)			せ88-26
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→松本賢吾殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-1
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→松本仙治殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-2
水井市治青銅受取証文[覚](24銅につき) 水井市治 →松本仙治殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-26-3
水井市治青銅受取証文[覚](12銅につき) 水井市治 →松本万次殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-26-4
佐川又左衛門青銅受取証文[覚](12銅につき) 佐川 又左衛門→松本万治郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-5
佐川又左衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川 又左衛門→松本儀吉殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-6
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 左衛門→松崎米三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-7
佐川又八郎青銅受取証文[覚](12銅につき) 佐川又 八郎→松崎廉殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-8
水井市治青銅受取証文[覚](24銅につき) 水井市治 →前沢龍之進殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-9
斉藤善九郎青銅受取証文[覚](14銅につき) 斉藤善 九郎→前沢龍之進殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-26-10
西村源兵衛青銅受取証文[覚](24銅につき) 西村源 兵衛→前沢龍之進殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-26-11
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→前沢龍之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-12
水井市治青銅受取証文[覚](24銅につき) 水井市治 →増田助之丞殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-26-13
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](24銅につき) 徳嵩広馬 →増田助之丞殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-26-14

佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→増田愛之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-15
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→増田愛之進殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-16
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→松村喜兵衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-17
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→松村半次郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-18
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→松村甚之丞殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-19
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又八郎→松村甚之丞殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-26-20
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→町田仙之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-21
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→町田仙之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-26-22
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→町田仙之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-23
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→町田善五右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-26-24
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→町田善五右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-26-25
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→町田善五右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-26-26
(青銅受取証文綴 ふの部)			せ88-50
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→藤田岡之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-50-1
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→藤田岡之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-50-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→藤田新太郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-50-3
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→藤田新太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-50-4
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 斉藤善九郎→藤田新太郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-50-5
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又八郎→藤田新太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-50-6
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 水井市治→藤岡伊織殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-50-7
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又八郎→藤岡伊織殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-50-8
(青銅受取証文綴 この部)			せ88-19
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→近藤友三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-1
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→近藤友三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-2

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

水井市治進青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 水井市治→小崎貫兵衛殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-3
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 斉藤善九郎→小崎貫兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 水井市治→小崎貫兵衛殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-19-5
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又八郎→小崎貫兵衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-6
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→小山藤左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-7
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→小山藤左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-8
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又八郎→小山謙三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-9
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 斉藤善九郎→小山謙三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-10
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 上村何右衛門→小山謙三郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-19-11
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治→小山謙三郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-12
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→五明富之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-13
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→五明富之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-14
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→五明富之助殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-19-15
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→五明富之助殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-16
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→神戸壬四郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-17
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→小池敬次郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-18
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→小池敬次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-19
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→小池敬次郎殿	明治3年午2月2日	1通・切紙	せ88-19-20
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→小出一郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-21
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→古岩権四郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-22
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 上村何右衛門→小出謹三郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-23
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→小出謹三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-24
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 上村何右衛門→小出謹三郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-19-25
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-26

之進→小林常男殿			
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →小林惣兵衛殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-19-27
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→小林惣兵衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-28
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→小林惣兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-19-29
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →小林惣兵衛殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-19-30
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→小泉市二殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-19-31
(青銅受取証文綴 ての部)			せ88-30
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→寺沢十之進殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-30-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →寺沢十之進殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-30-2
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24疋につき) 斉藤善 九郎→寺沢大之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-30-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又 八郎→寺沢大之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-30-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →寺沢大之助殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-30-5
(青銅受取証文綴 はの部)			せ88-31
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 徳嵩広馬 → 未使用	明治2年巳正月	8通一綴・切紙	せ88-14
(青銅受取証文綴 あ の部)			せ88-15
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→浅香栄喜殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-15-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →厚木繁之助殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-15-2
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→厚木繁之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-15-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→厚木繁之助殿	明治3年巳正月	1通・切紙	せ88-15-4
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→厚木繁之助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-15-5
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →阿藤俊卓殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-15-6
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→阿藤俊卓殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-15-7
(青銅受取証文綴 さの部)			せ88-29
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →桜井与吉殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-29-1
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→桜井与吉殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-29-2

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →桜井与吉殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-29-3
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村 何右衛門→桜井与吉殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-29-4
(青銅受取証文綴 きの部)			せ88-6
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 佐川又八 郎→木村帯刀殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-1
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 谷口左仲 →木村帯刀殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-6-2
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(72銅につき) 斉藤善 九郎→木村帯刀殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-6-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→木村帯刀殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-4
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又 八郎→岸田市左衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-5
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬 →岸田市左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-6-6
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→岸田市左衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-6-7
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又 八郎→北嶋佐右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-8
谷口佐仲青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 谷口佐仲 →北嶋佐右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-6-9
中井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 中井市治 →北嶋佐右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-6-10
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 池田富 之進→北沢善三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-11
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 谷口左仲 →北沢重太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-6-12
水井市治青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 水井市治 →北沢重太郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-6-13
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又 八郎→北沢重太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-14
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲 →北嶋半兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-6-15
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治 →北嶋半兵衛殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-6-16
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→北嶋五一郎	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-17
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 佐川又 八郎→北沢冠岳殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-6-18
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善 九郎→北嶋半兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-6-19
(青銅受取証文綴 みの部)			せ88-21
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富 之進→水野清右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-21-1

佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→宮本義治殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-21-2
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→宮本義治殿	明治2年巳6月6日	1通・切紙	せ88-21-3
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→宮本義治殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-21-4
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→宮下左七郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-21-5
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→宮下左七郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-21-6
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→宮下左七郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-21-7
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→宮下左七郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-21-8
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→宮沢度治殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-21-9
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(35銅につき) 上村何右衛門→宮沢度治殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-21-10
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(32銅につき) 徳嵩広馬→宮沢宅治殿	明治2年巳6月6日	1通・切紙	せ88-21-11
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又八郎→宮沢馬輔殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-21-12
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(16銅につき) 上村何右衛門→宮沢馬助殿	明治2年巳6月6日	1通・切紙	せ88-21-13
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(16銅につき) 上村何右衛門→宮沢馬輔殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-21-14
(青銅受取証文綴 しの部分)			せ88-44
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→鎮目欽太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-44-1
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→志津初治殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-44-2
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→志津初治殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-44-3
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬→志津初治殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-44-4
(青銅受取証文綴 ひの部分)			せ88-16
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→東條清見殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-16-1
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→平川芳太郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-16-2
斉藤善九郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 斉藤善九郎→平川芳三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-16-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→平川芳三郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-16-4
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 佐川又八郎→東條繁太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-16-5

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→平林吉之助殿 (青銅受取証文綴 もの部)	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-16-6 せ88-47
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又八郎→両角要右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-47-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→両角要右衛門殿 せ88-47-2・3は貼付	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-47-2
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 谷口左仲→両角要右衛門殿 せ88-47-2・3は貼付	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-47-3
谷口左仲青銅受取証文〔覚〕(36銅につき) 谷口左仲→堀内覚之進殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-47-4
水井市治青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 水井市治→矢代村民田歳之助殿 (青銅受取証文綴 せの部)	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-47-5 せ88-43
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→関根勇殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-43-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→関根勇殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-43-2
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→関根勇殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-43-3
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→関根勇殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-43-4
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→関口守衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-43-5
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 徳嵩広馬→関口喜代馬	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-43-6
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 上村何右衛門→関口喜代馬	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-43-7
水井市治青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 水井市治→関口喜代馬	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-43-8
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→関口喜代馬 (青銅受取証文綴 すの部)	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-43-9 せ88-9
佐川又左衛門青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 佐川又左衛門→鈴木慶一郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-9-1
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→鈴木慶一郎殿 (青銅受取証文綴 すの部) 綴紐脱	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-9-2 せ88-20
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(5疋につき) 池田富之進→菅鉞太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-20-1
水井市治青銅受取証文〔覚〕(60銅につき) 水井市治→菅鉞太郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-20-2
池田富之進受取証文〔覚〕(24銅につき) 池田富之進→菅左衛士殿 (青銅受取証文綴)	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-20-3 せ88-2

水井市治青銅受取証文[覚](青銅24銅につき) 水井市治→吉原一庵殿		1通・切紙	せ88-2-1
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村何右衛門→吉原一庵殿		1通・切紙	せ88-2-2
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](につき) 徳嵩広馬→未使用か		13通一綴・切紙	せ88-7
徳嵩広馬進青銅受取証文[覚](につき) 徳嵩広馬→未使用か	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-8
(青銅受取証文綴)			せ88-11
水井市治青銅受取証文[覚](30匹につき) 水井市治→海野寛男殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-1
水井市治青銅受取証文[覚](148銅につき) 水井市治→海野直次郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-11-2
水井市治青銅受取証文[覚](30匹につき) 水井市治→海野直次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-3
斉藤善九郎青銅受取証文[覚](10匹につき) 斉藤善九郎→海野直次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-4
谷口左仲青銅受取証文[覚](50匹につき) 谷口左仲→海野直次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-5
上村何右衛門青銅受取証文[覚](50疋・30疋につき) 上村何右衛門→海野直次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-6
水井市治青銅受取証文[覚](青20匹につき) 水井市治→塩野歳五郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-7
斉藤善九郎青銅受取証文[覚](20疋・10疋につき) 斉藤善九郎→塩野歳五郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-11-8
上村何右衛門青銅受取証文[覚](10匹につき) 上村何右衛門→塩野歳五郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-9
佐川又八郎青銅受取証文[覚](10匹につき) 佐川又八郎→塩野歳五郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-11-10
谷口左仲青銅受取証文[覚](20匹につき) 谷口左仲→塩野歳五郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-11
斉藤善九郎青銅受取証文[覚](10匹につき) 斉藤善九郎→塩野歳五郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-12
水井市治青銅受取証文[覚](20疋につき) 水井市治→十河彦次郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-13
水井市治青銅受取証文[覚](10疋につき) 水井市治→十河彦次郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-14
池田富之進青銅受取証文[覚](10匹につき) 池田富之進→十河彦次郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-11-15
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](20匹につき) 徳嵩広馬→十河彦次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-16
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](10匹につき) 徳嵩広馬→十河彦次郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-11-17
谷口左仲青銅受取証文[覚](20匹・10匹につき) 谷口左仲→十河彦次郎殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-11-18
水井市治青銅受取証文[覚](200匹につき) 水井市治→真田図書殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-19

1 藩主(藩侯)／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼

上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(100匹につき) 上村何右衛門→真田図書殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-20
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(100匹につき) 上村何右衛門→望月帰一郎殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-11-21
水井市治青銅受取証文〔覚〕(10匹につき) 水井市治→望月致堂殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-11-22
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 徳嵩広馬→		5通一綴・切紙	せ88-12
徳嵩広馬青銅受取証文〔覚〕(12銅につき) 徳嵩広馬→近藤権左衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-17
(青銅受取証文綴)			せ88-23
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 池田富之進→後町村深美六左衛門殿 せ88-23～25一括紙綴あり	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-23-1
池田富之進青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 池田富之進→上平村中井通格殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-23-2
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 佐川又八郎→矢代村武田歳之助殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-23-3
佐川又八郎青銅受取証文〔覚〕(青銅につき) 佐川又八郎→吉田村長田孝兵衛殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-23-4
(青銅受取証文綴)			せ88-24
富岡邦蔵青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 富岡邦蔵→布施高田村和吉殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-1
富岡邦蔵青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 富岡邦蔵→牧野崎村市兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-2
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御武具方御徳居大治郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-3
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御武具方御徳居八弥殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-4
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御武具方御徳居治左衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-5
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御武具方御徳居長兵衛殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-6
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→釘納人源右衛門殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-7
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→畔鋏小三郎殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-8
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→屋根屋左七殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-9
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御普請方御徳居	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-10
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御宮御用達友治殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-11
某青銅受取証文〔覚〕(20疋につき) 一→御買物御徳居栄助殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-24-12
(青銅受取証文綴 浪人)			せ88-25
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 上村何右衛門→槍詰村吾妻宗右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-25-1
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 上村何右衛門→清野村近藤織右衛門殿	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-25-2
上村何右衛門青銅受取証文〔覚〕(5匹につき) 上村	慶応4年辰正月	1通・切紙	せ88-25-3

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

何右衛門→田野口村小林郡蔵殿			
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](24銅につき) 徳嵩広馬 →宮沢善五郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-32
水井市治青銅受取証文[覚](24銅につき) 水井市治 →西村半六殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-33
水井市治青銅受取証文[覚](30銅につき) 水井市治 →菅左衛士殿	明治2年巳正月	1通・切紙	せ88-34
水井市治青銅受取証文[覚](5匹につき) 水井市治→ 忍田十郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-35
池田富之進青銅受取証文[覚](24銅につき) 池田富 之進→野池勇太郎	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-36
徳嵩馬青銅受取証文[覚](24銅につき) 徳嵩広馬→ 中村小一郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-37
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→松本仙治殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-38
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](30銅につき) 徳嵩広馬 →菅左衛士介殿	明治2年巳6月	1通・切紙	せ88-39
徳嵩広馬青銅受取証文[覚](24銅につき) 徳嵩広馬 →西村半六殿	明治2年巳	1通・切紙	せ88-40
上村何右衛門青銅受取証文[覚](24銅につき) 上村 何右衛門→西村半六殿	明治4年辰正月	1通・切紙	せ88-41
佐川又八郎青銅受取証文[覚](24銅につき) 佐川又 八郎→両角玄脩殿 紙縫に「もの部」とあり	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-42
水井市治青銅受取証文[覚](5疋につき) 水井市治→ 村田直太郎殿	明治3年午正月	1通・切紙	せ88-46

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

勘定所・計政局

(勘定関係書類一括) 旧史料館の紙縫一括			せ121
(為替振出覚一括) 紙縫一括			せ121-1
(紙縫)		1点・紙縫	せ121-1-1
(包紙)		1点・包紙	せ121-1-2-1
高田幾太用状[覚](三澤刑部丞殿為替金71両請取切 手送付につき) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金 吾様	9月14日	1通・横切紙	せ121-1-2-2
(包紙)		1点・包紙	せ121-1-3-1
高田幾太用状[覚](三澤刑部丞殿為替金130両受取 切手送付につき) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村) 金吾様	9月14日	1通・横切紙	せ121-1-3-2
(包紙)		1点・包紙	せ121-1-4-1
高田幾太用状[覚](三澤刑部丞殿為替金50両受取切手 送付につき) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	9月24日	1通・横切紙	せ121-1-4-2
(包紙)		1点・包紙	せ121-1-5-1

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

高田幾太用状[覚](三沢刑部丞殿為替金50両受取切手送付につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月10日	1通・横切紙	せ121-1-5-2
高田幾太用状[覚](三沢刑部丞殿為替金250両受取切手送付につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	7月7日	1通・切紙	せ121-1-6
高田幾太用状[覚](三沢刑部丞殿為替金200両受取切手送付につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様 裏書あり	3月22日	1通・横切紙	せ121-1-7
(諸品金銭関係書類一括) 紙縫一括			せ121-2
(紙縫)		1点・紙縫	せ121-2-1
大塚谷平願書[舌代](両名25両内借願のため取計につき)(大塚)谷平→(海沼)辰男様	11日	1通・横切継紙	せ121-2-2
大塚谷平書状[舌代](1両札20両分等繰合せの上5人へ渡し願につき)(大塚)谷平→海大君(海沼辰男)	2月1日	1通・横切継紙	せ121-2-3
大塚谷平書状[市寸覚](25両用意の旨願等につき)(大塚)谷平→海大君様(海沼辰男)	11日	1通・横切継紙	せ121-2-4
司金書状并海沼辰男勘返状(30金内用にて返納並びに御印書送付依頼願につき) 司金→海沼(辰男)様	2月10日	1通・横切継紙	せ121-2-5
海沼辰男申上書并飯嶋勘返状(50両並びに査納願につき)(海沼)辰男→飯嶋様	3月29日	1通・切紙	せ121-2-6
司金書状(御印書受取並びに15両送付等につき) 司金→(海沼)辰男様 前欠	2月3日	1通・横切継紙	せ121-2-7
某書状(金30両此物へ渡し願につき) 前後欠		1通・横切継紙	せ121-2-8
矢野倉鎌一郎伺書(端裏書)[申上](太政官会計竹内三郎助等通行入料下賜につき) 矢野倉鎌一郎→端裏に「申上・七月十三日」とあり	7月13日	1通・横切継紙	せ121-3
割番伺書并足輕奉行他巻上貼紙(端裏書)[馬場廣人殿追欠御飛脚の下方の儀伺] 割番→	11月	1通・横切継紙	せ121-4
又右衛門内々願書并久左衛門勘返状(市村揚銭預りの件書類内々提出並びに合印捺印依頼につき) 又右衛門→久左衛門様	8月6日	1通・横切継紙	せ121-5
某申上書土蔵入用臨時払いにて然るべき旨等につき)	25日	1通・切紙	せ121-6
某用状(150両余の内正金1上納分差引き勘定につき)		1通・切紙	せ121-7
高野覺之進申上書(金五郎様より指令の2件取調べの上報知等につき)(高野)覺之進→(片桐)重之助様	26日	1通・切紙	せ121-8
某用状(山田宗太30両等≒295両等勘定につき)		1通・横切継紙	せ121-9
某用状(手形・正金等勘定につき) 文書中に複数の月日あり	12月7日	1通・横切継紙	せ121-10
興津権右衛門書状(殿様譲渡しの武器注文料繰合せ金元方御金奉行預り分15両の証文発給等につき)(興津)権右衛門→(宮下)孫兵衛様	正月22日	1通・横切継紙	せ121-11
某用状(端裏書)[下調](下ケ金6万7千両余等の勘定につき)		1通・横切継紙	せ121-12
小納戸伺書[覚](支払残の中借金取調につき) 小納戸→	寅12月	1通・横切継紙	せ121-13
某用状(馬場廣人等≒金10両等150両一人別書出につき)		1通・切紙	せ121-14

太田藤右衛門申上書(慶応3年長谷川三郎兵衛へ預所局繰返し貸付金返金につき) 太田藤右衛門→水野清右衛門殿	明治4年辛未8月	1通・横切継紙	せ121-15
某用状(品札御入料8両余々12両余等の勘定につき)		1通・切紙	せ121-16
長井十左衛門用状[覚](十左衛門等々200両貸付金返納につき) 長井十左衛門→	辰6月26日	1通・横折紙	せ121-17
御勝手元々申上書(端裏書)[御囲金返上之義ニ付申上](中借金返上並びに先日指令の400両中借無用につき) 御勝手元々→	申12月29日	1通・切紙	せ121-18
某用状(吉田村長田孝兵衛金50両等々金190両書出につき)	29日	1通・横切継紙	せ121-19
某用状[覚](代官増手代 4人への夫給初代分5両上納等々80両勘定につき)「来酉年より如此」「文化十三子年より」などの表記が本文中にあり		1通・横切継紙	せ121-20
某用状(5月16日雨宮へ備之分立替金25銭書出につき)	(5月6日)	1通・横切継紙	せ121-21
笠原平六郎他一名内用金受取証文[覚](15両につき) 笠原平六郎・加藤直衛→岡野敬一郎殿	(明治4年)辛未	1通・横切継紙	せ121-22
河原理助内用金受取証文[覚](30両につき) 河原理助→岡野敬一郎殿	明治3年庚午12月	1通・横切継紙	せ121-23
某用状(初代金971両余等上納の件出納日記へ記載等伺につき)		1通・切紙	せ121-24
某用状(3千両は当用金にて取計につき)		1通・切紙	せ121-25-1
某用状(当暮下ケ金2ヶ月分利子付加等につき)		1通・横切継紙	せ121-25-2
矢沢六蔵用状(中借引替につき) 矢沢六蔵→岡島莊藏殿	2月29日	1通・横切継紙	せ121-26
某用状(2俵5斗6升等書出につき)		1通・横切紙	せ121-27
御馬奉行書状(江戸中借金より手段金にて支給のよう取計につき) 御馬奉行→御勝手御元々中様	7月23日	1通・横切継紙	せ121-28
河原権大参事用状(両御門にて金引替不取締のため増手付申渡し並びに代幣払底のため隔日引替につき) 河原権大参事→会計懸中	6月3日	1通・横切紙	せ121-29
某用状[覚](下ケ金328両余並びに中借金246両勘定につき)「七月中」「九月中」などの表記が本文中にあり		1通・横切継紙	せ121-30
半田亀作金銭受取証文「覚」(内用囲金並びに中借金5両につき) 半田亀作→新村佐十郎	明治3年午12月6日	1通・横切継紙	せ121-31
某用状(文化9年～明治2年親多惣治並びに惣五郎金2分等書出につき)		1通・横切継紙	せ121-32
某用状[別帳寄出し](御手衆共道中役代金481両等につき)「五月より七月十日迄」などの記載が本文中にあり		1通・横折紙	せ121-33
(諸経費関係書類綴) 紙綴綴			せ121-34
某用状(金1千713両余勘定につき)		1通・切紙	せ121-34-1
某用状(演兵世話方手当金月給渡の件につき)		1通・切紙	せ121-34-2
某用状(前原有平等一件書出につき)		1通・切紙	せ121-34-3
某申上書里村山千曲川除積帳御廻し件伺依頼につき)	10月29日	1通・横切継紙	せ121-35
伊藤銀右衛門金銭受取証文[差上申一札之事](御下ケ金115両につき) 原村伊藤銀右衛門→元松代御庁		1通・横切紙	せ121-36

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

奥村弥左衛門為替受取証文[覚](江戸納戸へ上納為替金200両につき) 奥村弥左衛門→水野友作殿・片桐重之助殿	弘化2年巳10月28日	1通・横切紙	せ121-37
(御普請方御定金関係書類綴)			せ121-38
某用状(普請方御定御定金不足の件臨時繰合金にて補填の件につき)		1通・切紙	せ121-38-1
御勝手元へ再申上書(端裏書)[御普請方御定金之義付再申上](不足分臨時繰合金にて補填の件につき) 御勝手元へ→	9月	1通・切紙	せ121-38-2
(諸品代金書付書類綴)			せ121-39
某用状(初代金の内金6万7千588両余等につき)		1通・切紙	せ121-39-1
某用状(2ヶ所差添村々献上金下辻金内訳につき)		1通・切紙	せ121-39-2
某用状(玄米10俵等につき)		1通・切紙	せ121-39-3
某用状(藩中・町方・在方金銭につき)		1通・横切継紙	せ121-39-4
某用状(金1万3千393両余等につき)		1通・切紙	せ121-39-5
某用状(中津川平左衛門・白米1升等につき)		1通・切紙	せ121-39-6
某用状(営繕方御入料並びに杣等賃金につき)		1通・切紙	せ121-39-7
某用状(借入金の元金につき)		1通・切紙	せ121-39-8
某用状(給禄代並びに下ヶ金1千292両余等につき)		1通・切紙	せ121-39-9
某用状(飼料下ヶ金の内489両余につき)		1通・横切継紙	せ121-39-10
某用状(金2千両余につき)		1通・横切継紙	せ121-39-11
御内借懸用状(御割合御礼金共並びに年々上納金459両余につき) 御内借掛→	未正月	1通・横切継紙	せ121-39-12
今池治用状(内借金227両余取調につき) 今池治→	正月9日	1通・切紙	せ121-39-13
御内借懸用状(金1918両の内訳につき)(御内)借掛→	未正月	1通・切紙	せ121-39-14
某用状(犀川並びに千曲川普請費用につき)		1通・切紙	せ121-39-15
(酒造冥加金関係書類一括)			せ121-40
某伺書(端裏書)[古手証御協向事](酒造冥加金司金有金取調べの上手形金支払いの旨了解願につき)	8月26日	1通・横切継紙	せ121-40-1
某用状下書(午11月24日千両余の内預ヶ之内並びに酒造冥加金之内等につき)		1通・切紙	せ121-40-2
(諸代金書出書類等綴)			せ121-41
某申上書(端裏書)[御金掛様大日方渡](御礼金100両の内50両今日中に送金願につき)	5月22日	1通・横切紙	せ121-41-1
某用状雛型(10万石収納を高山方並びに里方金3万6660両余、内訳里分にて内訳を書出につき)		1通・切紙	せ121-41-2
某用状(端裏書)[別条之事](銀千疋分等へ24両余を人別書出につき)		1通・切紙	せ121-41-3
堀江伝右衛門用状[覚](牧新蔵利分5両等書出につき) 堀江伝右衛門→		1通・切紙	せ121-41-4
某用状(5032両余等書出につき)		1通・切紙	せ121-41-5

某用状(丹鉄並びに割鉄数量書出につき)		1通・切紙	せ121-41-6
某用状(大並足輕2人並びに刳代金書出につき)		1通・切紙	せ121-41-7
某用状(太政官日誌の不足卷等書出につき)		1通・切紙	せ121-41-8
某用状(2月より9月迄8ヶ月分元金550両等勘定につき)		1通・切紙	せ121-41-9
(江戸御用金受取証文綴 文化8年6月晦日)			せ121-42
[文化八末年六月晦日江戸御用金百五拾兩高山内蔵進殿へ相渡御参府被遊候上相届可申預り印遣](包紙)「同人より取置候紙面」		1点・包紙	せ121-42-1
高山内蔵進金銭受取証文[覚](江戸御用金150両につき) 高山内蔵進→金児綱左衛門殿・三井寿一郎殿・徳田多膳殿	文化8年末6月晦日	1通・切紙	せ121-42-2
某用状(石高と円高並びに租税高対照につき)		1通・横折紙	せ121-43
(古金関係書類一括)			せ121-44
某用状(古金82両等書出につき)	6月9日	1通・切紙	せ121-44-1
三沢刑部丞用状(端裏書)[御金送り](古金分返送のため受取の上取り計らいにつき)(三沢)刑部丞→友衛様・(草間)一路様・(佐藤)為之進様	7月10日	1通・横切継紙	せ121-44-2
(諸品中借伺関係書類綴)			せ121-45
計監用状(財政逼迫のため別紙2通の件計政副主事へ伺につき) 計監→下ケ札あり		1通・切紙	せ121-45-1
営繕庶務伺書并営膳司指示書(端裏書)[品々御入料金御中借之儀伺](招魂場請負金等中借願につき) 営繕庶務→	3月27日	1通・切紙	せ121-45-2
喇叭手取締伺書(ラッパ手手当金93両去巳12月より当6月迄7ヶ月分中借につき) 喇叭手取締→	7月	1通・切紙	せ121-45-3
喇叭手取締伺書(ラッパ手鶏印料46両当正月より6月迄6ヶ月分中借につき) 喇叭手取締→	7月	1通・切紙	せ121-45-4
某伺書[覚](巳12月中昆布2本等御入料御払切につき) 端裏に下ケ札あり	正月	1通・横切継紙	せ121-45-5
営膳庶務伺書並びに営膳司巻上貼紙(端裏書)[品々御入料金御中借之儀伺](畳刺並びに木挽雇用賃等につき) 営膳庶務→	3月	1通・切紙	せ121-45-6
(利足金等受取証文綴)			せ121-46
宮下潤造金銭受取証文[覚](正月・2月分利分金19両につき) 宮下潤造→海沼(辰男)様	2月28日	1通・切紙	せ121-46-1
宮下潤造金銭受取証文[覚](利息足17両につき) 宮下潤造→高山様	11月29日	1通・切紙	せ121-46-2
千葉恒五郎代嘉助金銭受取証文[覚](元金500両株12月28日までの利足金5両につき) 千葉恒五郎代嘉助→松代様・大塚谷平様・海沼辰男様	巳12月29日	1通・切紙	せ121-46-3
宮下潤造金銭受取証文[覚](利足金19両につき) 宮下潤造→高山様	正月28日	1通・横切継紙	せ121-46-4
千葉恒五郎代嘉助金銭受取証文[覚](元金500両株巳の12月より午正月9日迄御利足金10両等々金15両につき) 千葉恒五郎代嘉助→大塚谷平様・海沼辰男様	午2月12日	1通・横切継紙	せ121-46-5
近藤業一郎金銭受取証文(手寄才覚金当月8日より)	正月15日	1通・横切継紙	せ121-46-6

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

15日迄の利金1両と銀4匁につき) 近藤業一郎→海沼辰男様			
(中借証文等級)			せ121-47
山中鹿渡中借証文[覚](お久米7月払方支障のため金子3両余等につき) 山中鹿渡→宮下謙大夫殿	安政6年末10月朔日	1通・横切継紙	せ121-47-1
長谷川三次兵衛中借証文[覚](御側向拝借金金150両につき) 長谷川三次兵衛→宮下謙大夫殿	(安政6年)未5月	1通・切紙	せ121-47-2
長谷川三次兵衛預り証文[覚](金70両預金の上正金をもって引替につき) 長谷川三次兵衛→宮下謙大夫殿	安政5年午正月6日	1通・横切紙	せ121-47-3
山中鹿渡中借証文[覚](久太払方支障のため金3両余につき) 山中鹿渡→宮下謙大夫殿	安政7年申3月	1通・横切紙	せ121-47-4
[上納金并御下ケ金差引調出](安政5・6年分)		1冊・横長半	せ121-48
某用状(750石等書出につき)		1通・横切継紙	せ121-49
某申上書下書(鬼無里御林才木冥加金其他冥加金上納受取元帳高取調等につき)		1通・横切継紙	せ121-50
(諸品代金支払関係書類綴)			せ121-51
(紙縫) せ121-51を一括		1点・紙縫	せ121-51-1
某用状并下ケ札(払方江戸詰金等中借金書出につき) 冊子断片か、下ケ札5枚・掛紙1枚あり		1通・横折紙	せ121-51-2
近藤忠之進他一名用状(船積穀物御入料10両請求につき) 近藤忠之進・伊木億右衛門→片桐重之助様・高野覚兵衛様	9月21日	1通・横切継紙	せ121-51-3
久保弥左衛門用状(はち白川付聖沢普請御入料金30両請求につき) 久保弥左衛門→御金掛様	9月26日	1通・切紙	せ121-51-4
御普請方元へ用状(藩主帰城の節陸尺賃銭等請求につき) 御普請方元へ→片桐重之助様	10月9日	1通・横切継紙	せ121-51-5
御払方用状(佐渡運當金才領賄雑用代等支給につき) 御払方→御金懸様	(弘化3年)9月28日	1通・横切継紙	せ121-51-6
野村権兵衛書状(別紙へ辻と本切手突合せ願につき)(野村)権兵衛→(高野)覚之進様 奥に鉛筆書で「別紙へ辻計算不合二付問合せ」とあり	21日	1通・横切継紙	せ121-52
矢野倉惣之進青銅受取証文[覚](24銅につき) 矢野倉惣之進→高野覚之進殿	弘化3年	1通・切紙	せ121-53
松本芳三郎書状(為替御下ケ金裏柴様願の件了につき)(松本)芳三郎→(高野)覚之進様	9月26日	1通・横切継紙	せ121-54
御金方用状(納戸金銭請払辻につき) 御金方→御勝手御元へ様	8月29日	1通・横切継紙	せ121-55
某并鬼無里村幸吉金銭受取証文写(麻代金につき) 一／鬼無里村幸吉→一／御金掛御役所 一紙に2通分の写		1通・横切継紙	せ121-56
(諸代金関係書類綴)			せ121-57
某用状(端裏書)[十月御払帳へ載事](塚本治五兵衛金65両等7月1日改分につき)		1通・切紙	せ121-57-1
某用状(諸向内願の分より5月22日御借入金150両等書出につき)		1通・横切継紙	せ121-57-2
某用状(献上配布金34両余等書出につき)		1通・切紙	せ121-57-3

某用状(卯暮並びに辰春内遣す辻金書出につき)		1通・切紙	せ121-57-4
某用状(喜瀬並びにすが等9月大分ノ銀34分書付につき)		1通・切紙	せ121-57-5
御払方用状[覚](御払帳と此方元帳不整合のため外出時役所へ出頭依頼につき) 御払方→御金掛様裏に下書あり	10月5日	1通・横切継紙	せ121-58
高田幾太用状(御用金受取証文送付につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様	10月3日	1通・横切継紙	せ121-59
権右衛門証文受取証文[覚](山田見蔵の金10両の証文2通等ノ13通受取につき) 権右衛門→(宮下)孫兵衛様	卯2月	1通・横切継紙	せ121-60
某用状(川除普請御定金前借の件取計い願につき)		1通・切紙	せ121-61
兩人書状并関田莊蔵勘返状(留帳へ付札貼付等につき) 兩人→(関田)莊蔵様	10月18日	1通・横切継紙	せ121-62
佐藤左金吾他一名用状(問合の件相違なし並びに去年内願なしにつき) 佐藤左金吾・徳嵩恒吉→入安兵衛様	5月18日	1通・横切継紙	せ121-63
某用状(二百分等代金差引勘定につき)		1通・横切継紙	せ121-64
某用状銀54匁・目方以下等勘定残銀8匁余返上につき)		1通・切紙	せ121-65
某用状(御積金・出精分等村方へ下ケ金勘定並びに内訳につき)		1通・横切継紙	せ121-66
某用状[記](雨山建碑の内へ再寄附金30円等ノ530円余切手並びに為替送付につき)		1通・切紙	せ121-67
(諸品代金関係書類綴)			せ121-68
水野清右衛門他一名金銭受取証文[覚](差掛りの入料200両につき) 水野清右衛門・酒井市治→小嶋孝之助殿	慶応3年卯3月15日	1通・横切継紙	せ121-68-1
水野清右衛門申上書(6千両の内200両は25日支払い並びに残金400両本日中澤弥市へ持参依頼につき) (水野)清右衛門→藤五郎様	6月28日	1通・横切継紙	せ121-68-2
某用状(酒代12両余等書出につき)		1通・切紙	せ121-68-3
某用状(金上組山村久米殿へ振替支給金200両等金銭書出につき)	5月2日	1通・切紙	せ121-68-4
某用状(才覚金預り分金200両等ノ金1646両余等書出につき)	(慶応3年3月17日)	1通・横切継紙	せ121-68-5
某用状[覚](大坂より到来の分御納戸へ差遣わしたき金1千両、内400両・江府御納戸内預け証文1通等書出につき)		1通・切紙	せ121-69
某用状(9千両余等書出につき)		1通・切紙	せ121-70
堀内用状(3両取金分等差引勘定につき) (堀内) →	(明治2年)	1通・横切継紙	せ121-71
某用状(6両余通用金等12両余書出につき)		1通・切紙	せ121-72
某用状(竹房付塩村組金5両余分勘定につき)		1通・切紙	せ121-73
某用状[御手間廻り亥引替扣](金12両余分勘定出につき)		1通・切紙	せ121-74
前嶋有年内々申上書(端裏書)[御内々申上](京都にて支出超過のため松代にて金策願につき) (前嶋)有年→	2月	1通・横切継紙	せ121-75
牧新蔵金銭受取証文[覚](50両につき) 牧新蔵→水	申12月口	1通・切紙	せ121-76

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

野清右衛門殿 裏打あり			
梅井利右衛門他一名用状(鉄・鍛冶並びに炭代金2両支払いにつき) 梅井利右衛門・船木束→		1通・横切継紙	せ121-77
高山純一郎金預り証文〔證〕(内預金5両余受取につき) 高山純一郎→柘植彦六殿	午2月11日	1通・切紙	せ121-78
三人申上書(送付の為換証総計金残金の内差加え計算につき) 三人→御三所様		1通・横切継紙	せ121-79
御勝手元ベ申上書(端裏書)〔矢代村安兵衛為替金之義付申上〕(横浜にて為替金繰回しの交渉の件につき) 御勝手元ベ→ 端裏書「御勝手元ベ」	9月	1通・横切継紙	せ121-80
某用状(12月19日矢野倉謙兵衛殿へ此暮御口廻金下りのところ返上のため預金分60両等書出につき)		1通・切紙	せ121-81
堀内与一右衛門用状〔覚〕(勘定吟味方手段金上納取調につき) 堀内与一右衛門→ 下ケ札1枚あり		1通・横切継紙	せ121-82
某用状〔覚〕(万延元年下辻金120両余等書出につき)		1通・横切継紙	せ121-83
某用状(一平等19人分金銭書出につき)		1通・横切継紙	せ121-84
正田屋東七金銭受取証文(河州板等9両余につき) 正田屋東七→長谷川深見様御取次中様 掛紙1枚あり	(嘉永6年)丑7月18日	1通・横切継紙	せ121-85
某用状(年中並びに月中財計総調収方・払方の役割伺につき)		1通・切紙	せ121-86
某用状(明治元年9月27日～2年10月26日岡野敬一郎等中借金勘定並びに内訳につき)	(明治2年9月27日)	1通・横切継紙	せ121-87
某用状(兵馬の様子等につき)		1通・切紙	せ121-88
(収納方伺書綴)			せ105
草間一路伺書下書(長谷川三郎兵衛支配向出府の下向につき) 草間一路→ 端裏書あり	6月	1通・切紙	せ105-1
御収納方伺書下書(関田荘助出府につき) 御収納方→ 端裏書あり	6月	1通・横切継紙	せ105-2
御収納郡方伺書(鉄砲洲江戸詰様の件扶持方改正につき) 御収納郡方→ 端裏書あり	4月	1通・横切継紙	せ105-3
御収納郡方伺書(諏訪部守之進詰給渡方につき) 御収納郡方→ 端裏書あり	4月	1通・横切継紙	せ105-4
南部坂御守役申上書並びに下ケ札(貞姫様賄料につき) 南部坂御守役→ 上部破損、端裏書あり		1通・横切継紙	せ106
利左衛門申上書(鉄砲買上代につき) 利左衛門→(水井)市治様・(水野)清右衛門殿 破損	3月28日	1通・横切継紙	せ107
(御収納方郡方等用状一括)			せ108
御収納方郡方伺書(長詰下賜物につき) 御収納郡方→ 下ケ札あり		1通・横切継紙	せ108-1
牧若次郎用状(信濃守様昨日発途につき) 牧若次郎→真田志摩守様・望月帰一郎様	2月22日	1通・横切継紙	せ108-2
某用状(松平政太郎扶持につき) 端裏書あり	8月	1通・横切継紙	せ108-3
計政副主事用状(善光寺上人上京護送につき) 計政副主事→	11月	1通・横切継紙	せ108-4
某申上書(目付加藤申上につき)	7月21日	1通・横切継紙	せ108-5

品々留(麻高并運上銀免相村別書出につき) 春日ヨシフサ	文政8年	1冊・横長半	せ109
赤沢勘左衛門受取証文[覚](火縄等につき) 赤沢勘左衛門→御武具方様	8月23日	1通・横切継紙	せ110
(甲府出張手当手形引替関係綴)			せ111
(封筒) 御元方→		1通・包紙	せ111-1
鎌原溶水用状(宮澤徳太郎等甲府出張手当の件手形引替につき) 鎌原溶水→元方御金奉行中	10月20日	1通・横切継紙	せ111-2
鎌原溶水用状(吉原慎吾甲府出張手当の件手形引替につき) 鎌原溶水→元方御金奉行中	10月24日	1通・横切継紙	せ111-3
鎌原溶水用状(河口嘉助甲府出張手当の件手形引替につき) 鎌原溶水→元方御金奉行中	11月9日	1通・横切継紙	せ111-4
某用状(長谷川直太郎甲府出張手当の件手形引替につき) →元方御金奉行中		1通・横切継紙	せ111-5
鎌原溶水用状(武田斐三郎甲府出張手当の件手形引替につき) 鎌原溶水→元方御金奉行中	11月朔	1通・横切継紙	せ111-6
鎌原溶水用状(別紙了承につき) 鎌原溶水→竹内新七殿	11月9日	1通・切紙	せ111-7
荒井弥平伺書(人馬賃金の二分金の件引替につき) 御荷物会所懸り荒井弥平→ 付札あり、端裏書あり	已11月8日	1通・横切継紙	せ111-8
元方御金奉行用状(池田友十郎の件手形引替につき) 元方御金奉行→		1通・切紙	せ111-9
某用状(安兵衛産物荷代金につき)		1通・横切継紙	せ112
会計懸申上書(別紙問合につき) 会計懸→ 端裏書あり	9月12日	1通・切紙	せ113
増減表(物品等書出につき) 木版刷り		1通・縦紙	せ114
某用状(人別玄米高書出につき)		1通・横切継紙	せ115
(幕末期拝借金関係書類一括) 旧史料館紐一括			せ116
用度属伺書(端裏書)[去巳十二月中品々御入料御中借之儀奉伺] 用度属→	正月	1通・横切継紙	せ116-1
民之助用状(御納戸より金30両受取につき) 民之助→郡方様	3月27日	1通・切紙	せ116-2
用度属伺書[覚](買上代金至急下渡し願につき) 用度属→	10月	1通・横切継紙	せ116-3
庶務伺書(端裏書)[上平御林二而松角取柚賃金御中借之儀伺] 庶務→	閏10月	1通・切紙	せ116-4
岸善八伺書(砲術道具等代金御下ヶ金支給につき) (岸)善八→(佐藤)美与喜殿	8月23日	1通・横切継紙	せ116-5
赤沢助之進用状(綿貫新兵衛大笠御借入取扱料御下ヶ金支給につき) (赤沢)助之進→(矢沢)将監様・伊野右衛門様・(小山田)采女様他1名	12月25日	1通・切紙	せ116-6
某用状[覚](玄米代金勘定につき)		1通・横切継紙	せ116-7
利ねや善作用状[記](木箱代金勘定につき) 利ねや善作→上	閏4月11日	1通・切紙	せ116-8
某用状[覚](小市村清兵衛伐木代金等御下ヶ金勘定取調につき) 下ヶ札あり	8月	1通・切紙	せ116-9
(上京御入用勘定取扱方上申関係書類一括) 紙綴一括			せ116-10

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

(紙縫)		1点・紙縫	せ116-10-1
赤沢助之進用状并勘返書(前嶋友之進伺の件思召伺につき)(赤沢)助之進→(真田)志摩様	2月朔日	1点・切紙	せ116-10-2
前嶋友之進伺書(端裏書)[諸向請取証文之儀付伺](駒村佐十郎別紙申上につき)前嶋友之進→	正月	1通・横切継紙	せ116-10-3
駒村佐十郎内々申上書(端裏書)[諸向御勘定引替月期限日二付内々申上]駒村佐十郎→	正月	1通・横切継紙	せ116-10-4
武庫庶務伺書並武庫司事添伺貼紙(端裏書)[雷龍并引込代銅管谷本御入料之内御中借申上]武庫庶務→	9月27日	1通・横切継紙	せ116-11
御収納郡方申上書(端裏書)[御祭礼兩日御賄之儀二付申上](簡易にすべき旨につき)御収納郡方→ 端裏書「留済」	8月	1通・横切継紙	せ116-12
御収納郡方申上書(端裏書)[御林え道橋方手附出役賄粉之儀申上](川除材木等の伐採につき)御収納郡方→ 虫損あり	12月	1通・切紙	せ116-13
斎藤新蔵金銭受取証文[覚](内借金500両につき) 斎藤新蔵→岡野敬一郎殿	(明治4年)辛未正月	1通・横切継紙	せ116-14
某用状[覚](文政丑年頃より大町通臨時入用等勘定につき)端裏書「臨時」とあり		1通・横切継紙	せ116-15
月岡善平書状(借入金周旋の件につき)(月岡)善平→ (水野)清右衛門様・(鈴木)富治様	正月16日	1通・横切継紙	せ116-16
山岸助蔵金銭受取証文[覚](内用のため借金10両につき)山岸助蔵→鹿野茂手木殿	子4月18日	1通・切紙	せ116-17
御備懸伺書(端裏書)[去ル辰年中閑郷え出張之村方御下金願之儀二付伺]御備掛り→	11月	1通・横切継紙	せ116-18
用度属伺書(端裏書)[至急焚炭油御買上代金御下ヶ之儀伺]用度属→	(明治3年)午11月	1通・横切継紙	せ116-19
某申上書(西京御供御入料金500両差出につき)	12月20日	1通・横切継紙	せ116-20
某用状(借入金差引勘定につき)		1通・切紙	せ116-21
某用状(片井京助御細工料の内金3両5分を一平へ支給につき)	(明治3年)午2月12日	1通・切紙	せ116-22
水野清右衛門申上書(端裏書)(戦争参加の商人への下ヶ金支給願につき)(水野)清右衛門→	5月25日	1通・横切紙	せ116-23
嘉兵衛書状(御入料金出金願につき)嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	4月14日	1通・横切継紙	せ116-24
庶務伺書(端裏書)[品々御入料金御中借再伺]庶務→(宮膳司)	10月10日	1通・横切紙	せ116-25
某伺書(端裏書)[藤田新太郎上京二付御中借并金一札勘寄与引替之義二付伺]	3月20日	1通・横切継紙	せ116-26
酒井市治他一名申上書(端裏書)[大岡宮平組之儀二付再申上](御賞として紋付幕等下賜につき)酒井市治・水野清右衛門→	2月	1通・横切継紙	せ116-27
御買物役伺書(端裏書)[質屋惣兵衛御用代金頂戴仕度之儀二付伺]御買物役→ 虫損あり	10月	1通・横切継紙	せ116-28
元中御門番村松藤蔵他五名願書[口上覚](中御門番行灯油下ヶ金支給につき)元中御門→元御門番村松藤蔵・清水七衛門・田中千代蔵他3名 横切継紙	(明治5年)壬申7月	1通・横切継紙	せ116-29

某用状[御払大凡積](詰所御用金等勘定につき) (代金勘定書綴)		1通・横切継紙	せ116-30
			せ116-31
某用状(代金勘定につき)		1通・切紙	せ116-31-1
某用状(代金勘定につき)		1通・切紙	せ116-31-2
某用状[熊肉代料](代金勘定につき)	7月	1通・切紙	せ116-31-3
武庫庶務伺書並武庫司事添伺貼紙(端裏書)[去ル辰 年中ヨリ御払残之内御中借之義取調伺] 武庫庶務 → せ116-32-1の端裏に貼付られていたもの		1通・切紙	せ116-32
(御下ヶ金勘定関係綴)			せ116-33
某用状[覚](士官学校御入料等御下ヶ金勘定につき)		1通・切紙	せ116-33-1
半之丞伺書[覚](御殿番所御入料等内借願につき) 半之丞→御金掛様	正月7日	1通・切紙	せ116-33-2
某用状[貴殿御中借元](川除入用等勘定につき)		1通・横切継紙	せ116-33-3
近藤権内書状(別紙の通り入料金御払につき)(近藤) 権内→(酒井)市治・(清水)清右衛門	正月7日	1通・切紙	せ116-33-4
御勝手元へ申上書(端裏書)[御木挽願見習在出中御 賄之儀付申上](役中難儀につき) 御勝手元へ→	12月	1通・切紙	せ116-34
出納懸申上書(端裏書)[生糸代前金御拝借御上納残 り御上納之義二付申上] 出納掛→	2月	1通・横切継紙	せ116-35
(借入金引当関係書類綴)			せ116-36
佐藤美与喜書状(官札逼迫のため金192両引当にて1 千両借入金願につき)(佐藤)美与喜→(富永)新平様	7月7日	1通・横切継紙	せ116-36-1
佐藤美与喜用状(市中取締一件入料金引当400両送 付につき)(佐藤)美与喜→(富永)新平様	7月7日	1通・横切紙	せ116-36-2
佐藤美与喜用状(古金引当借入につき)(佐藤)美与喜 →(富永)新平様	7月8日	1通・横切紙	せ116-36-3
岡野敬一郎書状(手形引替の件につき) 岡野敬一郎 →水野清右衛門殿		1通・横切継紙	せ116-37
用度司伺書(端裏書)[御下金之義伺](支給願につき) 用度伺→	4月10日	1通・横切継紙	せ116-38
彦治用状(御下ヶ金証書認メ方問い合わせにつき) 彦治→富永(新平)様	8月	1通・切紙	せ116-39
嘉右衛門書状(座頭への下ヶ金につき) →(宮本)慎助様	9月30日	1通・切紙	せ116-40
草間一路伺書(端裏書)[伊那縣え罷越候節之御入料 御払切被成下度儀伺] 草間一路→	7月14日	1通・横切継紙	せ116-41
三郎治申上書(端裏書)[会議所御入料凡取調申上] 三郎治→	2月	1通・横切継紙	せ116-42
用度属申上書[覚](御台所品々御入料御払残分勘定 につき) 用度属→	12月	1通・横切継紙	せ116-43
大黒屋徳兵衛代金請求書并受取書[記](糶代金につき) (包紙) せ116-45-2の包紙	8月30日	1通・切紙	せ116-44
		1点・包紙	せ116-45-1
水野日向守内竹本左門(赤坂溜池常湊出銀御普請方 役所へ納入につき) 水野日向守内竹本左門→	文化12年亥6月	1通・縦紙	せ116-45-2

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

武庫庶務申上書並武庫司事添伺貼紙(端裏書)[御出来物御入料御下ヶ金之儀取調申上](中借証文取極につき) 武庫庶務→	7月	1通・横切継紙	せ116-46
下目付斎藤誠三受取証文[覚](単宿泊御入料御賄札につき) 下目付斎藤誠三郎→御勘定吟味御役所		1通・横切継紙	せ116-47
賄料規定下書(殿様賄料御減方定金)		1通・横切継紙	せ116-48
(御台所目付並びに御買物役内借願綴)			せ116-49
御買物役并吟味役添伺貼紙[覚](臨時駕籠人足賄代につき) 御買物役→	11月27日	1通・横切継紙	せ116-49-1
御台所目付并勘定吟味役伺書(端裏書)[粕漬炮御払之儀伺] 御台所目付→ 端裏に勘定吟味役伺書あり	12月	1通・切紙	せ116-49-2
鍬金屋祖吉申上書[覚](粕漬炮代金支払願につき) 鍬金屋祖吉→御台所御役所	辰12月23日	1通・切紙	せ116-49-3
肴町政治郎申上書[覚](粕漬炮代金御払願につき) 肴町政治郎→御台所御役所	12月	1通・切紙	せ116-49-4
御買物役伺書(端裏書)[当十一月十二月中学校御買物品御入料御内借伺] 御買物役→ 端裏に勘定吟味役伺書あり	12月	1通・切紙	せ116-49-5
御台所目付他一名伺書(端裏書)[御内借之儀二付奉伺] 御台所目付・御買物役→	12月27日	1通・切紙	せ116-49-6
器械方庶務申上書[覚](器械製造入料少々の理由につき) 器械方庶務→出納御掛様	未4月5日	1通・横切継紙	せ116-50
用度属伺書(端裏書)[御用紙御桃灯御油御下ヶ金之儀伺](諸色高値のため支給名) 用度属→	12月	1通・横切継紙	せ116-51
近藤権内伺書(端裏書)[御用代御払残御下ヶ金之儀奉伺](祈祷入料等逼迫につき支給願) 近藤権内・山崎卓馬・小林太一郎→	午12月	1通・横切継紙	せ116-52
某書状(御馬奉行へ馬代一時中借の旨返礼につき) 端裏書「御馬奉行え之返礼」		1通・横切継紙	せ116-53
(端裏書)[懸案](旧幕府の判物提出の件問合につき)		1通・横切継紙	せ116-54
櫻田鍛冶町岩附屋半次郎金銭受取証文(有原巻1折代金2朱につき) 岩附屋半次郎(印文「桜田鍛冶町松風」)→上	正月14日	1通・切紙	せ116-55
半蔵他一名用状監督写(端裏書)[竹村慶次郎内々申聞候書面写](貸馬具等馬関係3品代料支給願につき) 半蔵・子習→慶次郎様	12月18日	1通・横切継紙	せ116-56
(年貢過上金受取証文類綴)			せ116-57
長岡富五郎金銭受取証文[覚](年貢過上金につき) 長岡富五郎→水井市治殿・佐藤伊与之進殿・片岡弘人殿	文久元年酉11月	1通・切紙	せ116-57-1
中嶋渡浪金銭受取証文[覚](年貢過上金につき) 中嶋渡浪→水井市治殿・佐藤伊与之進殿・片岡弘人殿	文久元年酉11月	1通・切紙	せ116-57-2
南澤甚之介金銭受取証文[覚](年貢過上金につき) 南澤甚之介→助水井市治殿・佐藤伊与之進殿・片岡弘人殿	文久元年酉11月	1通・切紙	せ116-57-3
野本力太郎金銭受取証文[覚](年貢過上金につき) 野本力太郎→助水井市治殿・佐藤伊与之進殿・片岡弘人殿	文久元年酉11月	1通・切紙	せ116-57-4
細田久作金銭受取証文[覚](年貢過上金につき) 細田久作→水井市治殿・佐藤伊与之進殿・片岡弘人殿	文久元年酉12月	1通・切紙	せ116-57-5
某用状(郡方用紙代金受取額伺につき)	(文政3年3月)	1通・横切継紙	せ116-58

某内々伺書(智光院品々入料中借願につき)		1通・切紙	せ116-59
某用状[覚](印書受取願につき)		1通・横切継紙	せ116-60
用度属伺書(端裏書)[去午十二月中岩野村其外え臨時御賄代御下ヶ之義再伺] 用度属→	6月2日	1通・横切継紙	せ116-61
嘉兵衛達[覚](御下ヶ金勘定並びに取計につき) 嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	8月4日	1通・横切継紙	せ116-62
御普請方市右衛門助小林五十吉金銭受取証文請[覚](入料金30両につき) 御普請方市右衛門助小林五十吉→海限辰男殿	午2月晦日	1通・横切継紙	せ116-63
月岡善平書状(真田幸民京都より帰藩の諸費用報告等につき) (月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月4日	1通・横切継紙	せ116-64
某差引勘定帳(7月31日～2月2日品々入料金御下ヶ金につき)		1通・横切継紙	せ116-65
御収納郡方申上書(端裏書)[御判物村人等片道分御切御賄之儀付申上]	12月	1通・横切継紙	せ116-66
力他一名伺書[覚](御内用ラッパ執行のためカビタン招請の入用金内借願につき) カ・(飯島)與作→端虫損あり	5月5日	1通・横切継紙	せ116-67
出納掛申上書并下ヶ札(端裏書)[諸向御払金之義二付申上](諸向払金不足のため東京より到来の金札と製造金手形引替の件伺につき) 出納掛→	(明治2年)巳12月	1通・横切継紙	せ116-68
岡村用状[記](酒代等代金勘定につき) 岡村→国田様	卯正月	1通・横切継紙	せ116-69
藤右衛門用状[覚](戸棚等代金勘定につき) 藤右衛門→上	巳3月	1通・切紙	せ116-70
用度属申上書[覚](御台所入料払残分勘定につき) 用度属→	12月	1通・横切継紙	せ116-71
御買物役伺書(端裏書)[御下金之義伺](舞鶴山御両宮臨時御祭礼等入料金につき) 御買物役→	閏10月	1通・切紙	せ116-72
(旭屋惣左衛門御下ヶ金支払関係書類綴)			せ116-73
水野清右衛門金銭受取証文[覚](御用達上納者へ桃燈下賜のため旭屋惣左衛門への下ヶ金につき) 水野清右衛門→	明治3年午12月	1通・横切紙	せ116-73-1
旭屋惣左衛門申上書[覚](桃燈等代等勘定につき) 旭屋惣左衛門→御金掛様御役所	(明治3年)午12月	1通・横切継紙	せ116-73-2
某用状(洗紙代等勘定につき)		1通・横切継紙	せ116-74
駒村佐十郎書状(近習方借入荷物賃銭過払のため割戻につき) 駒村佐十郎→平野玄祐様	24日	1通・横切継紙	せ116-75
笹屋平治郎金銭受取証文[覚](毛朱馬代金につき) 笹屋平治郎→馬場様	2月23日	1通・横切紙	せ116-76
某用状(丑3月8日より4月17日まで入料金差引勘定につき)		1通・切紙	せ116-77
計政副主事伺書(端裏書)[矢代村安兵衛為替金御金払之儀伺](東京より金銭到着まで贋具金台分にて繰替につき) 計政副主事→	12月	1通・横切継紙	せ116-78
某伺書(矢代村安兵衛為替金等御下ヶ金余分製造御手形にて繰替願につき)	9月	1通・横切継紙	せ116-79
(借入金並びに引替金等諸品諸書類綴)			せ116-80

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

某伺書(端裏書)[銀台式万金御金出之義二付伺]		1通・横切継紙	せ116-80-1
鎌原伊野右衛門伺書(五一郎助の件等大五之丞へ送付の手紙につき) 鎌原伊野右衛門→岡野弥左衛門殿	5月27日	1通・横切継紙	せ116-80-2
某用状(端裏書)[式分金取調申上] 下ケ札あり		1通・横切継紙	せ116-80-3
某申上書(端裏書)[水内郡今井村堀割人足積直之義被下申上](千曲川曲流の場所堀割人足下ケ金につき)	8月	1通・横切継紙	せ116-80-4
計政副主事申上書(端裏書)[志垣村岡本広太麻買増代金御中借之儀二而之錢相済分申上] 計政副主事→		1通・横切継紙	せ116-80-5
某申上書(端裏書)[東京え御差立宿継御用钱之儀付申上]	10月	1通・横切継紙	せ116-80-6
計政副主事申上書(端裏書)[宮下有常飯米差支歎願之義二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-7
某伺書(端裏書)[全国錢札他藩縣之分取集之義伺]	8月	1通・横切継紙	せ116-80-8
武庫司事添伺貼紙綴(山浦四郎中借金官札引換并藩中拝借代金払底の件伺につき) 武庫司事→	7月13日	1通・切紙	せ116-80-9
某申上書(御挨拶頂戴の望なき旨につき)		1通・切紙	せ116-80-10
某用状(村上莫俊金銭受取証文を片岡十郎兵衛持参につき)		1通・横切継紙	せ116-80-11
計政副主事申上書(端裏書)[金手形引替之儀二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-12
計政副主事申上書(端裏書)[東京表へ正金御上納之儀二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-13
計政副主事申上書(端裏書)[新御殿守役金手形引替之義二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-14
某申上書(端裏書)[矢代村安兵衛え為替金御下ケ之義二付申上]	9月	1通・横切継紙	せ116-80-15
計政副主事用状(別紙伺営膳司へ申渡につき)		1通・切紙	せ116-80-16
某用状(卯年米代金書出につき)		1通・切紙	せ116-80-17
岡野敬一郎用状(京都御用金出金願につき) (岡野)敬一郎→(岸)善八様	7月4日	1通・横切継紙	せ116-80-18
丸山龍藏内々申上書(端裏書)[矢代宿助郷之義二付御内々申上] (丸山)龍藏→	2月	1通・横切継紙	せ116-80-19
斎藤新藏他一名伺書(家中難渋のため融通講組織のため廻村役任命願につき) 斎藤新藏・馬場広人→	4月	1通・横切継紙	せ116-80-20
(書記内々申上書包紙) せ116-80-22の包紙		1点・包紙	せ116-80-21
書記内々申上書(御賞筋下賜願につき) 書記→	12月	1通・横切継紙	せ116-80-22
山越右馬允用状(貴書三丸へ回覧についての御礼申上る旨につき) 山越右馬允→宮下孫兵衛様	3月29日	1通・切紙	せ116-80-23
御勝手元々伺書(端裏書)[御内慮伺](御支配所修験内献金願につき) 御勝手元々→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-24
某用状(端裏書)[御奥女中久妊身御用意物之義申上]	11月	1通・横切継紙	せ116-80-25
原田亀尾申上書写(書面の金高御下げ願につき) 原田亀尾→竹内新七様 せ116-80-1とせ116-80-2の間に挿入	8月	1通・横切継紙	せ116-81

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

計政方申上書(端裏書)[菊屋佐助等御下ケ金之義付申上] 計政方→ せ116-80-1とせ116-80-2の間に挿入 (御勘定吟味方坂本五一郎書状綴)	11月	1通・横切継紙	せ116-82
坂本五一郎書状(大坂為替金並びに御金藏御郡代等御借入につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	12月24日	1通・横切継紙	せ116-83-1
坂本五一郎書状(入用金並びに借入金詳細取調につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	辰	1通・横切継紙	せ116-83-2
坂本五一郎書状(大坂御借入金証文御下げ願につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	正月19日	1通・横切継紙	せ116-83-3
坂本五一郎書状(御普請入用玄米買上等につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	正月17日	1通・横切継紙	せ116-83-4
坂本五一郎書状(借入金200両返金願等につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助・(高野)覚之進	2月5日	1通・横切継紙	せ116-83-5
坂本五一郎書状(此表にて高利借入の件伺等につき) (坂本)五一郎→(高野)重之進	2月29日	1通・横切継紙	せ116-83-6
坂本五一郎書状(此表にて借入の指示承知并利足の上限伺等につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助・(高野)覚之進	正月29日	1通・横切継紙	せ116-83-7
中澤保孝用状[記](瓶子壺対代金1円37銭5厘矢野清智へ渡につき) 中澤保孝→佐藤則善殿	(明治)9年7月	1通・横切継紙	せ116-84

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

勘定所・計政局

某用状(横山札役幸左衛門諸役御免20石分等内訳書上につき)		1通・横切継紙	せ5
御勝手元へ申上書(依田又兵衛免代の儀問合わせにつき) 御勝手元へ→	9月12日	1通・切紙	せ6
(宮下左伝治内水絵図面並びに真田志摩守伺済の旨端裏書)	(文化8年8月25日)	1点・豎紙	せ7
御守役鹿野茂手木他四名返書(藩主並びに若君の様子につき) (鹿野)茂手木・(竹内)晋平・(谷口)弥右衛門他1名→(宮下)鎌大夫様・源大夫様・(磯田)音門様他1名	正月19日	1通・横切継紙	せ8
某用状(村方武具拝借請書留書) 前欠 (社倉方関係書類綴)	11月22日	1通・横切継紙	せ9
某用状(社倉方運用米取調べにつき)		1通・横切継紙	せ10
某用状(戌年社倉方運用米取り調べにつき)		1通・横切継紙	せ10-1
某用状(社倉方運用米取調べにつき)		1通・切紙	せ10-2
某用状(社倉方運用米取調べにつき)	亥8月12日	1通・横切継紙	せ10-3
社倉懸申上書[覚](加賀井村・水内村貸借初代金書上げにつき) 社倉掛→	9月	1通・横切継紙	せ10-4
某用状[覚](貸借初代金書上につき)		1通・横切継紙	せ10-5
融通方御元用状(蔵入分粉量書上につき) 融通方御元→	亥10月	1通・横切継紙	せ10-6

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

(金銭勘定関係書類綴 7月18日～7月21日) 紙縫一括			せ11
(金銭取調帳)	7月18日	1冊・横長半	せ11-1
(金銭取調帳)	7月19日	1冊・横長半	せ11-2
某用状(初懸への支払金等勘定につき)	7月19日	1通・横切継紙	せ11-3
某用状(受取金金額勘定につき)	7月21日	1通・切紙	せ11-4
某用状(初方等への支給金金額勘定につき)	7月21日	1通・横切継紙	せ11-5
某用状(初懸への支給金金額勘定につき)	7月22日	1通・切紙	せ11-6
某用状(道橋等への支給金金額勘定につき)	7月23日	1通・切紙	せ11-7
某用状[七月廿四日調](金銭勘定につき)	7月24日	1通・切紙	せ11-8
(亥年分元方諸経費取調書類綴) 紙縫一括			せ12
某用状(亥年社倉元金覚につき)		1通・切紙	せ12-1
[亥御元](御側金等等臨時金勘定書)		1冊・横長半	せ12-2
[亥御元金調](御側金等諸費書出につき)		1冊・横長半	せ12-3
某用状(御内用繰廻亥御元等諸費受取につき)		1通・横折紙	せ12-4
(課業金並びに当用金等元利取調帳) 拝借掛→	亥2月	1冊・横長半	せ12-5
拝借懸上納金勘定書[酉年分戊正月より上納辻](当用金・伊藤口金並びに課業金等につき)	亥3月	1通・横切継紙	せ12-6
竹内多吉用状[覚](戊正月～12月分内借金並びに当用金三納辻勘定書)(竹内)多吉→		1通・横切紙	せ12-7
某用状(御前様賄料繰廻金並びに返済引当金等勘定書)		1通・横切紙	せ12-8
某用状(出格御趣意家中拝借意御元等諸費取調書)下ヶ札付		1通・切紙	せ12-9
某用状[覚](非常困亥等の元金取調書)		1通・横切継紙	せ12-10
某当用金勘定書(亥年分当用貸出元金等取調書)		1通・横切継紙	せ12-11
堀内用状(八田慎蔵御切米代・八田喜兵衛御扶持亥年分の元金取調書)		1通・切紙	せ12-12
某用状[覚](御勘定書之口等亥年分亥年分元金へ繰入金取調につき)		1通・横切継紙	せ12-13
某用状[覚](評議役之口等亥年分元金取調書)		1通・切紙	せ12-14
某用状(融通金御繰廻亥年分元金へ繰入分元金取調書)	正月	1通・切紙	せ12-15
(計政二等算計司関係書類一括 宝暦7年～明治3年)巻込一括			せ13
興津権右衛門金銭受取証文[覚](側金繰廻し礼金10両につき) 興津権右衛門→佐藤為之進殿	明治2年巳口	1通・縦紙	せ13-2
宮原有三畏玄米受取証文(無宿入牢人共賄米8斗7升定番へ支給につき) 宮原有三畏→春山喜平治殿・入弥左衛門殿・田澤廉助殿他1名	明治4年壬申7月	1通・縦紙	せ13-3
松本賢吾金銭受取証文[覚](真晴院様賞典72両余につき) 松本賢吾→入弥左衛門殿・駒村佐十郎殿	明治3年午9月	1通・縦紙	せ13-4
馬場弥三郎金銭受取証文[覚](貞松院様賞典72両余につき) 馬場弥三郎→岡野敬一郎殿・岸善八殿	明治3年午9月	1通・縦紙	せ13-5

宮入慎七郎金銭受取証文〔覚〕(家禄24兩表払につき) 宮入慎七郎→入弥左衛門殿・春山喜平治殿・野中直之助殿他1名	明治3年午9月	1通・縦紙	せ13-6
大野健左衛門内願書〔乍恐以書付御内々奉願候〕(伊勢町河内屋民之助弟栄十郎小作継続につき) 大野健左衛門→	亥12月	1通・横切継紙	せ14
善光寺町宿中町嘉十郎願書〔乍恐以書付奉願候〕(拝借粉代金日限取極上納につき) 善光寺町宿中町嘉十郎→水井忠蔵様・春日儀左衛門様・野中八兵衛様	天保5年午2月2日	1通・縦継紙	せ15
某用状(弥左衛門抱屋敷普請代金未上納につき)	3月	1通・横切継紙	せ16
(課業銭並びに別段内預り金等勘定帳)		1冊・横長半	せ17
宮入慎七郎金銭受取証文〔覚〕(殿様番9年分手割金120両につき) 宮入慎七郎→入弥左衛門殿・春山喜平治殿・野中直之助殿他1名	明治3年午9月	1通・縦紙	せ18
某書状(西条村表組用水分水口手入につき) 虫損あり、下ケ札付	5月29日	1通・横切継紙	せ19
某用状(内預け金・為替金等5筆分金銭勘定につき)		1通・横切継紙	せ20
(町川田村川水破積切につき笈設置代金寄帳)		1冊・縦半	せ21
仮屋英助用状〔覚〕(松本様より進献の袴地代料につき) 仮屋英助→表御納戸御役所 付札あり	辰12月	1通・切紙	せ22
(南部坂御屋敷御奥関係書類一括) 紙縫一括			せ23
(紙縫)		1点・紙縫	せ23-1
御勘定吟味申上書(端裏書)〔南部坂御屋敷御奥御殿并御門御長屋御普請金凡申上〕 下ケ札あり	未8月	1通・横切継紙	せ23-2
岡嶋亦蔵他一名申上書(端裏書)〔南部坂御奥御門御入料金之儀付申上〕(御入料金問合わせ別紙添え返答につき) 岡嶋亦蔵・金児丈助→ 下ケ札あり	8月	1通・横切継紙	せ23-3
御勘定吟味申上書(別紙御入料取調増金等取決めに つき) 御勘定吟味→	8月4日	1通・横切継紙	せ23-4
御勘定吟味申上書(端裏書)〔南部坂御廣式上番御徒士御目録被下之義申上〕(徒士交代につき) 御勘定吟味→	11月	1通・横切継紙	せ23-5
御勘定吟味返答書(端裏書)〔南部坂御廣式上番御手当之儀申上〕 御勘定吟味→	11月	1通・横切紙	せ23-6
小山田采女用状(御勘定吟味取調普請入料につき) (小山田)采女→(矢沢)監物様	8月21日	1通・横切継紙	せ23-7
御徒目付伺書(嶋田兵助他1名南部坂御廣式上番人少のため勤仕継続願につき) 御徒目付→	4月	1通・横切継紙	せ23-8
拓植嘉兵衛口上書〔覚〕(長巻請鎗修復のため拝借願につき) 拓植嘉兵衛→岸太五之丞様・山崎貫兵衛様 虫損あり、包紙入	丑12月	1通・横切継紙	せ24
木町貞蔵申上書〔乍恐以口上書御届ヶ申上候〕(玄米・白米・粳御売払の件につき) 木町貞蔵→御奉行所 虫損あり	午6月口	1通・横切継紙	せ25
某内々申上書〔口上申上〕(市郎治諏訪部家冥加御用達金上納取調の件につき)		1通・横切継紙	せ26
(諸書類一括) 紙縫一括			せ27
某用状(川々船付物入のため借入金引当等につき)	5月24日	1通・横切継紙	せ27-1

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

某用状(在城・在府中月々江戸御金出別帳と照合につき) 裏に貼紙にて何書追加		1通・切紙	せ27-2
(諸書類一括 天保6年～明治12年) 包紙一括			せ28
[大御前様御絵御ふくさ](包紙) せ28を一括、旧史料館紐にて縛る		1点・包紙	せ28-1
(石山寺什物関係書類一括) 包紙一括			せ28-2
[石山寺什物紫式部所持之硯写](包紙)		1点・包紙	せ28-2-1
某用状[石山寺什物紫式部所持之硯写](什物模写図)		1通・竪紙	せ28-2-2
某用状[百葛遍知恩寺什物](什物模写図)		1通・竪紙	せ28-2-3
(栞)		1点・栞	せ28-2-4
[扶桑拾葉集抜書俊成卿九十賀記]		1冊・竪半	せ28-3
(入牢者賄方取調帳) 東寺尾村元御牢取締役須田孫六→元松代廳御役所	明治5年壬申10月	1冊・横長半	せ28-4
(野本力太郎方不足本口取調帳)「仕立倉田三之助」とあり		1冊・横長半	せ28-5
[御禮順](諸職御礼順書)	(明治4年)辛未5月	1冊・横長半	せ28-6
(一人別毎金銭並びに米数書付帳)		1冊・横長半	せ28-7
赤沢蘭溪申上書(9月中改名、任免、賞典申渡留) (赤澤)蘭溪→-	9月晦日	1冊・横長半	せ28-8
(御中元贈答品日記)		1冊・横長半	せ28-9
(臨時入用関係書類一括) 紐一括			せ28-10
(紐)		1点・紐	せ28-10-1
(天保7年より安政2年まで御普請等品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-2
(天保7年より天保11年まで殿様・若様品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-3
(弘化2年より嘉永2年まで殿様・若様品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-4
(安政2年より安政6年まで品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-5
(銭両替・入金・出金御改書出帳)	酉12月	1冊・横長半	せ28-11
(丑年寺院等への合力初高勘定帳)	丑	1冊・横長半	せ28-12
(亥年より辰年まで武具等御修復入用勘定帳)		1冊・横長半	せ28-13
(武具修理・買上等代金書出帳)		1冊・横長半	せ28-14
[御当用](当用金収支勘定帳)		1冊・横長半	せ28-15
(表御門等御入用金銭受取証文写並びに御賞筋記録)		1冊・竪半	せ28-16
(嘉永元年～嘉永4年当用・武器・馬方等諸口支払日記)		1冊・横長半	せ28-17
[子正月より七月迄受払寄出](初支給・郡代役所への返金・深川屋敷手段金・中借金等差引残金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-18
(下小島田村喜惣治牧島村清十郎より地所引戻一件留) 封筒挿入	天保6年	1冊・竪半	せ28-19

(明和2年～寛政11年村々御手当詮議掛・水帳調掛並びに増減帳懸等諸役向増減人別書出帳) 御勘定吟味→ 旧史料館ラベル付		1冊・横長半	せ28-20
望月主水用状并勘定吟味勘返状(大名貸不行届についての宮下兵馬大阪よりの書状回覧願につき) (望月)主水→(竹内)金左衛門様 旧史料館ラベル付	12月8日	1冊・横長半	せ28-21
(御上屋敷奥向御出入人別書出帳)		1冊・横長半	せ28-22
(貸借金関係書類綴)			せ28-23
岡本廣太願書[乍恐以書付奉歎願候](村方困窮人救済のため別紙書出の御用達金返却につき) 志垣村岡本廣太→計政出納御掛り御役所	明治3年午6月	1通・豎半	せ28-23-1
岡本廣太申上書[覚](御用達金書き出しにつき) 志垣村岡本廣太→計政出納御掛り御役所	明治3年末6月	1通・豎半	せ28-23-2
(使丁昇給願書等関係書類綴) 下ケ札あり、罫紙使用	(明治)12年6月	1冊・豎半	せ28-24
(残錢幣通用停止通告関係書類留並びに伊奈県印鑑回覧願綴) 伊那県→	(明治3年正月)	1冊・豎半	せ28-25
(磯田小藤太病気のため附助分御月割金預覚・御中貸覚)		1冊・横半半	せ28-26
[祢津綾之介上納之覚](文政13年3月～弘化元年12月上納金につき)	弘化元年12月	1冊・横半半	せ28-27
(川欠地村別反別取調帳)		1通・豎半	せ28-28
(宝暦6年～9年諸事触達留)		1通・豎半	せ28-29
(権大参事大熊衛士日記表紙) 虫損あり、表紙のみ	明治2年巳	1通・豎紙	せ28-30
(寺内孫之進御勘定帳表紙) 虫損あり、表紙のみ		1通・切紙	せ28-31
(上納証綴 明治4年10月～11月)			せ28-32
矢野唯見上納証[覚](佐野八丁御林立木御払冥加金50両につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末10月	1通・豎紙	せ28-32-1
宮入半之丞他一名上納証[覚](白鳥大明神縣祭神職5人へ御目録下賜の内返上分につき) 宮入半之丞・阪西廣見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-2
矢野唯見上納証[覚](破牢人召捕方入料中借金返上につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-3
矢野唯見上納証[覚](山田御林立木御払冥加金20両につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-4
齋藤善九郎上納証[覚](学校構内桐立木御払代金2分につき) 齋藤善九郎→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-5
倉島清弥上納証[覚](東京よりの御用状添賃残金につき) 倉島清弥→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-6
宮入半之丞他一名上納証[覚](招魂祭・天長節御入料の内中借金につき) 宮入半之丞・阪西廣見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未11月	1通・豎紙	せ28-32-7
(上納証綴 明治4年9月)			せ28-33
矢野唯見上納証[覚](上平村地附山立木・若宮御林御下ヶ山冥加金につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月19日	1通・豎紙	せ28-33-1

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

佐藤伊与之進上納証[覚](杵野御林伐木御払代金の内金65両3分につき) 佐藤伊与之進→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・豎紙	せ28-33-2
矢野唯見上納証[覚](小網・山田・佐野御林立木御払冥加金につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月19日	1通・豎紙	せ28-33-3
富永新平上納証[覚](当月3日借分返却につき) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月8日	1通・豎紙	せ28-33-4
小林惣兵衛上納証[覚](東京表宿継御用状添賃銭残分につき) 小林惣兵衛→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・豎紙	せ28-33-5
(上納金関係書類綴 明治4年3月～5月)			せ28-34
北澤冠岳上納証[覚](長局払代金につき) 北澤冠岳→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎紙	せ28-34-1
[諸上納金銭差出通] 会計方諸事掛→	(明治4年)辛未3月	1通・豎半	せ28-34-2
太田藤右衛門上納証[覚](御預所御雇足輕扶持方代金につき) 太田藤右衛門／(奥印)三澤清美／(奥印)玉井浅之進→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-3
[定例玄米差出帳](湯田中村難渋人別への施行米代金20両) 春日栄作→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-4
相沢宇忠治上納証[覚](去巳年貸借初代金につき) 御城内元々相沢宇忠治／(奥印)森木一二三／(奥印)鈴木富治→谷口大角殿・中嶋渡浪殿・池田富之進殿他1名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-5
相沢宇忠治上納証[覚](去年年貸借初代金につき) 御城内元々相沢宇忠治／(奥印)前嶋有年／(奥印)田澤廣初→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-6
[金銭諸上納差出帳](郡岐初代金為替切手11通並びに広土方初代金藩札22両等) 民事掛算師→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-7
[金銭上納差出通帳](須坂町数新七より借入金預金等) 会計掛→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-8
草間一路上納証[覚](戸隠神領上野村等夫喰拝借金の内司金方へ上納につき) 草間一路→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎紙	せ28-34-9
[越後御買上米請[]](買上米数量書出につき)(御勘定方)鈴木[](富治)・水野清[](右衛門)・竹内[]他1名→田中増治殿 表紙破損、旧史料館ラベル付	慶応3年卯3月	1冊・横半半	せ28-35
(奥行列帳並びに順操院殿行列人足取調書) 貼紙に行列人足を書出		1冊・横長半	せ28-36
某達書(法事焼香として宝琳院並び貞松院より一金進物につき) 帳面断簡か		1通・豎紙	せ28-37
(正月8日～正月12日年頭御礼次第) 前後欠か		1通・豎半	せ28-38
(江戸城御門番勤方次第書) 詰合前沢助之進・原織部・岩崎四兵衛他1名→ 表紙・裏表紙虫損大	文政6年癸未9月	1通・豎半	せ28-39
(決算関係書類一括) 紙縫一括			せ28-40
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-40-1
[四月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→		1冊・横長半	せ28-40-2

[閏四月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→-		1冊・横長半	せ28-40-3
[五月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→-		1冊・横長半	せ28-40-4
[四月中](御納戸請払勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-5
[三月残金](収納方・余慶方・払方・勘定元 ^ㄆ 等請払勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-6
(辰年諸払・借入金並びに内預勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-7
(4月並びに閏4月諸向入用金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-8
(嘉永元年～嘉永5年帳元差引記録帳)		1冊・横長半	せ28-41
(幕末期御馬関係諸入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-42
(賈金の件願書並びに飯米の件上納書等諸品留書)		1冊・横半半	せ28-43
(元治～明治期借入金返済状況取調帳) 下ケ札多数		1冊・豎半	せ28-44
(弘化3年銅山師惣兵衛 石吹立諸入用金並びに嘉永3年～嘉永4年銀座御前借金拝借人別記録帳)		1冊・豎半	せ28-45
(諸書類一括) 巻込一括			せ28-46
(戊辰戦争関係諸人足給金並びに村方賄代内訳勘定帳) 罫紙		1冊・豎半	せ28-46-1
(穀問屋松井孫兵衛関係書類綴)			せ28-46-2
松井孫兵衛金銭受取証文[覚](金5両につき)(松代中町穀問屋)松井(孫兵衛)→-	(嘉永2年)西9月9日	1通・切紙	せ28-46-2-1
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](白米・大豆代金8両につき)(松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西10月7日	1通・切紙	せ28-46-2-2
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](米代金13両につき)(松代中町松井)穀問屋孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西12月9日	1通・切紙	せ28-46-2-3
穀問屋松井孫兵衛受取証文[覚](白米代金12両につき)(松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西12月10日	1通・切紙	せ28-46-2-4
穀問屋松井孫兵衛受取証文[覚](代金3両1分銀6匁1分4厘につき)(松代中町穀問屋松井)孫兵衛→銀銅山御会所御役人衆中	(嘉永3年)戊2月8日	1通・切紙	せ28-46-2-5
穀問屋松井孫兵衛他一名拝借証文[御借用申金子之事](金100両につき) 中町穀問屋(松井)孫兵衛・受人弥五郎→銀銅山御掛り御役所	嘉永3年戊4月	1通・豎紙	せ28-46-2-6
穀問屋松井孫兵衛用状[覚](金20両につき)(松代中町)松井(孫兵衛)→-	(嘉永3年)戊7月8日	1通・切紙	せ28-46-2-7
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](金28両につき)(松代中町)松井孫兵衛→野仲喜左衛門様 せ28-46-2-8-3に貼り付け	(嘉永3年)戊10月20日	1通・切紙	せ28-46-2-8-1
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文(拝借金100両のうち50両請取につき)(松代中町)穀問屋孫兵衛→銀銅山御掛り→野中喜左衛門様 せ28-46-2-8-3に貼り付け	(嘉永3年)戊9月21日	1通・豎紙	せ28-46-2-8-2
穀問屋松井孫兵衛他一名借用証文[御借用申金子之事](金100両につき)(松代)中町穀問屋孫兵衛・請人弥五郎→野中喜左衛門様・関田慶左衛門様	嘉永3年戊9月	1通・豎紙	せ28-46-2-8-3

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

穀問屋孫兵衛他一名借用証文〔御借用申金子之事〕 (金100両につき) (松代)中町穀問屋孫兵衛・請人弥五郎→銀山御懸り関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永)3年戌11月	1通・竪紙	せ28-46-2-9
穀問屋松井孫兵衛金銭拝借証文〔覚〕(15両につき) (松代中町穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様	(嘉永4年)亥3月朔日	1通・横切継紙	せ28-46-2-10
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔覚〕(30両につき) (松代中町穀問屋)松井孫兵衛→野仲喜左衛門様	嘉永4年3月18日	1通・切紙	せ28-46-2-11
穀問屋松井孫兵衛他一名金銭受取証文〔覚〕(30両につき) (松代中町)穀問屋孫兵衛・代重郎治→野仲喜左衛門様	(嘉永4年)亥5月17日	1通・切紙	せ28-46-2-12
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(穀代金10両につき) (松代)中町穀問屋孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永4年辛亥12月12日	1通・切紙	せ28-46-2-13
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔御借用金証文之事〕 (商売仕入金差支のため金15両借用につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野仲喜左衛門様	嘉永4年亥12月26日	1通・切紙	せ28-46-2-14
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔御借用金証之事〕 (商売仕入金差支のため金15両借用につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野仲喜左衛門様	嘉永5年子正月	1通・竪紙	せ28-46-2-15
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(穀代金18両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永5年壬子4月	1通・切紙	せ28-46-2-16
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代内金20両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子7月晦日	1通・切紙	せ28-46-2-17
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金10両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野中喜左衛門様・関田慶左衛門様	(嘉永5年)子8月26日	1通・切紙	せ28-46-2-18
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金7両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子9月	1通・切紙	せ28-46-2-19
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金5両につき) (松代中町穀問屋)松井孫兵衛→御蔵関田慶左衛門様・野田(野中)喜左衛門様	(嘉永5年)子9月19日	1通・切紙	せ28-46-2-20
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金20両につき) (松代中町穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子9月22日	1通・切紙	せ28-46-2-21
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金5両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子11月朔	1通・切紙	せ28-46-2-22
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金10両につき) (松代中町穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子11月15日	1通・切紙	せ28-46-2-23
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金2両につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野中喜左衛門様	嘉永5年子12月15日	1通・切紙	せ28-46-2-24
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金22両2分につき) (松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永5年子12月28日	1通・竪紙	せ28-46-2-25
穀問屋松井孫兵衛用状〔覚〕(金銭請取記録につき) (松代中町穀問屋)松井(孫兵衛)→-		1通・横切継紙	せ28-46-2-26
新兵衛書状(拝借金取調明日夕刻迄に送付につき)	5月10日	1通・切紙	せ28-46-2-27

新兵衛→(酒井)市治様 某用状(拝借金取調雛形) (借入金返済関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) (田中九左衛門借入金並びに利息金返済記) (某借入金並びに利息金返済差引勘定帳) (菅鐵太郎借入金並びに利息金返済記) (明治元年より明治3年まで賜物受取記) (紙縫) せ28-49-2の紙縫 (臨時金関係受払勘定帳) (領内村々村名書上帳) (幕末期諸品勘定等関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) [来巳正月二月御入料凡積](藩主・貞松院・大殿様等 諸入料につき) (卯年検見取調帳) (戊辰戦争出兵人員並びに給金勘定帳) (上納金並びに入料金勘定帳) 下ケ札あり (入料金取調関係書類綴) [品々御入料一ヶ月分凡取調申上] 御武具方→ (7月より12月まで品々御下ケ金凡調帳) 初方懸→ 某伺書(関門設置出張人の手当並びに賄代書出につ き) 表納戸用状(3・4月分入用金書出につき)(表納戸)→ 御台所目付他一名申上書(3月～7月分入用金平均凡 調につき) 御台所目付・御買物役→ 元 ^ノ 用状[覚](御雇大工支給金並びに木材代金等書 出につき) 元 ^ノ → 某用状[覚](江戸入料品凡値段積につき) (巳年より午年まで内借金取調帳) (金銭勘定関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) (借金関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) 斎藤善蔵金銭受取証文[覚](ならや善兵衛より御借 金1千両御納戸御余計之方へ預金につき) 斎藤善 蔵→竹村金吾殿 斎藤友衛当座中借金受取証文[覚](500両につき) 斎藤友衛→斎藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2		1通・縦紙 1点・紙縫 1冊・縦帳 1冊・縦帳 1冊・縦帳 1冊・横長半 1点・紙縫 1冊・横長半 1冊・横長半 1点・紙縫 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1冊・横長半 1通・切紙 1通・横折紙 1通・切紙 1通・横切継紙 1通・横切継紙 1冊・横長半 1点・紙縫 1点・紙縫 1通・切紙 1通・横切継紙	せ28-46-2-28 せ28-47 せ28-47-1 せ28-47-2 せ28-47-3 せ28-47-4 せ28-48 せ28-49-1 せ28-49-2 せ28-50 せ28-51 せ28-51-1 せ28-51-2 せ28-51-3 せ28-51-4 せ28-51-5 せ28-51-6 せ28-51-6-1 せ28-51-6-2 せ28-51-6-3 せ28-51-6-4 せ28-51-6-5 せ28-51-6-6 せ28-51-6-7 せ28-52 せ28-53 せ28-53-1 せ28-53-2 せ28-53-2-1 せ28-53-2-2 せ28-53-2-3
---	--	---	---

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

名			
佐川又左衛門当座中借金受取証文[覚](500両御納戸御余計の方へ預金につき) 佐川又左衛門→磯田音門殿 端裏書あり	安政5年10月14日	1通・横切継紙	せ28-53-2-4
関山平治才覚金受取証文写并添伺貼紙[覚](500両御納戸御余計の方へ預金につき) 関山平治→高田幾太殿 端裏書あり	安政7年申2月21日	1通・切紙	せ28-53-2-5
某用状(中借金500両につき)	12月2日	1通・切紙	せ28-53-2-6
永野権三郎申上書并下ケ札(預金上納残金並びに郡代・借入金願の件了承願等につき) (永野)権三郎→御両君様	10月21日	1通・横切継紙	せ28-53-2-7
(嘉永3年12月より万延元年12月まで御借入金・返済金差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-53-3
(嘉永6年より安政3年まで御納戸当用へ才覚金預勘定帳並びに安政元年～同6年御勝手方元々当座御中金留書抜)		1冊・横長半	せ28-53-4
(上納金関係書類一括) 紙縫一括			せ28-53-5
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-53-5-1
[御借入金利足相渡元帳](中御所村・志川村他村々より借入分) 片桐(重之助)扣→	安政4年巳12月	1冊・横長半	せ28-53-5-2
(寅年から辰年御納戸方残金銭差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-53-5-3
(元方諸費受払勘定帳)(元方御金奉行)→		1冊・横長半	せ28-54
(元方諸費受払勘定帳)(元方御金奉行)→	7月	1冊・横長半	せ28-55
(宝暦10年村方御用達金上納人別帳)	宝暦10年辰	1冊・横長半	せ28-56
(拝借金関係書類一括) 紙縫一括			せ28-57
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-57-1
(御繰廻金並びに拝借金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-57-2
(文化14年より文政2年まで村方拝借金勘定帳)	文政5年午5月	1冊・横長半	せ28-57-3
(卯年より未年まで里上・山中・町方・長国寺等より上納金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-57-4
(領内村方拝借金取調帳) 拝借懸→	(文政5年)午8月	1冊・横長半	せ28-57-5
(金銭勘定関係書類一括) 紙縫一括			せ28-58
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-58-1
(内借等借入金と江戸・京都御用等諸入費の勘定帳並びに佐藤殿上京のため提出の旨添伺貼紙)	(慶応4年7月)	1冊・横長半	せ28-58-2
(7月～12月入用金凡積勘定取調帳並びに帳面使用の旨の指示貼紙) 表紙付箋「先不用」		1冊・横長半	せ28-58-3
[犀川・煤裾)花川除御入料]		1冊・横長半	せ28-58-4

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

勘定所・計政局

某申渡状(水道役付足輕勤仕の件につき) →水道役中裏打あり、虫損あり大	3月11日	1通・横切継紙	せ30
御徒士頭願書[口上覚](焰焔拝借につき) 御徒士頭→	12月	1通・切紙	せ31
某申上書(端裏書)[長巻并附属之品々御出来之義二付申上]		1通・横切継紙	せ32
某用状(端裏書)[九月九日御手許より御下ケ物送](武具類につき)	正月	1通・横切継紙	せ33
文聡院様御刀番勤仕置并下ケ札[覚](文聡院様御供御用御供相勤両組之者江御手元被下候義伺) 文聡院様御刀番勤仕置→		1通・切紙	せ34
御奥元 ^ベ 役伺書(端裏書)[御用紙御増之儀再伺](認物多くにつき) 御奥元 ^ベ 役→	2月	1通・横切紙	せ35
計政副主事申上書(端裏書)[犀川用水床上仕越御普請之儀二付申上](願書) 計政副主事→	正月	1通・横切継紙	せ36
計政方申上書(端裏書)[大病院御入料薬種代御払之儀申上] 計政方→	11月25日	1通・横切継紙	せ37
[御内々奉嘆願](包紙) 原田亀尾→		1点・包紙	せ38-1
原田亀尾申立書(端裏書)[去々々御下ケ金之儀申立書面写](学政局入料等立替分御下げ願につき) 原田亀尾→竹内新七様 虫損あり	(明治4年)辛未8月	1通・横切継紙	せ38-2
(小銃製造伺書類一括) 紙縫一括			せ39
(紙縫) せ39を一括		1点・紙縫	せ39-1
武庫庶務申上書并武庫司事添伺貼紙(端裏書)[長中新身筒八拾三艇御修復御入料之内御中借之儀申上](職人の製造に支障のため) 武庫庶務→ 端裏に付箋あり	午8月	1通・横切継紙	せ39-2
武庫庶務申上書并武庫司事添伺貼紙(端裏書)[去辰年合衆製御入料并大小院製御入料之内御中借之儀申上](製造者遠方のため難渋につき) 武庫庶務→		1通・横切継紙	せ39-3
武庫司事伺書(端裏書)[小銃修復出来二付御金払之義伺](指示願につき) 武庫司事→		1通・切紙	せ39-4
水道役通達(長国寺惣御牌等参詣につき) 水道役→裏打あり		1通・横切紙	せ40
銃工山口近蔵他三名申上書(シヤコ元込銃等入料につき) 銃工山口近蔵・御鉄物師杉田口吉・同村松新十郎他1名→御武庫方御役所	午閏10月	1通・横切紙	せ41
河原敬之進書状(御所警衛出精のため熨斗目一拝領のお札にき) 河原敬之進正方(花押)→鹿野茂衛様・祢津刑左衛門様	3月4日	1通・横折紙	せ42
[画幅買受証書](包紙) 柏谷東蔵→	(明治15年)10日	1点・包紙	せ43-1
柏谷東蔵画幅借用証文[記](画幅につき) 柏谷東蔵→荒川源吉様	(明治14年)巳旧11月21日	1通・横切紙	せ43-2

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

(鈴木安三郎内願書一括) 紙縫一括			せ44
(紙縫)			せ44-1
御勝手元 ^ペ 申上書(端裏書)[鈴木安三郎内願并義候 二付申上] 御勝手元 ^ペ 役→	11月	1点・紙縫	せ44-2
御勝手元 ^ペ 申上書(端裏書)[鈴木安三郎御在所御暇 内願之義二付] 御勝手元 ^ペ 役→	11月23日	1点・横切継紙	せ44-3
柘植彦六用状[覚](金200両預かりにつき) 柘植彦六 →高山口一郎殿	午正月	1通・切紙	せ45
矢野倉惣之進書状(掃除・減水の節内水止めにつき) 矢野倉惣之進→佐藤三九郎様・水野房五郎様 一部虫損あ り、奥裏書付あり	10月18日	1通・横切継紙	せ46
某用状(端裏書)[御借入金午利分并御返済金調] 裏打あり		1通・切紙	せ47
中嶋波之助申上書[覚](用立金100両返済願につき) 中嶋波之助 (端裏書)「去年十一月中御用立金之儀二付申 上」、下部虫損のため裏打ち済	(明治4年)辛未5月	1通・横切継紙	せ48
(借入金等取調関係一綴)		1通・横切継紙	せ49
御勝手元 ^ペ 伺書(端裏書)[矢澤右馬之助殿・依田又兵 衛・小山今右衛門京地擾乱等之節御手充之儀付伺] 御勝手元 ^ペ →	4月22日	1通・横切継紙	せ49- 1
御收納郡方伺書(端裏書)[御扶持方之内今年限代金 渡方之儀伺] 御收納郡方→	6月24日	1通・横切継紙	せ49- 2
御勝手元 ^ペ 申上書(端裏書)[組外之者江戸詰御切米 相場之儀付申上] 御勝手元 ^ペ →	3月19日	1通・横切継紙	せ49- 3
御勝手元 ^ペ 伺書(端裏書)[組外之者江戸詰御切米代 御手充之儀伺](米相場高騰のため増額の件につ き) 御勝手元 ^ペ → 後半部に本文訂正の貼紙あり	3月8日	1通・横切継紙	せ49- 4
御收納郡方伺書(端裏書)[南角玄修去詰高被下之儀 二付伺](江戸長詰のため) 御收納郡方→	4月晦日	1通・切紙	せ49- 5
赤沢助之進用状(別紙伺いの通り了承につき) 赤沢 助之進→佐藤為之進殿	5月2日	1通・切紙	せ49- 6
御收納郡方伺書(端裏書)[御蔵奉行御手充伺](三井 清治他5名の手当につき) 御收納郡方→	12月	1通・切紙	せ49- 7
鎌原伊野右衛門用状(別紙伺いの通り了承につき) 鎌 原伊野右衛門→岡野弥右衛門殿 端裏部がせ49-7に付着	12月27日	1通・切紙	せ49- 8
枋方掛申上書(端裏書)[当掛詰所手狭之儀二付申上] (御用に支障のため詰所普請願につき) 枋方掛→	4月22日	1通・横切継紙	せ49- 9
御收納郡方伺書(端裏書)[枋方懸詰所之儀二付申上] (当役方手段金の内から普請取計につき) 御收納 郡方→	4月22日	1通・横切継紙	せ49-10
(枋方懸詰所図面)		1点・鋪	せ49-11
赤沢助之進用状(別紙伺いの通り了承につき) 赤沢 助之進→草間一路殿	4月29日	1通・横切継紙	せ49-12
(入用金関係書類綴)			せ50
某用状(礼金並びに年賦割金等金12万3582両内訳に つき)		1通・横切継紙	せ50-1
元 ^ペ 用状(納戸預かり分等1,957両内訳につき) 元 ^ペ		1通・切紙	せ50-2

元ペ用状(上ノ口御金並びに下ノ口御金書出につき) 元ペ	(安政6年)末7月22日	1通・横切紙	せ50-3
御金懸用状[御当用](金3万1780両内訳につき) 御金懸→ 後半部に貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-4
御金懸用状[御繰廻](金3万6028両内訳につき) 御金懸→ 前半部に貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-5
御内借懸用状(金3万6024両2歩内訳につき) 御内借掛→ 後半部に貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-6
某用状[覚](社倉方御当金分4060両1歩6匁7分3厘内訳につき)		1通・横切継紙	せ50-7
某用状[覚](拝借懸・取立懸当用金等内訳書出) 端と奥を綴じ		1通・横切継紙	せ50-8
野中喜左衛門用状(午12月晦日までの別段繰廻金書出につき)		1通・横切継紙	せ50-9
某用状(拝借銀子807両余書出につき)		1通・切紙	せ50-10
某用状[覚](課業金並びに拝借金等書出につき)		1通・横切継紙	せ50-11
某用状[秀姫様上納金等書出につき]		1通・横切継紙	せ50-12
某用状[覚](春日儀左衛門取調分借財引当向々へ支給分等書出につき)	安政6年末6月	1通・横切継紙	せ50-13
吉野用状[元金取計](貞女様御内用御引当金午年元金等書出につき)		1通・横折紙	せ50-14
某用状(御前様繰廻午年元金等書出につき) 貼紙あり		1通・切紙	せ50-15
野中喜左衛門用状[野中喜左衛門取計](貞松院様繰廻金等拝借金取調につき) 野中喜左衛門→		1冊・横長半	せ50-16
某用状(4月～9月の拝借金等につき) 朱書あり		1通・横折紙	せ50-17
(山里課業銭関係一綴)			せ50-18
某用状(当用金として借込分等2万両余内訳につき) 貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-18-1
某用状代官南沢甚之助支配分山里課業銭取調につき)		1通・横切継紙	せ50-18-2
某用状(野本力太郎方支配分山里課業銭書出につき)		1通・横切継紙	せ50-18-3
某用状(長岡富五郎支配分課業銭等取調につき) 後半部に別文書を貼継		1通・横切継紙	せ50-18-4
某用状(中嶋渡浪支配分山里課業銭取調につき)	申正月	1通・横折紙	せ50-18-5
某用状[嘉永元申年より同四亥年迄課業銭上納辻](細田久作支配分取調につき)		1通・横折紙	せ50-18-6
別段御趣意拝借懸用状[覚](貸出上納残金申年分元金等取調につき) 別段御趣意拝借懸→		1通・横折紙	せ50-19
某用状(野本力太郎支配分借入金等取調につき) 前半部に貼紙あり		1通・横切紙	せ50-20
某用状(借入金勘定につき)		1通・横切紙	せ50-21-1
南沢甚之介方用状(借入金勘定につき) 南沢甚之介→		1通・横切継紙	せ50-21-2
中島渡浪方用状[覚](巳並びに午年中上納金等書出)(中島)渡浪方→		1通・横切紙	せ50-21-3
細田久作方用状(巳年中・午年中上納金書出)(細田)		1通・横切紙	せ50-21-4

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

久作方→			
長岡富五郎申上書[覚](巳午兩年上納金等につき) 長岡富五郎→	正月	1通・横切継紙	せ50-21-5
(拝借懸関係一綴)			せ50-22
拝借懸用状(御当用御手当拝借金利息等書出につき) 拝借懸→		1通・横切継紙	せ50-22-1
拝借懸用状(家中手当金等借入金取調につき) 拝借 懸→		1通・横切紙	せ50-22-2
別段御内借懸用状[覚](借入金取調につき) 下ケ札 あり 別段御内借懸→		1通・切紙	せ50-22-3
某用状[御当用・御繰廻共御金掛手寄遣](納戸預かり 分等返済金書出につき) 横半帳の一部		1通・横折紙	せ50-23
某用状(金1万498両3歩14匁5分8厘内訳につき)		1通・横折紙	せ50-24
拝借懸用状(2帳御金5708両1歩4匁2分8厘内訳に つき) 拝借懸→		1通・横折紙	せ50-25
某用状(礼金並びに年賦割金上納分等3万9183両3歩 8匁6分2厘内訳につき)		1通・横切継紙	せ50-26
某用状[社倉金之分](金2898両6匁4分7厘内訳、御 礼金・年賦割金上納分等書出につき)		1通・切紙	せ50-27
某用状[天保六未年御手伝二付御借増取調 午年分当 二而凡積]	3月	1冊・豎半	せ51
御膳立丸山治三郎受取証文[覚](当月分雑用代448文 につき) 御膳立丸山治三郎→近藤権内殿 差出人名虫損 あり		1通・切紙	せ52
某用状[記](御家令旅費手当金24円57銭5厘等につき)		1通・横切継紙	せ53
某用状[覚](鶴治他2名への扶持につき) 下部虫損あり		1通・切紙	せ54
(犀川筋普請勘定関係書類綴)			せ55
藤井喜内伺書(端裏書)[犀川筋御普請金引訳之義伺] 藤井喜内→ 虫損あり	□	1通・切継紙	せ55-1
藤井喜内申上書(端裏書)[御内々申上](勘定取決願 につき) 藤井喜内→	2月	1通・切紙	せ55-2
某申上書(大塚村等8か村組合等去冬積金につき) 虫損あり	3月	1通・横切継紙	せ55-3
広土方伺書(端裏書)[川除御定金并御臨時金引訳之 伺](引訳御払金取決につき) 広土方→ 端裏虫損 あり	12月	1通・切継紙	せ55-4
某用状并勘定吟味指示書[申年御定金御元](未十月 犀川通村々積金高申年支払分183両2歩13匁8分 等につき)	12月	1通・横切継紙	せ55-5
某申上書[御内出之部](犀川筋洪水による臨時支出 につき) 虫損あり、下ケ札あり、端裏書「二」	12月	1通・横切継紙	せ55-6
某用状[記](御賞武庫方から受取につき)		1通・横切継紙	せ56
望月権之進申上書[覚](鉤御金箱他2筆受取につき) 望月権之進→三井九郎左衛門様・金兒惣左衛門様・三井善一 郎様他1名	7月11日	1通・横切継紙	せ57
小野善四郎書状(負債取調帳面送付願につき)(小野)善四郎	4月晦日	1通・横切継紙	せ58

→市治様・(駒村)佐十郎様→ 端裏書「壬申五月七日達 小野氏」			
腰村和十郎用状[覚](江戸表御上屋敷への上納為替金200両受取につき) 腰村和十郎→水野清右衛門様	9月15日	1通・堅切紙	せ59
大熊権大参事書状(御製造摺方ケット1枚中借分払切につき) 大熊権大参事→矢野倉謙一郎殿	11月5日	1通・横切紙	せ60
某用状(牧野良平江府へ早追御用の内借20両等につき)→牧野良平殿		1通・切紙	せ61
某書状(端裏書)[西京品々御入料御引当分不足](藩の手形不通用並びに借入金不能の件心配につき) 下ケ札あり、前半部折り目摩耗・端部分分離につき取り扱い注意	10月16日	1通・横切継紙	せ62
(納戸品々上納物受取証文一括) 袋一括			せ63
[安政六〇年 御納戸品々上納物請取証文](袋) 反故紙を利用		1点・袋	せ63-1
(封筒) 御飛脚宰領組俊蔵・同良作→上 せ63-3入		1点・封筒	せ63-2
御飛脚宰領組良作他一名中借金受取証文[御中借金証文之事](大坂表への道中往来仕切賄軽尻馬2匹賃銭並びに手当金1両1分につき) 御飛脚宰領組良作・同池田俊蔵→御金懸御役所 包紙も共に綴、包紙上書「上 御飛脚才領組池田俊蔵・同良作」	安政5年12月	1通・堅紙	せ63-3
御飛脚宰領組良作他一名中借金受取証文[御中借金証文之事](大坂表への片道道中手当金並びに仕切賄料軽尻馬賃銭5両につき) 御飛脚宰領組良作・同組池田俊蔵→竹(竹村)金吾様御役所	安政5年10月26日	1通・堅紙	せ63-4
西寺尾村藤左衛門受取証文[覚](御用達元金の内30両につき) 西寺尾村藤左衛門→高野寛之進様・片桐重之助様	嘉永5年12月	1通・横切継紙	せ63-5
春日儀左衛門他一名通用金引替手形[覚](750両通用金と交換につき) 春日儀左衛門・在府無印水井忠蔵→松代町和助 端と奥を綴じ	万延元年11月朔日	1通・堅紙	せ63-6
春日儀左衛門他一名通用金引替手[覚](500両通用金と交換につき) 春日儀左衛門・在府無印水井忠蔵→松代町和助 端と奥を綴じ	万延元年10月26日	1通・堅紙	せ63-7
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](御側別段繰廻御礼金20両につき) 宮下謙大夫→草間一路殿	文久2年12月	1通・堅継紙	せ63-8
[堺新田村上納金御納戸預証文](封筒) 池田良右衛門→		1点・封筒	せ63-9
菊池浪治受取証文[覚](小村唯蔵申立の境新田村初代金申年から亥年までの分13両2歩2朱8匁4分7厘につき) 菊池浪治→池田良右衛門殿 包紙共に綴じ、包紙上書「境新田村上納金御納戸内預証文 池田良右衛門」	嘉永6年3月4日	1通・堅紙	せ63-10
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](御手許御用鳥犀角代料5両2歩3朱につき) 宮下謙大夫→斎藤友衛殿	文久2年閏8月	1通・切紙	せ63-11
某振替預証文(須坂田中九八郎300両借入証文紛失につき)	辰11月27日	1通・切紙	せ63-12
伊藤源太郎金銭受取証文[覚](当亥年三人扶持18俵代金9両につき) 伊藤源太郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿・関田荘助殿	文久3年12月22日	1通・堅切紙	せ63-13
伊藤源太郎金銭受取証文[覚](当亥年利息下ケ金25両につき) 伊藤源太郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿・関田荘助殿	文久3年12月22日	1通・堅切紙	せ63-14
東江部村山田荘左衛門金銭受取証文[覚](御用達金	文久3年12月24日	1通・横切紙	せ63-15

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

当亥年分利子281両2歩2朱2匁5分につき) 東江部村山田荘左衛門→松代酒井市治様			
西村源藏受取証文[覚](大坂炭屋藤五郎為替金千94両1歩1匁5分5厘内預につき) 西村源藏→草間元司殿	安政3年12月23日	1通・堅切紙	せ63-16
紺屋町源兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願候](要用のため出府2900両につき) 紺屋町源兵衛・左助・兵藏→郡御奉行所		1通・横切継紙	せ63-17
斎藤善藏金銭受取証文[覚](嘉永元年6月囲金中借分返上の残金121両10匁につき) 斎藤善藏→高田幾太殿	安政7年2月6日	1通・横切継紙	せ63-18
(課業銭貸遣金受取証文綴 嘉永6年正月～3月)			せ63-19
佐川又左衛門受取証文[覚](課業銭内預分子年貸遣御礼金15両につき) 佐川又左衛門→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年正月16日	1通・切継紙	せ63-19-1
斎藤善藏受取証文[覚](課業銭貸遣御礼金3両2朱2匁5分5厘につき) 斎藤善藏→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年2月朔日	1通・切継紙	せ63-19-2
大嶋富作受取証文[覚](課業銭貸遣元金の内上納分3両2歩4匁5分9厘につき) 大嶋富作→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年2月朔日	1通・切紙	せ63-19-3
菊池浪治受取証文[覚](課業銭貸遣子年礼金の内上納分5両につき) 菊池浪治→岡嶋莊藏殿	嘉永6年3月23日	1通・切紙	せ63-19-4
片岡弘人金銭受取証文[覚](400両につき並びに納戸余慶方にて預かる旨) 片岡弘人→長谷川三郎兵衛殿	文久3年20月	1通・切紙	せ63-20
中島宇吉他一名金銭受取証文[覚](引替元金200両につき) 中島宇吉・佐竹周蔵→入久左衛門殿・野中喜左衛門殿	安政3年12月23日	1通・横切紙	せ63-21
片桐重之助金銭受取証文下書[覚](田中川開発・河原川除手段金繰廻金15両につき) 片桐重之助→館孝右衛門殿 宛所もう一名「鈴木藤太殿」抹消	嘉永5年正月	1通・堅紙	せ63-22
徳嵩恒吉受取証文[覚](去春中変災の出来米代金498両2歩6匁9分2厘につき) 徳嵩恒吉→竹村金吾殿・磯田音門殿	嘉永元年4月20日	1通・堅紙	せ63-23
館孝右衛門受取証文并巻上付札[覚](樹芸懸入料出来拝借金15両につき) 館孝右衛門→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永4年12日	1通・堅紙	せ63-24
徳嵩恒吉受取証文并巻上付札[覚](江戸表非常囲米代金600両預かりにつき) 徳嵩恒吉→磯田音門殿・竹村金吾殿	嘉永元年12月9日	1通・堅紙	せ63-25
小山田菅右衛門受取証文并巻上付札[覚](御手許非常囲金1,000両につき) 小山田菅右衛門→長谷川深美殿	嘉永5年5月	1通・堅紙	せ63-26
宮下兵馬用状[覚](高川泰順手寄才覚借入金500両送金につき) 宮下兵馬→岡嶋莊藏殿・竹村金吾殿	弘化2年12月	1通・堅紙	せ63-27
水井市治金銭受取証文[覚](差掛御用借金返上分100両につき) 水井市治→草間一路殿 端裏に貼紙あり	文久3年3月6日	1通・切継紙	せ63-28
片岡弘人受取証文[覚](当用貸出金11両3歩3匁5分につき) 片岡弘人→草間一路殿	文久3年2月	1通・切紙	せ63-29
水井市治金銭受取証文[覚](当用貸出金利息1両2歩2朱2匁5分につき) 水井市治→草間一路殿	文久3年3月4日	1通・切紙	せ63-30
綿内右門金銭受取証文[覚](山本要左衛門扶持代金2両3歩2朱583文につき) 綿内右門→斎藤友衛殿	文久2年閏8月	1通・堅紙	せ63-31
某用状[御元金貳千両之御利分](万延元年より文久2		1通・切紙	せ63-32

年まで利息合計600両につき)			
大熊謙太郎受取証文[覚](三村銀太郎母への内々拝借金15両につき) 大熊謙太郎→長谷川三郎兵衛殿	文久3年11月	1通・縦紙	せ63-33
某用状(3月26日中借等1,110両内訳等につき)		1通・横折紙	せ63-34
西村源兵衛金銭受取証文[覚](当亥年6月12日中借金返金50両につき) 西村源兵衛→斎藤友衛殿	文久3年10月3日	1通・切紙	せ63-35
上村何右衛門金銭受取証文[覚](当用貸出礼金2両2歩につき) 上村何右衛門→斎藤友衛殿	文久3年9月	1通・切紙	せ63-36
片岡弘人金銭受取証文[覚](当用貸出利息の内預け分34両2朱2匁5分につき) 片岡弘人→斎藤友衛殿	元治元年4月10日	1通・切継紙	せ63-37
草間一路他一名金銭受取証文[覚](囲金増上納分の内より中借金5千両につき) 草間一路・長谷川三郎兵衛→斎藤善蔵殿・水井一路殿・佐藤伊与之進殿他1名全文抹消	文久2年12月	1通・縦紙	せ63-38
斎藤善蔵金銭受取証文[覚](当亥年4月5日中借金返金分30両につき) 斎藤善蔵→長谷川三郎兵衛殿	文久3年7月17日	1通・切継紙	せ63-39
宮下兵馬送金証文[覚](加藤遠江守からの借入金1,000両につき) 宮下兵馬→竹村金吾殿・磯田音門殿	弘化4年4月	1通・縦紙	せ63-40
長谷川三郎兵衛送金証文[覚](古二朱金引替済分300両につき) 長谷川三郎兵衛→佐藤安喜殿・柘植嘉兵衛殿	文久3年4月22日	1通・切紙	せ63-41
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](申年から戌年までの繰廻礼金3年分600両につき) 宮下謙大夫→草間一路殿	文久2年12月	1通・切紙	せ63-42
西村源蔵金銭受取証文[覚](借入内預金200両正金引替につき) 西村源蔵→草間元司殿	安政3年12月29日	1通・切紙	せ63-43
駒村佐十郎金銭受取証文[覚](御用達金40両等につき) 駒村佐十郎→酒井市治殿・丸山保次殿・水野清右衛門殿	文久3年3月	1通・縦紙	せ63-44
高野寛之進他一名中借金受取証文[覚](狩野様への返金100両を中借金として受取につき) 高野寛之進・片桐重之助／(奥書)磯田音門→斎藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・金山平治殿他1名	安政5年10月11日	1通・切紙	せ63-45
高井三九郎金銭受取証文(為替金300両につき) 高井三九郎→片桐重之助様・高野寛之進様	嘉永2年12月22日	1通・切継紙	せ63-46
徳嵩恒古金銭受取証文[覚](605両8分4厘につき) 徳嵩恒古→竹村金吾殿・磯田音門殿	嘉永元年6月14日	1通・横切継紙	せ63-47
水井市治金銭受取証文[覚](当用貸出元金23両3朱7分5厘につき) 水井市治→草間一路殿	文久3年2月	1通・切紙	せ63-48
矢野倉謙兵衛受取証文[覚](当用貸出礼金3両1歩1朱1匁2分5厘につき) 矢野倉謙兵衛→草間一路殿	文久4年3月4日	1通・切紙	せ63-49
(真田幸貫乗出等関係江戸屋敷経費勘定書類綴)			せ64
某申上書并下ケ札(端裏書)[御普請金調](若殿御乗出のための江戸屋敷普請等につき) 端裏書「一」		1通・横切継紙	せ64-1
某申上書并付札・下ケ札(端裏書)[御普請金并御昇進御入料返上方差引調](中借金等入料と返済金の差引勘定につき並びに中借金にて取計等の旨) 端裏書「二」		1通・横切継紙	せ64-2
某申上書并付札・下ケ札[覚](御乗出のための江戸有金内々に取調につき) 端裏「三」		1通・横切継紙	せ64-3
某申上書并付札・下ケ札(端裏書)[御乗出御入料調]		1通・横切継紙	せ64-4

5 藩政／預所・財方／預所運用金中借

(不足金取調につき) 端裏「四」			
興津権右衛門他一名内々申上書[覚](江戸の有金のうち御殿普請金・昇進入料・細代金・江戸表御囲金等差引勘定につき) 興津権右衛門・岡嶋莊蔵→ 端裏書「御内々申上」		1通・横切継紙	せ64-5
興津権右衛門他一名申上書[覚](乗出に関わる江戸屋敷入費凡積取調につき) 興津権右衛門・岡嶋莊蔵→ 下ケ札あり		1通・横切継紙	せ64-6
出納懸書状(端裏書)[横浜谷屋善士郎御賞義御内々申上](矢代村安兵衛借入金の御用の褒美並びに横浜谷屋善士郎へ借入金につき) 出納懸→ 虫損あり	10月	1通・横切継紙	せ65
[被 仰渡御書付](袋) 反古紙使用、袋上部に紙縫あり		1点・袋	せ66-1
某書状(用水一件の取扱いにつき) 虫損甚大のため端裏書判読困難、せ66-1に巻込み一括	3月18日	1通・横切継紙	せ66-2
吉津恒五郎金銭受取証文[覚](戊午利息3ヶ月分3両2朱1匁5分につき) 吉津恒五郎→丸山安治様	文久2年4月3日	1通・切紙	せ67
(江戸廻証文留綴)			せ68
[海防臨時御出馬之節御供被仰付候向御手充金并横浜表御警衛被仰付候付遣役御手充金共証文留(並下ケ札)		1冊・横長半	せ68-1
某用状并下ケ札[海防臨時御出馬之節御供被仰付候向御手充金内半高被下残之分証文留](並下ケ札) 下ケ札脱落注意		1通・横折紙	せ68-2
宮本慎助他二名書状(4,000両為替江戸の片岡十兵衛へ支給願につき) 宮本慎助・宮沢兵治・宮本喜一郎→増田房平様・岡本加平様 虫損あり、前欠	9月22日	1通・横切継紙	せ69
[口上覚](包紙) 包紙上書「御承知二而下候」、虫損甚大		1点・包紙	せ70-1
佐藤三九郎他一名伺書[口上覚](外囲の用水路の場所手入につき) 佐藤三九郎・水野房五郎→	10月	1通・切紙	せ70-2
(包紙) (真田)志摩→	巳	1点・包紙	せ71-1
某用状(藩主御発途のため柘植嘉兵衛他8名明晩謁見につき) 札「御意 留守中入倉相勤候様」あり	(巳)	1通・横切継紙	せ71-2
御勘定吟味申上書(端裏書)[御用詰御足輕勤方之義付申上](足輕奉行の伺書へ付札にて回答につき) 御勘定吟味→	正月28日	1通・切紙	せ72
割番伺書并足輕奉行添伺貼紙(端裏書)[御用詰御足輕之内御在所勤仕居候者交代月二付御減方之儀伺] 割番→	正月	1通・横切継紙	せ73

5 藩政／預所・財方／預所運用金中借

勘定所・計政局

(拝借証文等金銭関係書類一括 慶応4年～明治2年) 巻込一括			せ1-10
窪田利左衛門他一名拝借証文[覚](1万両札御拝借のうち3ヶ月賦金250両につき) 窪田利左衛門・相原音五郎→太田藤右衛門殿 内側から番号付与	明治元年辰11月18日	1通・堅紙	せ1-10-1

太田藤右衛門内借金受取証文[覚](旧藩御用達金一件入用50両につき) 太田藤右衛門→会計方御中	明治3年午12月	1通・縦紙	せ1-10-2
中村鉄蔵金銭受取証[証](御内用につき御内借金170両につき) 中村鉄蔵→太田藤右衛門殿	明治2年巳3月13日	1通・縦紙	せ1-10-3
太田藤右衛門用状[証](明治2・3年分藩へ貸出金書出につき) 太田藤右衛門→会計方御中	明治4年辛未12月	1通・縦紙	せ1-10-4
窪田利左衛門他一名金銭受取証文[覚](千曲川・犀川筋堀割堤防御普請入用金680両につき) 窪田利左衛門・相原音五郎→太田藤右衛門殿 掛紙あり	明治元年辰12月	1通・縦紙	せ1-10-5
御預所捕亡小林権治郎他一名金銭受取証文[覚](御預所御内用につき中山道筋へ出役御入料御内借金50両につき) 御預所捕亡小林権治郎・小池龍吉→太田藤右衛門殿 掛紙あり	慶応4年辰正月	1通・縦紙	せ1-10-6
相原音五郎金銭受取証文[覚](御預所高当割御拝借金5千両のうち2ヶ月分83両1分・永83文3分につき) 相原音五郎→太田藤右衛門殿	明治2年巳正月	1通・縦紙	せ1-10-7
松代庁会計方差紙(旧松代藩へ調達金言上につき) 松代庁会計方→雨宮村・生萱村・森村右村々三役人	2月27日	1通・横切継紙	せ1-10-8

6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定

計政局

(拝借証文一括 明治3年) 紙綴一括 (紙綴)			せ1-12
岸善八金銭拝借証文[覚](高割金札拝借已御割合1,500両東京において為替上納の内500両につき) 岸善八→片岡半十郎殿・三沢清美殿 端裏に朱書の押紙あり	明治3年午正月	1通・縦紙	せ1-12-1
岡野敬一郎金銭受取証文[覚](御預所石高当午年割上納金1,500両につき) 岡野敬一郎→片岡半十郎殿・三沢清美殿	明治3年午11月	1通・縦紙	せ1-12-3

7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金

勘定所

和平組名主吉兵衛他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](拝借金2分を戌年より2ヶ年賦上納につき) 和平組名主吉兵衛・組頭林右衛門・長百姓仲右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所	寛政2年戌2月	1通・縦紙	せ1-7
細田久作年貢割付状[已御年貢土目録](下小嶋村分) 細田久作→下小嶋田村	明治2年巳12月	1通・縦紙	せ1-8
(拝借証文等金銭関係書類一括 安政4年～明治3年) 巻込一括			せ1-9
水内郡後町村拝借人松橋久左衛門他二名拝借証文[拝借金証文之事](松代預り役所繰り廻し御用金300両につき) 水内郡後町村拝借人松橋久左衛門・親類大久保藤七・組合小林忠八→松代御預り御役所 内側から番号付与、貼り紙・掛け紙による修正あり、端裏書「後町村」、水内郡荒木村名主篠原丹次奥書・印形あり	明治2年巳10月	1通・縦継紙	せ1-9-1

8 藩政／郡方／道中人馬賃銭

徳田治郎左衛門他二名拝借証文〔拝借金返納方之事〕 (金100両のうち返納残金84両を賞典高18石代金 のうちより年々30両宛元利返納につき) 徳田治郎 左衛門・親類櫻井佳人・岡嶋慶蔵→松代元御預所御役所	明治3年庚午12月	1通・竪紙	せ1-9-2
拝借主徳田治郎左衛門他二名拝借金証文〔拝借金証 文之事〕(松代預り役所非常入用金300両拝借につ き知行高のうち広田村収納粉14俵宛町相場を以 て元利返納) 拝借主徳田治郎左衛門・親類櫻井佳人・ 岡嶋慶蔵→松代御預所御役所	慶応4年辰4月	1通・竪紙	せ1-9-3
柿崎良作拝借証文〔覚〕(役所手段金30両拝借につ き) 柿崎良作→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿・海沼龍助殿 端裏書『二十番』(朱書) 巳十二月廿三日 柿崎良作殿	安政4年巳12月	1通・竪紙	せ1-9-4
拝借主小野権兵衛他二名拝借証文〔拝借金証文之事〕 (松代御預所御役所別段繰り廻し金50両拝借につ き10両宛8ヶ年返納につき) 拝借主小野権兵衛・小 野柔四郎→松代御預所御役所	明治元年辰12月	1通・竪紙	せ1-9-5
小野権兵衛頼証文〔御頼申一札之事〕(年々10両宛御 金懸より受取金子の内から返納依頼につき) 小 野権兵衛→太田藤右衛門殿	明治元年辰12月	1通・竪紙	せ1-9-6
拝借人富岡喜代之助他三名拝借証文〔拝借金証文之 事〕(御役所別段繰り廻し御用金200両拝借につき御 切米より粉30俵宛元利返納につき) 拝借人富岡喜 代之助・組合加判富岡茂助・同花見斎兵衛・同堀内蔵治→ 松代藩御預所御役所	明治2年巳12月	1通・竪紙	せ1-9-7

8 藩政／郡方／道中人馬賃銭

勘定所

(道中人馬賃関係一括 慶応2年) 包紙一括			せ92
〔証文〕(包紙)		1通・包紙	せ92-1
人馬懸小池元作他四名金銭受取証文〔覚〕(道中人馬 賃等100両につき) 人馬懸り荒井弥平・鳥羽友作・羽 生田徳右衛門・町田元吉他1名→御目付方御役所	(慶応2年)寅5月5日	1通・竪紙	せ92-2
人馬掛荒井弥平他四名金銭受取証文〔覚〕(道中人馬 賃等150両につき) 人馬掛荒井弥平・鳥羽友作・羽生 田徳右衛門・小池元作他1名→御目付方御役所	慶応2年寅5月	1通・竪紙	せ92-3
岸太五之丞申上書(囲金600両上納につき) 岸太五 之丞→ 端裏書あり	8月16日	1通・横切紙	せ92-4
宮下三郎治金銭受取証文〔覚〕(道中小荷駄方入料内 借金100両につき) 宮下三郎治→岸太五之丞	5月7日	1通・竪紙	せ92-5
市川繁司願書(別紙証文落手につき) 市川繁司→水野 清右衛門様	8月25日	1通・横切紙	せ92-6
(8月23日分金銭書出)		1通・切紙	せ92-7
(金銭書出)		1通・切紙	せ92-8
某用状(道中囲金1,416両書につき)		1通・切紙	せ92-9
某用状(1,584両非常囲金書出につき)		1通・横切紙	せ92-10

9 藩政／番方／武具調達

勘定所・計政局

(武具新調並びに修復御用関係一括) 紙縫一括			せ74
(紙縫)		1点・紙縫	せ74-1
武庫庶務伺書[覚](代官町皮細工師佳太郎並びに同坂田屋新兵衛へミニ銃等下賜につき) 武庫庶務→	3月	1通・横切継紙	せ74-2
(武具新調・修復御用関係綴 明治3年)	明治3年		せ74-3
代官丁革物師佳太郎願書[覚](諸色高直により胴乱損傷の黒塗修理代金値上げにつき) 代官丁革物師佳太郎→御武具方御役所	明治3年3月8日	1通・切紙	せ74-3-1
代官丁革物師佳太郎請求書[覚](葉箱等代金につき) 代官丁革物師佳太郎→御武具方御役所	3月8日	1通・切紙	せ74-3-2
坂田屋新兵衛請求書[覚](小銃玉葉箱代金につき) 坂田屋新兵衛→	(明治)3年3月	1通・縦紙	せ74-3-3
坂田屋新兵衛請求書[覚](胴乱等修理代金につき) 坂田屋新兵衛→武庫局庶務御役所	(明治)3年3月	1通・横切継紙	せ74-3-4
新兵衛願書(端裏書)[御還納兵器取扱候武庫方之物へ御酒被下之義申上](荷物取り纏めの褒美として酒下賜につき) 新兵衛→	正月18日	1通・横切継紙	せ75
助長補他一名願書(端裏書)[局々爐御出来之義再伺](寒気のため炉設置につき) 助長補・補給士→	(明治3年)閏10月	1通・切紙	せ76
副隊長補伺書(端裏書)[左嚮導局爐(力)御出来之義再伺](寒冷のため炉設置につき) 副隊長(長)補→	(明治3年)閏10月	1通・切紙	せ77
才領懸新村八重治申上書[覚](入料積金約57両1歩につき) 才領掛新村八重治→	未5月	1通・横切継紙	せ78
某書状(米買一件の御用日延願につき) 虫損甚大		1通・横切継紙	せ79
武具送り用状[覚](スイツツル銃の数量等書出につき)		1通・横切継紙	せ80
宮沢彦治用状[覚](雷火銃数等書出につき) 宮沢彦治→	辰7月2日	1通・横切継紙	せ81
某用状(元込銃落掌につき)		1通・横切紙	せ82
増田徳左衛門願書(借入地所及び所持土蔵修復のため入料金拝借につき) 増田徳左衛門→	7月26日	1通・横切継紙	せ83
武庫司事用状[覚](銃2組製造入料等金銭調べにつき) 武庫司事→		1通・横切紙	せ84
某用状(武具数書出につき)		1通・横切継紙	せ85
某用状(ミニエール銃所持者名面書)		1通・横切紙	せ86
御普請方伺書(要三郎の件割合上納につき) 御普請方→	12月	1通・横切継紙	せ87
(ライフル・ミール銃手入修復料関係綴 明治4年)			せ96
武庫庶務申上書(ライフル並びにミール銃手入修復入料の件中借につき) 武庫庶務→ 端裏書あり	(明治4年)辛未4月27日	1通・横切継紙	せ96-1
武庫主事伺書(入料金中借につき) 武庫主事→ 端裏書あり	(明治4年)辛未4月	1通・横切紙	せ96-2

10 藩政／厚生治療 11 藩政／家臣・財方／拝借金

武庫庶務申上書(ライフル・ミール銃手入修復入料の件 中借につき) 武庫庶務→ 端裏書あり	(明治4年)辛未5月	1通・横切紙	せ96-3
[御直書](包紙)		1点・包紙	せ97
(玄米代金受取証文)		1冊・縦半	せ98
高田實金銭受取証文[証](上下並びに雑用代金につき) 高田實→海沼辰男殿	明治3年午3月	1冊・縦紙	せ99
御勝手元へ申上書(兩人詰増につき) 御勝手元へ→ 端裏書あり	8月	1通・横切紙	せ100
小銃方頭取伺書(小銃方角前折の件引替につき) 小銃 方頭取→ 端裏書あり	(明治)3年午閏10月	1通・横切紙	せ101
御勝手元へ申上書並下ケ札(詰番出府の件給金上納に つき) 御勝手元へ→ 端裏書あり	8月	1通・横切紙	せ102
硝石製懸元へ伺書並付札(硝石入料中借了解につき) 硝石製懸元へ北村要之丞・同宮入半左衛門→ 端裏書あり	2月	1通・切紙	せ103
(普請人足関係綴)			せ104
御賄役用状(普請人足8人分増につき) 御賄役→	閏8月	1通・横切紙	せ104-1
某用状(新規足軽8人につき)		1通・切紙	せ104-2
某用状(人足13名書出)		1通・切紙	せ104-3
某用状(改付人並びに引渡人につき)		1通・切紙	せ104-4

10 藩政／厚生治療 勘定所

(御薬種代金関係書類一括) 紙縫一括			せ4
飯島與作伺書(端裏書)[病氣御入料御薬種代金御下 ケ之儀伺](残金請求別紙3通につき) 飯島與作→	6月	1通・横切紙	せ4-1
美濃屋左兵衛請求書[覚](期日金額書上につき) 美 濃屋左兵衛→御用大病院	午6月	1通・横折紙	せ4-2
一文番屋彦治郎請求書[覚](期日金額書上につき) 一文番屋彦治郎→上	6月12日	1通・横折紙	せ4-3
大丸屋惣兵衛請求書[覚](期日金額書上げにつき) 大丸屋惣兵衛→大病院御役所	午6月	1通・切紙	せ4-4

11 藩政／家臣・財方／拝借金 勘定所

(借用証文綴)			せ120
長谷川三郎兵衛借用証文[覚](金5両につき) 長谷川 三郎兵衛ノ(奥印)御勘定吟味助三沢刑部丞→西村源藏殿	嘉永6年丑10月3日	1通・縦紙	せ120-1
佐野三郎借用証文[覚](公儀御用のため出府諸入用5 両につき) 佐野三郎ノ(奥印)草間元司→金井弥惣左 衛門殿	嘉永7年寅5月	1通・縦紙	せ120-2

中村健治他一名借用証文[覚](在所へ判物送付のため各2両拝借につき) 中村健治・片岡亀之進／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政2年卯2月	1通・竪紙	せ120-3
宮本彦之進他一名借用証文[覚](小西惣兵衛御手当のため銀30枚拝借につき) 宮本彦之進・片岡十郎兵衛→西村源藏殿	安政3年辰正月	1通・竪紙	せ120-4
小山織江他二名借用証文[覚](大風雨災による難渋のため各金3分拝借につき) 小山織江・富岡文蔵・小山東弥太／(奥印) 草間元司→西村源藏殿 掛札あり	安政3年辰9月2日	1通・竪紙	せ120-5
関口助九郎借用証文[覚](風災のため金5両1分拝借につき) 関口助九郎／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-6
山口豊治借用証文[覚](大風雨災のため金1両2分拝借につき) 山口豊治／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-7
片山亀之介借用証文[覚](大風雨災のため金3分拝借につき) 片山亀之介／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-8
口野龍助他八名借用証文[覚](風災のため各2分拝借につき) 口野龍助・島田竹次郎・戸根山豊馬他6名／(奥印) 土井口之助／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月16日	1通・竪紙	せ120-9
富岡宗三郎他一名借用証文[覚](風災のため金1両2分拝借につき) 富岡宗三郎・牧野大右衛門／(奥印) 草間元司→西村源藏殿 奥上部破損	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-10
宮嶋通珉借用証文[覚](風災のため金7両拝借につき) 宮嶋通珉→西村源藏殿 後欠、掛札あり	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-11
宮本彦之進借用証文[覚](手当として金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政6年末6月	1通・竪紙	せ120-12
玉井進一郎他二名借用証文[覚](長谷川深美付添のため金6両拝借につき) 玉井進一郎・今井友之進・伊藤房古／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政6年末7月	1通・竪継紙	せ120-13
内林平蔵他一名借用証文[覚](駕籠等の手当未払いのため金4両3分拝借につき) 内林平蔵・藤井浅右衛門／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政6年末12月	1通・竪継紙	せ120-14
長谷川藤左衛門借用証文[覚](駕籠等の手当未払いのため金5両拝借につき) 長谷川藤左衛門／(奥印) 内林平蔵／(奥印) 草間元司→西村源藏殿	安政6年末12月	1通・竪継紙	せ120-15
片岡亀之進借用証文[覚](帰城時用意支障のため金1両3分拝借につき) 片岡亀之進／(奥印) 片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-16
中村健治借用証文[覚](帰城時用意支障のため金1両2分拝借につき) 中村健治／(奥印) 片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-17
堀内市三郎借用証文[覚](藩主帰城の御供のため出府手当金1両2分拝借につき) 堀内市三郎／(奥印) 片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-18
宮本彦之進借用証文[覚](詰辻書役手当金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印) 片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-19
片岡金一郎他一名借用証文[覚](順操院様付き添い用意差し支えのため各2両拝借につき) 片岡金一郎・片岡千吉／(奥印) 片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申3月	1通・竪継紙	せ120-20
山本左太夫借用証文[覚](詰番勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 山本左太夫／(奥印) 佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久元年酉6月	1通・竪紙	せ120-21

11 藩政／家臣・財方／拝借金

宮本彦之進借用証文〔覚〕(詰辻書役手当金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久元年酉6月	1通・竪紙	せ120-22
大日方通借用証文〔覚〕(藩主帰城の供のため出府手当金1両2分拝借につき) 大日方通／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久2年戌2月	1通・竪紙	せ120-23
竹花富之進借用証文〔覚〕(寺社朱印付添いの手当として金2両拝借につき) 竹花富之進／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久2年戌2月	1通・竪紙	せ120-24
太田藤右衛門借用証文〔覚〕(帰国用意支障のため金1両3分拝借につき) 太田藤右衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌8月	1通・竪紙	せ120-25
大塚峯治借用証文〔覚〕(詰番勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 大塚峯治／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌10月	1通・竪紙	せ120-26
佐藤小左衛門借用証文〔覚〕(御前様帰国御供の用意のため金1両3分拝借につき) 佐藤小左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌10月	1通・竪紙	せ120-27
小泉市二借用証文〔覚〕(藩主帰城の御供のため出府手当金1両2分拝借につき) 小泉市二／(奥印)佐藤安喜→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-28
長岡茂市借用証文〔覚〕(詰辻勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 長岡茂市／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-29
春原六左衛門他二名借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金21両拝借につき) 春原六左衛門・鎮目実之助・藤田専蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-30
河原岩右衛門他二名借用証文〔覚〕 河原岩右衛門・西山恒三郎・瀧澤千百人／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-31
岡田新兵衛借用証文〔覚〕(貞松院在所入り御供の用意支障のため金6両拝借につき) 岡田新兵衛／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-32
松井大治郎他三名借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金6両拝借につき) 松井大治郎・桑名理内・中村小一郎他1名／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-33
佐藤小左衛門借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金1両3分拝借につき) 佐藤小左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・竪紙	せ120-34
小銃組小頭三井芳治他一名借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金32両2分拝借につき) 小銃組三井芳治・同宮入三治／(奥印)宮沢徳太郎・宮下力之助／(奥印)高橋清兵衛／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・竪継紙	せ120-35
御持筒組小頭町田鶴蔵借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金13両2朱拝借につき) 御持筒組小頭町田鶴蔵／(奥印)高野専之助／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・竪継紙	せ120-36
御持筒組小頭酒井周兵衛借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金13両2朱拝借につき) 御持筒組小頭酒井周兵衛／(奥印)池村良太郎／(奥印)高橋清蔵／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・竪紙	せ120-37

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

勘定所

(内借・内預り等諸証文関係書類一括 嘉永元年～慶応2年) 紙縫一括			せ3
(紙縫)		1点・紙縫	せ3-1
小左衛門書状案(御参府御道中御入料諸向中借切手早速送付通知につき) 小左衛門→御払方様 せ3-2～4は巻込一括	7月10日	1通・横切紙	せ3-2
田澤民治用状[覚](田澤喜兵衛内預金1両3分御請取切手紛失のため発見次第返上届につき) 田澤民治→関山平治殿・湯本十学殿・鹿野外守殿	嘉永6年丑11月5日	1通・横切紙	せ3-3
払方御金奉行用状(道中御囲金3両御供御目付伺の通り承済の件心得につき) 払方御金奉行→ 端裏書「払方御金奉行」		1通・横切紙	せ3-4
(内借証文綴 安政3年12月～文久2年5月8日)			せ3-5
谷口左仲他三名内借証文[覚](当戊年帰城御道中御膳物品々并本陣へ下さる御目録御借方御賄代其外小買物品々御入料引替のため中借不足の分金64両2分・4匁4分2厘につき) 谷口左仲・坂口又治・松木源八他1名→		1通・横切紙	せ3-5-1
関山平治他四名内借証文[覚](参府につき道中囲金並びに増囲金250両につき) 関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末5月28日	1通・横切紙	せ3-5-2
助関山平治他四名内借証文[覚](去ル辰年帰城道中御入料金のうち18両につき) 助関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末正月22日	1通・横切紙	せ3-5-3
助関山平治他四名内借証文[覚](去ル辰年帰城道中台所品々入料引替につき中借不足の分金34両1分・1匁1分につき) 助関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末正月27日	1通・横切紙	せ3-5-4
谷口左仲他三名用状[覚](当戊年帰城召馬2疋御貸馬2疋道中品々入料引替につき中借り不足の分金3分・8分8厘につき) 谷口左仲・坂口又治・松木源八・白川綾次郎→	文久2年戊5月8日	1通・横切紙	せ3-5-5
坂口又治他二名内借証文[覚](帰城につき道中御入料金300両につき) 坂口又治・松木源八・白川綾次郎→ 金額部分押紙「(朱点)・御勘定吟味交代付割印無御座候」	文久2年戊3月	1通・横切紙	せ3-5-6
坂口又治他二名内借証文[覚](帰城のため道中御囲金250両につき) 坂口又治・池田富之進・松木源八→	文久2年戊2月	1通・横切紙	せ3-5-7
関山平治他三名内借証文[覚](帰城につき道中御入料金300両につき) 関山平治・三村大之助・竹内金左衛門他1名→ 金額部分押紙「(朱点)・御勘定吟味交代二付割印無御座候」	安政3年辰4月4日	1通・横切紙	せ3-5-8
助関山平治他四名内借証文[覚](当4月中帰城道中召馬借馬路用金中借引替の処中借不足の分金1分余につき) 助関山平治・三村大之助・竹内金左衛門他2名→	安政3年辰12月	1通・横切紙	せ3-5-9
助関山平治他三名内借証文[覚](当辰年帰城道中入料金の内6両につき) 助関山平治・三村大之助・山岸左内他1名→	安政3年辰12月	1通・横切紙	せ3-5-10

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

御払方用状〔覚〕(安政2年参府道中入料金のうち江戸表にて取替金16両1分並びに錢978文送付につき) 御払方→(西村源藏)	5月22日	1通・横切紙	せ3-6
某用状(安政2年2月より安政3年5月21日まで内借金書出につき) 下ヶ札付		1通・横切紙	せ3-7
桑名左金太願書〔覚〕(切米金4両野中友右衛門へ引渡につき) 桑名左金太→西村源藏殿・安藤右膳殿・大日向四郎兵衛殿他1名	嘉永元年申12月	1通・横切紙	せ3-8
西村源藏用状〔覚〕(文政9年～嘉永4年拝借金証文預かり分書出につき) (西村)源藏→(関山)平治様・(湯本)十学様・(鹿野)外守様	丑7月	1冊・横長半	せ3-9
五人用状(松本賢五郎内借金4両引替済につき) 五人→(西村)源藏様	12月8日	1通・横切紙	せ3-10
大草仲岱返書并書入御報(内借拝借金勝手方恩田頼母5ヶ年賦無利足上納につき) 大草仲岱→西村源藏様	万延元年申4月29日	1通・横切紙	せ3-11
依田富之進他四名書状(端裏書)〔御書面之通金六拾五兩貳分錢二百五拾五文并帳面老帳槌落手仕候則預印書差遣申候〕(家中定府並びに長話面々12月渡御切米送付につき) 依田富之進・坂口又治・福田小平太他2名→西村源藏様	11月14日	1通・横切紙	せ3-12
富岡民治金銭受取証文〔覚〕(北沢奎之助切米金1分2朱6匁8分6厘につき) 富岡民治→関山平治様	嘉永6年丑7月	1通・横切紙	せ3-13
某用状〔覚〕(中借証文並びに人馬賃錢中借之内預金証文差引勘定につき) 端裏書「辰5月23日出」		1通・横切紙	せ3-14
西村源藏他三名内預証〔覚〕(当申6月帰城道中厩品々入料金1分と錢460文につき) 西村源藏・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延元年申9月24日	1通・横切紙	せ3-15
西村源藏他三名内預証〔覚〕(去末年帰城之節医師囲薬種両不足分につき) 西村源藏・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延2年酉2月	1通・横切紙	せ3-16
松本源八内預証〔覚〕(貞松院様御道中入用金100両につき) 松本源八→西村十郎右衛門殿 印墨塗り抹消	文久3年亥4月21日	1通・横切紙	せ3-17
堤千治郎内預証〔覚〕(御前様御道中通し日雇賃金之内内預金12両につき) 堤千治郎→大内源之助殿 印墨塗り抹消	文久3年亥2月16日	1通・横切紙	せ3-18
堤千治郎内預証〔覚〕(貞松院様御入料金15両内預につき) 福田小平太→大内源之助殿 印墨塗り抹消	文久4年子正月11日	1通・横切紙	せ3-19
堤千治郎内預証〔覚〕(貞松院様御道中御入料金120両中借につき) 池田富之進→西村十郎右衛門殿 印墨塗り抹消	文久4年子2月4日	1通・横切紙	せ3-20
(包紙) 西村源藏→御用 関山平治殿・谷口左仲殿		1点・包紙	せ3-21
西村源藏書状(安政2年御判物道中派遣の際付添内借金12両等問合につき) (西村)源藏→御五人様	8月7日	1通・横切紙	せ3-22
西村源藏用状(定府長詰向7月渡切米金残金2両2分返却につき) (西村)源藏→平治様・大之助様・金左衛門様他2名	8月7日	1通・横切紙	せ3-23
五人用状并西村源藏勘返状(定府御切米金につき並びに渡元帳差し上げ御預印書落手の旨) 五人→(西村)源藏様	7月20日	1通・横切紙	せ3-24
西村源藏書状(望月顕藏殿御内借証文差し上げ等に	7月29日	1通・横切紙	せ3-25

つき) (西村)源蔵→平治様・大之助様・金左衛門様他2名 (包紙) 篠原良意→谷口左仲様		1点・包紙	せ3-26-1
篠原良意書状(昨午年道中困葉種料上納分内預けにて借切手御引替につき) 篠原良意→谷口左仲様 包紙共	7月3日	1通・横切紙	せ3-26-2
西村源蔵他三名内借証文[覚](御帰城御道中御囲金250両につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延元年申6月12日	1通・横切紙	せ3-27
西村源蔵他三名内借証文[覚](御帰城御道中御入料金300両内借覚につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延元年申6月12日	1通・横切紙	せ3-28
西村源蔵他三名内借証文[覚](去申年帰城道中台所入料之分18両2分1匁6分5厘につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延2年酉3月	1通・横切紙	せ3-29
(内預証文綴 元治2年3月2日～慶応2年1月12日)			せ3-30
山田兵衛内預証文[覚](元治元年御上京御駕籠御供手元金94両内預請取につき) 山田兵衛→藤井浅右衛門殿 印墨塗り抹消	慶応元年丑12月23日	1通・横切紙	せ3-30-1
池田富之進内預証文[覚](元治元年上京御駕籠御供御手元金90両内預請取につき) 池田富之進→藤井浅右衛門殿 印墨塗り抹消	慶応2年寅正月21日	1通・横切紙	せ3-30-2
池田富之進内預証文[覚](元治元年12月中御前様道中入料之内金180両内預請取につき) 池田富之進→館孝右衛門殿・今井友之進殿 印墨塗り抹消	慶応元年丑12月28日	1通・横切紙	せ3-30-3
馬場広人内預証文[覚](御前様出府道中御入料金50両内借につき) 馬場広人→今井友之進殿・館孝右衛門殿 印墨塗り抹消	元治2年丑3月2日	1通・横切紙	せ3-30-4
五人用状[覚](大日方渡内借金10両匁方にて支給の件並びに源蔵請取一札につき) 五人→(西村)源蔵様	2月	1通・横切紙	せ3-31
飯島与作状[覚](当3月中池田平角内預け金7両引戻しにつき) 飯島与作→西村源兵衛殿	(慶応元年)丑9月	1通・横切紙	せ3-32
桑名弥一郎切米受取証文[覚](当申御切米御渡につき) 桑名弥一郎→西村源蔵殿	万延元年申12月	1通・横切紙	せ3-33
五人受取証文并源蔵勘返状(北沢新平ほか1名上納金1両3分受取につき並びに受取一札) 五人→(西村)源蔵様	12月8日	1通・横切紙	せ3-34
関山平治受取証文[覚](山崎卓馬金3両2分拝借証文1通送付につき引替一札) 関山平治→金井弥惣右衛門殿 1ヶ所印墨塗り抹消	嘉永7年寅10月	1通・横切紙	せ3-35
御内借懸金銭受取証文[覚](田中九左衛門ほか1名金1両2分並びに銭1貫608文引上御渡につき) 御内借懸→御弘方様	安政4年巳10月	1通・横切紙	せ3-36
(内借金関係書類綴)			せ3-37
大里忠之進内借証文[覚](戊5月御買物所御入料金之内金3両につき) 大里忠之進→西村源蔵殿・谷口左仲殿・坂口又治殿・松本源八殿・白川綾次郎殿	(文久2年)戊6月	1通・横切紙	せ3-37-1
鹿野伴治内借証文[覚](御飛脚増路銭并御手元金2両につき) 鹿野伴治→谷口左仲殿・福田小平太殿・松本源八殿・白川綾次郎殿・堤千治郎殿	亥2月	1通・横切紙	せ3-37-2

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

池田富之進他四名書状并西村源藏勘返状(長滞府之面御手充金109両並びに渡元帳送付につき並びに受取一札) 池田富之進・坂口又治・福田小平太他1名→西村源藏様	12月8日	1通・横切紙	せ3-38
大里忠之進願書[覚](和宮様御通行の節内借受払残金240両切手2通支給願につき) 大里忠之進→福田小平太様・山田兵衛様	文久4年子正月23日	1通・横切紙	せ3-39
中川清兵衛金銭受取証文(小野里清之進並びに中山兵助兩人切米金受取につき) 中川清兵衛→	(万延元年)申12月	1通・横切紙	せ3-40
遠藤小右衛門用状[覚](今般御参府のため道中入料諸向中借金295両2分の証文9通引替につき) 遠藤小右衛門→西村源藏殿・谷口左仲殿・福田小平太殿他2名	文久元年西6月	1通・縦切紙	せ3-41
西村源藏書状(長滞府之面当日御手当金113両2分並びに渡元帳馬場弥三郎御手当金12両送付につき)(西村)源藏→御五人様	12月6日	1通・横切紙	せ3-42
五人用状并西村源藏勘返状[覚](塚田内藏助内借金1両差し遣わすにつき並びに源藏受取一札) 五人→(西村)源藏様	2月22日	1通・横切紙	せ3-43
五人用状并西村源藏勘返状[覚](安政5～6年倉島小右衛門並びに内借金3両2歩受取一札) 五人→(西村)源藏様	12月19日	1通・横切紙	せ3-44
西村源藏用状(端裏書)[午御帰城御囲金預証文](帰城道中囲金並びに諸向御入料金合550両送付につき)(西村)源藏→御五人様 端裏朱書「午十月中かり証文出来付返す」	6月28日	1通・横切紙	せ3-45
遠藤小右衛門用状[覚](長詰御手当金160両受け取り預け置くにつき) 遠藤小右衛門→西村源藏様・谷口左仲様・坂口又治様・池田富之進様・松本源八様	文久元年西12月	1通・縦切紙	せ3-46
池田富之進他四名書状(御家中長滞府之面当午御手充金98両2分差し遣わすにつき並びに源藏請取一札) 池田富之進・坂口又治・福田小平太他2名→西村源藏様	12月16日	1通・横切紙	せ3-47
某用状(御奥女中在所より差し越す際の道中宿々人馬賃銭他品々御入料金につき) →(西山恒三郎)		1通・横切紙	せ3-48
西村源藏書状(去年中奥女中出府道中入用西山恒三郎中借一条勘定不調法につき)(西村)源藏→御五人様	10月19日	1通・横切紙	せ3-49
五人用状并西村源藏勘返状[覚](未7月～辰4月井上宗兵衛他12名11口内借金48両1分差し遣わすにつき並びに受取一札) 五人→(西村)源藏	正月22日	1通・横切継紙	せ3-50
(内預金預関係書類綴、元治元～明治2年)			せ29
倉田三之丞内預金受取証文[覚](徒士羽織代上納13両分につき) 倉田三之丞→三村大之助殿	安政3年辰6月21日	1通・切紙	せ29-1
上村何右衛門内預金受取証文[覚](100両余納戸余慶方へ預金につき) 上村何右衛門→池田富之進殿	元治元年子7月10日	1通・切紙	せ29-2
平林吉之助内預金受取証文[覚](50両余につき) 平林吉之助→西村源兵衛殿	元治元年子10月12日	1通・切紙	せ29-3
水井市助内預金受取預証文[覚](50両につき) 水井市治→池田富之進殿	(元治元年)子11月22日	1通・切紙	せ29-4
平林吉之助内預金受取証文[覚](50両余につき) 平林吉之助→西村源兵衛殿・池田富之進殿	元治元年子12月27日	1通・切紙	せ29-5

水井忠治内預金受取証文[覚](100両余につき) 水井市治→西村源兵衛殿	元治2年丑2月朔	1通・切紙	せ29-6
水井忠治預り証文[覚](50両余につき) 水井市治→馬場廣入殿	元治2年丑2月13日	1通・切紙	せ29-7
上村何右衛門内預金受取証文[覚](130両余につき) 上村何右衛門→池田富之進殿	慶応元年丑12月24日	1通・切紙	せ29-8
上村何右衛門内預金受取証文[覚](100両余につき) 上村何右衛門→堤常之丞殿	慶応2年寅9月25日	1通・切紙	せ29-9
西村源兵衛内預金受取証文[覚](100両余につき) 西村源兵衛→池田富之進殿	慶応2年寅12月29日	1通・切紙	せ29-10
某内借金証文(江戸内借分江戸へ上納の節は預印提出につき)	(慶応3年)卯3月26日	1通・切紙	せ29-11
西村源兵衛切手受取証文証文[覚](573両につき) 西村源兵衛→池田富之進殿	慶応3年卯3月26日	1通・切紙	せ29-12
水井市治内預金受取証文[覚](100両余につき) 上村何右衛門→池田富之進殿	(慶応3年)7月12日	1通・切紙	せ29-13
水井市治内預金受取証文[覚](100両余につき) 水井市治→池田富之進殿・高久高之助殿	慶応4年卯12月29日	1通・横切継紙	せ29-14
水井市治内預金受取証文[覚](江戸よりの道中御囲金1500両につき) 水井市治→池田富之進殿	(慶応4年)辰3月2日	1通・切紙	せ29-15
上村何右衛門内預金受取証文[覚](内預り金150両余につき) 上村何右衛門→長谷川直太郎殿	慶応4年辰3月16日	1通・切紙	せ29-16
水井市治内預金受取証文[覚](200両余につき) 水井市治→長谷川直太郎殿	慶応4年辰3月27日	1通・横切継紙	せ29-17
上村何右衛門内預金受取証文[覚](150両につき) 上村何右衛門→池田富之進・高久専之助殿・赤沼内蔵助様	(慶応4年)辰閏4月14日	1通・切紙	せ29-18
斉藤善九郎内預金受取証文[覚](100両余につき) 斉藤善九郎→池田富之進・高久専之助・赤沼内蔵助殿	慶応4年辰閏4月15日	1通・切紙	せ29-19
佐川又左衛門内預金受取証文[覚](内預り金100両余につき) 佐川又左衛門→池田富之進・高久専之助・赤沼内蔵助殿	明治2年巳正月19日	1通・横切継紙	せ29-20
谷口左仲内預金受取証文[覚](500両余につき) 谷口左仲→池田富之進・長谷川通太郎殿	明治2年巳3月朔日	1通・切紙	せ29-21
斉藤善九郎内預金受取証文[覚](100両につき) 斉藤善九郎→池田富之進殿・高久専之助殿	明治2年巳5月16日	1通・切紙	せ29-22
上村何右衛門内預金受取証文[覚](200両余につき) 上村何右衛門→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳7月10日	1通・横切継紙	せ29-23
水井市治内預金受取証文[覚](540両余につき) 水井市治→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳8月15日	1通・横切継紙	せ29-24
斉藤善九郎内預金受取証文[覚](1000両余につき) 斉藤善九郎→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳8月20日	1通・横切継紙	せ29-25
上村何右衛門内預金受取証文[覚](100両余につき) 上村何右衛門→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳9月21日	1通・横切継紙	せ29-26
徳嵩廣馬内預金受取証文[覚](61両余につき) 徳嵩廣馬→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳11月5日	1通・横切紙	せ29-27
水井市治内預金受取証文[覚](1両余につき) 水井市治→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳11月28日	1通・横切紙	せ29-28

13 藩政／町方／御救い拝借金

佐川又八郎内預金受取証文〔覚〕(篠原良意内借金上納分内につき) 佐川又八郎→池田富之進殿・堤常之丞殿	明治2年巳11月28日	1通・横切継紙	せ29-29
谷口大角内預金受取証文〔覚〕(274両余につき) 谷口大角→池田富之進・堤常之進殿・赤沢盛雄殿	明治2年巳11月28日	1通・切紙	せ29-30
(書状並びに願書等諸書類一括) 紐一括			せ2
(紐)		1点・紐	せ2-1
(書状綴込み)			せ2-2
[封筒] (春山)喜平次→(関田)荘助様		1点・封筒	せ2-2-1
(包紙) 春山喜平次→関田荘助様		1点・包紙	せ2-2-2
春山喜平次書状(北澤幟之助殿御内借別紙印書御廻しにつき) (春山)喜平次→(関田)荘助様 文久3年～明治2年か	6月18日	1通・横切継紙	せ2-2-3
喜平次書状(内借の向へ才足手紙送付のところ吐き気あり難渋のため欠勤につき) (春山)喜平次→(関田)荘助様 文久3年～明治2年か	6月20日	1通・横切継紙	せ2-2-4
関田荘助用状(御借人夫之者へ申論しのため再度召喚につき) 関田荘助→東寺尾村役人中	8月12日	1通・横切継紙	せ2-2-5
某書状案(大坂表において御勤用向御内借金返上の件伺いにつき)		1通・横切継紙	せ2-2-6

13 藩政／町方／御救い拝借金

勘定所

中町きく役代音治願書〔乍恐以書付奉願候〕(地震並び火事にて困窮につき内借金24両1分・12匁6分30ヶ年賦割上納につき) 中町きく役代音治／(奥書)仮名主小池清右衛門→御奉行所	文久3年亥4月	1冊・豎美	せ2-3
鍛冶町小三郎嘆願書〔乍恐以書付奉歎願候〕(地震種々災害重なり内借金103両2分年賦割上納願につき) 鍛冶町小三郎／(奥書)名主志津祖兵衛→御奉行所	文久3年亥4月	1冊・豎美	せ2-4
伊勢町音吉他一名歎願書〔乍恐以書付奉歎願候〕(御内借金10両返上方之儀当亥年より25ヶ年賦割合上納につき) 伊勢町音吉・組合儀兵衛→御奉行所 1帖目右下に掛紙・朱書あり	文久3年亥4月	1冊・豎美	せ2-5-1
伊勢町音吉親類市兵衛他一名願書〔乍恐以書付奉願候〕(25ヶ年賦赦免願いにつき) 伊勢町音吉親類市兵衛・中町同断五兵衛／(奥書)名主嶺村榮左衛門→御奉行所 1帖目右下に掛紙・墨書あり	文久3年亥9月	1冊・豎半	せ2-5-2
[借財取調帳]		1冊・横長半	せ2-5-3
中町市左衛門子市太郎組り歎願書〔乍恐以口上書御廻り奉歎願候〕(大地震にて御救拝借金・御内借金御割合上納猶予並びに町住居・町役勤務につき) 中町市左衛門子市太郎→御奉行所	文久3年亥4月	2点・豎半	せ2-6-1
[上] (弘化4年～安政4年分借財・店借取調覚帳)		1冊・横長半	せ2-6-2
荒神町万兵衛他一名〔乍恐以書付奉歎願候〕(近年諸色高直営方差支えのため内借金等40ヶ年賦上納につき) 荒神町万兵衛・親類組合兼与兵衛／(奥書)名主喜左衛門→御奉行所	文久3年亥5月	1冊・豎半	せ2-7-1

[覚] (借財取調御覚)	嘉永元年～文久元年	1冊・豎美	せ2-7-2
中町助左衛門緋り願書[乍恐以書付御緋り奉願上候] (御内借金25両拝借のところ大地震にて難渋のため 25ヶ年賦割合上納につき) 中町助左衛門／(奥書)名 主小池清左衛門→御奉行所	文久3年亥12月	1冊・豎半	せ2-8
の組外田町御年貢地七兵衛後家よせ他一名願書[乍恐 以書付御緋り奉歎願候](借用金25両残金返上方差 し支えのため19ヶ年賦上納につき) の組外田町御年 貢地七兵衛後家よせ・親類組合兼平吉／(奥書)の組外八田 慎蔵抱屋敷肝煎慶之助→御奉行所	文久3年亥8月	1冊・豎半	せ2-9
[乍恐以書付奉歎願候](地震にて難渋のため御内借金 116両返上方30ヶ年賦上納につき) 中町亀吉・親類組 合兼吉兵衛／(奥書)小池清左衛門→御奉行所	文久3年亥5月	1冊・豎半	せ2-10
(荒神町清右衛門上納金猶予関係書類一括 文久3年) 巻込一括			せ2-11
荒神町清右衛門他二名願書[乍恐以書付奉願上候](御 元金40両並びに御礼金81両余借用につき極難のため 年1両宛80ヶ年賦上納につき) 荒神町清右衛門・親 類栄三郎・組合惣代勘作／(奥書)名主喜左衛門奥印→御奉 行所	文久3年亥9月	1冊・豎半	せ2-11-1
荒神町清右衛門他二名歎願書[乍恐以書付奉歎願候] (藍玉商売基金として御内借金等195両余返上方年1 両宛上納につき) 荒神町清右衛門・親類栄三郎・組合惣 代勘作／(奥書)名主喜左衛門→御奉行所	文久3年亥9月	1冊・豎半	せ2-11-2

14 藩政／在方／御救い拝借金

勘定所・計政局

檀田村御借り主荒木佐右衛門金銭拝借証文[乍恐以書 付御時拝借証文之事](上納金に差し詰まり金295両 につき) 檀田村御借り主荒木佐右衛門→計政御役所	明治3年午12月14日	1通・豎紙	せ1-14
(拝借証文一括 安永9年～寛政8年) 巻込一括			せ1-15
鬼無里村某拝借証文[差上申拝借証文之御事](拝借 金425両1分・1匁4分4厘年賦割合につき) 鬼無 里村[]→内側から番号付与、端裏書「鬼無里村」	寛政8年辰5月	1通・豎継紙	せ1-15-1
長井村御用夫重助他二名拝借証文[差上申一札之事] (金1両・1匁3分8厘江戸御用夫御返人につき御切 米返上手当につき) 長井村御用夫重助・名主久治郎・ 組頭庄治郎・長百姓勘右衛門→水井久太夫様・徳嵩甚蔵 様・大嶋小左衛門様	安永9年子4月	1通・豎紙	せ1-15-2
(端裏書)[長井村](上ノ上から下ノ下まで9等級別藩士 名面書)		1点・鋪 (810×1490)	せ1-16

15 藩政／在方／御救い拝借金返済

勘定所

(南長池村他引替切手綴 天保11～弘化2年) 紐で巻付			せ1-1
[南長池村引替切手](表紙切紙)		1綴・綴	せ1-1-1
[宮沢分](区分け切紙)		1通・横切紙	せ1-1-2
宮沢善治他二名引替切手[覚](当辰内借年賦上納銀14匁8分受取につき) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門→南長池村	天保15年辰12月28日	1通・横切紙	せ1-1-3
宮沢善治他二名引替切手[覚](当辰内借年賦上納金2両1分6匁6分6厘受取につき) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門→南長池村 押切印あり	天保15年辰12月28日	1通・横切紙	せ1-1-4
宮沢善治他二名引替切手[覚](辰割合内借年賦上納金2両3分7匁5分2厘受取につき) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門→南長池村 押切印あり	弘化2年巳正月25日	1通・横切紙	せ1-1-5
[池田分](区分け切紙)		1通・切紙	せ1-1-6
池田良右衛門他二名引替切手[覚](当丑内借年賦上納金1両3分12匁受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 押切印あり	天保12年丑12月23日	1通・横切紙	せ1-1-7
池田良右衛門他二名引替切手[覚](酉之滞之内内借年賦上納金1両受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 押切印あり	天保11年子6月29日	1通・横切紙	せ1-1-8
宮沢善治他二名引替切手[覚](辰割合内借年賦上納金2両2分9匁9分受取につき) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門→南長池村 押切印あり	弘化2年巳正月25日	1通・横切紙	せ1-1-9
[吉沢分](区分け切紙)		1通・横切紙	せ1-1-10
池田良右衛門他二名引替切手[覚](当丑内借御礼金上納金2両受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 せ1-1-12-1～2は貼り継ぎ	天保12年丑11月27日	1通・横切紙	せ1-1-11-1
池田良右衛門他二名引替切手[覚](酉滞分当丑内借御礼金上納金1分3匁受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村七左衛門	天保12年丑11月27日	1通・横切紙	せ1-1-11-2
池田良右衛門他二名引替切手[覚](申年内借金滞之分3口上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保13年寅11月17日	1通・横切紙	せ1-1-12
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借当御礼金2両上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保13年寅12月28日	1通・横切紙	せ1-1-13
池田良右衛門他二名引替切手[覚](子年内借金滞之分2口上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保12年丑7月5日	1通・横切紙	せ1-1-14
[大嶋分](区分け切紙)		1通・切紙	せ1-1-15
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御割合金2両受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 せ1-1-17-1～4は貼り継ぎ	天保12年丑12月23日	1通・横切紙	せ1-1-16-1
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御割合金1分10匁2分3厘受取につき) 池田良右衛	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-16-2

門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村			
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御札金3両1匁3分7厘上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-16-3
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御割合金1分6匁6分6厘受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-16-4
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分金4両9匁5分2厘上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 せ1-1-18-1～3は貼り継ぎ	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-17-1
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分銀14匁8分上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-17-2
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分金2両3分7匁5分2厘上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-17-3
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分金2両1分6匁6分6厘受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-18
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑割合金1両3分2匁2分2厘受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 せ1-1-20-1～3は貼り継ぎ	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-19-1
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御割合金銀14匁8分受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-19-2
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借年賦当丑御割合金4両9匁5分2厘受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保12年丑12月26日	1通・横切紙	せ1-1-19-3
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分金1分10匁2分3厘上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村 せ1-1-21-1～2は貼り継ぎ	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-20-1
池田良右衛門他二名引替切手[覚](内借金滞分金3両1分上納受取につき) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門→南長池村	天保14年卯正月27日	1通・横切紙	せ1-1-20-2

16 その他

勘定所・計政局

桑原村関新右衛門申上書[乍恐以書付申上候](去午年融通差上舩70俵のうち60俵を来亥年上納の件執成願につき) 桑原村関新右衛門→春日儀左衛門様	天保9年戌10月	1通・縦継紙	せ1-2
細田久作年貢租税割付状[年貢租税割附](下小嶋村分) 細田久作→下小嶋田村	明治3年午12月	1通・縦継紙	せ1-3
桑原村平蔵申上書[乍恐以書付申上候](去午年融通差上舩30俵を来る亥年上納執成し願い) 桑原村平蔵→春日儀左衛門様	天保9年戌10月	1通・縦継紙	せ1-4
某用状(辛未租税繰り上げ前納金・壬申出納残金等書出につき) 掛紙による訂正あり、版心無記名、黒色8行罫紙		1通・縦紙	せ1-5

16 その他

細田久作年貢割付状〔辰御年貢土目録〕(下小嶋村分) 細田久作→下小島田村	明治元年辰12月	1通・竪継紙	せ1-6
南澤甚之介年貢割付状〔未御年貢免相土目録〕(椿峯村分) 南澤甚之介→椿峯村	安政6年末3月	1通・竪継紙	せ1-11
細田久作年貢割付状〔卯御年貢土目録〕(下小島村分) 細田久作→下小島田村 端裏書「下小島田村」	慶応3年卯12月	1通・竪継紙	せ1-13
(手木仲間の件手当積り伺書)		1冊・横長半	せ89
[辰年三月より十二月迄月割御借入已六月より未ノ四月迄之御返済一条品々留]		1冊・横長半	せ90
大坂御内用懸申上書(伊勢町伝兵衛他2名内金年賦返済につき) 大坂御内用掛→ 裏打あり		1通・横切継紙	せ91
岡田荘之助他一名願書〔以書付奉願上候〕(下金支給願につき) 田中慎十郎・岡田荘之助→郡政御役所・市政御役所	明治3年午8月	1冊・竪半	せ93
某用状(押送船代金書出につき)		1通・横切紙	せ94
[口上覚](包紙)		1通・包紙	せ95
[宇治信楽諸国御銘茶所](薄茶並びに煎茶等値段一覧表) 江戸虎之門外本郷地豊田弥太郎→ 木版刷		1通・切紙	せ117
鈴木一重借用証文〔覚〕(ラッパ修行代金3両につき) 鈴木一重→柘植様	11月16日	1通・竪紙	せ118
某用状〔為替可相成分金高覚〕(上納金高並びに人名等書出) 下ケ札あり	巳2月	1冊・横長半	せ119

表題・作成等	年代	数量・形態	整理番号
--------	----	-------	------

そ（K）

1 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定

勘定所・計政局

(原桂仙逗留中品々御入料御下ヶ金願書綴)		4点	そ2-1-1
近藤権内伺書[覚](原玄仙逗留中品々御入料御下ヶ金につき) 近藤権内→ 端裏書あり	6月	1通・横切紙	そ2-1-1-1
近藤権内伺書[覚](原桂仙逗留中品々御入料につき)(用度司)近藤権内→ 端裏書あり	午7月	1通・横切紙	そ2-1-1-2
飯島与作願書(原桂仙逗留中御入料御下ヶ金につき) 飯島与作→ 端裏書あり	6月	1通・横切紙	そ2-1-1-3
近藤権内伺書[覚](原桂仙逗留中御入料御払いにつき)(用度司)近藤権内→ 端裏書あり	7月	1通・横切紙	そ2-1-1-4
西村十郎兵衛書状(女子御仕置の一件につき)(西村)十郎兵衛→(一場)茂右衛門様	8月12日	1通・横切紙	そ2-1-2
竹内晋平書状(殿様より年頭御祝儀のため奥方様御機嫌につき)(竹内)晋平→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 端裏書あり		1通・横切紙	そ2-1-3
某用状[覚](御預所村々より御借入金等書出につき)		1通・横切紙	そ2-1-4
(野中格他出精者への褒美願状留) 下ヶ札あり	3月	1冊・横長半	そ2-1-5
元松代藩申上書(旧松代藩領地高等御尋ねにつき) 元松代藩→	(明治5年)壬申4月	1通・縦紙	そ2-1-6
松代仮士族酒井市治他一名申上書[筑摩郡上土坂村平林五右衛門より借入金之儀二付申上](藩札を割引にて返済の旨につき) 松代仮士族酒井市治・水野清右衛門→	明治7年1月	1通・縦紙	そ2-1-7
某申上書(端裏書)[白山彦五郎再歎願之義二付申上](借入金返済方取計らいにつき) 端裏書あり	11月	1通・横切紙	そ2-1-8
(金銭受取証文綴 安政3～5年)			そ2-1-9
長谷川三郎兵衛繰廻金受取証文[覚](御武器御引当御繰廻金15両につき) 長谷川三郎兵衛→宮下謙大夫殿	安政3年2月5日	1通・横切紙	そ2-1-9-1
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](御在所御入料金5両につき) 宮下謙大夫→磯田小藤太殿 端裏書あり	安政3年正月	1通・横切紙	そ2-1-9-2
宮下謙大夫金銭請取書[覚](御在所御入料金5両につき) 宮下謙大夫→河原敬之進殿 端裏書あり	安政3年2月10日	1通・横切紙	そ2-1-9-3
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](御時借金1両2分につき) 宮下謙大夫→長谷川三郎兵衛殿 端裏書あり		1通・横切紙	そ2-1-9-4
仙田忠左衛門金銭受取証文[覚](品々御払金2両につき) 仙田忠左衛門→	卯10月	1通・横切紙	そ2-1-9-5
仙田忠左衛門金銭受取証文[覚](御臨時御払金3両につき) 仙田忠左衛門→	卯11月15日	1通・横切紙	そ2-1-9-6
磯田小藤太金銭受取証文[覚](砲術稽古御入料金10両につき) 磯田小藤太→宮下謙大夫殿	安政3年4月	1通・横切紙	そ2-1-9-7
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](呉服代金100両につ	安政5年3月朔日	1通・横切紙	そ2-1-9-8

1 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定

き）宮下謙大夫→長谷川三郎兵衛殿 端裏書あり (横浜表にて買上物関係書類綴)			そ2-1-10
権之助書状(横浜表において買上物代の件につき) 権之助→(酒井)市治様(水野)清右衛門様 そ2-1-10～11 を括っていた紐共・端裏書あり	辰7月17日	1通・横切継紙	そ2-1-10-1
権之助書状(大金御買上物話し合い等につき) 権之助 →(酒井)市治様 端裏書あり	7月16日	1通・横切継紙	そ2-1-10-2
(宮原柔兵衛横浜表にて買物関係書類綴)			そ2-1-11
宮原柔兵衛書状(洋銀通用の件御尋ねにつき) (宮原) 柔兵衛→(酒井)市治様	7月6日	1通・横切継紙	そ2-1-11-1
横浜出役宮原柔兵衛書状(横浜にて御買上の品等につ き) 横浜出役(宮原)柔兵衛→(酒井)市治様・(水野) 清右衛門様	6月28日	1通・横切継紙	そ2-1-11-2
横浜出役宮原柔兵衛書状(横浜にて御買上の品等につ き) 横浜出役(宮原)柔兵衛→(酒井)市治様・(水野) 清右衛門様	6月28日	1通・横切継紙	そ2-1-11-3
宮原柔兵衛書状(為替金並びに鉛取り扱い方につき) (宮原)柔兵衛→(酒井)市治様	7月11日	1通・横切継紙	そ2-1-11-4
(合印) 包紙共		1通・切紙	そ2-1-12
(相場伺)		1点・袋	そ2-1-13
(諸品代金請求書類綴)		5点	そ2-1-14
茗荷や政太郎用状[記](御屏風箱壺双等入札差し上 げにつき) 茗荷や政太郎→上	6月	1通・横切紙	そ2-1-14-1
かち町ミのや小三郎願書[記](長持等直段につき) かち町ミのや小三郎→上	明治6年6月	1通・横切継紙	そ2-1-14-2
ミのや小三郎願書[記](御払口代金分金8両1朱にて 頂戴仕りたくにつき) ミのや小三郎→上	西6月20日	1通・横切継紙	そ2-1-14-3
某用状[記](麻半宥板・帯等代金書出につき)		1通・横折紙	そ2-1-14-4
某用状(玉井繁之助白鞘御脇差・玉井浅之進袖御袷料 等品代金書出につき)		1通・横折紙	そ2-1-14-5
某用状[添書](栗笠村佐藤与右衛門より質流の郷代米 内訳書出につき)		1通・竪紙	そ2-1-15
丈左衛門書状(御公役方五日丹波島御乗り込みにつき) 丈左衛門→(宮本)慎助様・(酒井)市治様・(関田)莊助様 包 紙共、付札あり	3月2日	1通・横切継紙	そ2-1-16
(謹兵衛書状綴)		5点	そ2-1-17
謹兵衛書状(岩村田宿行につき) 謹兵衛→(宮下)孫兵 衛様		1通・横切紙	そ2-1-17-1
謹兵衛書状(先々君様御忌日の精進の件にき) 謹兵 衛→(宮下)孫兵衛様		1通・横切紙	そ2-1-17-2
謹兵衛書状(明十八日御参府につき) 謹兵衛→(宮下) 孫兵衛様	3月15日	1通・横切紙	そ2-1-17-3
衛門書状(目録両通落手につき) 衛門→(宮下)孫兵衛様		1通・横切紙	そ2-1-17-4
友兵衛書状(御目通り申し上げるも御尋ねなきにつ き) 友兵衛→(宮下)孫兵衛様		1通・横切紙	そ2-1-17-5

(堤常之丞書状一括) 紙縫一括			そ2-1-18
(紙縫)		1点・紙縫	そ2-1-18-1
堤常之丞書状(大坂表への御登金入手につき) (堤常之丞→(宮沢)善治様・(酒井)市治様 紙縫あり、端裏書あり	10月26日	1通・横切紙	そ2-1-18-2
堤常之丞書状(千両今22日到来につき) (堤)常之丞→(高野)覚之進様・(野中)喜左衛門様	4月22日	1通・横切継紙	そ2-1-18-3
某用状(万事諸色高直並びに岡本様出火等につき)		1通・横切紙	そ2-1-18-4
堤常之丞書状(1000両到来の件報告等につき) (堤)常之丞→(高野)覚之進様・(宮下)善治様・(野中)喜左衛門様	6月7日	1通・横切継紙	そ2-1-18-5
岡本弘兵衛他一名書状(御国表より送金入手仕りにつき) 岡本弘兵衛・増田孝兵衛→坂(坂本)常之丞様	10月15日	1通・横切継紙	そ2-1-18-6
中嶋渡浪書状(新御殿御引き渡し御道具向き御締りにつき) (中嶋)渡浪→(山本)様	2月12日	1通・横切継紙	そ2-1-19
(河原敬之進書状等) そ1-20は巻込一括		2点	そ2-1-20
河原敬之進書状(植木昇を御近習役へ任命願につき) (河原)敬之進→一平様・(宮下)孫兵衛様		1通・横切継紙	そ2-1-20-1
(差出・宛名書出につき) (河原)敬之進→一平様・(宮下)孫兵衛様		1通・切紙	そ2-1-20-2
宮沢善治他三名金銭受取証文[覚](御内借滞金につき) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門他1名→ 2通が貼り付けられている	弘化2年正月25日	1通・横切継紙	そ2-1-21
[証文入](袋)	辰7月	1点・袋	そ2-1-22
某願書(藩債多分につき)	12月29日	1通・横切継紙	そ2-1-23
水野権右衛門書状(役儀御礼等につき) (水野)権右衛門→(宮下)孫兵衛様	4月27日	1通・横切継紙	そ2-1-24
佐藤美与喜用状[記](書状一筆、六筆伝達につき) (佐藤)美与喜→(岡野)敬一郎様 端裏書あり		1通・横切継紙	そ2-1-25
関田恭蔵引換書[覚](大坂表品々入料受取につき) 関田恭蔵→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治3年閏10月	1通・堅切紙	そ2-1-26
(伊藤環書状綴)		3点	そ2-1-27
伊藤環書状(訴訟願い聞済みにつき) (伊藤)環→御三人様 端裏書あり	正月13日	1通・横切紙	そ2-1-27-1
伊藤環書状(赤小豆召し上りにつき) (伊藤)環→鎌太夫様・(山寺)源太夫様・(磯田)音門様他1名 端裏書あり	正月13日	1通・横切継紙	そ2-1-27-2
伊藤環書状(塩竈杵・三角等打物到来につき) (伊藤)環→(山寺)源太夫様・(長谷川)三郎兵衛様 端裏書あり	正月15日	1通・横切継紙	そ2-1-27-3
(扶持代関係書類一括) 紙縫一括			そ2-1-28
(紙縫)		1点・紙縫	そ2-1-28-1
[覚](拾九人扶持代書付等につき) 落丁あり		2通・横折紙	そ2-1-28-2
某用状(人名・金子書出につき) 後欠		1通・横切継紙	そ2-1-28-3
久書状(扶持方につき) 久		1通・横切継紙	そ2-1-28-4
五本情助他三名書状(扶持方代につき) 五本情助・高野三之進・白沢善次他1名→白山彦五郎様	12月	1通・横切紙	そ2-1-28-5

2 藩主(藩侯)・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定

[御政事所被仰付之次第] 監察		1冊・豎半	そ2-1-29
[御改革以後御礼席之図]	明治3年2月30日	1通・豎切紙	そ2-1-30
佐藤則通他四名申上書(旧松代藩札総計取り調べにつき) 佐藤則通・富永新平・草間一路他2名→長野県権参事 楢崎寛直殿		1通・豎切紙	そ2-1-31
(家督願関係書類綴)		4点	そ2-1-32
[隱居家督願](雛型)		1通・豎切紙	そ2-1-32-1
[急養子家督願](雛型)		1通・豎切紙	そ2-1-32-2
[家督願](雛型)		1通・豎切紙	そ2-1-32-3
[養子仕度願]		1通・豎切紙	そ2-1-32-4
(大書院御礼席之図力) 落丁あり		1通・豎切紙	そ2-1-33
矢野唯見願書(旧問屋世話人戊辰年人馬賃錢御下ケ金につき)(矢野)唯見→前島(友之進)様・藤井(浅右衛門)様	5月14日	1通・豎切紙	そ2-1-34
(単宿村寄合入料受取証文綴)		2点	そ2-1-35
須田五十善用状(単宿にて寄合入料につき) 須田五十善→御側役様・高野広馬様	2月26日	1通・切紙	そ2-1-35-1
単宿村録三郎受取証文[覚](はや代金1分1朱) 単宿村録三郎→上 端裏書あり	2月26日	1通・豎切紙	そ2-1-35-2
竹村慶次郎請取書[覚](御厩猿祈禱銀4匁につき) 竹村慶次郎→池田富之進殿・堤常之丞殿・長谷川直太郎殿他4名 奥書あり	巳9月	1通・豎継紙	そ2-1-36
岡本弘兵衛他一名書状(北山安世様大病入料願につき) 岡本弘兵衛・増田孝兵衛→宮(宮沢)善治様・野(野中)喜左衛門様・酒(酒井)市治様		1通・横切継紙	そ2-1-37
野中喜左衛門他一名申上書(端裏書)[御内々申上](肴町良之助御賞願につき) 野中喜左衛門・酒井市治→	2月	1通・横切継紙	そ2-1-38
(千善屋新為換関係書類一括) 巻込一括			そ2-1-39
千善屋新書状(横浜の景況異常にて拝借金選延等につき) 為換店二而千善屋新→大熊荒政殿 「菱川銀行為換店」便箋使用	明治14年10月8日	5通・豎紙	そ2-1-39-1
為換店書状(分賦金選延の件につき) 為換店→大熊荒政様 「菱川銀行為換店」便箋使用	10月5日	2通・豎紙	そ2-1-39-2
新書状(為替景況不足・金不足にて配当金忘却等につき) 為換店二而新→大熊様 「菱川銀行為換店」便箋使用	9月28日	2通・豎紙	そ2-1-39-3

2 藩主(藩侯)・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定

勘定所・計政局

(いく姫様への差上物への添文留)		1冊・横長半	そ2-2-1
某用状(宿々入費商荷数につき) 落丁あり		1通・豎紙	そ2-2-2
[覚](御蔵米出納勘定帳) 付札あり	嘉永6年	1冊・横長帳	そ2-2-3
(感慈院様御盆前他所御礼等書出につき)		1冊・横長半	そ2-2-4

2 藩主(藩侯)・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定

(郡方支配・御目付支配等役職・人名書出につき)		1冊・横長半	そ2-2-5
[覚](御蔵米出納勘定帳) 付札あり	嘉永7年	1冊・横長半	そ2-2-6
[申渡](千田村3役人拝借金願のところ振替役元より融通の段不埒の件他申渡留) 貼紙「金井左源太」		1冊・縦半	そ2-2-7
(初代等書出につき)		1通・横切紙	そ2-2-8
某用状(藤田岡之進屋敷打水につき) 裏打ち		1通・横切紙	そ2-2-9
(諸品入用関係書類綴)		7点	そ2-2-10
某用状(水引・熨斗代等書出につき)		1通・切紙	そ2-2-10-1
某用状[覚](加賀羽二重・水引・熨斗代等書出につき)		1通・切紙	そ2-2-10-2
某用状并用度方答書貼紙(端裏書)[御家扶え引渡物の儀伺](刀・短刀等書出につき)→用度方	8月23日	1通・横切継紙	そ2-2-10-3
某用状(大・中・小奉書1帖代金書出につき)		1通・切紙	そ2-2-10-4
宮入伝治金銭受取証文[覚](摺物入料につき) 宮入伝治→上	(明治4年)未4月11日	1通・切紙	そ2-2-10-5
丁子屋喜三郎金銭受取証文[覚](唐紙100枚につき) 丁子屋喜三郎→御用度局御役所	1月10日	1通・切紙	そ2-2-10-6
坂屋賀助金銭受取証文[覚](木綿等品代金につき) 坂屋賀助→後欠により宛名不明	明治4年5月	1通・縦継紙	そ2-2-10-7
[献上金仕置候者御賞筋之義申上] 監督	5月	1冊・横長半	そ2-2-11
(大尉・中将等名面書)	巳11月	1冊・横長半	そ2-2-12-1
(廳掌心得等書出につき) そ2-2-12-1に付属		1通・切紙	そ2-2-12-2
(御切米元帳帳数等書出につき)		1冊・横長半	そ2-2-13
長野県出納課用状(旧藩札取調べにつき) 長野県出納課→第廿九区正副区長中 青色罫紙使用	明治6年7月2日	1通・縦紙	そ2-2-14
[執政参政於 御居間御目見え条記]	慶応4年	1冊・縦半	そ2-2-15
中澤保孝伺書[記](金員中借につき) 中澤保孝→青色罫紙使用	(明治)9年12月24日	1通・縦紙	そ2-2-16
(裾花川御普請御賞者書付帳) 下ケ札あり		1冊・横長半	そ2-2-17
(吉田村外9ヶ村高および雑税等書出につき) 青色罫紙使用		1通・縦紙	そ2-2-18
(金児忠兵衛他14名書出につき)		1通・縦切紙	そ2-2-19
某用状[記](高3万石・現米高・代金等書出につき) 青色罫紙使用	明治7年4月	1通・縦紙	そ2-2-20
(大蔵省・神祇官他布告留、明治4年12月) 青色罫紙使用	(明治4年)辛未	1冊・縦半	そ2-2-21
(日大殿様新御殿移徙記、10月13日分)		1冊・縦半	そ2-2-22
(大殿様新御殿移徙記、10月15日分)		1冊・縦半	そ2-2-23

3 真田家／地所代金等

真田家家令・家扶

(地所下代金等関係書類一括) 巻込一括			そ2-3
某用状[記](中川八十五郎他御賞典につき) 青色罫紙使用		1通・竪紙	そ2-3-1
郡役所通達(松代町地内公売地入札等につき) 郡役所→ 綴穴あり、赤色罫紙使用	明治20年3月3日	1通・竪紙	そ2-3-2
埴科郡松代町外三村戸長役場達書[乙第三二号](松代町地所下代金につき) 埴科郡松代町外三村戸長役場→ 綴穴あり、赤色罫紙使用	(明治)20年3月12日	1通・竪紙	そ2-3-3
松代県申上書(士族卒禄高取調帳等迫って取調等につき) 松代県印→大蔵省御中 黒色罫紙使用	(明治4年)辛未9月	1通・竪紙	そ2-3-4
治水司小林熊治郎他二名申上書[口上覚](細掛堰六ヶ村組合用水堰定例並びに臨時自普請につき) 治水司小林熊治郎・米山富左衛門・立合塚田与十郎→	巳3月	1通・横折紙	そ2-3-5

4 真田家／家政／寄付金

真田家家令・家扶

松代兵後優待組合長矢澤頼道申上書[御請書](本組合臨時費へ金50円御寄附拝受につき) 松代兵後優待組合長矢澤頼道→伯爵真田家御中	明治37年4月22日	1通・竪切紙	そ1-163
--	------------	--------	--------

5 真田家／家政

真田家家令・家扶

関田恭蔵書状(白山奥村他口々借入院返済滞納の件帰藩の上取計い願他につき) (関田)恭蔵→司馬町(酒井氏)様 そ16-1-59の返書	正月21日	1通・横切継紙(美)	そ16-1-53
(真田旧藩主家関係書類一括) 紙綴一括			そ16-2
(紙綴)		1点・紙綴	そ16-2-1
佐藤則善申上書(河原御家扶持内々上京の風聞等藩内近況につき) (佐藤)則善→(大熊)教正様	5月13日	1通・横切継紙	そ16-2-2
宇藤君弘他一名書状(上納調べの件につき) 宇藤君弘・河原相正→友野尚樹様・佐藤正直様 用箋使用	7月27日	1通・横切紙	そ16-2-3
某書状(暑中見舞等につき)	8月5日	1通・横切紙	そ16-2-4
真田造次郎書状(出立の際餞別頂戴の例並び近況につき) 真田造次郎→大熊教政様 継目剥離	9月19日	1通・横切継紙	そ16-2-5
久米書状(学校書物の内拝借分洋書の件につき) 久米→六蔵様	2月16日	1通・横切継紙	そ16-2-6
(真田幸民関係書類一括) 紙綴一括			そ16-2-7

6 真田家／吉凶／祝儀

(紙縫)		1点・紙縫	そ16-2-7-1
真田幸民家扶書状下書(依頼の件延期につき) 真田幸民家扶→石坂周造様	(明治)16年9月8日	1通・横切継紙	そ16-2-7-2
真田幸民家扶書状(依頼の件延期につき) 真田幸民家扶→石坂周造様	(明治)16年9月8日	1通・横切継紙	そ16-2-7-3
某金銭受取証文[記](村上松国家事のため金30円頂戴につき) →大熊教政殿	明治13年5月29日	1通・横切紙	そ16-2-8
久保成書状(同僚還邸の件御断りの旨承知につき) 久保成→石坂周造様	明治16年9月3日	1通・横切継紙	そ16-2-9
(包紙)		1点・包紙	そ16-2-10-1
渡辺他一名書状(只今より御殿へ持参につき) 渡辺・玉川→大熊(教政)殿・小山田殿	6月6日	1通・横切紙	そ16-2-10-2
高田貫之輔書状(写真閲覧の件につき) 高田貫之輔→大熊(教政)様	8月22日	1通・横切紙	そ16-2-11
屋代村上松国金銭受取証文[記](御下ヶ金40円落手につき) 屋代村上松国→大熊教政殿		1通・横切紙	そ16-2-12
南沢喜久人書状(用向のため3・4日京都滞在につき) 南沢喜久人→大熊教政様	3月14日	1通・横切紙	そ16-2-13

6 真田家／吉凶／祝儀

真田家家令・家扶

(祝儀袋一括) 紐一括			そ17-3
(紐)		1点・紐	そ17-3-1
(祝儀袋、金50銭) 水引あり		1点・祝儀袋	そ17-3-2
(祝儀袋、金40円)		1点・祝儀袋	そ17-3-3
(祝儀袋、金40円)		1点・祝儀袋	そ17-3-4
(祝儀袋)		1点・祝儀袋	そ17-3-5
(祝儀袋、金1円)		1点・祝儀袋	そ17-3-6
(祝儀袋、金20銭)		1点・祝儀袋	そ17-3-7
(祝儀袋、金200疋)		1点・祝儀袋	そ17-3-8
(祝儀袋、金200疋)		1点・祝儀袋	そ17-3-9
(祝儀袋、金200疋)		1点・祝儀袋	そ17-3-10
(祝儀袋)		1点・祝儀袋	そ17-3-11
(祝儀袋、金100疋)		1点・祝儀袋	そ17-3-12
(祝儀袋、御反物料金15円)		1点・祝儀袋	そ17-3-13
(祝儀袋、金10銭)		1点・祝儀袋	そ17-3-14
(祝儀袋、金1片)		1点・祝儀袋	そ17-3-15

7 藩政／財方／財方上申書 勘定所

(諸役人等手当関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) 御勝手元へ申上書(端裏書)[御鉄砲師役席并上京之下物之儀付申上](御鉄砲師山口達蔵御目見席取立等伺につき) 御勝手元へ→ 後半虫損	12月	1点・紙縫 1通・横切継紙	そ15-2 そ15-2-1 そ15-2-2
御収納郡方申上書(端裏書)[御目見席小頭始御道固出役御手充之儀付申上](和宮御通行につき) 御収納郡方→	12月	1通・横切継紙	そ15-2-3
御収納郡方申上書(端裏書)[御年中御用夫之者手当之儀再申上](役夫の勤務取調につき) 御収納郡方→	4月8日	1通・横切継紙	そ15-2-4
御収納郡方申上書(端裏書)[御目見席小頭組入被成組内難治定之儀付申上](御目見席小頭組除けにつき) 御収納郡方→	12月	1通・切紙	そ15-2-5
御勝手元へ申上書(端裏書)[急上坂之向道中御賄方之儀付申上](上下の者それぞれの賄金の振合いにつき) 御勝手元へ→	8月24日	1通・横切紙	そ15-2-6

8 藩政／財方／財方取計い何書並びに指示書ほか 勘定所

(諸書類一括) 旧史料館紙縫にて一括 (諸書類一括) (泉太郎用状一括) そ17-1-1は巻込み一括 泉太郎用状[口上](東様昇館のため来訪につき) 泉太郎→吉四郎様 泉太郎用状[覚](貞操の歌等につき) 泉太郎→上 (諸書類綴) 某申上書[申上](役所普請願につき) 某用状(屋敷の件相談等につき) 某用状(矢代宿役人書出につき) 某用状(小林田鶴助等名面書) (ライフルかも捻子修復関係書類綴) 武庫庶務申上書(ライフルかも捻子入料積につき) 武庫庶務→ 武庫司事何書(ライフルかも捻子修復入料積につき) 武庫司事→ 鈴木惣五郎用状[覚](ライフルかも捻子修復代金積につき) 鈴木惣五郎→	午5月 (午)5月 午4月	2点 1通・切紙 1通・切紙 4点 1通・切紙 1通・切紙 1通・切紙 3点 1通・横切継紙 1通・横切紙 1通・縦紙	そ17 そ17-1 そ17-1-1 そ17-1-1-1 そ17-1-1-2 そ17-1-2 そ17-1-2-1 そ17-1-2-2 そ17-1-2-3 そ17-1-2-4 そ17-1-3 そ17-1-3-1 そ17-1-3-2 そ17-1-3-3
---	---------------------	---	--

某用状(河野左守家筋のため水練出精手当金帆他扶持支給願につき) 反故紙使用		1通・横折紙	そ17-1-4
某申上書(福德寺観音堂年貢上納金割合につき)	12月16日	1通・横切紙	そ17-1-5
小銃方頭取伺書(赤坂御矢場補理につき) 小銃方頭取→	子5月	1通・横切紙	そ17-1-6
庶務伺書(端裏書)[品々御入料金御中借之義伺](民部省役人乗込入料金他中借につき) 庶務→ 端裏書あり、端裏上書「營繕司」	未2月	1通・横切継紙	そ17-1-7
某伺書(参府暇につき)		1通・切紙	そ17-1-8
某申上書(役方兼帯について祢津左盛申上の件評議につき)	辰5月	1通・横切継紙	そ17-1-9
御武具奉行伺書(小銃修復の事につき) 御武具奉行→	11月13日	1通・切紙	そ17-1-10
良右衛門内々申上書(藩中渡米窮迫の件のため山辺まで出張につき) 良右衛門→	9月朔日	1通・横切紙	そ17-1-11
大門町出張店山口久米太届書[乍恐口上書奉申上候](官札上納金・道中駄賃金等行方不明につき) 大門町出張店山口久米太届書→計政方御役所	午11月28日	1通・横切継紙	そ17-1-12
倉田三之丞申上書(駆通会議所取建方尋につき) 倉田三之丞→	8月25日	1通・横切継紙	そ17-1-13
某用状(渡辺富之丞御入承承諾願につき)		1通・切紙	そ17-1-14
某用状書状草案(柳生様他宛)		1通・横切紙	そ17-1-15
御勘定吟味申上書(端裏書)[吉村寅松御下金之義二付申上](下ケ金790両につき) 御勘定吟味→	正月	1通・横切紙	そ17-1-16
太右衛門用状(船賃払の件につき) 太右衛門→(真田)志摩様・(鎌原)伊野右衛門様	3月20日	1通・切紙	そ17-1-17
(刀番行列関係書類一括) 紙縫一括			そ17-1-18
(紙縫)		1点・紙縫	そ17-1-18-1
御刀番用状(別紙の御供行列御免につき) 御刀番→		1通・切紙	そ17-1-18-2
某用状(端裏書)[御在所本能御行列](行列帳)		1通・横切継紙	そ17-1-18-3
真田信濃守書状(家督の祝儀につき) 真田信濃守→松平大蔵少輔様	7月10日	1通・横切継紙	そ17-1-19
御勝手元へ申上書(端裏書)[長命平三郎出立日限御猶予之義付申上](差支えなきにつき) 御勝手元へ→	10月	1通・切紙	そ17-1-20
某申上書(端裏書)[御下ケ物御引上ケ呉候義付申上](日光御供足輕引上げにつき) 裏打あり	卯6月3日	1通・切紙	そ17-1-21
某用状(端裏書)[善光寺牧野荘左衛門為替手形御貸渡事](無利足商社手形につき)	5月	1通・横切継紙	そ17-1-22
金児総左衛門申上書[覚](切羽等御用品差上につき) 金児総左衛門→	2月12日	1通・切紙	そ17-1-23
白井重左衛門金銭受取証文[覚](硝石製入料20両内借につき) 白井二左衛門→水野清右衛門殿	子7月	1通・横切紙	そ17-1-24
御収納郡方申上書(端裏書)[御勘定吟味江府交代之儀付申上候](異存なきにつき) 御収納郡方→ 端裏書「四月廿三日出ス」	4月	1通・切紙	そ17-1-25

8 藩政／財方／財方取計い何書並びに指示書ほか

(千田村油屋与兵衛灯油上納・仕入金拝借願関係書類一括) 紙縫一括			そ17-1-26
(紙縫)		1点・紙縫	そ17-1-26-1
用度属伺書(端裏書)[灯油御買上代金千田村与左衛門え御下ケ之儀伺](上納金並びに仕入金につき) 用度属→ 端裏書「用度司」	(明治4年)3月	1通・横切継紙	そ17-1-26-2
千田村油屋与兵衛願書[覚](灯油上納並びに仕入金拝借につき) 千田村油屋与兵衛→御用度御役所 上部欠損	明治4年末3月	1通・堅紙	そ17-1-26-3
[御内密奉願候](包紙) そ17-1-27-2の包紙、紙縫共		1点・包紙	そ17-1-27-1
友右衛門内密願書(端裏書)[御内密奉願候](表坊主役御座敷掃除役兼大沢弥左衛門出精のため永苗字御免につき) 友右衛門→	12月	1通・横切継紙	そ17-1-27-2
某用状(扶持米書出につき)		1通・横切継紙	そ17-1-28
某用状[御家知事](真田家家臣書出につき)		1通・横切継紙	そ17-1-29
(玉川左門関係書類綴)		2点	そ17-1-30
玉川左門用状(御使派遣の件心得につき) 玉川左門→小野肇殿	11月20日	1通・切紙	そ17-1-30-1
玉川左門申上書(真田幸教御機嫌の旨御前様等へ伝達につき) 玉川左門→両御守役中	11月21日	1通・切紙	そ17-1-30-2
(牧野大右衛門御供帰府被下物関係一括) 紙縫一括			そ17-1-31
(紙縫)		2点・紙縫	そ17-1-31-1
御収納郡方伺書(端裏書)[牧野大右衛門御供帰府被下物之儀二付伺](御用にて帰国の上参府指令の先例なきにつき) 御収納郡方→	5月	1通・横切継紙	そ17-1-31-2
御収納郡方伺書下書(端裏書)[牧野大右衛門御供帰府被下物之儀二付伺](御用にて帰国の上参府指令の先例なきにつき) 御収納郡方→ そ17-1-31-2の下書	5月	1通・横切継紙	そ17-1-31-3
御収納郡方申上書(端裏書)[春川源美附添之御徒目付等帰府道中被下物之儀付申上](帰府の下され物の振合いにつき) 御収納郡方→ 貼紙あり、端裏書「十月廿七日」	10月27日	1通・横切継紙	そ17-1-32
友之進内々申上書(端裏書)[御内々申上](長谷川平次郎拝借金未到来につき) 友之進→	10月	1通・横切紙	そ17-1-33
伊藤佐右衛門内々申上書(上田藩家中村上十左衛門の行状を祢津左盛へ内々申上につき) 伊藤佐右衛門→		1通・横切継紙	そ17-1-34
某用状(上山田村役人・他出・病床人等書出につき) 朱書あり	11月12日	1通・横切継紙	そ17-1-35
御勝手元ペ伺書(端裏書)「□□友右衛門春詰番出府御免之儀付伺」(手当返却等につき) 御勝手元ペ→ 虫損あり	11月	1通・横切継紙	そ17-1-36
馬場弥三郎申上書并計監朱印(端裏書)[御湯殿御通ひ路之義申上](貞松様住居移転のため支障につき並びに裁可の旨) 馬場弥三郎→ 端裏朱印「計監可」	7月12日	1通・切紙	そ17-1-37
御勝手元ペ申上書(端裏書)[御城番組揚人之儀二付申上](御城番組揚人減略につき) 御勝手元ペ→	8月	1通・横切紙	そ17-1-38

9 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか

勘定所・計政局

(諸書類一括)			そ12-2
某申上書[申上](上山田村の内家作手始の件穿鑿承諾につき)	9月	1通・横切継紙	そ12-2-1
茂右衛門他十五名請証文[乍恐以書付御請奉申上候](川合村表屋川筋普請駆訴の大豆嶋村善十郎他5名町宿預につき) 大豆嶋村善十郎親類組合兼茂右衛門・荘八親類組合兼善兵衛・金右衛門親類組合兼元右衛門他13名→郡御奉行所・道橋御奉行所 下ケ札あり	慶応3年7月10日	1冊・豎半	そ12-2-2
[足沼村倉並与村名替願之通辰五月廿五日申渡候受書一通 文政三辰六月](包紙) 未開封	文政3年6月	1点・包紙	そ12-2-3
赤沢助之進願書(肴町御救小屋代金上納につき) 赤沢助之進→成沢勘左衛門殿	9月29日	1通・横切継紙	そ12-2-4
吉左衛門他二名申上書[御尋付乍恐以口上書奉申上候御事](大塚村頭判一件につき) 大塚村東組名主吉左衛門・組頭民左衛門・長百姓弥左衛門→御勘定所惣御元御役所	文政8年5月	1通・豎継紙	そ12-2-5
師岡十郎右衛門他四名用状(新堰の流留切水取捨の件につき) 師岡十郎右衛門・榎田忠兵衛・谷口民馬他2名→塩野完口様・金井彦右衛門様	6月27日	1通・横切継紙	そ12-2-6
職事掛願書并計監朱印[県町祭礼免初穂之義付](初穂料200疋に確定願につき並びに裁可の旨) 職事掛→	8月24日	1通・横切継紙	そ12-2-7
甚兵衛他三人別送状[送一札之事](奈良井宿男中風煩い難渋のため村継送りにて帰宿願につき) 真田弾正大弼領分埴科口(郡)東寺尾村長百姓甚兵衛・組頭助左衛門・同喜惣兵・他1名→当国(信濃国)筑摩郡木曾奈良井宿迄宿村御役人衆中	文化元年5月	1通・豎紙	そ12-2-8
片岡義種他二名申上書[以書付奉申上候](雨宮坐日吉神社神事日限につき) 雨宮村雨宮坐日吉神社奉仕片岡義種・名主横山久五郎・同断半田瀬兵衛→松代県御役所	明治4年8月	1通・豎紙	そ12-2-9
(藩中の者の不法取締につき触下藩々役人集会書類綴)		2点	そ12-2-10
監察申上書并大監他三点朱印[御触下藩々集会二付御締筋之儀申上](藩中の者不法の振舞いありにつき並びに裁可の旨) 監察→ 端裏朱印「大監可」「理事可」「議事可」	正月	1通・横切継紙	そ12-2-10-1
少参事願書(取締筋御布金の件取計らい願につき) 少参事→ 付箋「ウツ宮 ○」挿入	正月28日	1通・横切継紙	そ12-2-10-2
里村山村名主定右衛門他四名願書[乍恐以書付御延奉願上候](御用金上納日延につき) 里村山村名主定右衛門・組頭与左衛門・長百姓平右衛門他2名→御代官所	慶応3年8月	1冊・豎半	そ12-2-11
松本文右衛門歎願書[郡役頂戴之儀二付御書付写添歎願](永世下賜の郡役頂戴仕度につき) 松本文左衛門→	明治9年12月	1通・横切継紙	そ12-2-12
(北郷村過納金関係一綴)		12点	そ12-2-13
野中喜左衛門願書[北郷村過納金御下願二付申上](明治4年過納金の下渡につき) 野中喜左衛門→	明治12年1月	1通・横切継紙	そ12-2-13-1

9 藩政・県政／財方／財方取計／向き用状ほか

青色罫紙使用			
某用状并某答書貼紙[堀井市治見込元作御取消願] (五明元作過納金見込につき並びに見込は不用の旨) 貼紙「此見込者不用とハ奉存候得共為御見合迄ニ申上候」	12月	1通・横切継紙	そ12-2-13-2
五明元作願書并某答書貼紙[北郷村過上金御下渡願之義ニ付申上](寅・卯・辰年過納金残り分返済につき並びに願書の趣旨不明の旨) 五明元作→ 貼紙「此書面口上相添不申上候而ハ取分□□□ニ御座候」	10年(丑)5月28日	1通・横切継紙	そ12-2-13-3
矢野唯見願書(五明元作申上の聞取につき)(矢野)唯見→佐藤様	4月	1通・横切継紙	そ12-2-13-4
矢野唯見願書[五明元作申立之義ニ付猶申上](過納金申立分180両返済につき)(矢野)唯見→	10年3月25日	1通・横切継紙	そ12-2-13-5
五明元作歎願書[御下金歎願ニ付苦情聴取](立替金187両利子付加にて返済につき) 五明元作→ 下ケ札あり貼紙「此迄之□ハ格別用立不申候得共御見合迄ニ入り□□」		1通・横切継紙	そ12-2-13-6
[慶応二寅年御代官御勘定帳写](過納金書出につき) 赤色罫紙使用	12年1月	1冊・豎半	そ12-2-13-7
矢野唯見願書(旧道橋方元々松本芳之助に御賞下賜につき) 矢野唯見→ 赤色罫紙使用	1月22日	1通・豎紙	そ12-2-13-8
矢野唯見願書(北郷村一条取調の件教示等につき)(矢野)唯見→(長谷川)昭道様 「第十五大区」罫紙使用	1月26日	1通・豎紙	そ12-2-13-9
矢野唯見願書[北郷村過納金旧手代五明元作申聞候手続聴取](五明元作申年より度々願出につき) 矢野唯見→ 赤色罫紙使用	12年1月	1冊・豎半	そ12-2-13-10
矢野唯見願書[北郷村御旧藩中租税過上納金御下願ニ付伺](北郷村名主井上新右衛門より租税過上金御下げの件申立につき) 矢野唯見→ 赤色罫紙使用	明治12年1月	1通・豎紙	そ12-2-13-11
五明元作願書[旧北郷村先年過納金御下願] 旧御代官手代五明元作→ 赤色罫紙使用	4月	1通・豎紙	そ12-2-13-12
某達書(享保18年12月疫病流行時の薬法再触指示につき)		1冊・横長半	そ12-2-14
(宝暦度東福寺村・新田地押改めについての書出につき)		1冊・豎半	そ3-1
郡政副主事伺書[赤田村喜平等療治代被下御中借之儀伺] 紙縫で綴じられている	6月10日	1通・豎切紙	そ3-2
(琉球人来朝並びに江戸屋敷修復関係書類綴)		4点	そ3-3
高田幾太用状(端裏書)[琉球人来朝ニ付江戸御屋敷御修復事](なるたけ入用少なく済む様等につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	8月25日	1通・横継紙	そ3-3-1
高田幾太用状(琉球人参府のため御修復向き等につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	8月26日	1通・横継紙	そ3-3-2
(屋敷修復入用書付帳)		1冊・横長半	そ3-3-3
某用状[被下物](綿・白銀等代銀につき)		1通・豎切紙	そ3-3-4
水内村本郷甚右衛門他百五名連印願書 水内村本郷名主甚右衛門・組頭儀兵衛・同断喜左衛門他102名→ 前後欠により内容不明	文政5年2月	1通・豎継紙	そ3-4
御水道方御仲間藤吉用状(十人町上つ組年40歳藤吉家	明治2年6月	1通・豎切紙	そ3-5

族名前・年令書出につき) 御水道方御仲間藤吉→御水道方御奉行所			
某用状(疑惑無しにつき)		1通・堅切紙	そ3-6
某用状(本途納俵数等書付につき)		1通・堅切紙	そ3-7
御水道方御仲間鶴治用状(鶴治家族名前・年令書付につき) 御水道方御仲間鶴治→御水道方御奉行所 虫損大	明治2年6月	1通・堅切紙	そ3-8
御水道方御仲間長兵衛用状(森山椽御長屋長兵衛家族名前・年齢書付につき) 御水道方御仲間長兵衛→御水道方御奉行所	明治2年6月	1通・堅切紙	そ3-9
御飛脚才領組惣代梅司他一名願書[以口上書一同奉願候](東京表への御用出立時の往来路銭につき) 御飛脚才領組惣代梅司印・元吉印/(奥書)荒井伊之助印・荒井弥平印→荒井弥平殿・荒井伴之助殿 虫損大	明治2年9月	1冊・堅半	そ3-10
(大殿様御年賀の題辞)		1通・堅切紙	そ3-11
西村源蔵引替書[覚](内預ヶ金請取につき) 西村源蔵→高田幾太殿	嘉永7年2月19日	1通・堅切紙	そ3-12
林屋伊三郎受書[覚](春稗・栗等払直段書出につき) 林屋伊三郎→御贈所	午2月	1通・堅切紙	そ3-13
草間一路書状(岡野氏より申来る件然るべく取計らい願につき)(草間)一路→(佐藤)美与喜様	12月27日	1通・横切紙	そ3-14
(小幡他人名等書出につき)		1冊・横長半	そ3-15
(足軽等扶持関係他御勝手元へ指示書貼付一括) 一紙に貼付一括			そ3-16
御勝手元へ申上書(奥坊主役扶持月渡しの義につき) 御勝手元へ→	12月25日	1通・切紙	そ3-16-1
御勝手元へ申上書(御料理人勘定吟味につき) 御勝手元へ→		1通・切紙	そ3-16-2
御勝手元へ申上書(内膳殿供連勘定につき) 御勝手元へ→		1通・切紙	そ3-16-3
御勝手元へ申上書(松原宿賄金の件同意につき) 御勝手元へ→		1通・切紙	そ3-16-4
御勝手元へ申上書(御足軽扶持代内借につき) 御勝手元へ→		1通・切紙	そ3-16-5
(助郷一件御賞筋等書類一括) 袋と紙縫で一括			そ3-17
(紙縫)		1点・紙縫	そ3-17-1
(袋)		1点・袋	そ3-17-2
久保孫右衛門他一名用状(御請注文の写し承知につき) 久保孫左衛門・春日儀左衛門→		1通・横切紙	そ3-17-3
春日儀左衛門申上書(端裏書)[矢代宿問屋役人共之儀二付申上](宿問屋役人日へ帳大儀のため苗字一代御免につき) 春日儀左衛門・久保孫左衛門→	酉2月	1通・横継紙	そ3-17-4
両人申上書(端裏書)[助郷一件懸り合之者御賞筋儀申上](中仙道八幡塩名田宿より御領分若宮村助郷差村につき) 両人→		1通・横切継紙	そ3-17-5
(招魂祭入料等書類綴)		10点	そ3-18
御武具方用状[覚](大隊旗代金書出につき) 御武具	巳10月18日	1通・切紙	そ3-18-1

9 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか

方→ 裏打ちあり			
某用状(御祭礼代金等書出につき) 裏打ちあり		1通・切紙	そ3-18-2
某用状[覚](招魂祭入用金書出につき) 裏打ちあり		1通・切紙	そ3-18-3
原与一郎用状[覚](妻女山祭入料書出につき) 原与一郎→ 裏打ちあり		1通・切紙	そ3-18-4
御台所用状[覚](酒入料書出につき) 御台所→ 裏打ちあり	10月	1通・横切継紙	そ3-18-5
御金掛用状(諸入用書出につき) 御金掛→御武具方御元 ^ル 中様 虫損大		1通・切紙	そ3-18-6
某用状(招魂祭入料書出につき) 裏打ちあり	10月23日	1通・横切紙	そ3-18-7
某用状[覚](酒高・代金内訳書出につき) 裏打ちあり		1通・横切継紙	そ3-18-8
覚[御普請方用状](仮招魂場普請代金等入料書出につき) 御普請方元 ^ル → 裏打ちあり	已10月	1通・横切紙	そ3-18-9
岸善八申上書(端裏書)[御用紙御入料之儀二付申上] 岸善八→ 裏打ちあり	5月4日	1通・横切紙	そ3-18-10
(出納銭・炭代返納等代金書出につき)		1通・横切継紙	そ3-19
(月給並びに手当分高書出につき)		1通・横切紙	そ3-20
(中借分高・炭代前借の分等諸色金子書出につき)		1通・横切紙	そ3-21
(出納帳残金・炭代・山内久喜中借代金につき書出につき)		1通・横切紙	そ3-22
赤沢助之進書状(京都表出立の節出勤につき) 赤沢助之進→(鎌原)伊野右衛門様 裏打ちあり	8月15日	1通・横切紙	そ3-23
民事方申上書(端裏書)[孫六え可被下物之義二付申上](東寺尾村勝之助貸金滞りにつき) 民事方→	12月18日	1通・横切紙	そ3-24
岩村田名主用状[覚](用水普請人足割廻状継ぎ送りにつき) 岩村田名主→御影新田御名主中 虫損	戌3月16日	1通・切紙	そ3-25
某伺書(塩崎村論所裁許につき) 虫損	5月	1通・横切継紙	そ3-26
計政副主事申渡書(増沢理助監使の助不要につき) 計政副主事→ 端裏書「不用」		1通・横切継紙	そ3-27
磯玄意礼状(便り頂戴につき) 磯玄意→海沼辰男様	8月8日	1通・横切継紙	そ3-28
某用状(一人別石高書出につき)		1通・横折紙	そ8-1
御刀番用状(供揃にて城代牧野越中守へ出仕につき) 御刀番→御同席中様	2月11日	1通・切紙	そ8-2
御勘定吟味申上書(金穀物蓄取扱い方につき) 御勘定吟味→	5月	1通・横切紙	そ8-4
加藤文八郎申上書[申上](乗馬の節伝馬賃につき) 加藤文入→	12月16日	1通・横切紙	そ8-5
佐藤美与喜申上書(端裏書)[甲府番兵三逗留中止宿料御下ケにつき 佐藤美与喜→	12月16日	1通・横切紙	そ8-6
御勘定吟味役用状并御郡方答書貼紙[口上覚](通役方巡見の手当につき並びに金100疋支給が適當の旨) 下ケ札あり 御勘定吟味役→		1通・横切紙	そ8-7
某用状(東京御日記御在府等書物加藤直衛へ送付につき)		1通・切紙	そ8-8

(伊藤賢治年貢過剰金綴)		2点	そ8-9
伊藤賢治金銭受取証文[覚](年貢過剰金につき) 伊藤賢治→助水井市治殿・助水井忠治殿・上村最仲殿	元治2年丑3月	1通・横切紙	そ8-9-1
伊藤賢治金銭受取証文[覚](年貢過剰金につき) 伊藤賢治→助水井市治殿・助水井忠治殿・上村最仲殿	慶応元年寅6月27日	1通・横切紙	そ8-9-2
増田助之丞願書[口上覚](御扶持飯料拝借につき) 増田助之丞→小幡内膳様	9月	1通・横切紙	そ8-10
某申上書(向々急な上京の件勘弁願につき) 御勝手元 → 裏打あり	12月	1通・切紙	そ8-11
公御用人申上書(端裏書)(弾正台より巡察合印鑑御渡之義二付申上)(合印鑑交付の件触下各藩へも通達依頼につき) 公御用人→	10月17日	1通・横切継紙	そ8-12
某用状(廻村の節の御用長持入用につき)		1通・横切紙	そ8-13
御用番所申上書(端裏書)[大手御番所内幕宇佐美佐兵衛献上二而申上](大手前屏風の修復用につき) 御用番所→ 裏打あり	卯8月晦日	1通・横切継紙	そ8-14
四人用状[覚](書状10封明日便で送付につき) 四人→御三人様	7月24日	1通・横切継紙	そ8-15
弥右衛門申上書(大失敬の件執成し願につき) 弥右衛門→後藏様	8月晦日	1通・切継紙	そ8-16
廣田正陽披露状(一万度御祓大麻等進上につき) 廣田筑後正陽→信濃守様御執政御衆中	9月吉日	1通・横折紙	そ8-17
屋代村清水新左衛門願書(被告人貸金返済のため勧解につき) 右(屋代)村清水新左衛門→長野県 赤色罫紙使用	明治9年3月24日	1冊・豎半	そ8-18
某用状(災害のため夫役金上納につき)		1通・豎紙	そ8-19
(下級藩士御用部屋拝命の際の規式図一括) 封筒一括			そ8-20
(封筒) 宮下丹下→[] 封筒上書「文政二未年九月十三日御用部屋被仰渡[]殿」	文政2年	1点・封筒	そ8-20-1
(足輕以下御用部屋拝命の節の規式図) 付札あり		1点・鋪	そ8-20-2
(平士御用部屋拝命の節の規式図) 付札あり		1点・鋪	そ8-20-3
玉川一学書状(職録支給の件取り成し願につき)(玉川)一学→柘(柘植)老先生	8月12日	1通・綴	そ8-21
某申上書(内借証文引替願につき)	8月12日	1通・横切継紙	そ8-22
[江衛公書景類](包紙)		1点・包紙	そ8-23
[大入作](包紙)		1点・包紙	そ8-24
[上 大入作](包紙)		1点・包紙	そ8-25
某用状(吟味中浪人へ御憐憫願につき) 後半部略		1通・豎紙	そ8-26
腰村荒井儀右衛門義門申上書(腰村口留番人拝命につき) 腰村父利右衛門義保亡元御口留荒井儀右衛門義門当申五十五才	明治5年壬申4月	1通・豎紙	そ8-27
元松代庁横田数馬伺書[帰省願](廃県の後帰省の件につき) 元松代庁横田数馬→長野県御庁 黒色罫紙使用	(明治5年)壬申6月2日	1通・豎紙	そ8-28
某申上書(小諸藩願書に名前なく不審等につき)	2月	1通・豎紙	そ8-29

9 藩政・県政／財方／財方取計向き用状ほか

某願書(吟味願ため偽書類留置きにつき)		1通・縦紙	そ8-30
(片桐重之助・高野覚之進宛藩金関係書状綴)		41点	そ9-1
野村権兵衛書状(南部坂御殿等につき)(野村)権兵衛 →(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	12月5日	1通・横切継紙	そ9-1-1
野村権兵衛書状(鈴木殿の拝借金上納等につき)(野 村)権兵衛→(片桐)重之助様	11月28日	1通・横切継紙	そ9-1-2
野村権兵衛書状(貞姫様への進上金引替等につき) (野村)権兵衛→御両公様	11月20日	1通・横切継紙	そ9-1-3
野村権兵衛書状(修行に倅出席の件執成につき)(野 村)権兵衛→(片桐)重之助様	11月23日	1通・切紙	そ9-1-4
某書状(恵明寺120両の件につき) 後欠、野村権兵衛 書状か		1通・横切継紙	そ9-1-5
野村権兵衛書状(預り金を替取計願等につき)	10月6日	1通・横切継紙	そ9-1-6
高田幾太書状(馬喰町役所貸付金上納の件につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月7日	1通・横切継紙	そ9-1-7
野村権兵衛書状(両宮借用の切手の件等につき)(野 村)権兵衛→(片桐)覚之助	10月1日	1通・横切継紙	そ9-1-8
野村権兵衛書状(若殿様御目見日付落しの侘並びに 袖留恐悦等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	10月9日	1通・横切継紙	そ9-1-9
野村権兵衛書状(若俊様御乗出500両受取等につき) (野村)権兵衛→御両公様(竹村)金吾・(磯田)音門	10月6日	1通・横切継紙	そ9-1-10
野村権兵衛書状(若殿様御乗出金の才覚等につき) (野村)権兵衛→(片桐)重之助様様 後欠		1通・横切継紙	そ9-1-11
野村権兵衛書状(若殿様銅山師惣兵衛借財処分等に つき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	9月7日	1通・横切継紙	そ9-1-12
某書状(若殿様御乗出・御目見の祝儀等につき) 後欠		1通・横切継紙	そ9-1-13
野村権兵衛書状(若殿様乗出しの祝儀金の工夫等に つき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	9月11日	1通・横切継紙	そ9-1-14
某書状(献上品の件侘につき)		1通・切紙	そ9-1-15
片桐重之助書状(河原公よりの金銭受取証文執成し につき)(片桐)重之助→(野村)権兵衛様 朱書あり	8月24日	1通・切紙	そ9-1-16
野村権兵衛書状(御乗出の他若殿様の近況等につき) (野村)権兵衛→(片桐)重之助様様	9月3日	1通・横切継紙	そ9-1-17
野村権兵衛書状(振舞い等紛糾につき)(野村)権兵衛 →九助様	18日	1通・横切紙	そ9-1-18
野村権兵衛書状(精姫様御移徙につき)(野村)権兵衛 →御両人様	8月16日	1通・横切継紙	そ9-1-19
野村権兵衛書状(金支出の件御含み願等につき)(野 村)権兵衛→(片桐)重之助	8月12日	1通・横切紙	そ9-1-20
野村権兵衛書状(存外の入用迷惑等につき)(野村)権 兵衛→(片桐)重之助様	8月13日	1通・横切継紙	そ9-1-21
野村権兵衛書状(恵明寺普請金交付等につき)(野村) 権兵衛→(片桐)重之助様	8月2日	1通・横切継紙	そ9-1-22
某金銭受取証文控(武州中津川六助よりの銀68貫を 北沢彦大夫より渡しにつき) 朱書あり		1通・切紙	そ9-1-23

野村権兵衛書状(借入金の出願等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	4日	1通・横切継紙	そ9-1-24
野村権兵衛書状(為替の件お礼等につき)(野村)権兵衛→御両人様 下ヶ札あり	8月2日	1通・横切継紙	そ9-1-25
野村権兵衛書状[別紙覚](御殿修復金等取計願につき)(野村)権兵衛→御両公様 下ヶ札あり	2日	1通・横切紙	そ9-1-26
野村権兵衛書状(御乗出の金子の治定等につき)(野村)権兵衛→御両公様	7月21日	1通・横切継紙	そ9-1-27
野村権兵衛書状(御乗出入用300両元右衛門へ皆納等につき)(野村)権兵衛→御両公様	7月26日	1通・横切継紙	そ9-1-28
野村権兵衛書状(別紙2通差上げ等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様		1通・切紙	そ9-1-29
野村権兵衛書状(金20両余の切手差上につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	7月11日	1通・横切紙	そ9-1-30
玄済書状(御用金300両送付につき) 玄済→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月5日	1通・横切継紙	そ9-1-31
野村権兵衛書状(借入金の特別紙御披見願につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様	7月5日	1通・横切継紙	そ9-1-32
太一郎書状(内々の一件につき) 太一郎→野村権兵衛様 天保2年の出金1292両余とあり	7月5日	1通・横切紙	そ9-1-33
野村権兵衛書状(夏和村元右衛門より習納金到来等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	(天保2年)	1通・横切継紙	そ9-1-34
玄済書状(前貸し金の内2250両納戸より差遣わし等につき) 玄済→磯門(磯田音門)様	6月7日	1通・横切継紙	そ9-1-35
野村権兵衛書状(三井為替手形落手の旨等につき)(野村)権兵衛→重右衛門様・(高野)覚之進様	6月5日	1通・横切継紙	そ9-1-36
野村権兵衛書状(閏4月までの臨時漸才足取調差遣わし等につき)(野村)権兵衛→重右衛門様・(高野)覚之進様	6月2日	1通・横切継紙	そ9-1-37
野村権兵衛書状(金1000両臨時支出願等につき)(野村)権兵衛→御両公様	29日	1通・横切継紙	そ9-1-38
野村権兵衛書状(貞姫様一賄料100両送金等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	4月29日	1通・横切継紙	そ9-1-39
野村権兵衛書状(○印貰わざるため金15両為替取扱等につき)(野村)権兵衛→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	4月17日	1通・横切継紙	そ9-1-40
某用状[覚](諸費用勘定・囲米の件につき) 下ヶ札あり		1通・横切継紙	そ9-1-41
(宮下兵馬書状綴)		5点	そ9-2
宮下兵馬書状(1000両の借入願につき)(宮下)兵馬→(竹村)金吾様・磯田音門様	10月11日	1通・横切継紙	そ9-2-1
買物役差引勘定書[覚](買物支払の不足金差引勘定書) 買物役 下ヶ札あり	8月	1通・横切継紙	そ9-2-2
宮下兵馬書状(監公様引越の件につき)(宮下)兵馬→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	8月25日	1通・横切継紙	そ9-2-3
宮下兵馬書状(用意物出来のため金子繰合せ願につき)(宮下)兵馬→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	6月28日	1通・横切継紙	そ9-2-4
宮下兵馬書状(借入金の方数等につき)(宮下)兵馬→(竹村)金吾様・(磯田)音門様 虫損甚大	5月4日	1通・横切継紙	そ9-2-5

9 藩政・県政／財方／財方取計向き用状ほか

(江戸詰勝手方元々高田幾太書状綴)		15点	そ9-3
高田幾太書状(琉球人来朝のため長屋等修復他仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様 下ヶ札あり	10月7日	1通・横切紙	そ9-3-1
高田幾太書状(馬飼料半増等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	8月7日	1通・横切紙	そ9-3-2
高田幾太書状(手廻り駕籠の者看板代料にて支給等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月7日	1通・横切紙	そ9-3-3
高田幾太書状(畳定金繰上のため畳位引下げ等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月17日	1通・横切紙	そ9-3-4
高田幾太書状(琉球人来朝のため長屋裏拡張の入料仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月朔日	1通・横切紙	そ9-3-5
高田幾太書状(釘値段高値のため代金と泉屋久兵衛へ割増しにて交付の件等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	9月27日	1通・横切継紙	そ9-3-6
高田幾太書状(蘭草払底高値のため御用賃割増他にて取計い等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	9月13日	1通・横切継紙	そ9-3-7
高田幾太書状(松平讃岐守留守居へ金100疋位贈りの件承り済等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月18日	1通・横切継紙	そ9-3-8
高田幾太書状(成本丹治滞府中手当支給等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月5日	1通・横切紙	そ9-3-9
高田幾太書状(若殿様御名代出馬中御雇馬の旨心得等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	6月30日	1通・横切継紙	そ9-3-10
高田幾太書状(兵学袋字書写本6冊表払にて買上の件御側御納戸へ申渡し等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	6月19日	1通・横切継紙	そ9-3-11
高田幾太書状(釧付御筒修復入料出金の旨等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	6月7日	1通・横切継紙	そ9-3-12
高田幾太書状(中俣左吉長屋模様替臨時出金承済等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	5月7日	1通・横切継紙	そ9-3-13
高田幾太書状(釧付御筒修復入料出金の旨武具奉行へ申渡し等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	3月19日	1通・横切紙	そ9-3-14
(御家禄鉄砲新規代料をもって松平石見守銃工へ任命等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	3月15日	1通・横切継紙	そ9-3-15
(江戸詰勝手方元々高田幾太書状綴)		11点	そ9-4
高田幾太他一名書状(寺院合力初代金・定府御切米初代金渡方印判帳差遣し等につき) 諫・(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	正月7日	1通・横切紙	そ9-4-1
高田幾太書状(貞姫様御祝儀道具出来の旨承り済等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月25日	1通・横切継紙	そ9-4-2
高田幾太書状(若殿様・秀姫様御附女中の火事道具引当金の内で支払い等仰渡しにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月14日	1通・横切継紙	そ9-4-3
高田幾太書状(秀姫様琴初免許のため師匠への下さ	11月19日	1通・横切継紙	そ9-4-4

れ物承り済他仰渡につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様			
高田幾太書状(御厩馬尿板朽腐のため臨時修復入料金承り済の旨仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様 端裏に「御金掛」の貼り紙あり	11月3日	1通・横切紙	そ9-4-5
高田幾太書状(奥御祝之間雨漏のため臨時入料等承り済の旨仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月7日	1通・横切紙	そ9-4-6
高田幾太書状(本丸普請上納金下賜につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月7日	1通・横切継紙	そ9-4-7
高田幾太書状(手紙類高値のため御土産小類値段増願承済等仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月21日	1通・横切継紙	そ9-4-8
高田幾太書状(昼方定金引足ず臨時支払承済の旨等仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	正月21日	1通・横切継紙	そ9-4-9
高田幾太書状(南部坂建継模様替臨時入料金承済等の旨仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月3日	1通・横切継紙	そ9-4-10
高田幾太書状(小玄関前井戸修復臨時修復金承済みの旨仰渡しにつき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	正月16日	1通・横切継紙	そ9-4-11
(高田幾太勘定関係書状綴)		20点	そ9-5
高田幾太書状(御縁組の贈答の品の調達につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月12日	1通・横切継紙	そ9-5-1
高田幾太書状(借入金5500両明日にも依頼願等につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様 下ヶ札あり	11月26日	1通・横切継紙	そ9-5-2
高田幾太書状(借入金5500両依頼願等につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月20日	1通・横切継紙	そ9-5-3
高田幾太書状(秀姫様一件のため上野借入金の件等借入金につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月10日	1通・横切継紙	そ9-5-4
高田幾太書状(拝借金の件につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月3日	1通・横切継紙	そ9-5-5
高田幾太書状(600両の拝借金他拝借金につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月3日	1通・横切継紙	そ9-5-6
御賄役書状[御買上米取調書](玄米・入用料金等書出につき) 御賄役→	戊10月	1通・横切継紙	そ9-5-7
高田幾太書状(臨時御入金到着の件お礼につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月朔日	1通・横切継紙	そ9-5-8
竹村金吾他1名書状(御飯米御買上臨時入用金500両伺済につき) (竹村)金吾様・(磯田)音門様→(高田)幾太様	10月23日	1通・横切継紙	そ9-5-9
高田幾太書状(御飯米御買上臨時入用金500両出金取計につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月18日	1通・横切継紙	そ9-5-10
竹村金吾他一名書状[此方より之返事](飯米御買上臨時入用金500両借入方の件等につき) (竹村)金吾・(磯田)音門→(高田)幾太様	10月23日	1通・横切継紙	そ9-5-11
高田幾太書状(飯米御買上臨時入用金500両借換等借入方の件伺等につき) (高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	10月7日	1通・横切継紙	そ9-5-12
高田幾太申上書(割合等の件承知につき) (高田)幾太	9月18日	1通・横切紙	そ9-5-13

9 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか

→(竹村)金吾様・(磯田)音門様			
高田幾太書状(借用金目論見等につき)(高田)幾太→竹村(金吾)先生	9月朔日	1通・横切継紙	そ9-5-14
高田幾太書状(御下金の渡し方並びに返金の仕方につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	8月13日	1通・横切継紙	そ9-5-15
高田幾太書状(郡代拝借金返済の仕方等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	8月4日	1通・横切継紙	そ9-5-16
高田幾太書状(御蔵修復入用出金の件辻褄合せにつき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月13日	1通・横切継紙	そ9-5-17
高田幾太書状(御土蔵修復等の金配りのため借入の取取計い願につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月13日	1通・横切継紙	そ9-5-18
高田幾太書状(御土蔵修復等の金配りのため借入の取取計い願等につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	7月4日	1通・横切継紙	そ9-5-19
竹村金吾他一名書状(困穀積替取り調べなき旨侘等につき)(竹村)金吾・(磯田)音門→(高田)幾太様 下ヶ札あり	6月22日	1通・横切継紙	そ9-5-20
(江戸詰勘定吟味役よりの用状綴)		11点	そ9-6
高田幾太用状(阿藤通逸の手当金中借を以って取り計らい等の旨指令につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月14日	1通・横切継紙	そ9-6-1
三沢刑部丞用状(丹羽玄庵の拝借金返納を津田転へ指令等指令につき)(三沢)形部丞→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月21日	1通・横切紙	そ9-6-2
高田幾太用状(小座敷次之間普請臨時入料の旨他指令につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月21日	1通・横切継紙	そ9-6-3
高田幾太用状(若殿様移替のため天井他張付唐紙臨時入料等指令につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月29日	1通・横切継紙	そ9-6-4
高田幾太用状(居間化粧之間張付張替等臨時入料等指令につき)(高田)幾太→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	11月23日	1通・横切継紙	そ9-6-5
三沢刑部丞用状(下部陣張り懸け入料交付等の旨指令につき)(三沢)刑部丞→(竹村)金吾様・(磯田)音門様・(高田)幾太様	11月16日	1通・横切継紙	そ9-6-6
三沢刑部丞用状(御厩板敷他修復臨時入料等指令につき)(三沢)刑部丞→(竹村)金吾様・(磯田)音門様・(高田)幾太様	10月7日	1通・横切継紙	そ9-6-7
三沢刑部丞用状(八丁堀様奥様附女中の召し抱え等指令につき)(三沢)刑部丞→(竹村)金吾様・(磯田)音門様・(高田)幾太様	9月1日	1通・横切継紙	そ9-6-8
高田幾太用状(三階屋根臨修復時入料等指令につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊藏・(竹村)金吾様・(長谷川)深美様	7月29日	1通・横切継紙	そ9-6-9
高田幾太用状(南部坂表御殿真月院住居のため三丁廻り人足へ手当支給等指令につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊藏様・(竹村)金吾様	7月19日	1通・横切継紙	そ9-6-10
高田幾太用状(盛徳寺本堂庫理修復臨時入料等指令につき)(高田)幾太→(岡嶋)莊藏・(長谷川)深美様	6月4日	1通・横切継紙	そ9-6-11

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

勘定所

(月岡善平・拓植嘉兵衛・田中権之助各勘定関係書類一括) 紙縫一括			そ13-2
(紙縫)		1点・紙縫	そ13-2-1
(勘定役月岡善平書類綴)		14点	そ13-2-2
月岡善平書状(借入・市右衛門上納金皆納難儀につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「大口より[]」	8月23日	1通・横切継紙	そ13-2-2-1
月岡善平書状(町方御払金未納のため月割金上納不能につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「九月朔日大[]出来」	8月22日	1通・横切継紙	そ13-2-2-2
月岡善平書状(軍用買上物代金日限下渡願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月29日	1通・横切継紙	そ13-2-2-3
月岡善平書状(軍用買上物代金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月27日	1通・横切継紙	そ13-2-2-4
月岡善平書状(軍用買上物代金日限下金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	9月6日	1通・横切継紙	そ13-2-2-5
月岡善平書状(入用金難儀の旨願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月晦日	1通・横切継紙	そ13-2-2-6
月岡善平書状(軍用買上物代金日限下金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月晦日	1通・横切継紙	そ13-2-2-7
月岡善平書状(軍用買上物代金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「大[]九月廿八日[]」	9月20日	1通・横切継紙	そ13-2-2-8
月岡善平書状(軍用買上物代金日限下金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「辰十月六日大[]来」	9月26日	1通・横切継紙	そ13-2-2-9
月岡善平書状(軍用買上物代金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	9月14日	1通・横切継紙	そ13-2-2-10
月岡善平書状(軍用買上物代金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「九月廿二日[]来」	9月9日	1通・横切継紙	そ13-2-2-11
月岡善平書状(軍用買上物代金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	9月13日	1通・横切継紙	そ13-2-2-12
月岡善平書状(軍用買上物代金日限下金取計願につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	9月23日	1通・横切継紙	そ13-2-2-13
月岡善平申上書(御地逼迫の件向々へ書状達の旨申上につき)(月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	10月2日	1通・横切継紙	そ13-2-2-14
(拓植嘉兵衛書状綴)		16点	そ13-2-3
拓植嘉兵衛書状(高井郡押切村仲右衛門・須坂上町清水屋久米松軍用買上物代金繰につき)(拓植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月晦日	1通・横切継紙	そ13-2-3-1
拓植嘉兵衛書状(宮下謙造送り金支給願につき)(拓植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月晦日	1通・横切紙	そ13-2-3-2

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

柘植嘉兵衛書状(月割金52兩別紙証文の通其向へ交付願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月22日	1通・横切継紙	そ13-2-3-3
柘植嘉兵衛書状(買上代為替打合等につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月23日	1通・横切継紙	そ13-2-3-4
柘植嘉兵衛書状(高井郡押切村仲右衛門・須坂上町清水屋久米松軍用買上物代日限下渡につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月29日	1通・横切継紙	そ13-2-3-5
柘植嘉兵衛書状(力石村塚田一郎軍用買上物代日限下渡につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月6日	1通・横切紙	そ13-2-3-6
柘植嘉兵衛書状(羽屋村孝蔵買上物代金支給願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月9日	1通・横切紙	そ13-2-3-7
柘植嘉兵衛書状(坂本宿久蔵・力石村一郎軍用買上物代金支給願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月13日	1通・横切継紙	そ13-2-3-8
柘植嘉兵衛書状(御金渡勘弁につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月19日	1通・横切継紙	そ13-2-3-9
柘植嘉兵衛書状(羽屋村孝蔵軍用買上物代金支給願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月14日	1通・横切継紙	そ13-2-3-10
柘植嘉兵衛書状(松平主計頭領分万屋長三郎軍用買上物代金返済の為替証文のつき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月20日	1通・横切継紙	そ13-2-3-11
柘植嘉兵衛書状(馬喰町山屋栄治並びに伊勢屋往左衛門軍用買上物代金支給願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月26日	1通・横切継紙	そ13-2-3-12
鎌原伊野右衛門用状(大日方熊三郎三十金の時差越しの切手金子6月朔日に求める旨につき) 鎌原伊野右衛門→(草間)一路様	9月晦日	1通・横切継紙	そ13-2-3-13
柘植嘉兵衛書状(別紙道具買上代金為替金の内にて取計の旨通達の件伺につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	10月2日	1通・横切紙	そ13-2-3-14
柘植嘉兵衛書状(産物取扱方一件周旋につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	10月2日	1通・横切紙	そ13-2-3-15
柘植嘉兵衛書状(力石村平五郎軍用買上物代金支給願につき)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	9月22日	1通・横切継紙	そ13-2-3-16
根村熊五郎他一名書状[覚](軍用買上物送付取計願につき)(根村)熊五郎・(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様	8月26日	1通・横切継紙	そ13-2-3-17
(田中権之助書状綴)		11点	そ13-2-4
田中権之助書状(矢代村小藤屋三左衛門為替金支給の等につき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月7日	1通・横切継紙	そ13-2-4-1
田中権之助書状(須坂穀町新助・九兵衛為替金支給につき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「御金掛り口」	8月10日	1通・横切継紙	そ13-2-4-2
某書状(孝蔵手代新二郎不在により買上物代金不払いにつき)	8月10日	1通・横切紙	そ13-2-4-3
田中権之助書状(為替金を迅速に準備にて孝蔵手代・商人への御賞筋等につき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「田中より九月二日来」	8月22日	1通・横切継紙	そ13-2-4-4
田中権之助書状(ピストル等買上物代金取計等につき)(田中)権之助→(水野)清右衛門様 端裏書「九月廿	9月10日	1通・横切継紙	そ13-2-4-5

二日至来」			
田中権之助書状(買上物代金不足のため借入為替金周旋の件等につき)(田中)権之助→(水野)清右衛門様 端裏書「九月廿二日至来 小口口」	9月13日	1通・横切継紙	そ13-2-4-6
田中権之助書状(買上物代金引き足りず借入為替金周旋等につき)(田中)権之助→(水野)清右衛門様	9月14日	1通・横切継紙	そ13-2-4-7
田中権之助書状(金札にては買物できずにつき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「辰九月廿八日田中より到来」	9月20日	1通・横切継紙	そ13-2-4-8
田中権之助書状(買上物代金来月分繰回し願等につき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「田中口より十月八日到来」	9月29日	1通・横切継紙	そ13-2-4-9
田中権之助書状(矢代村にて為替金550両済み等につき)(田中)権之助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	9月23日	1通・横切継紙	そ13-2-4-10
田中権之助書状(大度氏為替他上納なしの件等につき)(田中)権之助→(水野)清右衛門様	10月6日	1通・横切継紙	そ13-2-4-11
(諸氏書状綴)		7点	そ13-2-5
駒村佐十郎書状(小山氏へ返上金10両取立の等につき)(駒村)佐十郎→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「辰八月廿一日達 駒村氏」	8月10日	1通・横切継紙	そ13-2-5-1
駒村佐十郎書状(太政官日誌第37から第44並びに第49の計9冊差上につき)(駒村)佐十郎→御兩人様		1通・横切継紙	そ13-2-5-2
関田荘助書状(太政官日誌回覧依頼等につき)(関田)荘助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「八月廿一日達 関田氏」	8月5日	1通・横切継紙	そ13-2-5-3
某書状(内々別紙坂本へ御達し願等につき)		1通・横切継紙	そ13-2-5-4
西澤甚七郎書状(為替一件埒明かずにつき) 西澤甚七郎→田中権之助様 端裏破損、端裏書「田中権之助様 西澤甚七郎」	9月27日	1通・横切継紙	そ13-2-5-5
柘植嘉兵衛書状(千葉惟五郎悴御抱願につき) 柘植嘉兵衛→真(真田)志摩様 端裏書「九月九日」	8月27日	1通・横切継紙	そ13-2-5-6
三作書状(御下金送付願等につき) 三作→大黒屋幸蔵様 端裏書「大谷幸蔵様 三作 証文者為替証文一同二繕」	9月11日	1通・横切継紙	そ13-2-5-7
源兵衛書状(出仕伺書提出の件内々伺につき) 源兵衛→(宮下)孫兵衛様	8月28日	1通・横切継紙	そ14-1
某用状(文政5年暮御借入方内訳につき) 前欠	酉11月17日	1通・横切継紙	そ14-2
某内々申上書(中山道近辺村々金銭返済なき上勝手取繕い等の風説につき) 裏書あり		1通・横切継紙	そ14-3
(梅輪内事入用書類一括) 紙繕一括		1点・紙繕	そ14-4
(紙繕)			そ14-4-1
[乙卯梅輪内事入用書類]		1通・切紙	そ14-4-2
(台所人増員等ヶ条書5ヶ条につき)		1通・切紙	そ14-4-3
某用状(御奥様不快のため貞松院様見舞い等につき) 下ヶ札あり		1通・切紙	そ14-4-4
伊藤環書状(水野弥内帰参の件につき)(伊藤)環→行事様	3月晦日	1通・横切継紙	そ14-4-5

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

伊藤環書状(越中守様並びに御前様への進物等につき) (伊藤)環→行事様 虫損あり	10月4日	1通・横切継紙	そ14-4-6
忠治用状并某勘返状(端裏書)[極密御内々奉伺候](同役寄合一件の風説等につき) 忠治→		1通・横切紙	そ14-5
片桐重之助申上書(例の帳面調査希望につき)(片桐)重之助→(高野)覚之進様 虫損	9月27日	1通・横切紙	そ14-6
御名公用人申上書(伊勢神宮へ参拝につき) 御名公用人→弁事御役所	3月21日	1通・横切継紙	そ14-7
鎌原溶水書状(東京へ蕎麦送付につき) 鎌原溶水→計政副主事	12月22日	1通・切紙	そ14-8
六蔵書状(手伝い等願につき) 六蔵→源兵衛様		1通・横切紙	そ14-9
慶次郎書状(吉平御仁免の義等につき) 慶次郎→(宮下)孫兵衛様	8月2日	1通・横切継紙	そ14-10
源八書状(両村の申し立て評義につき) 源八→(岡嶋)莊蔵様	7月27日	1通・横切継紙	そ14-11
鳥羽書状(江府御納戸へ上納等につき) 鳥羽→高野様	9月23日	1通・横切継紙	そ14-12
弥右衛門代筆書状(年始の挨拶につき) 弥右衛門代筆→弥太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 端裏虫損、端裏書「私事 当御間数 正月十三日□□奉公人 十七日作□」	正月2日	1通・横切継紙	そ14-13
源八申上書(大嶋改等につき) 源八→(岡嶋)莊蔵様 端裏書「莊蔵様 内用 源八」	11月13日	1通・横切継紙	そ14-14
半蔵伺書(新御殿の儀引受相済みにつき) 半蔵→(山本)権平様 下部虫損	2月9日	1通・横切紙	そ14-15
草間一路伺書(別紙調の形式並び提出先につき)(草間)一路→代官町様	24日	1通・横切継紙	そ14-16
正恭書状(酒樽入用につき) 正恭→ 端裏書「貴答 包添 正恭」	8月18日	1通・横切継紙	そ14-17
某用状(士族日割渡しの玄米・粳俵数書出につき)		1通・横切紙	そ14-18
(金銭受取証文等諸書類一括) 旧史料館紙紐一括			そ15-1
忠右衛門用状(次賀平境出入一件証文金子遣しにつき) 忠右衛門→丹蔵・平蔵兩人		1通・横切紙	そ15-1-1
平左衛門他一名金銭受取証文[覚](病気につき) 平左衛門・喜平→竹村金吾様御内御取次中様 裏打ちあり	天保15年4月	1通・横切紙	そ15-1-2
雄太郎礼状(手前へも掛合仕舞につき) 雄太郎→小左衛門様	22日	1通・切紙	そ15-1-3
佐藤市治人足見積書(掛橋御膳普請につき) 民治方 附佐藤市治→ 下ヶ札・付札あり	未7月	1通・横折紙	そ15-1-4
十右衛門用状(大坂表へ武略送付につき) 十右衛門→助之□□様	7月21日	1通・横切紙	そ15-1-5
馬場大属用状(朝廷へ願一件取調べにつき) 馬場大属(広人)→渡辺大属(憲蔵)殿	正月8日	1通・横切紙	そ15-1-6
某用状(明和9辰年から亥年までの人足金につき)		1通・横切継紙	そ15-1-7
庶務方用状(当暮御入料の件借り入れにつき) 庶務方→	11月9日	1通・横切継紙	そ15-1-8
〔勝手元へ指示書貼混ぜ一括〕 そ1-9は裏打に貼混一括、裏打ち紙に印あり			そ15-1-9

御勝手元へ用状(弁飯につき) 御勝手元へ→ 虫損あり		1通・切紙	そ15-1-9-1
御勝手元へ用状(足軽人足につき) 御勝手元へ→ 虫損あり		1通・切紙	そ15-1-9-2
御勝手元へ用状(近藤権左衛門につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-3
御勝手元へ用状(松原宿給金上納につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-4
御勝手元へ用状(新町殿切米上納につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-5
御勝手元へ用状(当春矢代宿賄代につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-6
御勝手元へ用状(勘定吟味につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-7
御勝手元へ用状(御城番立入につき) 御勝手元へ→ 虫損あり	12月25日	1通・切紙	そ15-1-9-8
(江戸屋重兵衛金銭受取綴)		6点	そ15-1-10
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](15両につき) 江戸屋重兵衛→御払方御役所	9月15日	1通・切紙	そ15-1-10-1
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](7両につき) ゑとや重兵衛代平吉→上	7月5日	1通・切紙	そ15-1-10-2
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](5両につき) 江戸屋重兵衛代平吉→上	8月5日	1通・横折紙	そ15-1-10-3
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](10両につき) 江戸屋重兵衛→御納戸御役所	8月21日	1通・切紙	そ15-1-10-4
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](4両余につき) 江戸屋重兵衛→御納戸御役所	8月29日	1通・切紙	そ15-1-10-5
江戸屋重兵衛金銭受取証文[覚](5両につき) 江戸屋重兵衛→御払方御役所	9月4日	1通・切紙	そ15-1-10-6
(玉川一学手札)		1通・小紙	そ15-1-11
用度方申渡書(御用のため出庁につき) 用度方→樋畑正太郎	9月19日	1通・横切紙	そ15-1-12
一場茂右衛門用状(峰治につき) (一場)茂右衛門→(宮下)主鈴様	9月18日	1通・横切継紙	そ15-1-13
藤井氏用状(小平一町水論につき) 藤井→御水道様	7月20日	1通・横切継紙	そ15-1-14
監督申上書(野中格外3人御賞につき) 監督→	8月28日	1通・横切継紙	そ15-1-15
(葬式行列増減関係綴)		4点	そ15-1-16
御目付申上書(葬式行列の内増減につき) 御目付→	6月24日	1通・横切継紙	そ15-1-16-1
某用状(端裏書)[別紙案控](葬式行列の増減につき)	6月	1通・横切継紙	そ15-1-16-2
御武具方用状(感応院様着輿の際道筋へ出張につき) 御武具方→	6月23日	1通・横切継紙	そ15-1-16-3
小山田沱岐守申上書[回翰](山門前棺台につき) (小山田)沱岐→(真田)志摩守殿・(鎌原)伊右衛門殿	6月23日	1通・横切紙	そ15-1-16-4
原田糺願書(赤塩御備の件につき) (原田)糺→(金井)佐源太様	8月13日	1通・横切紙	そ15-1-17
水道役用状(貞松院様附廻りの件池田大内蔵屋敷につき) 水道役→		1通・横切紙	そ15-1-18

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

(職禄支給関係書類綴)		2点	そ15-1-19
記録懸用状(別紙の件心得につき) 記録懸→		1通・切紙	そ15-1-19-1
計政副主事用状(職禄渡しの件差向き日勤につき) 計政副主事→		1通・横切紙	そ15-1-19-2
御郡方伺書(端裏書)[善光寺両寺より被下物之儀二 付御内二伺](御貸米の件返納につき) 御郡方→	8月	1通・横切紙	そ15-1-20
高野莠叟他一名用状(御家中系図他書籍所蔵調につ き) 高野莠叟・谷口左仲→		1通・横切紙	そ15-1-21
(森村勝治初給付関係綴)		2点	そ15-1-22
計政副主事用状(森村勝治へ初支給につき) 計政副 主事→		1通・切紙	そ15-1-22-1
給禄掛用状(別紙の件心得につき) 給禄掛→	4月15日	1通・切紙	そ15-1-22-2
某用状(殿様引き渡しの件延引につき)	2月12日	1通・横切紙	そ15-1-23
(産物会所冥加関係綴)		3点	そ15-1-24
江府産物会所掛用状(端裏書)[産物会所冥加銀之儀 二付申上](1ヶ年に限り半冥加につき) 江府産物 会所掛→	11月	1通・横切継紙	そ15-1-24-1
鷹商人用状(端裏書)[産物会所冥加銀之儀二付伺] (冥加金提出につき) 鷹商人→	12月	1通・横切継紙	そ15-1-24-2
木村治願書(産物会所の件冥加取扱につき) 増田総 兵衛代木村壽作→	寅11月	1通・横継紙	そ15-1-24-3
某金銭勘定書		1通・切紙	そ15-1-25
大野健左衛門他一名用状[覚](亥年参府並びに帰城 御勘定引替金取調につき) 大野健左衛門・成本桑左 衛門→ 端裏書「御供小頭、下ケ札あり」	子5月	1通・横切継紙	そ15-1-26
計政副主事用状(田澤廉助他一名御用多のため服忌 御免につき) 計政副主事→	5月25日	1通・横切継紙	そ15-1-27
某用状(新安村・北八幡村軒数につき)		1通・横折紙	そ15-1-28
大洲藩知事泰秋書状(寒中見舞いにつき) 大洲藩知 事泰秋(花押)→松代藩知事様人々御中	12月7日	1通・横折紙	そ15-1-29
大久保主計頼均書状(年始祝詞申上につき) 大久保 主計頼均→赤澤助之進様・玉川左門様		1通・横折紙	そ15-1-30
国分七左衛門国教他三名書状(端裏書)[松平讃岐守 之](年始祝詞申上につき) 国分七左衛門国教・彦坂 小四郎美孝・斉藤勘兵衛寛至・大須賀忠左衛門信徴→赤澤 助之進様・玉川左門様	正月4日	1通・横折紙	そ15-1-31
辰男用状(返金のため出頭につき) 辰男→ 端裏書 「日記え留候事」	2月8日	1通・切紙	そ15-1-32
某用状[口上](普請役近藤忠五郎見舞いのため罷越 しにつき)	3月25日	1通・横切継紙	そ15-1-33
某用状(拝借金につき)		1通・横切継紙	そ15-1-34
祥一郎用状并岸善八勘返状(当人病気のため届けに つき) 祥一郎→(岸)善八様	4月1日	1通・横切継紙	そ15-1-35
某用状(金銭につき)		1通・切紙	そ15-1-36
(俵数人別関係綴)		3点	そ15-1-37

[御中借](俵数人別につき)		1冊・横長半	そ15-1-37-1
某用状(俵数人別につき)	亥10月18日	1通・横切紙	そ15-1-37-2
某用状[覚](俵数につき)		1通・横切紙	そ15-1-37-3
(下ケ金支給関係一括) 紙縫一括			そ15-1-38
(紙縫)		1点・紙縫	そ15-1-38-1
(包紙) 仙石組大谷幸蔵→上		1点・包紙	そ15-1-38-2-1
羽尾村仙石組大谷幸蔵願書[乍恐書付を以奉願上候] (矢代宿安兵衛横浜表へ2500両渡しにつき下金願書) 羽尾村仙石組大谷幸蔵→酒井市次様・水野清右衛門様	明治2年12月5日	1通・縦紙	そ15-1-38-2-2
(包紙) 矢代村安兵衛→上		1点・包紙	そ15-1-38-3-1
矢代村安兵衛願書[乍恐書付を以奉願上候](2552両渡しにつき) 矢代村安兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様	明治2年12月5日	1通・縦紙	そ15-1-38-3-2
恩田頼母用状(白川瀬大夫拝借願いの件承承知につき) 恩田頼母→竹村金吾様	7月23日	1通・横切紙	そ15-1-39
(拝借金関係一括) 紙縫一括			そ15-1-40
(紙縫)		1点・紙縫	そ15-1-40-1
岩村寅松金銭受取証文[覚](鉄砲買上代につき) 岩村寅松→高山純一郎殿	巳12月27日	1通・切紙	そ15-1-40-2
計政副主事用状(飯米支給につき) 計政副主事→	5月	1通・切紙	そ15-1-40-3
矢沢監物申渡状(弥惣治他一名極窮につき) 矢沢監物→水野房五郎殿	(文政10年)11月19日	1通・横切継紙	そ15-1-40-4
荒井弥平他一名願書[口上覚](飛脚才領手当の増につき) 荒井弥平・荒井伴之助→	午6月	1通・横切継紙	そ15-1-40-5
御刀番用状(手当拝借金につき) 御刀番→ 下ケ札あり		1点・切紙	そ15-1-40-6
某用状(拝借申し立てにつき)		1通・切紙	そ15-1-40-7
拝借掛用状(拝借の件上納日限につき) 拝借掛→	12月	1通・切紙	そ15-1-40-8
某願書(拝借金御赦免年賦の件上納につき)		1通・横切継紙	そ15-1-40-9
(拝借金関係綴)		2点	そ15-1-40-10
久保九十郎願書(拝借金返納延期につき)(久保)九十郎→(金井)左源太様・(岡嶋)莊蔵様	9月28日	1通・横切継紙	そ15-1-40-10-1
某用状(拝借金につき)		1通・小切紙	そ15-1-40-10-2
丈之助他一名願書(新発田出張の件手当拝借金につき) 丈之助・七郎→	正月朔日	1通・横切継紙	そ15-1-40-11
(ラッパ修理関係一括) 紙縫一括			そ15-1-40-12
(紙縫)		1点・紙縫	そ15-1-40-12-1
西村願書[口演](ラッパの件代金下げにつき) 西村→大塚様	11月12日	1通・横切紙	そ15-1-40-12-2
鏑屋政吉受領書[覚](ラッパ直し等につき) 鏑屋政吉→上		1通・切紙	そ15-1-40-12-3
御収納郡方申上書(端裏書)[御徒士雑用代御手充金]	3月	1通・切紙	そ15-1-40-13

10 藩政／財方／勘定向き用状ほか

渡方之儀ニ付申上] (申上方なきにつき) 御収納郡方→			
計政副主事用状并計監朱印(端裏書)[飯米差支候向御拝借之儀伺](飯米拝借願につき並びに裁可の旨) 計政副主事→	7月5日	1通・横切継紙	そ15-1-40-14
河野与左衛門用状[覚](年賦拝借金引き替え年につき) 河野与左衛門→入安兵衛殿・片桐惣右衛門殿 封紙あり	12月19日	1通・横切継紙	そ15-1-40-15
小幡全一郎用状(出席依頼につき) (小幡)全一郎→久米様	5月4日	1通・切紙	そ15-1-40-16
行列諸品用状[御立退場](品物等書出につき)		1通・横切継紙	そ15-1-40-17
某用状下書(「大学之道在明明徳在新…」他雑誌)		1通・縦紙	そ15-1-40-18
塵刼記抜書(九九書出につき)		1通・横長半	そ15-1-40-19
(服忌解説)		1通・縦紙	そ15-1-40-20
網法用状(薬調合につき) 網法→口諸道中	9月16日	1通・切紙	そ15-1-40-21
(諸書類一括) 旧史料館麻紐一括			そ17-4
小右衛門用状(町人足出仕につき) 小右衛門→御町方様	12月15日	1通・横切継紙	そ17-4-1
某用状(五倍子荷物輸送日問合わせにつき) →御買物所様	19日	1通・切紙	そ17-4-2
表御納戸書状(困熊肝御払のため勝手方より金銭支給願につき) 表御納戸→御郡方様	12月晦日	1通・横切継紙	そ17-4-3
水道方用状(御曲輪内敷砂人足差出願につき) 水道方→道橋方様	5月朔日	1通・切紙	そ17-4-4
某書状(無尽一条落着のため喜市連行の上出席願につき)	12月27日	1通・切紙	そ17-4-5
御側御納戸達書(殿様御病氣御発途延期通達につき) 御側御納戸→		1通・横切継紙	そ17-4-6
御馬方書状(御口の者2人京都詰在府のため伝馬1疋支給願につき) 御馬方→御町方様	6月18日	1通・切紙	そ17-4-7
[廻状](包紙) 畑権兵衛・樋口旗之助		1点・包紙	そ17-4-8-1
真田信濃守幸民内樋口旗之助他六名廻状(先触到来により信濃守人数差出につき) 真田信濃守(幸民)内樋口旗之助・横田甚五左衛門・宮下重主頭他4名→戸田丹羽守様御用人中様・諏訪因幡守様御用人中様・内藤若狭守様御役人中様他1名	4月18日	1通・横切継紙	そ17-4-8-2
竹村金吾廻状(大瀧割下見分御入料見積りにつき) (竹村)金吾→(岡島)庄蔵様・(山寺)源太夫様・(磯田)音門様他3名	8月口	1通・横切継紙	そ17-4-9
真田志摩他一名書下写(揃の馬場・土蔵等再建経過報告につき) (真田)志摩・(赤沢)助之進 端裏書「志摩殿より被下御書下写」	4月14日	1通・横切継紙	そ17-4-10
真田志摩達書(官位相当表触出の節心得につき) (真田)志摩→御用番様	7月9日	1通・横切継紙	そ17-4-11
長谷川太郎用状(藩主朽木伊予守様宝琳院様へ訪問につき) 長谷川太郎→表御用人中様	4月18日	1通・切紙	そ17-4-12
恩田勲負用状(伺のため死罪についての見込尋ねたき旨につき) 恩田勲負→町奉行中・御郡奉行中	2月5日	1通・横切継紙	そ17-4-13

水野清右衛門廻章(藩札300両借入願につき) 水野清右衛門→高坂賀助様・菊屋伝兵衛様・菊屋九蔵様他1名 (奉公人触出延期関係書類綴)		1通・横切継紙	そ17-4-14
御郡方用状(町並びに町外奉公人出入に関する触不備のため触出延期につき) 御郡方→弥右衛門様・主計様		2点	そ17-4-15
鎌原伯耆用状(奉公人触差し支えにつき評議依頼につき) 鎌原伯耆→岡島庄蔵殿	正月20日	1通・横切継紙	そ17-4-15-1
月岡善平用状(青作見分のため附人勤められたきにつき) 月岡善平→御用附熊治殿	正月9日	1通・切紙	そ17-4-15-2
鹿野外守他一名廻章(端裏書)[廻章](勘定吟味より人員減少等報知につき) →(鹿野)外守・権之進	5月10日	1通・横切継紙	そ17-4-16
草間元司用状(御勘定状期日に出来の旨勝手方報知につき) 草間元司→山本権平様・三輪徳左衛門様	正月9日	1通・切紙	そ17-4-17
某用状[口上](御人数調横帳京都へ急ぎ送付願につき) (日誌類関係書類綴)	12月27日	1通・横切継紙	そ17-4-18
赤津助之進用状(日誌類別紙調書の通り送付につき) 赤津助之進→御用番様		1通・横切継紙	そ17-4-19
某用状(太政官日誌等冊番号書付につき) 端裏書「三月十二日調」		2点	そ17-4-20
道橋方用状(御巡検様御通行の節人足人数問合わせにつき) 道橋方→御水道方様	3月12日	1通・横切継紙	そ17-4-20-1
岡嶋莊蔵用状(西寺尾村多右衛門役代初出入済口取計につき) (岡嶋)莊蔵→弥惣右衛門様・源口衛門様		1通・横切継紙	そ17-4-20-2
七右衛門書状(独身70才以上男女に米下賜につき) 七右衛門→御目口中様	5月5日	1通・切紙	そ17-4-21
会計懸り達書(渡辺憲蔵他1名出京につき) 会計懸り→	4月20日	1通・横切継紙	そ17-4-22
某申渡書(御次唯操院殿付ふき暇につき) →御奥元 ヱ役中	10月26日	1通・横切継紙	そ17-4-23
表御右筆組頭申渡書(中条精一郎他1名大銃方専任につき) 表御右筆組頭→		1通・横切継紙	そ17-4-24
町奉行申渡書(真田桜山等大参事専任の旨町方へ申渡につき) 町奉行→	7月晦日	1通・切紙	そ17-4-25
御側役用状(御成之御礼人別・品書出につき) 御側役→ 下ケ札あり		1通・横切継紙	そ17-4-26
真田幸教御書付(保鷹へ政事譲渡につき忠勤すべき旨につき) (真田幸教)→弘方御金奉行		1通・横切継紙	そ17-4-27
道橋方用状(御通行人足差し出すにつき) 道橋方→御水道方様	(慶応3年)	1通・横切紙	そ17-4-28
水道役用状(水道役新殿御殿番兼帯につき) 水道役→		1通・横切継紙	そ17-4-29
水道役用状(新御殿同所門番人夜中見廻につき) 水道役→		1通・横切紙	そ17-4-30
(徒士・勘定方養弟一件留書) 下ケ札あり		1通・横切紙	そ17-4-31
(貸借初一件家老伺書・代官元ヱ返答書留書)		1冊・横長半	そ17-4-32
		1通・横長半	そ17-4-33
		1通・横長半	そ17-4-34

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

勘定所・計政局

(諸書類一括) 旧史料館紙縫一括			そ13-1
(原権右衛門養子関係一括) 紙縫一括			そ13-1-1
(紙縫)		1点・紙縫	そ13-1-1-1
御勘定吟味内々伺書(端裏書)[原権右衛門養子之義二付御内々伺](病のため養子許可の後咎筋取調べの件につき) 御勘定吟味→ 貼紙「巳一」	4月	1通・横切継紙	そ13-1-1-2
御勝手元々用状(端裏書)[原権右衛門養子之義二付申上](御勘定吟味申立なきにつき) 御勝手元々→ 貼紙「巳二」	5月4日	1通・横切継紙	そ13-1-1-3
御目付申上書(端裏書)[原権右衛門養子之義二付御尋申上](情けを加え勘弁につき) 御目付→ 貼紙「巳三」	6月	1通・横切継紙	そ13-1-1-4
竹内金左衛門用状(原権右衛門養子一件の裁許延期執成し願につき)(竹内)金左衛門→(岸)太五之丞様貼紙上書「巳四」	6月5日	1通・横切継紙	そ13-1-1-5
御勘定吟味用状并某答書貼紙(端裏書)[原権右衛門養子之義二付再申上](変事前の処置願いにつき並びに格別用立申さざる旨) 御勘定吟味→ 貼紙「巳五」	6月5日	1通・横切継紙	そ13-1-1-6
(馬代金関係一括) 紙縫一括			そ13-1-2
(紙縫)		1点・紙縫	そ13-1-2-1
司取申上書[口上覚](昨今の払馬支払代金未納分勘定につき) 司取→ 端裏書「昨今御払馬代金申上 司取」	4月	1通・横切継紙	そ13-1-2-2
某申上書[御見合候申上](飼料・馬具買上入料につき)		1通・横切継紙	そ13-1-2-3
会計掛申上書(端裏書)[午年御買上物御払金之義申上](馬代金をもって支払いにつき) 会計掛→	4月	1通・横切紙	そ13-1-2-4
某願書(端裏書)[草間一路申上候義二付申上](上納金納戸へ収納の件につき)	(11月8日)	1通・横切継紙	そ13-1-3
(学校番人手当関係一括) 紙縫一括			そ13-1-4
(紙縫)		1点・紙縫	そ13-1-4-1
某申上書(端裏書)[学校御番人御手充被下候義二付上](学校番人三人精勤につき)	午3月	1通・横切継紙	そ13-1-4-2
学監伺書(端裏書)[学校御番人御手充被下之義伺](学校番人三人精勤につき) 学監→ 虫損甚大	12月	1通・横切継紙	そ13-1-4-3
草間一路用状(端裏書)[小布施村高井三九郎方二止宿仕候義二付申上](三九郎方へ止宿の挨拶につき) 草間一路→ 下ケ札あり	申6月	1通・横切継紙	そ13-1-5
(御賞筋関係一括) 巻込一括			そ13-1-6
出納懸申上書(端裏書)[伊勢町高坂加之助等御賞之儀御内々申上] 出納懸→	4月	1通・横切継紙	そ13-1-6-1
(御膳向御賞典関係書類綴)			そ13-1-6-2

監督願書(端裏書)[旧御膳所向之者 御賞典之儀付申上](御膳立・御料理人手先四役の戊辰事件等の賞典につき) 監督→	7月24日	1通・横切継紙	そ13-1-6-2-1
某用状(端裏書)[御膳向 御賞典被下金高調](横田嘉一郎他14名御賞典高につき)		1通・横切継紙	そ13-1-6-2-2
某用状(宮入伝治等精勤の者書出につき) 下部虫損		1通・横切継紙	そ13-1-6-2-3
御収納賄方申上書[金児与助暫御差留之儀付申上] 御収納賄方→	3月11日	1通・切紙	そ13-1-7
某用状(裏河原新田・所々河原新田年貢高書出につき)		1通・横切継紙	そ13-1-8
(奥番役代役関係一綴)		2点	そ13-1-9
御奥下役・御守役伺書下書(端裏書)[奥番組跡助之儀伺](奥番組八人御上京時差出により跡助5人免除願につき) 御奥下役・御守役→	5月	1通・横切継紙	そ13-1-9-1
赤沢助之進申渡状(奥番役代助の件承知につき) 赤沢助之進→御奥元役中・御守役中		1通・横切紙	そ13-1-9-2
出納掛申上書(端裏書)[矢代村安兵衛為替金御下ケ之儀二付申上](生糸・蚕種仕入元催促につき) 出納掛→	12月29日	1通・横切継紙	そ13-1-10
御勝手元へ申上書(端裏書)[小納戸北津林左衛門滞府之義付申上](申上方なきにつき) 御勝手元へ→8月10日留済、一部虫損あり	7月	1通・切紙	そ13-1-11
御奥元下役申上書(表御用の間拝借承知につき) 御奥元下役		1通・横切継紙	そ13-1-12
御勝手元へ申上書(端裏書)[定府長詰等之御番士御切替之義二付申上](申上方なきにつき) 御勝手元へ→一部虫損	8月	1通・横切継紙	そ13-1-13
(女中勤務年数関係一括) 紙縫一括			そ13-1-14
(紙縫)		1点・紙縫	そ13-1-14-1
某取調書(端裏書)[女中御居置并御暇被下候者取調扣](女中24名の奉公年数書出につき)		1通・横切継紙	そ13-1-14-2
某取調書(女中3名の奉公年数書出につき)		1通・切紙	そ13-1-14-3
宮澤繁三郎他1名申上書[別段申上](塩尻宿内浪人乱妨の風聞穿鑿につき) 御手附宮澤繁三郎・太田忠平→端裏書「ヲ」[七月廿四日 松本辺浪人体之者罷越穿鑿手引取申立昼過引取]	7月	1通・横切継紙	そ13-1-15
御勝手元へ願書(端裏書)[御口之初江戸詰賄御改正之儀二付申上](改正により江戸詰の者不都合につき) 御勝手元へ→	11月10日	1通・横切継紙	そ13-1-16
御勝手元へ願書下書(端裏書)[御番士詰御職之義付申上](留守詰等の儀につき) 御勝手元へ→裏打ちあり	10月	1通・切紙	そ13-1-17
金井左源太他二名伺書[口上覚](上山田村半左衛門・又兵衛出頭遅参の過料銭申渡案文につき) 金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→下ケ札・付札あり、端裏書あり	11月	1通・横切継紙	そ13-1-18
監察伺書(端裏書)[病氣等之節見合日数之儀伺](10日許容につき) 監察→	正月5日	1通・横切継紙	そ13-1-19
御勝手元へ申上書(端裏書)[深川御留守居等之義付申上](留守居省略の件差し支えなき等につき) 御勝手元へ→下ケ札あり	8月	1通・横切継紙	そ13-1-20

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

会計懸願書(端裏書)[御金御繰合之儀二付申上](残金取立の差図につき) 会計懸→ 奥の上部欠損	9月	1通・横切紙	そ13-1-21
監督伺書(端裏書)[原田亀尾歎願之儀付申上](学校御用物御下金につき) 監督→ 上部虫損	11月7日	1通・横切継紙	そ13-1-22
[御書添之伺書](包紙) そ13-1-23-2の包紙		1点・包紙	そ13-1-23-1
玉川左門伺書写(端裏書)[伺](谷口左仲家督拝命につき)(玉川)左門→ 端裏筆「伺之通」	11月13日	1通・横切継紙	そ13-1-23-2
(館三郎拝借地関係一括) 旧史料館紙綴一括			そ13-1-24
[伊勢町御用地拝借之義](包紙並びに前島有年朱印) 館三郎→ 包紙入、端裏朱印「前嶋」			そ13-1-24-1-1
館三郎願書并前島有年朱印[伊勢町御用地拝借之義](種痘教授所開設場所拝借の掛札につき並びに裁可の旨) 館三郎→ 「中橋玉林堂」罫紙使用	(明治5年)壬申2月13日	1通・縦紙	そ13-1-24-1-2
館三郎願書(端裏書)[割番所拝借之義二付奉願上候](割番所拝借継続につき) 館三郎→	(明治4年)未6月	1通・切紙	そ13-1-24-2
(諸書類一括) 巻込一括			そ13-1-25
某申上書下書(端裏書)[小池御林見跡役方儀付申上](御林見・役役跡評議につき)	卯4月6日	1通・横切継紙	そ13-1-25-1
上原正之助願書写[乍恐以書付奉申上候](久保庸蔵葬儀の不行届・不調法赦免につき) 久保庸蔵様役代上原正之助→久保三郎様御内 端裏書「二印四月五日久保三郎殿ト正之助より差出候書面写」	明治4年末4月	1通・横切継紙	そ13-1-25-2
上原正之助答書[乍恐以書付奉申上候](金銭取扱いの件伺の上取計らいにつき) →久保庸蔵様役代上原正之助 久保三郎様御内 端裏書「壹印四月五日久保三郎殿ト正之助より差出候書面写」	明治4年末4月	1通・横切継紙	そ13-1-25-3
(社倉役人任命関係書類綴)		2点	そ13-1-26
某用状(野中量左衛門・北島理兵衛社倉掛任命履歴につき)		1通・横切継紙	そ13-1-26-1
某用状(社倉掛並びに関係者書出につき、文政9年～天保6年) 下ケ札あり、端下部虫損、貼紙上書「社倉方ノ元ヅハ以上役哉以下役哉と御尋ニ付」		1通・横切継紙	そ13-1-26-2
御収納賄方申上書(端裏書)[草間元司并坂本五一郎交代伺之儀付申上](申上方面なきにつき) 御収納賄方→	12月16日	1通・切紙	そ13-1-27
某伺書(端裏書)[御役方増使番之義再伺](御用繁多のため差仕えにつき)	12月4日	1通・横切紙	そ13-1-28
某伺書(端裏書)[清野村大砲運夫打死安之助親類歎願書添御内々奉伺](下筋出張での戦功の御賞下賜につき)	9月	1通・横切継紙	そ13-1-29
雛型[御銀預り申手形之事](勘定所預りの御用貸付金の内銀子へ振替分預りにつき) 大坂何町何屋誰・同手代誰・同何町何屋誰/(奥書)大坂何町年寄何屋誰→三井次郎右衛門殿・三井三郎助殿・三井元之助殿他2名端と奥を貼り付けて冊子状にしている		1通・縦継紙	そ13-1-30
伊達家執事礼状(肴料目録進上の答礼につき) 伊達家執事→真田様御執事中様	閏10月2日	1通・横切継紙	そ13-1-31
(諸書状一括)			そ15-4
宮下謙太夫書状(病状の件内々伺につき) 宮下謙太夫→(斉藤)友衛様	6月21日	1通・横切継紙	そ15-4-1

鹿野外守書状(損害の見込申上につき)(鹿野)外守→金一郎様	12月18日	1通・横切紙	そ15-4-2
鎌原溶水用状(横浜問屋善十郎御出入につき) 鎌原溶水→岸善八殿		1通・横切紙	そ15-4-3
小泉栄左衛門書状(水堰より内水取につき) 小泉栄左衛門→水野房五郎様・山本権平様 虫損甚大		1通・横切紙	そ15-4-4
弥右衛門書状(眼病の様子吹聴願につき) 弥右衛門→(金井)左源太様	4月7日	1通・横切紙	そ15-4-5
(諸普請関係書類綴)		2点	そ15-4-6
小泉栄左衛門用状(雪隠埋桶普請等入用金積の件につき) 小泉(栄左衛門)→片桐(重之助)様・高野(覚之進)様	14日	1通・横切紙	そ15-4-6-1
御金掛伺書(端裏書)[役夫調役御役所等御建替之儀伺](入用不足分支給の件につき) 御金掛→	5月19日	1通・切紙	そ15-4-6-2
岡田新兵衛書状(新御殿渡の件にて来訪願につき) 岡田新兵衛→山本権平様	正月26日	1通・横切紙	そ15-4-7
鎌原貫唯書状(返済の鑄形一挺・早合100発落手等につき) 鎌原貫唯→矢野倉謙兵衛様	1月28日	1通・横切継紙	そ15-4-8
鎌原溶水用状(京都に残る兵器の運搬につき) 鎌原溶水→岡野敬一郎様	11月19日	1通・横切継紙	そ15-4-9
平左衛門用状(水道御小屋番喰違御門番の内拘人1人の件承知願につき) 平左衛門→徳左衛門様	9月7日	1通・横切継紙	そ15-4-10
片桐重之助申上書(錫買上・運方等につき)(片桐)重之助→友作様	19日	1通・横切紙	そ15-4-11
片桐重之助書状(錫運搬の取計いにつき)(片桐)重之助→友作様	5月16日	1通・横切紙	そ15-4-12
菅大式他一名書状(用水の件鶴殿不承知の旨用番へ伺につき) 菅大式・樋口峯之助→塩野宗示様	7月朔日	1通・横切継紙	そ15-4-13
清記用状(御野掛のため屋敷前掃除等につき) 清記→右衛門様	9月19日	1通・横切紙	そ15-4-14-1
清記礼状(同役へ手数につき)(清記)→(右衛門様) そ15-4-14-1の別紙	9月19日	1通・切紙	そ15-4-14-2
(購入錫関係書類一括) 包紙一括			そ15-4-15
(包紙) 大津宿より源右衛門・民右衛門→松代片桐重之助様 15-4-15入		1点・包紙	そ15-4-15-1
源右衛門他一名申上書[乍恐奉申上候](大坂にて購入錫の運送雨天のため延引につき) 大津宿より源右衛門・民右衛門→片桐重之助様 差出は大津宿より	4月27日	1通・横切紙	そ15-4-15-2
(川普請関係書類一括) 包紙一括			そ15-4-16
(包紙) 萃→(岡嶋)荘蔵様		1点・包紙	そ15-4-16-1
恩田鞆負達書(付札の通り心得につき) 恩田鞆負→岡嶋荘蔵殿	3月朔日	1通・切紙	そ15-4-16-2
萃用状(奉加金願につき) 萃→(岡嶋)荘蔵様		1通・切紙	そ15-4-16-3
某用状(川普請にて彦木の取扱い等につきか入用につき)		1通・横切継紙	そ15-4-16-4
徳用状(内命拝命につき) 徳→重様	24日	1通・切紙	そ15-4-16-5

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

磯田音門書状(酒造米高譲渡の件につき) (磯田)音門→(一場)茂右衛門様	11月26日	1通・横切紙	そ15-4-17
山口久米太書状(倅へ御下ケ金願につき) 山口久米太→酒井市治様・水野清右衛門様	5月11日	1通・横切継紙	そ15-4-18
(藩士旅行関係書類綴)		3点	そ15-4-19
中村安蔵書状(6月に此表出立等につき) 中村安蔵→春日儀左衛門様・春山磯治様	12月4日	1通・切紙	そ15-4-19-1
野本茂一郎用状[覚](着府・江戸出立等につき) 野本茂一郎→	亥11月	1通・切紙	そ15-4-19-2
田中万作書状(片岡十郎帰国の際の高崎銀の受取方内々御知せ願につき) 田中万作→春山磯治様 掛紙あり	11月11日	1通・横切紙	そ15-4-19-3
(治水庶務御下金関係書類綴)		2点	そ14-19
治水庶務伺書并民事掛指示書(端裏書)[四ツ屋丹波嶋両村犀川除御普請御入料金御下金之儀伺] 治水庶務→	6月	1通・横切継紙	そ14-19-1
治水庶務伺書(犀川除普請金昨年分の下金願につき) 治水庶務→	5月	1通・横切紙	そ14-19-2
郡改副主事伺書(端裏書)[川合新田村犀川除積伺](大水にて住居・耕地水入難渋により川除積立金の件願につき) 郡改副主事→	9月	1通・横切継紙	そ14-20
窪田友之助伺書(木の証文取調直し入手等につき) 窪田友之助→水野清右衛門様	12月30日	1通・横切紙	そ14-21
久保喜伝治書状(庸蔵縁談につき) 久保喜伝治→(綿内)右門様 端裏書「包口也 綿内右門様 貴酬 久保喜伝治四印」	5月(仲夏)11日	1通・横切継紙	そ14-22
佐藤為之進書状(寺沢様手掛金につき) (佐藤)為之進→(岡嶋)莊蔵様	8月11日	1通・横切継紙	そ14-23
望月帰一郎申上書(太政官日誌・開拓使日誌買上につき) 望月帰一郎→高山純一郎殿	11月15日	1通・横切紙	そ14-24
與作書状(看病手数等につき) 與作→半之丞様 端部虫損	2月14日	1通・横切継紙	そ14-25
山寺源大夫書状(家中奉公人分限直しにつき) (山寺)源大夫→片葉様・御小姓町様 端裏朱書あり	2月14日	1通・横切継紙	そ14-26
堀内莊作他一名書状(御来訪願につき) 堀内莊作・入弥左衛門→宮入秋之助様	8月21日	1通・横切紙	そ14-27
恩田頼母書状(別紙の趣承知につき) 恩田頼母→磯田音門殿	11月8日	1通・横切紙	そ14-28
忠左衛門願書(出金再度日延の儀につき) 忠左衛門→(岡嶋)莊蔵様	2月5日	1通・横切継紙	そ14-29
権令申上書(酉戌両年分口印帳調印の儀につき) 権令→米山様	9日	1通・横切紙	そ14-30
五郎左衛門伺書(返書の趣意につき) 五郎左衛門→(宮下)孫兵衛様	8月7日	1通・横切継紙	そ14-31
(興津権右衛門伺書類綴)		3点	そ14-32
[女中拝借印書之事](包紙) 興津権右衛門→御用筋宮下孫兵衛様 包紙のみ		1点・包紙	そ14-32-1

興津権右衛門伺書(女中拝借の印書につき) (興津)権右衛門→(宮下)孫兵衛様	正月8日	1通・横切継紙	そ14-32-2
興津権右衛門伺書(女中拝借の印書落手等につき) (興津)権右衛門→(宮下)孫兵衛様 端裏に台点	正月13日	1通・横切継紙	そ14-32-3
某書状(玉井の儀につき) 紙背覚書「上々様方御入料之内」、紙背覚書は逆さまに記述		1通・横切継紙	そ14-33
萃用状[二月十二日暮六時より矢沢公にて素謡組](素謡演目・人名等書出につき) 萃→(岡嶋)荘蔵様	2月15日	1通・横切継紙	そ14-34
興津権右衛門願書(仕切金・礼金の残金調出等につき) (興津)権右衛門→(水野)清右衛門様 上部と下部虫損	4月14日	1通・横切継紙	そ14-35
富永新平願書(出入穿鑿につき) (富永)新平→(草間)一路様 端裏書「出入り口可成下候」	11月25日	1通・横切継紙	そ14-36
惣代申上書(人員取調等につき) 惣代→(矢野)唯見様	28日	1通・横切継紙	そ14-37
(富永諫関係一括) 包紙一括			そ14-38
(包紙)		1点・包紙	そ14-38-1
富永諫書状(内願書提出の件報知のお礼につき) 富永諫→岡嶋荘蔵様	2月17日	1通・横切継紙	そ14-38-2
富永諫書状(願書の取扱の様子につき) (富永)諫→(岡嶋)荘蔵様	2月17日	1通・横切紙	そ14-38-3
佐久間忠幾久願書(渾地拝借につき) (佐久間)忠幾久→(山寺)源兵衛様	9月18日	1通・横切紙	そ14-39
金井弥惣左衛門書状(願書受領の噂報知の件感謝等につき) (金井)弥惣左衛門→(榎田)弥惣兵衛様	2月18日	1通・横切継紙	そ14-40
喜兵衛願書(御貸金増願につき) 喜兵衛→(水井)忠蔵様 上部虫損	10月朔日	1通・横切継紙	そ14-41
宮下孫兵衛他一名伺書(御注文の品等につき) (宮下)孫兵衛・(中俣)一平→(水野)権右衛門様・(磯田)小藤太様・(大熊)俊之丞様他1名 端裏書「八月十七日夕刻出宿次便二差出ス」	8月17日	1通・横切継紙	そ14-42
高野覚之進書状(病後ゆえ殊の外出来ぜざる旨許容願につき) (高野)覚之進→御両君様	8月23日	1通・横切継紙	そ14-43
東京出張所達書(兵部省達・御布告送付につき) 東京出張所→松代県御中		1通・横切継紙	そ14-44
某嘆願書(半田氏利分御流につき)	未6月	1通・横切紙	そ14-45
重修用状(軸盆等5品下賜取次ぎ願につき) 重修→勝休様	7月18日	1通・横切紙	そ14-46
八田慎蔵書状(円蔵への伝言依頼等につき) 八田慎蔵→入弥左衛門様	5月11日	1通・横切紙	そ14-47
兵衛書状(内願への力添え願につき) 兵衛→(岡野)敬一郎様	22日	1通・横切紙	そ14-48
前島有年内々申上書(端裏書)「御内々申上」(京都にて出金差止めのため関田荘蔵難渋につき) (前嶋)有年→	11日	1通・横切紙	そ14-49
老横田書状(出張の者村名不案内の件伝言依頼につき) 老横田→藤井様	10月14日	1通・横切紙	そ14-50
源之丞用状(礼銭献上者の名面差出願につき) 源之丞→町方様	12月14日	1通・切紙	そ14-51

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

御郡方用状并御普請方勘返状(下座見出精の褒美の件につき) 御郡方→御普請方様	3月17日	1通・横切紙	そ14-52
某用状(鉄砲師4人他分金銭勘定につき)		1通・切紙	そ14-53
関田恭蔵用状(朝廷貸出金につき) (関田) 恭蔵→裏柴町様・表柴町様	8月5日	1通・横切継紙	そ14-54
佐藤美与喜書状(大属心得会計方拝命への祝等につき) (佐藤) 美与喜→(富永) 新平様	2月晦日	1通・横切継紙	そ14-55
岡嶋莊蔵用状并今井勘返状(別紙の通り指示の件伺につき) 岡嶋(莊蔵)→今井様	正月9日	1通・切紙	そ14-56
権太夫用状(密談のため自宅へ来訪願につき) 権太夫→(水野) 権右衛門様	23日	1通・切紙	そ14-57
山口久米太書状(借入金の件尽力の旨等につき) 山口久米太→水野清右衛門様	7月28日	1通・横切継紙	そ14-58
青山喜平次書状(腰痛のため欠勤願につき) (青山) 喜平次→(岡嶋) 莊蔵様・(入) 弥左衛門様	5月9日	1通・横切継紙	そ14-59
某用状(面談願につき)	2月7日	1通・横切継紙	そ14-60
(弥一郎書状一括) 巻込一括			そ14-61
弥一郎書状(納戸筆笥片付け等につき) 弥一郎→小松庄之助様	6月20日	1通・横切継紙	そ14-61-1
弥一郎書状(家内様へ挨拶依頼につき) 弥一郎→(小松) 庄之助様	6月20日	1通・横切紙	そ14-61-2
弥一郎書状(訪問の件につき) 弥一郎→(小松) 庄之助様	6月20日	1通・横切紙	そ14-61-3
(屋敷地水道関係等諸書類一括) 旧史料館紙紐一括			そ16-1
某用状(相談の件等につき)	7月23日	1通・横切継紙	そ16-1-1
石野伝蔵他一名用状(屋敷北の方堰掃除願につき) 石野伝蔵・宮下嘉平太→湯本十学様・金子廣多様	(明和8年)8月2日	1通・横切継紙	そ16-1-2
海野藤馬用状(手前勝手内水取のため取計の件につき) 海野藤馬→落合量蔵様・竹内小左衛門様 端裏貼紙付	(享和3年)7月23日	1通・横切紙	そ16-1-3
十学書状(内水浄水の件御書答の件につき) 十学→徳左衛門様	7月25日	1通・横切継紙	そ16-1-4
済助他一名伺書(福島村要左右衛門為替御下げ金員数につき) 済助・伝蔵→(酒井) 市治様・(水野) 清右衛門様	2月6日	1通・横切紙	そ16-1-5
十郎右衛門願書(学校稽古初めの御用品片付の件につき) 十郎右衛門→(山本) 殿	正月17日	1通・横切紙	そ16-1-6
酒井市治申上書(在坂中の借入金御財調へ提出の件伺等につき) 酒井市治→水野清右衛門様	6月14日	1通・横切継紙	そ16-1-7
(伊藤録太郎内借金関係書類綴)		2点	そ16-1-8
鎌原伊野右衛門用状(伊藤録太郎松本等使の内借金願等につき) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿	4月12日	1通・横切継紙	そ16-1-8-1
伊藤録太郎願書[口上覚](松本表御使のため10両内借につき) 伊藤録太郎→	4月12日	1通・横切紙	そ16-1-8-2
(郷力一件関係書類一括 明治3年10月～11月) 包紙一括			そ16-1-9
[郷力一件](包紙) 渡辺(憲蔵)大属→近藤大属(晋)殿		1点・包紙	そ16-1-9-1

大属渡辺憲蔵申上書(判任より奏任へ転任の者の履歴提出再依頼の件につき) 大属渡辺(憲蔵)中→権大参事御中	(明治3年)11月8日	1通・切紙	そ16-1-9-2
渡辺憲蔵用状(郷原力作不正等取調並びに処分案の報告につき) 渡辺(憲蔵)大属→近藤権大属(晋)殿	(明治3年)11月5日	1通・横切継紙	そ16-1-9-3
近藤晋用状(郷原力作一件について会合開催につき) 近藤大属(晋)→渡辺大属(憲蔵)殿 端裏書「十一月達外二一枚 郷方ノ事」	(明治3年)10月20日	1通・横切継紙	そ16-1-9-4
(下田町同心丁博打一件関係書状綴) 糊付一綴		2点	そ16-1-10
某書状(下田町同心丁八万吉外博打一件明日御仕置等につき)	8月19日	1通・横切紙	そ16-1-10-1
某書状(下田町同心丁博打人別の内保科村並びに西寺尾村のもの呼出の件取計願につき)	9月3日	1通・横切紙	そ16-1-10-2
(包紙) 金井左源太→岡嶋荘蔵様 そ16-1-11-2の包紙		1点・包紙	そ16-1-11-1
金井左源太申上書(下真嶋村名主他法外の不正の件内々申上につき) (金井左源太)→岡嶋荘蔵様	9月15日	1冊・横長半	そ16-1-11-2
恩田軋負申達状(御徒士助1人御勘定御賄役俸内より任命につき) 恩田軋負→岡嶋荘蔵殿	12月晦日	1通・横切継紙	そ16-1-12
松本賢吾用状(御附女中切米米倉渡にて両替依頼につき) 松本賢吾→酒井市治様	12月17日	1通・横切継紙	そ16-1-13
介作用状(内曲輪敷砂道筋左右・屋敷内左右に差置にて各所へ通達願につき) 介作→(水野)房五郎様	閏4月28日	1通・横切紙	そ16-1-14
半兵衛書状(給人格倅と御目見格倅の席次の先例不明につき) 半兵衛→(岡嶋)荘蔵様	2月17日	1通・横切紙	そ16-1-15
(上下代金関係書類綴)		2点	そ16-1-16
水野清右衛門書状并堤常之丞勘返状(大凡の品値段は空しきにつき) 水野清右衛門→堤常之丞様	正月6日	1通・横切継紙	そ16-1-16-1
坂屋愛助[覚](上下代金につき) 坂屋愛助→水野様	巳11月	1通・切紙	そ16-1-16-2
金左衛門申上書(稗島一件夫銭割混雑取扱につき) 金左衛門→(草間)一路様	7月28日	1通・横切継紙	そ16-1-17
(御収納郡方関係書類一括) 紙縫一括			そ16-1-18
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-18-1
御収納賄方申上書(端裏書)[磯田小藤太御借入之儀付申上](勘定吟味同意につき) 御収納方郡方→	4月28日	1通・切紙	そ16-1-18-2
御収納郡方申上書(端裏書)[島田三郎御物頭調役夫給被下候儀付申上] 御収納郡方→	2月朔日	1通・横切紙	そ16-1-18-3
御収納郡方申上書(端裏書)[宮澤丹下歎願之儀付申上](勘定吟味役同意につき) 御収納郡方→	7月28日	1通・切紙	そ16-1-18-4
御収納郡方申上書(端裏書)[北澤善二郎親類内願之趣御聞置申上候] 御収納郡方→	12月	1通・切紙	そ16-1-18-5
御収納郡方申上書(端裏書)[卜木治郎右衛門在命中嘆願之義申上] 御収納郡方→	9月4日	1通・切紙	そ16-1-18-6
(御収納郡方関係書類一括) 紙縫一括			そ16-1-18-7
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-18-7-1
御収納郡方申上書(端裏書)[春原六左衛門等歎願之	12月	1通・切紙	そ16-1-18-7-2

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

儀付申上] (長詰の褒美歎願につき) 御収納郡方→			
御収納郡方申上書(端裏書) [春原六左衛門等歎願二付申上] (勘定吟味役同意につき) 御収納郡方→	12月晦日	1通・切紙	そ16-1-18-7-3
(江府御武具方調役夫給関係書類一括) 紙縫一括			そ16-1-19
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-19-1
御収納郡方申上書(端裏書) [江府御武具方調役之儀付申上] (夫給並びに手当願につき) 御収納郡方→ 掛紙あり	6月	1通・横切紙	そ16-1-19-2
御収納郡方申上書 [御武具調役助兩人夫給之儀付申上] (手当支給願につき) 御収納郡方→	10月16日	1通・横切継紙	そ16-1-19-3
堀内権之進申上書并源次兵衛勘返状(端裏書) [九作事并小俣氏え配当之事] (田中久作困窮のため徒歩勤内願等につき) (堀内) 権之進→源次兵衛様	9月18日	1通・横切継紙	そ16-1-20
御勝手元へ申上書(端裏書) [依田文兵衛之儀付再申上] (手当支給のうえ江戸出立につき) 御勝手元へ→	10月12日	1通・横切継紙	そ16-1-21
御勝手元へ申上書(端裏書) [藤田為太郎代之義付申上] (勘定吟味宇敷元之丞俸推挙につき) 御勝手元へ→	10月	1通・切紙	そ16-1-22
(諸書類一括) 紙縫一括			そ16-1-23
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-23-1
某用状(羽尾村銀兵衛100両献上等の件前嶋源蔵申上につき)		1通・切紙	そ16-1-23-2
(御荷物会所関係綴)		2点	そ16-1-23-3
計政副主事用状(郡政副主事へ申渡につき) 計政副主事→		1通・切紙	そ16-1-23-3-1
御荷物会所掛り伺書(端裏書) [御荷物会所御場所替之儀二付伺] (自普請場所取り崩し引渡し等につき) 御荷物会所掛り→	午9月	1通・切紙	そ16-1-23-3-2
某用状(久保三郎支配所金銭書出につき) 後欠か		1通・切紙	そ16-1-23-4
湯本久次郎用状(開封不能) 湯本久次郎→南俣村茂兵衛		1点・封筒	そ16-1-23-5
中澤茂市金銭受取証文(用達金100両返済金につき) 中澤茂市→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書あり	9月	1通・切紙	そ16-1-23-6
(追通村自然硝入料関係書類一括) 紙縫一括			そ16-1-23-7
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-23-7-1
某申上書(端裏書) [追通村自然硝御入料之儀二付申上] (逼迫のため30両支給の旨武具方返答につき)	正月	1通・横切紙	そ16-1-23-7-2
御武具奉行伺書(端裏書) [追通村自然硝御入料御下金伺] (御下ケ金願につき) 御武具奉行→	12月21日	1通・横切紙	そ16-1-23-7-3
五明元作金銭受取証文[覚] (買上米代金100両につき) 五明元作→水野清右衛門殿・窪田半弥殿	4月	1通・横切継紙	そ16-1-23-7-4
(諸書類一括) 紙縫一括			そ16-1-24
(紙縫) そ16-1-24を一括		1点・紙縫	そ16-1-24-1
(包紙) 丸山瀧蔵・関田莊助→酒井市治様・水野清右衛門様 そ16-1-24-2-2の包紙、紙縫共		1点・包紙	そ16-1-24-2-1
関田莊助他一名用状(三輪村宇兵衛江戸へ木綿荷物	2月22日	1通・横切継紙	そ16-1-24-2-2

荷出の受取・売払い等につき) (丸山) 瀧蔵・(関田) 荘助→ (酒井) 市治様・(水野) 清右衛門			
元書記方申上書[筆墨料滞之分御渡方之義申立写] (明治3年7月～12月分の滞納分の支払いにつき) 元書記方→		1通・横切継紙	そ16-1-24-3
某用状(城内取締りの者への御賞につき)		1通・横切継紙	そ16-1-24-4
某内々申上書(御用達へ借入金利分切替え分の褒美につき)		1通・切紙	そ16-1-24-5
(諸書類一括) 紙縫一括			そ16-1-24-6
(紙縫)		1点・紙縫	そ16-1-24-6-1
某申渡書(端裏書)[卒族会釈等之事](士族との会釈等心得違ひにつき)		1通・横切継紙	そ16-1-24-6-2
(両御屋敷供等関係書類一括) 包紙一括			そ16-1-24-6-3
(包紙) 柘植彦六→金井麗水様		1点・包紙	そ16-1-24-6-3-1
柘植彦六申上書[申上](両御邸御鎮守六社祭初穂賄代等につき) 柘植彦六→	2月11日	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-3-2
柘植彦六申上書(別紙の通り申上につき) 柘植彦六→金井麗水様	2月11日	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-3-3
御台所申上書(端裏書)[初午御備御入料取調申上] (酒・洗米等両御屋敷鎮守への供物並び神主入料につき) 御台所→	2月11日	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-3-4
理事伺書(端裏書)[今廿五日御布告之儀二付伺](御政事所での諸役人の履物の脱方等作法につき) 理事→ 下ヶ札あり	2月25日	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-4
計政副主事伺書(端裏書)[堀内荘蔵入弥左衛門等級之義二付伺](永給人の格式につき) 計政副主事→ 端裏書「廿七日申渡済」	(明治3年)2月	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-5
善八申上書(端裏書)[御内々申上](荒井伊八へ御荷物会所掛才領組取扱いの再願につき) 善八→	2月24日	1通・横切継紙	そ16-1-24-6-6
某申渡書案文(端裏書)[案文](士族との会釈等心得え違ひにつき並びに高広添削の旨端裏書)		1通・横切紙	そ16-1-24-6-7
酒井市治他一名申上書(端裏書)[屋代村新村安兵衛再願之義二付御内々申上](旧藩御用につき)(酒井)市治・(水野)清右衛門→	9月29日	1通・横切継紙	そ16-1-25
某用状[西暮御利分請取覚]		1通・横切継紙	そ16-1-26
御取回掛申上書并指示書(東京雑賦前金受取の内大蔵省へ上納分取調につき) 御取回懸→	閏10月	1通・横切継紙	そ16-1-27
計監申上書(人馬賃銭等高騰のため飛脚路増し願につき) 計監→	11月	1通・横切継紙	そ16-1-28
計政副主事申上書(水内郡今井村堀賃銭中借につき) 計政副主事→	7月8日	1通・横切継紙	そ16-1-29
伊藤房吉他一名伺書(端裏書)(土口村幸松笹崎堰取建ての御賞につき) 伊藤房吉・町田善五衛門→	11月	1通・横切紙	そ16-1-30
(良平金銭借用書類綴)			そ16-1-31
良平願書(20金借用につき) 良平→弥左衛門様	7日	1通・横切紙	そ16-1-31-1
良平金銭受取証文(20金借用につき) 良平→弥左衛	11日	1通・横切継紙	そ16-1-31-2

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

門様			
河口五左衛門他二名書状(屋敷添堰筋の石垣除去の件につき) 河口五左衛門・井上一角・花岡善左衛門→相澤嶋右衛門様・清野権大夫様 裏打あり	3月12日	1通・横切継紙	そ16-1-32
(目付より通達関係書類綴)			そ16-1-33
久保三郎用状(当番より申来りにつき) 久保三郎→南澤甚之介様・野本力太郎様・細田久作様他44名 そ16-1-33-2の別紙	4月22日	1通・横切継紙	そ16-1-33-1
草間一路用状(国喪のため鳴物停止等朝廷関係の件目付中より演説につき) 草間一路→久保三郎様	4月22日	1通・横切継紙	そ16-1-33-2
真田志摩用状(上京道中渡船場等へ下賜金承知につき) 真田志摩→岡野弥右衛門殿	4月12日	1通・横切紙	そ16-1-34
(検見御賞関係書類一括) 包紙一括			そ16-1-35
(包紙) 倉田三之丞→野中喜右衛門様		1点・包紙	そ16-1-35-1
倉田三之丞申上書(検見の御賞につき) (倉田)三之丞→寺尾様	9月5日	1通・横切継紙	そ16-1-35-2
某用状(竿手14人書出につき)		1通・切紙	そ16-1-35-3
安入蔵治申上書(貞松院様御普請入料460両余につき) 安入蔵治→	4月12日	1通・切紙	そ16-1-36
浅波駿太郎書状(火菊頂戴願につき) 浅波駿太郎→佐藤様	9月24日	1通・横切継紙	そ16-1-37
水野清右衛門書状(腹通による欠勤のため東京よりの用状を伝達願等につき) (水野)清右衛門→(酒井)市治様	7月5日	1通・横切継紙	そ16-1-38
(紙縫) そ16-1-39-2の紙縫		1点・紙縫	そ16-1-39-1
服部敬順書状[口演](御国表への書状延引につき) 服部敬順→伊藤様	2月13日	1通・横切継紙	そ16-1-39-2
赤沢嘉兵衛書状(国役普請所引弘いの使者通達承知につき) 赤沢嘉兵衛→山中鹿渡様	3月14日	1通・横切紙	そ16-1-40
赤沢嘉兵衛書状(長国寺使者通達の旨伝達につき) 赤沢嘉兵衛→山中鹿渡様	3月14日	1通・横切紙	そ16-1-41
赤沢嘉兵衛書状(某職任命の件支配の内より穿鑿につき) (赤沢)嘉兵衛→町方様 表題の役職名は破損で読めず	8月12日	1通・横切紙	そ16-1-42
(中野町大和屋長蔵盃下賜関係書類綴)		2点	そ16-1-43
某用状(中野町大和屋長蔵盃下賜につき)	丑9月29日	1通・切紙	そ16-1-43-1
鎌原溶水書状(中野町大和屋長蔵盃下賜につき) 鎌原溶水→岡野敬一郎殿	9月29日	1通・切紙	そ16-1-43-2
(用水関係書類一括) 紙縫一括			そ16-1-44
(紙縫)		1通・紙縫	そ16-1-44-1
平林藤助他一名書状(内水願につき) 平林藤助・中川清兵衛→三輪徳左衛門様・山本権平様	4月16日	1通・切紙	そ16-1-44-2
上村九左衛門書状(内水願につき) 上村九左衛門→佐藤三九郎様・水野房五郎様	文政9年5月2日	1通・切紙	そ16-1-44-3
赤雄太郎用状(分水隣家へ差遣す旨承諾につき) 赤	寅5月22日	1通・横切紙	そ16-1-44-4

雄太郎→竹(内)小左衛門様 (納初数相違一件関係書類綴)		2点	そ16-1-45
蔵庶務申上書[口上覚](納初数相違の件につき) 蔵庶務→	□18日	1通・横切継紙	そ16-1-45-1
栗林長兵衛他一名申上書(納初数相違の件取調べの旨につき) 栗林長兵衛・中嶋啓作→三井清治様・富岡宗三郎様・山本常馬様	8月27日	1通・横切継紙	そ16-1-45-2
御金掛用状(英俊母へ持上げ分支給の件取扱い等につき) 御金掛→堀田大二郎様・宮入慎七郎様	12月朔日	1通・横切継紙	そ16-1-46
竹村金吾用状(別帳返上につき) (竹村)金吾→(岡島)荘蔵様	3月26日	1通・切紙	そ16-1-47
楠井忠兵衛書状(下ケ金嘆願につき) 楠井忠兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様	5月11日	1通・切紙	そ16-1-48
(東寺尾村甚三郎吟味関係書類綴)		3点	そ16-1-49
岡嶋荘蔵用状(東寺村甚三郎吟味勘弁願につき) (岡嶋)荘蔵→弥右衛門様	6月8日	1通・横切継紙	そ16-1-49-1
某用状(東寺尾村甚三郎・親類組合等書出につき)		1通・横切紙	そ16-1-49-2
某用状(東寺尾村甚三郎作俵等につき)		1通・切紙	そ16-1-49-3
真田志摩御書取(預け金1000両御用のため出納の件につき)	12月23日	1通・横切継紙	そ16-1-50
酒井氏内書抜粹(白山奥村より借入金返済一件水野氏へ依頼につき) 酒井氏→(関田恭蔵) 端裏書「十二月十五日認、十六日出、同廿二日朝九字相違、酒井氏内書之内切抜」、朱書「甲」		1通・横切継紙	そ16-1-51
大和屋喜兵久吉書状(吉二郎へ御下ケ金再願につき) 大和屋喜兵久吉→関泰輔様御取次中様 端裏書「正月十二日京都大和屋喜久松手代吉次郎下坂持参之書状」、朱書「乙」	正月8日	1通・横切継紙	そ16-1-52
片岡文治他二名拝借金受取証文[覚](勝手向難渋のため金40両拝借につき) 片岡文治・加判→同→青柳丈左衛門殿・鈴木藤太殿	文久2年戌12月	1通・縦紙	そ11-1
保科村和田組丸山市左衛門用状[保科山え入山札村数覚] 保科村之内和田組丸山市左衛門→	享保8年卯4月	1通・横切継紙	そ11-2
大里忠三郎他一名金子受取証文[覚](春原玄三佐への金子100両受取につき) 大里忠三郎・代判富岡良右衛門→酒井市治殿・水野清右衛門殿	巳10月29日	1通・横切紙	そ11-3
御作事用状[覚](水升等渡物興津藤左衛門宛名で廻状願につき) 御作事→御水道方	4月	1通・横切紙	そ11-4
大蔵省出納司受取証文[覚](匱金の内銀台分の換金札につき) 大蔵省出納司→松代藩知事真田從四位	11月22日	1通・横切継紙	そ11-5
某用状[覚](扶持・知行代金他内預ケ金書出につき) 端裏書「水野公」	丑10月	1通・横切継紙	そ11-6
某達書(村方呼出につき)		1通・横切紙	そ11-7
成沢勘左衛門他一名書状(大熊村・小沼村入会地新開出一件吟味差縫の件につき) 成沢勘左衛門居判・祢津要左衛門居判→大西嘉平様・長谷川頼左衛門様	□朔日	1通・横切継紙	そ11-8
[貞松院様御本供御行列] 朱書あり	文久3年亥5月24日	1冊・横長半	そ11-9

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

某用状(初等寄せ分勘定書)		1通・横切継紙	そ11-10
某申上書(森五十三御賞願につき)	(明治5年)壬申7月	1通・横切継紙	そ11-11
青山勝之助才覚金受取証文(50両につき) 青山勝之助 →出納方	7月	1通・横切継紙	そ11-12
(不参人名関係書類綴)		2点	そ11-13
小山伝治用状[覚](不参人名につき)	(明治2年)巳3月	1通・切紙	そ11-13-1
(二月中三番隊不参人名簿)		1冊・横長半	そ11-13-2
(諸費受取証文綴)		11点	そ11-14
天の屋喜三郎金銭受取証文[覚](蠟燭箱代等につき) 天の屋喜三郎→酒井市治様	5月20日	1通・横切紙	そ11-14-1
某用状(酒造業者等書出につき)		1通・切紙	そ11-14-2
青山勝之助拝借金受取証文[覚](25両拝借につき) 青山勝之助→出納方御中	明治3年午正月	1通・横切紙	そ11-14-3
某用状(菓子代等一人別書出につき)		1通・切紙	そ11-14-4
青山勝之助才覚金受取証文[覚](雑用の内につき) 青山勝之助→出納方御中	3月22日	1通・横切継紙	そ11-14-5
青山勝之助中借金受取証文[覚](御口入入用中借に つき) 青山勝之助→出納方御中	(明治3年)午4月13日	1通・横切継紙	そ11-14-6
国胎寺他一名才覚金受取証文[覚](10両につき) 国 胎寺・青山勝之助→出納方御中	(明治3年)午5月10日	1通・切紙	そ11-14-7
五明元作金銭受取[覚](土産代金につき) 五明元作 →酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治3年午正月	1通・切紙	そ11-14-8
矢代村八切八金銭受取証文[覚](飛脚賃につき) 矢 代村八切八→生蓮寺御納所中	(明治3年)午正月27日	1通・切紙	そ11-14-9
吉原兵吾金銭受取証文[覚](矢沢村・飯沼村へ出張の内 借金につき) 吉原兵吾→酒井市治様・水野清右衛門様	(明治3年)午4月28日	1通・切紙	そ11-14-10
五明元作金銭受取証文[覚](全国通用銭札の間違い分 受取につき) 五明元作→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治3年午5月	1通・横切継紙	そ11-14-11
平左衛門書状(出入金なし等につき) 平左衛門→徳左衛 門様	9月9日	1通・横切継紙	そ11-15
[口上覚](包紙) 堤右兵衛→		1点・包紙	そ11-16-1
堤右兵衛申上書[口上覚](平左衛門打擲により疵付に つき) 堤右兵衛→	3月	1通・横切継紙	そ11-16-2
権少参事申上書(玉川順次郎酒失の件再評につき) 権 少参事→	8月	1通・横切継紙	そ11-17
(拝借金頂戴差図内々伺関係書類綴)		4点	そ11-18
[口上覚](包紙)		1点・包紙	そ11-18-1
佐藤富弥願書(嫡子江戸勤のため拝借金頂戴等につ き) 佐藤富弥→	正月	1通・横切継紙	そ11-18-2
佐藤富弥願書[口上覚](掛御用拝命のため拝借金頂 戴の差図につき) 佐藤富弥→	正月	1通・横切紙	そ11-18-3
佐藤富弥願書[口上覚](江戸詰番手当金未払い並び国 元御用にため手当拝借金頂戴につき) 佐藤富弥→	正月	1通・横切紙	そ11-18-4

矢沢監物達書(別家取立の者上納の旨等上納金・拝借金につき) 矢沢監物→金児丈助 端に継紙あり	4月26日	1通・横切継紙	そ11-19
某用状(俵金定めのため大給より小給へ返金の件等藩士給金につき)	明治2年巳10月	1通・横切継紙	そ11-20
麻生網太郎金子借用証文[覚](要用のため金15両借用につき) 麻生網太郎→柘植様	巳12月19日	1通・縦紙	そ11-21
津田屋十右衛門申上書[乍恐口上](深夜のため富士川・大井川通船差仕により日限延引につき) 津田屋十右衛門→関口御取次中様		1通・縦継紙	そ11-22
(倉内三之丞他3名金子借用証文関係書類一括 慶応2年3～4月) 巻込一括	慶応2年寅3月		そ11-23
倉内三之丞他三名金子借用証文[覚](金86両余につき) 倉内三之丞・竹内多吉・野中喜左衛門他1名/(奥書)御用無印磯田春門・同成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛他4名/(裏書)綿貫泰蔵→齊藤善兵衛様・水井市治様・水井忠治様他2名	慶応3年寅4月	1通・縦紙	そ11-23-1
倉内三之丞他三名金子借用証文[覚](金103両余につき) 倉内三之丞・竹内多吉・野中喜左衛門他2名/(奥書)御用無印磯田音門・同成沢勘左衛門・長谷川勘兵衛他5名/(裏書)綿貫泰蔵→齊藤善兵衛様・水井市治様・水井忠治様他2名	6月16日	1通・縦紙	そ11-23-2
某用状(入会山伐採の一件処罰申渡しにつき) 前後欠、裏打あり	明治5年壬申8月	1通・縦継紙	そ11-24
鼠宿村開発願人室賀八左衛門他五名願書[乍恐以書付奉願上候](開発場御見分につき) 鼠宿村開発願人室賀八左衛門・西沢嘉右衛門・小嶋一郎左衛門他3名→松代御役所		1冊・豎半	そ11-25
(地方関係書類綴)	4月13日	14点	そ11-26
鈴木藤太申上書(風間村高免につき) 鈴木藤太→水井忠蔵・春日儀左衛門		1通・横切継紙	そ11-26-1
某用状(廻村の案内につき)		1通・横切継紙	そ11-26-2
某用状(作毛見分の人馬継立の件につき)	8月	1通・横切継紙	そ11-26-3
小池左金太他一名申上書(中沢村分地紺屋町彦兵衛持地内改につき) 小野左金太・堀田莊治→下ケ札あり		1通・切紙	そ11-26-4
某申渡書[申渡](小市村末古荒地道筋地続出入の件厳科につき)		1冊・横長半	そ11-26-5
(手当・御賞関係書類綴)	7月15日	2点	そ11-26-6
三之丞申上書(端裏書)[稻積村藤右衛門事](藤右衛門手当金只今まで纏まらず侘等につき) 三之丞→(野中)喜左衛門様	7月	1通・横切継紙	そ11-26-6-1
某申上書(稲田村宮澤左兵衛開発新地の件御賞願につき)		1通・縦紙	そ11-26-6-2
(町川田村大治郎等不正・出入一件関係書類綴)	8月	3点	そ11-26-7
町田源左衛門他二名申上書(町川田村大治郎他不正の引高見分につき) 町田源左衛門・池田良右衛門・立合小泉榮左衛門→		1冊・横長半	そ11-26-7-1
某用状(川田村大治郎・又右衛門宿方入料等の件出入他の風聞につき)		1冊・横長半	そ11-26-7-2
某用状(町川田村宿三郎・大治郎不正の風聞につき)	9月18日	1冊・横長半	そ11-26-7-3

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

金井左源太書状(桐山村へ夫食下賜執成し願い等につき)(金井)左源太→(北沢)源次兵衛様 朱書あり		1通・横切継紙	そ11-26-8
(包紙)		1点・包紙	そ11-26-9-1
北沢源次兵衛書状(悪作にて引方過分のこと御苦労他につき)(北沢)源次兵衛→(岡嶋)莊蔵様	9月22日	1通・横切継紙	そ11-26-9-2
某申上書(小検見引高多量の件伺につき)	10月	1通・横切継紙	そ11-26-10
(下境村字福蔵敷地反別持人並びに地力等書出)		1冊・横長半	そ11-26-11
某書状(端裏書)[土木司松原勝太郎より東京え書状頼之義二付申上](松原より小野善四郎への書状送付願につき)	5月	1通・横切紙	そ1-1
(公廨開庁につき下賜願書関係綴)		2点	そ1-2
郡政副主事申上書(端裏書)[公廨御開二付御酒被下之儀申上](公廨開庁につき酒・鯛下賜願につき) 郡政副主事→	正月	1通・横切継紙	そ1-2-1
某申上書雛形(端裏書)[公廨御開二付御酒被下之儀](公廨開庁につき酒・鯛下賜願につき)		1通・横切紙	そ1-2-2
郡政副主事申上書雛形(端裏書)[御囲合葉蔵御出来之儀二付申上](御囲合葉蔵新規出来につき) 郡政副主事→	(明治3年)午5月12日	1通・横切紙	そ1-3
松代藩申入書雛形(端裏書)[開墾局反別人口調二帳](当藩管轄高反別・口数につき) 松代藩→民部省開墾局御出張御中	(明治4年)辛未4月	1通・横切継紙	そ1-4
水道役書状(御所様大降院様霊屋・廟所へ参詣につき) 水道役→		1通・横切継紙	そ1-5
某用状(市村両組地借返済願等につき) 後欠		1通・横切継紙	そ1-6
御収納郡方返答書(端裏書)[戸根山豊馬森長左衛門火事羽織代被下之事](戸根山豊馬森長左衛門火事羽織代御尋につき) 御収納郡方→	亥5月27日	1通・切紙	そ1-7
大熊衛士申渡書(端裏書)[隼太之助歩行伺御差図] 大熊衛士→矢野倉謙兵衛殿	4月10日	1通・横切紙	そ1-8
(狂歌綴)		3点	そ1-9
某用状(狂歌書上)		1通・横切継紙	そ1-9-1
某用状(狂歌書上)		1通・横切紙	そ1-9-2
某用状(狂歌書上)		1通・横切紙	そ1-9-3
某用状(キリコホネ・カネザシ書出につき)		1通・横切継紙	そ1-10
某用状(兎宿取締所竹内小左衛門・恩田十郎等村名・人名書上)		1通・横切継紙	そ1-11
三右衛門書状(拝借絵図三枚返上につき) 三右衛門→(佐藤)三九郎様	3月8日	1通・横切紙	そ1-12
(藩士役料他関係綴)		10点	そ1-13
某用状(御郡方御仲間喜左衛門の身分足輕へ格下げ願につき)		1通・横切紙	そ1-13-1
白川四郎右衛門書状(白鳥御宮拝席の件絵図面の通り通達につき) 白川四郎右衛門→	閏8月6日	1通・横切紙	そ1-13-2
某用状(元金・利足書出につき) 下ヶ札あり		1通・横切紙	そ1-13-3

某用状(詰番・預所掛り両役勤め三人扶持願につき)		1通・横切継紙	そ1-13-4
某用状(御側御納戸物書岡田量助の明細書上につき)		1通・横切継紙	そ1-13-5
拝借掛申上書(前島兵右衛門・和田十郎左衛門御軍用金拝借の件尋につき) 拝借掛→	正月	1通・横切紙	そ1-13-6
某用状(切米・扶持書出につき)		1通・横切紙	そ1-13-7
鎌原伯耆書状(国役普請御願の儀につき) 鎌原伯耆→岡島荘藏殿	12月晦日	1通・横切継紙	そ1-13-8
金井左源太用状(勘定役他役料引き上げ等につき)(金井)左源太→(岡島)荘藏様		1通・横切継紙	そ1-13-9
某用状(別紙の趣の評議拝聴願につき) 端裏貼紙「封」	2月10日	1通・横切紙	そ1-13-10
(関田荘助大蔵省出頭関係綴)			そ1-14
前嶋友之進申上書(端裏書)[関田荘助大坂大蔵省より呼立之儀申上] 前嶋友之進→	9月	1通・横切紙	そ1-14-1
関田荘助申上書(端裏書)[大坂表大蔵省より剪紙到来之義申上](下坂仕り兼ね断りつき) 関田荘助→	9月26日	1通・横切継紙	そ1-14-2
御用場守友七書状(下坂につき) 御用場守友七→関田様	子9月26日	1通・横切継紙	そ1-14-3
大蔵省用状(当省へ出頭につき) 大蔵省→松代藩関田荘助殿	9月20日	1通・横切紙	そ1-14-4
計監申上書(端裏書)[申上](別帳下ヶ札相違につき) 計監→	2月	1通・横切継紙	そ1-15
(組合・村名・金子書出帳) 帳はずれ		1冊・豎半	そ1-16
小左衛門書状(内談の一件了解につき) 小左衛門→徳左衛門様 虫損	3月19日	1通・横切紙	そ1-17
矢沢監物書状(別紙手元伺につき) 矢沢監物→岡島荘藏殿		1通・横切紙	そ1-18
元柴町書状(用場引払い等の資金借入願につき) 元浦柴町→元表柴町様	2月17日	1通・横切継紙	そ1-19
竹内八十五郎用状(草間三五郎等人名書出につき) 竹内八十五郎→		1通・横切紙	そ1-20
津田転他二名用状(茶弁当両掛1荷他書出につき) 津田転・玉川一学・久保喜代馬→		1通・横切継紙	そ1-21
某書状(信濃守様深川下屋敷へ来訪につき)		1通・横切継紙	そ1-22
公用人玉川一学申上書(端裏書)[伊達様より直書就進達二付申上](公御用人)玉川一学→ 端裏	9月8日	1通・横切紙	そ1-23
物頭申上書(端裏書)[内意申上](藤兵衛並びに卯助権堂見物の件承知願につき) 御物頭→	8月23日	1通・横切紙	そ1-24
青木忠太夫書状(別紙の通り刀番申立て見込みにつき) 青木忠太夫→岡島荘藏殿	4月18日	1通・横切紙	そ1-25
某用状(社寺調べ早々差出の事、真田従四位賞典米等につき)		1通・横切継紙	そ1-26
某用状(殿様在坂番・帰城の件につき)	2月	1通・横切紙	そ1-27
某用状(勘定の節受取証文提出につき) 裏打ちあり		1通・横切紙	そ1-28
某用状(小野・柏原へ筆下賜並びに東作真綿等送付願につき)		1通・切紙	そ1-29

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

鎌原伊野右衛門用状(虫倉御林の内にて焚炭焼取願の件伺通りにつき) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿・竹内金左衛門殿	11月13日	1通・切紙	そ1-30
某用状(御拝借他借金返済等書出につき) 下ケ札あり		1冊・豎半	そ1-31
某用状(山田中村煩忠助他3名書出につき)		1通・切紙	そ1-32
某用状[覚](午二月より金18両等々金式115両につき)		1通・横切継紙	そ1-33
某用状(御番入一番藤田右仲等職名・人名につき)		1通・横切継紙	そ1-34
某用状(6匁900文等貫目・金子につき)		1通・横切継紙	そ1-35
忠之助書状(山師共難渋にて至急御下け金支給につき) 忠之助→富之助様	12月15日	1通・横切紙	そ1-36
某用状(戊辰の年賄並び旧知事様善光参詣の入料等1200両程書出につき)		1通・切紙	そ1-37
某用状(後町村鈴木八兵衛御由緒にて持高諸役御免・糺支給願につき)		1通・切紙	そ1-38
某用状(上宮野尾村名主惣兵衛等村役人付につき)		1通・横折紙	そ1-39
(戸隠・善光寺参詣関係綴)			そ1-40
某用状下書(端裏書)[増田藤兵衛方戸隠善光寺え参詣仕度旨奉伺候](戸隠参詣中止につき)	8月23日	1通・横切継紙	そ1-40-1
宮本慎助他一名触書[覚](駕籠人足8人等伊勢町伝兵衛方へ派遣につき) 宮本慎助・松本嘉十郎→	8月23日	1通・横切紙	そ1-40-2
宮本慎助他一名用状[覚](戸隠参詣人足・案内差し出し等先触につき) 宮本慎助・松本嘉十郎→	8月23日	1通・横切継紙	そ1-40-3
某用状(別紙の通り承済申渡しにつき) 計政副主事→		1通・切紙	そ1-41
海沼源之進書状(証文御直し願につき) (海沼)源之進→(山本)権平様	7月21日	1通・横切紙	そ1-42
横田数馬書状(金円銭幣代金滞納分805両余の行方につき) (横田)数馬→(駒村)佐十郎様	8月9日	1通・横切継紙	そ1-43
某用状(石高拝借金取調べにつき)		1通・横切継紙	そ1-44
佐藤美与喜書状(菅沼氏へ遺物割合い願いにつき) (佐藤)美与喜→高山様	4月2日	1通・横切紙	そ1-45
松本嘉十郎書状(過刻申し上げ月壺割の儀間違ひ並び月壺分につき) (松本)嘉十郎→(宮沢)孫兵衛様・(宮本)慎助様	8月10日	1通・横切紙	そ1-46
某用状(渡辺栄司御仕置伺書添書の件につき)	10月25日	1通・横切紙	そ1-47
新兵衛書状(矢野君へ取成し願ひ等につき) 新兵衛→永野君	6月14日	1通・横切紙	そ1-48
某用状(金高嵩みの件了解願につき) 前欠	6月23日	1通・横切継紙	そ1-49
矢澤監物書状(別紙伺書へ附札の趣心得につき) 矢澤監物→興津権右衛門殿		1通・横切紙	そ1-50
河原舎人書状(御用肩書金子入壺本達しにつき) 河原舎人→山寺源太夫殿・高山内蔵進殿	3月朔日	1通・切紙	そ1-51
寺内多宮申上書(端裏書)[申上](別紙伺済御勘弁願につき) (寺内)多宮→	6月8日	1通・切紙	そ1-52
馬場弥三郎用状(端裏書)[去已年迄之御引負先御勝手]	午12月	1通・切紙	そ1-53

方え段々申立置候義ニ付申立] (先に勝手掛へ申上の件につき) 馬場弥三郎→			
御側役用状(端裏書)[御用番赤沢助之進殿被仰渡](酒井左衛門尉様よりの廻状順達につき) 御側役→	卯8月29日	1通・切紙	そ1-54
中島波之助申上書(来月三日の出役願につき) 中島波之助→山本権平様	閏5月29日	1通・横切紙	そ1-55
某用状(舶来の合葉代銀につき)		1通・横切紙	そ1-56
武庫司事伺書(端裏書)[御改方手附大沢莊吉御供之節詰戻之義伺] 武庫司事→	7月10日	1通・切紙	そ1-57
某書状(花火一件済む迄出仕停止のため引替願等につき) 前欠	8月16日	1通・横切紙	そ1-58
産文院書状(勅使入城後町方の不取締りの様子等につき) 産文院→御奉行様	8月16日	1通・横切紙	そ1-59
某用状(端裏書)[別紙之見込之方](此地での挨拶などの件につき)		1通・横切紙	そ1-60
某用状(休日・不参・出勤書出につき)		1通・横切紙	そ1-61
某用状(白絹仕立て等書出につき) 虫損あり		1通・切紙	そ1-62
北沢冠岳申上書(筆生詰所手入れ等至急に指図依頼につき) 北沢冠岳→ 端裏朱印「計副可」	4月	1通・横切紙	そ1-63
鎌原伊野右衛門書状(口光院様方丈等へ御下品御を吟味役へ相談につき) 鎌原伊野右衛門→大日方正司殿 虫損あり	7月6日	1通・横切紙	そ1-64
某用状(俵数等級付書出につき)		1通・切紙	そ1-65
鎌原伊野右衛門用状(別紙伺奇特につき) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿	8月朔日	1通・切紙	そ1-66
矢沢監物書状(書状の認め方につき) 矢沢監物→興津権右衛門殿	12月8日	1通・横切紙	そ1-67
某用状(五口金井広蔵・松村喜兵衛・金井幾三郎書出につき)		1通・切紙	そ1-68
某用状[尚又覚](町源・沓義等書出につき)		1通・切紙	そ1-69
岡嶋莊蔵書状(御用肩書座間百人殿他1名より一封到来につき) (岡嶋)莊蔵→(山寺)源太夫様・(金児)丈助様	2月27日	1通・切紙	そ1-70
某用状(卯年・辰年金子書出につき)		1通・横切紙	そ1-71
小林繁吉申上書(杓野村寅蔵役印につき) 小林繁吉→入久左衛門様	17日	1通・横切紙	そ1-72
(扶持代渡並び仕置筋伺書類等関係書類一括) 巻込一括			そ1-73
某用状(扶持代渡の支障につき)		1通・切紙	そ1-73-1
某用状(発駕の節一統3両ずつ拝借等につき)		1通・切紙	そ1-73-2
某申上書(小給の下方取調べ伺につき)		1通・切紙	そ1-73-3
某用状(在住の件につき)		1通・横切紙	そ1-73-4
某申上書(御仕置筋等の伺書類行方問合につき)		1通・切紙	そ1-73-5
某用状(深川新御屋敷の土蔵は置米積込み用につき)		1通・切紙	そ1-73-6

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

某用状(元禄8年元之字金130年余並びに正徳4年金銀吹き替え等書出につき)		1通・切紙	そ1-73-7
某用状(關所金85両2分2朱余書出につき)		1通・切紙	そ1-73-8
某伺書(馬術稽古許可につき)		1通・横切紙	そ1-74
某用状(一族惣代3名書付につき)		1通・切紙	そ1-75
某願書(別本とも御届願につき)		1通・切紙	そ1-76
駒村佐十郎書状(柳沢不参の件につき) (駒村)佐十郎→十之助様 裏打あり	9月24日	1通・横切紙	そ1-77
小山田采女達書(別紙の通り心得につき) 小山田采女→岡嶋莊藏殿	14日	1通・切紙	そ1-78
某用状(矢代村人馬増銭・問屋入用・帳場入用等宿用助成につき)		1通・切紙	そ1-79
某用状[町方](馬抱・足留馬等金子書出につき)		1通・切紙	そ1-80
真田幸民内青柳丈左衛門触書(人足滞りなく継送りにつき) 真田信濃守(幸民)内青柳丈左衛門印→信州松代より同州御嶽堂村迄宿村問屋中役人中 前欠	2月朔日	1通・横切紙	そ1-81
酒井市治他一名申上書(松平様御振廻につき尊所へも御出張につき) (酒井)市治・水野清右衛門→宗三郎様	12月17日	1通・横切紙	そ1-82
[熊膽御預り](包紙) 宮下鎌太夫→そ1-83-2の包紙		1点・包紙	そ1-83-1
某用状(御用のため篠原行の荷物目方につき)	万延元年8月16日	1通・切紙	そ1-83-2
水野弥右衛門願書(去年中下筋へ出張の在町医名前書抜き願につき) (水野)弥右衛門→(草間)一路様	8月29日	1通・横切紙	そ1-84
某用状(金子等一人別書出につき)		1通・横切紙	そ1-85
士郎兵衛申上書(端裏書)[申上](取計済書類三卷等提出につき) 士郎兵衛→	2月15日	1通・横切紙	そ1-86
某申渡状(竹村金吾の上席の旨岡嶋莊藏へ申渡につき)→岡嶋莊藏 帳外れ		1通・縦紙	そ1-87
八田五十司用状[覚](閏4月21日より12月8日迄224日の日数書出につき) 八田五十司→		1通・切紙	そ1-88
某用状(旅中の寄合等8月22日から9月8日の振舞い金書出につき) 端裏書あり		1通・横切紙	そ1-89
真田幸民御書付[上様殿徒え申渡書付](皇国のため周旋方につき) 真田幸民→		1冊・縦半	そ1-90
山寺常正書状(昨夜海野泊並びに富太郎より書状至來の件につき) 山寺常正→富永新平殿	3月25日	1通・切紙	そ1-91
(上徳間村切川御普請関係書類一括) 紙縫一括			そ1-92
(紙縫)		1点・紙縫	そ1-92-1
竹村金吾書状(上徳間村等切川御普請につき) (竹村)金吾→(岡嶋)莊藏様	10月2日	1通・横切紙	そ1-92-2
竹村金吾書状(上徳間村切川御普請等につき) (竹村)金吾→(岡嶋)莊藏様	10月3日	1通・横切紙	そ1-92-3
某下書(上徳間村御普請につき)		1通・切紙	そ1-92-4
某用状(玉子焼・おろし1枚等品数書出につき)		1通・横切紙	そ1-93

竹村金吾書状(御門木の件困りにつき)(竹村)金吾→(岡嶋)荘藏様	9月14日	1通・横切継紙	そ1-94
恩田頼母書状(別紙送付につき) 恩田頼母→(岡嶋)荘藏殿	8月19日	1通・切紙	そ1-95
恩田頼母伺書(御金荷物操上につき) 恩田頼母→磯田音門殿	10月10日	1通・横切継紙	そ1-96
某下書(西条村他役人并人足御泊りにつき)		1通・切紙	そ1-97
鎌原伊野右衛門書状(別紙伺附札の通り心得につき) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿	閏4月16日	1通・横切継紙	そ1-98
某用状[覚](清野村15人他々30人、5月10日即刻出につき)		1通・切紙	そ1-99
鎌原伯耆書状(御用状送付につき) 鎌原伯耆→岡嶋庄藏殿	12月4日	1通・切紙	そ1-100
某用状(458両1分1朱等金子書出につき)		1通・切紙	そ1-101
(国役御普請一件等関係書類綴)			そ1-102
鎌原伯耆書状(国役御普請一件御用状送付につき) 鎌原伯耆→岡嶋荘藏殿	12月5日	1通・横切紙	そ1-102-1
萃書状(御用屋敷の量につき) 萃→(岡嶋)荘藏様	12月3日	1通・横切紙	そ1-102-2
源次兵衛申上書(代官町書付留置につき) 源次兵衛→(岡嶋)荘藏様	12月5日	1通・横切継紙	そ1-102-3
岡嶋荘藏願書(別紙御尋ね御教示につき)(岡嶋)荘藏→源次兵衛様・(金井)左源太様	12月5日	1通・横切継紙	そ1-102-4
某用状(端裏書)[月割利足]		1通・横切継紙	そ1-103
某用状(大目付恩田他11名等書上)	8月22日	1通・横切紙	そ1-104
直衛書状(同役拝命にて心添え依頼につき) 直衛→(宮下)孫兵衛様	6月23日	1通・横切継紙	そ1-105
某用状(右一件差し纏れにつき)		1通・切紙	そ1-106
某用状(4月60匁から9月82匁5分まで書上)		1通・切紙	そ1-107
某用状(糸の件伺い等につき) 端裏書あり、朱書		1通・切紙	そ1-108
某用状(元辻金588両支払書出につき) 下ケ札あり		1通・横折紙	そ1-109
某用状(やね屋の件普請奉行申立てにつき)		1通・横切継紙	そ1-110
矢沢監物書状(上山田村何方へ家作の事につき) 矢沢監物→岡嶋荘藏殿	9月12日	1通・切紙	そ1-111
竹山丁書状(土佐五郎上田行につき) 竹山丁→新平殿		1通・横切継紙	そ1-112
某用状(忠藏上下申付につき)		1通・横切継紙	そ1-113
兩人申上書[二月十九日申上候下案](奥坊主申立ての件につき) 兩人→-	2月19日	1通・横切継紙	そ1-114
某用状(新田石高135石1斗4升等書出につき)		1通・横切継紙	そ1-115
矢沢監物用状(別紙の通り申聞きにつき) 矢沢監物→岡嶋荘藏殿	7月21日	1通・切紙	そ1-116
望月主水用状(別紙伺い附札の通り心得につき) 望月主水→岡嶋荘藏殿	7月19日	1通・横切継紙	そ1-117

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

竹村金吾用状(御普請御勘定帳廻し納印につき) 竹村金吾→片桐重之助殿・高野寛之進殿	5月18日	1通・横切紙	そ1-118
忠記書状(7月中御買物所御入料御払高別帳の通り御払いにつき) 忠記→(竹村)金吾様・音門様	10月朔日	1通・横切紙	そ1-119
中沢修左衛門書状(御払改帳並びに御定金臨時方共許可の件依頼につき) 中沢修左衛門→片桐重之助様	9月23日	1通・横切紙	そ1-120
池田三七申上書(昨日承命候由越石御勘定帳卯辰両年提出につき) 池田三七→片桐重之助様	21日	1通・横切紙	そ1-121
(短歌書付)		1通・横切紙	そ1-122
(短歌書付)		1通・横切紙	そ1-123
某用状[御一覽御一笑之後御見申奉願候](貧を救を心についての事につき)		1通・横切紙	そ1-124
金一郎用状(又三郎老人にて矢代へ出立につき) 金一郎→(南沢)喜久人様	12月9日	1通・切紙	そ1-125
某用状(天皇の散髪についての意見につき) 切紙1枚巻込み		1通・切紙	そ1-126
謹三郎用状(宮入半左衛門組松田惣五郎前書の通り相違なく勤めにつき) 謹三郎→(南沢)喜久人様	5月12日	1通・横切紙	そ1-127
某用状(騒擾以来今日までの時期区分書付につき)		1通・横切紙	そ1-128
(祝詞書付)		1通・横切紙	そ1-129
某用状(御勘定吟味・御目付と対談につき)	10月19日	1通・横切紙	そ1-130
五郎治申上書(端裏書)[内事申上](烟草に関係の事糾明の件) 五郎治→		1通・横切紙	そ1-131
某用状(端裏書)[取立之事](皆納の触書差し継ぎ等につき)	10月10日	1通・横切紙	そ1-132
某用状(三輪又左衛門他4名へ6両1分6匁4分3厘につき)		1通・横切紙	そ1-133
会計懸用状(旧禄献上金返却につき) 会計懸→		1通・横切紙	そ1-134
某用状(吉沢十助他11名書出につき)		1通・横切紙	そ1-135
(法事関係書類綴)			そ1-136
某用状(友兵衛他16名割、1人前190文ずつにつき)		1通・切紙	そ1-136-1
某用状[御法事之節献備名面]		1通・横切紙	そ1-136-2
某用状(端裏書)[京都へ為伺御機嫌献上](献上者書出につき)		1通・横切紙	そ1-136-3
某用状(端裏書)[西沢総吾順村](大宝村他6ヶ村申含につき)		1通・横切紙	そ1-137
某下書(旧藩事務取り纏め焦心苦慮につき)		1通・横切紙	そ1-138
澤元高用状(御用肩書書状奥村三左衛門殿より一封落手につき) 澤元高→金児惣左衛門様	5月27日	1通・横切紙	そ1-139
某用状(金5千両藤岡伊織他4名書出につき)		1通・横切紙	そ1-140
某用状(端裏書)[申上](東進上納方果敢取り兼ね御金逼迫につき)	10月5日	1通・横切紙	そ1-141
会計懸申上書(端裏書)[別紙尋方二付申上](考慮願につき) 会計懸→	7月26日	1通・横切紙	そ1-142

会計懸用状(別紙の通り心得取計らいにつき) 会計懸→		1通・横切紙	そ1-143
某用状(上小松へ94束並びに18丸4束等書出につき)		1通・横切紙	そ1-144
某用状(嘉太郎・俊太郎・操之進・与一郎他拝命につき、卯年6月26日)		1通・横切継紙	そ1-145
某用状(御側女中さとは他御小姓等5名書出につき)		1通・横切紙	そ1-146
某用状(殿様へ100金、足輕仕切米1500両等書出につき)		1通・横切紙	そ1-147
大熊衛士用状(別件御勘定吟味申し聞きの旨取計らいにつき) 大熊衛士→佐藤三次殿		1通・横切紙	そ1-148
某用状[覚](玄米上白搗・中白搗・下白搗等書出につき)		1通・横切紙	そ1-149
某用状[覚](御葉書出につき、7月11日～12月9日)		1通・横切継紙	そ1-150
望月帰一郎用状(別紙御願書当10日大蔵省へ差出しにつき) 望月帰一郎→鎌原溶水様 端裏書あり		1通・横切継紙	そ1-151
太政官日誌 明治五年第十二号 木版刷り		1点・袋	そ1-152
恩田頼母用状(別紙附札の通り心得につき) 恩田頼母→山寺源太夫殿	9月朔日	1通・横切紙	そ1-153
(小林熊太郎16両3分5匁他人名・金子書出帳)		1冊・横長半	そ1-154
某書状(京都帰着のお礼につき) →駿河頭様御用人中様	8月	1通・横切継紙	そ1-155
赤沢助之進用状(別紙取り計らい済み数件差し越し御目懸けにつき) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様 端裏書あり		1通・横切紙	そ1-156
某用状(公事方仲間・御台所仲間・御勘定仲間等書出につき)		1通・横折紙	そ1-157
(中野菱屋儀兵衛・なら屋寅吉・同武七他4名書出につき)		1通・横切紙	そ1-158
矢沢監物用状(根来斧右衛門別紙の通りの存念につき) 矢沢監物→興津権右衛門殿	6月24日	1通・横切紙	そ1-159
(名面書等綴)			そ1-160
某用状(御用席斉藤友兵衛等名面書)		1通・横切継紙	そ1-160-1
某用状(宮島・島田・山田等10名名面書)		1通・横切紙	そ1-160-2
某用状(御旗1対・御打敷1折等書出につき)		1通・横切紙	そ1-160-3
某用状(御出入者大熊清六母増尾等名面書)		1通・横切紙	そ1-160-4
某用状(順操院殿・米田等名面書)		1通・横切紙	そ1-160-5
(諸事書出につき綴)			そ1-161
某用状(医者・徒士・侍等書出につき)		1通・横切継紙	そ1-161-1
某用状(金5両413文内借分取調べ上納につき)		1通・切紙	そ1-161-2
某用状(干鯛等御祝儀書出につき)		1通・横切継紙	そ1-161-3
某用状(聖教4点等書出につき)		1通・横切紙	そ1-161-4
某用状(鯉節12本並びに塩1斗6升等書出につき)		1通・横切紙	そ1-161-5
妻置御社社役金銭受取証文[覚](339文につき) 妻置御社社役→	10月27日	1通・切紙	そ1-162

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

黒田屋東七申上書(御注文品品切れの断りにつき) 黒田屋東七→御用所御役人中様		1通・切紙	そ1-164
(宮原村団右衛門関係書類綴)			そ1-165
[古書三本](封筒)		1点・封筒	そ1-165-1
宮原村町団右衛門寄附状写[奉納](本尊十一面観世音菩薩寄付につき祈禱願につき) 宮原村町団右衛門→高蔵寺様	永禄5年3月	1通・横切紙	そ1-165-2
心文太夫用状写[覚](役所近所肝煎団右衛門屋根破損にて普請願につき) 心文太夫御印→大岡四組肝煎・組頭・長百姓・頭立	辰3月	1通・横切紙	そ1-165-3
某用状写(大岡村人少なく宮原村団右衛門へ荒地切開発申付けにつき)	明和3年12月	1通・横切紙	そ1-165-4
上田県用状(長野県より通達を民事方へ回達依頼につき) 上田県→松代県御中 封筒共	10日	1通・横切継紙	そ1-166
鈴木弥左衛門他一名申上書(拝領屋敷にある鉢植松の由緒につき) 鈴木弥左衛門・久保左十郎→ 包紙共	5月	1通・横切継紙	そ1-167
[記](諸品代金書出) 石橋→山田様	4月31日	1冊・横長半	そ1-168
(喜平治金1円25銭等人名・金子書出につき)		1通・横切継紙	そ1-169
某用状(上小杉、扇子、小杉10束玄岱等書出につき)		2通・横切紙	そ1-170
某用状(乗駕簞1挺、分持1荷等書出につき)		1通・横切紙	そ1-171
(日置山等短歌3首書出につき)		3通・短冊	そ1-172
(真田志摩上炮並びに玉葉代料受取証文類綴)			そ1-173
(小紙) 真田志摩→宮下弥兵衛殿		1通・小紙	そ1-173-1
某用状(受取の印紙落手につき)		1通・切紙	そ1-173-2
某用状(慶応3年12月の印書への返事につき) そ173-2の添書カ		1通・横切紙	そ1-173-3
佐藤長左衛門書状(悪水の掃除等了承願につき) 佐藤長左衛門→堤右兵衛様	10月	1通・横切紙	そ1-174
御賄役申上書[覚](勘定帳1帳並びに証文5通等勘定吟味へ提出につき) 御賄役→	申正月25日	1通・横切紙	そ1-175
清右衛門申上書(端裏書)[申上](御印形返上並びに御入金御下ヶ金につき) 清右衛門→	6月2日	1通・横切継紙	そ1-176
恩田頼母用状(別紙伺い附札の通り心得につき) 恩田頼母→竹村金吾殿	9月8日	1通・横切紙	そ1-177
御膳立頭取伺書[覚](御飯鉢布団1枚新規出来支給につき) 御膳立頭取→	8月	1通・横切紙	そ1-178
新町村久保庸蔵様役代上原正之助申上書[乍恐以書付御答奉申上候](久保庸蔵様御内室死去埋葬場所差図につき) 新町村久保庸蔵様役代上原正之助→久保三郎様御内 端裏書あり	明治4年4月	1通・横切継紙	そ1-179
松本嘉十郎他二名申上書(端裏書)[御内々申上](御代官所へ明日茂兵衛出頭並びに一札申演の件伺につき) (松本)嘉十郎・(宮下)孫兵衛・(宮本)慎助→ 端裏書あり	9月3日	1通・横切継紙	そ1-180
(甚之介書状等綴)			そ1-181
大日方正司用状下書(さくら遠慮御届申送りにつき)		1通・切紙	そ1-181-1

(大日方)正司→(南沢)甚之介様			
某用状下書(甥白川寛蔵忝甲子太郎死去につき)		1通・切紙	そ1-181-2
南沢甚之介書状下書(御届の時間につき)(南沢)甚之介→(磯田)小藤太様	2月7日	1通・横切紙	そ1-181-3
大日方正司申上書(昨夜拝借持参一帳返納につき)(大日方)正司→(南沢)甚之介様	正月7日	1通・横切継紙	そ1-182
(重脩様への御婚姻祝儀関係書類一括) 紙綴一括			そ1-183
(紙綴)		1点・紙綴	そ1-183-1
赤沢蘭溪用状(御婚姻祝儀として御酒肴等頂戴の御礼につき)(赤沢)蘭溪→重脩様	3月20日	1通・横切継紙	そ1-183-2
仲次嶋用状(御婚姻祝儀として御酒肴等頂戴の御礼につき) 仲次嶋→重脩様	3月30日	1通・横切紙	そ1-183-3
某用状(鮫洗6匁等書出につき)		1通・切紙	そ1-184
掃除頭茂里助申上書[覚](定掃除5人・掃除頭1人書出につき) 掃除頭茂里助→	12月	1通・切紙	そ1-185
某用状(御表使崎枝他9名書出につき)		1通・横切紙	そ1-186
平六郎申上書(関口氏よりの御刀貴所様迄差上げにつき) 平六郎→六蔵様	3日	1通・横切継紙	そ1-187
御側御納戸用状(諏訪宮等御社参につき) 御側御納戸→		1通・横切継紙	そ1-188
某用状(寛文水帳の件につき)		1通・切紙	そ1-189
介作書状(書類一同差上げ等につき) 介作→(岡嶋)荘蔵様	12月25日	1通・横切紙	そ1-190
宮下主鈴書状(当用の件拝命願につき)(宮下)主鈴→口口様 裏打ちあり	8月10日	1通・横切継紙	そ1-191
某用状(御賞典金1万両等書出につき)		1通・横切紙	そ1-192
某用状(5月10日分有合辻等金銭勘定書出につき)		1通・横切紙	そ6-1
某金銭勘定書[覚](取合紙荷仕入の荷送代金勘定につき)		1通・横切紙	そ6-2
前嶋数馬申上書[御内々申上](東京逗留中人足賄雑用料下賜願につき)(前嶋)数馬→	申正月11日	1通・切紙	そ6-3
綿貫泰蔵用状(御目見以上明細書目付へ提出につき) 綿貫(泰蔵)→	2月23日	1通・横切継紙	そ6-4
出納掛申上書[上生坂村平林文五右衛門え御返済金之儀申上](臨時入用借入金返済につき) 出納掛→	12月24日	1通・横切継紙	そ6-5
飯嶋楠左衛門用状[晴姫様式拾両之事](皆済難渋のため賄料支給願につき)(飯嶋)楠左衛門→(竹村)金吾様・(磯田)音門様	12月17日	1通・横切継紙	そ6-6
某申上書(端裏書)[御内覧御下ケ可被成下](大丸為替金願出の評議の件につき)		1通・横切継紙	そ6-7
書記長申上書[申上](御賞筋遅引の件赦免願につき) 書記長→	正月	1通・切紙	そ6-8
岡野弥右衛門用状(奥女中への助手当内用金都合次第差越につき) 岡野弥右衛門→酒井市治殿	7月14日	1通・横切紙	そ6-9
某用状(本丸炎上献金目録下賜他御納戸役等承知につ		1通・横切継紙	そ6-10

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

き)			
[口上覚] (包紙) そ6-11-2・3の包紙		1点・包紙	そ6-11-1
御霊屋守室賀八左衛門用状[覚] (両総督様小休のため大工桶等入料支給願につき) 御霊屋守室賀八左衛門→近藤鉄之助様	巳12月	1通・横切継紙	そ6-11-2
室賀八左衛門用状(大工桶等入料の件近藤鉄之助へ伝達願につき) 室賀八左衛門→ そ6-11-2に巻込一括		1通・切紙	そ6-11-3
水道役達書(若殿様誕生の祝儀として酒下賜の御目見以下の役名人数吟味役へ提出につき) 水道役→		1通・横切紙	そ6-12
高野廣馬他2名金銭請取状[覚] (御内用金100両請取につき) 高野廣馬・藤岡伊織・小幡保之丞→酒井市治殿	亥4月5日	1通・横切紙	そ6-13
某用状(文化11年までの筆墨代下賜辻の取調べにつき) 文化14年以降は半紙の下賜なし		1通・横切継紙	そ6-14
金児丈助用状(火災・出府の節の手当老人別書出につき) 金児丈助→ 天保6年の記述あり、下ケ札あり、虫損甚大		1通・切紙	そ6-15
市治他一名書状[十月四日留上坂二付大坂文通案内] (亀助上坂の節懇情の札等につき) 市治・喜兵衛→藤兵衛様・奎之進様	10月28日	1通・横切継紙	そ6-16
(諸色勘定書書類一括) 紙縫一括			そ6-17
(紙縫)		1点・紙縫	そ6-17-1
某用状[寅正月調御預り利分調書]		1通・横切紙	そ6-17-2
某用状(預り利分調書)		1通・切紙	そ6-17-3
某用状(当暮収納初勘定書)		1通・切紙	そ6-17-4
某用状(小判増歩勘定書)		1通・横切継紙	そ6-17-5
某触書(白鳥大明神舞鶴山へ社参供奉につき)	9月4日	1通・横切継紙	そ6-18
某用状(借入金・預り金等勘定書)		1通・横切継紙	そ6-19
従四位真田幸民願書控(家禄並び賞典の内より元松代藩負債消却方へ返済につき) 従四位真田幸民→東京府御中	(明治5年) 壬申正月	1通・横切継紙	そ6-20
(若殿様附役人関係書類綴)		12点	そ6-21
某用状(御前様出府の節の御供辻書出につき)		1通・切紙	そ6-21-1
附衆番所新左衛門用状(棒杓等各村よりの献上品書出につき) 附衆番所新左衛門	未11月7日	1通・横切紙	そ6-21-2
能登屋房吉用状[覚] (反物代金につき) 能登屋房吉→宮下(謙大夫)様	9月	1通・切紙	そ6-21-3
某願書(殿井様よりの拝借金返済の仕方伺につき)	11月8日	1通・切紙	そ6-21-4
某用状[覚] (11月7日付で大坂本役へ金50両送付につき)	子11月4日	1通・切紙	そ6-21-5
某用状(京都頂戴物等書出につき)		1通・切紙	そ6-21-6
(両組元々鈴木市之丞倅家督願等につき) 半兵衛→(宮下)謙大夫様	6月14日	1通・切紙	そ6-21-7
某用状(御供人馬書出につき)		1通・切紙	そ6-21-8

四人書状(御短刀合口1本貰戻し願につき並びに挨拶済み旨端裏書) 四人→御三人様	正月16日	1通・横切継紙	そ6-21-9
某用状(御出生様への短刀合口貰い請につき) そ21-9の別紙		1通・横切紙	そ6-21-10
四人書状(祝儀への思召しのお礼取次願につき) 四人→御三人様	正月21日	1通・横切継紙	そ6-21-11
御守役書状(大御所様よりの祝儀への思召しについて殿様のお礼取次願につき) 御守役→御側衆御納戸中様	正月20日	1通・横切継紙	そ6-21-12
某覚書(右京大夫様卒去の節の着服・出棺道筋の覚)		1通・横切継紙	そ6-22
松代庁願書(端裏書)[授産調添願下書案](士族授産金割り直しにつき) 松代庁→本(長野)県御中	(明治5年)壬申正月	1通・横切継紙	そ6-23
某用状[□□野菜料調](豆腐野菜取調につき)		1通・横切継紙	そ6-24
某申上書(鬼無里御林材木の冥加金不足につき)		1通・横切紙	そ6-25
御納戸元へ小納戸兼山上伊三郎願書(長期滞府・官軍荷物付添えのため帯府並扶持支給につき) 御納戸元へ小納戸兼山上伊三郎 下ケ札あり	巳8月	1通・横切継紙	そ6-26
某申上書[書添申上](役所留守のため大塚氏より小布施村忠吉200両の件印頂戴につき)		1通・切紙	そ6-27
(杉瀬下村儀太夫役代等よりの上納金勘定書)		1冊・横長半	そ6-28
草間一路書状(横浜出張の鉛代金預所より廻し願につき)(草間)一路→嘉兵衛様	辰8月19日	1通・横切継紙	そ6-29
玉川一学建白書[御内々申上産物激論](御国産御開業につき) 玉川一学→	午2月23日	1通・横切継紙	そ6-30
民事掛伺書(斬蔵御仕置入料につき) 民事掛→	6月19日	1通・切紙	そ6-31
酒井市次申上書并関田荘助勘返状(炭屋借入金取調願につき)(酒井)市次→(関田)荘助様	9月14日	1通・切紙	そ6-32
(勘定関係書類一括) 巻込一括			そ6-33
某用状(足輕分等俵数差引勘定につき)		1通・切紙	そ6-33-1
某差引勘定書(囲碁差引勘定書)		1通・横切紙	そ6-33-2
某勘定書[凡積](村方より買上分等勘定書)		1通・切紙	そ6-33-3
某差引勘定書(初代差引勘定書)		1通・切紙	そ6-33-4
社倉方申上書(丑8月社倉初取調につき)	丑8月	1通・切紙	そ6-33-5
某用状(大参事他役職定員書出につき)		1通・横切継紙	そ6-34
某申上書(仕立師召連れの件勘弁願につき)		1通・横切紙	そ6-35
伊藤環願書(琉球太鼓注文等につき)(伊藤)環→御三人様 端裏書あり	3月4日	1通・横切継紙	そ6-36
佐藤美与喜他一名申上書(不用道具御払いにつき) 佐藤美与喜・柘植彦六 端裏書あり、朱書「七」	9月	1通・横切紙	そ6-37
(志垣村他より上納辻差引勘定書)		1通・横切紙	そ6-38
[蘭溪](包紙)		1点・包紙	そ6-39-1
赤沢蘭溪用状(海野宿神社神主より大殿様卒去のためのご機嫌金献上につき)(赤沢)蘭溪→	11月晦日	1通・横切紙	そ6-39-2

11 藩政／財方／勘定向き用状ほか

某用状[記](家税完納の件等につき)		1通・横切紙	そ6-40
某用状(仕切金等金銭書出につき)		1通・横切継紙	そ6-41
初方掛申上書(守人上納初居着願につき)	11月	1通・切紙	そ6-42
某用状(冥加・囲金等書出につき)		1通・切紙	そ6-43
某用状(扶持米金勘定書)		1通・横切継紙	そ6-44
(月割・出立手当金等勘定書)		1通・横切継紙	そ6-45
山本常馬他一名申上書(文政元年より元治元年まで御蔵初諸弘につき) 山本常馬・伊藤磯之進→		1通・横切継紙	そ6-46
新左衛門願書(米4俵分拝借につき) 新左衛門→水(水井)忠蔵様	6月2日	1通・横切継紙	そ6-47
民事掛申渡書(別紙願の通りにつき) 民事掛→		1通・横切継紙	そ6-48
(御用金受取関係書類一綴)		2点	そ6-49
岡崎忠記受取証文[覚](騎射の入料反古200枚につき) 岡崎忠記→助閔山平治殿・山岸左内殿・谷口左仲殿他2名	巳12月	1通・横切紙	そ6-49-1
一場茂右衛門金銭受取証文[覚](水籠張方入料並びに反古770匁につき) 一場茂右衛門→西村源蔵殿・谷口左仲殿・坂口又治殿他1名	酉9月	1通・横切紙	そ6-49-2
(御勘定所附弁次郎出府関係書類綴)		4点	そ6-50
草間一路申上書(端裏書)[御勘定所附弁次郎出府申渡之義申](出府の上用向申渡しの件につき) 草間一路→	9月	1通・横切紙	そ6-50-1
草間一路受取証文[覚](御勘定所附弁次郎出府の人馬先触1通受取につき) 草間一路→	丑9月23日	1通・横切紙	そ6-50-2
某申上書(御勘定所附弁次郎水葡萄菓子入れのため揚骨脚1荷持参願につき)	9月	1通・横切紙	そ6-50-3
某用状(御勘定所附弁次郎出府の行程につき)		1通・横切紙	そ6-50-4
(某借財返済願書類綴)		3点	そ6-51
某願書(借財返済のため利下り等にて25年賦返済旨につき)		1通・横切継紙	そ6-51-1
某願書(借財返済のため知行の内75俵上納のため充当のため金主へ15年間にて返済完了願等につき)		1通・横切紙	そ6-51-2
某用状[借財取調] そ6-51-1の別紙		1通・横切紙	そ6-51-3
(諸書状綴)		2点	そ6-52
四郎右衛門書状(上田表小嶋大治郎へ鉛入料500両支給願につき) 四郎右衛門→(草間)一路様 裏打あり	8月21日	1通・横切継紙	そ6-52-1
某書状(只今御一件祝着につき) 裏打あり		1通・横切紙	そ6-52-2
某用状(手札・商札取調につき) 虫損あり	8月12日	1通・横切紙	そ6-53
勘定吟味願書(金札にて米穀売裁きの件につき) 勘定吟味→ 下ケ札あり	2月12日	1通・横切継紙	そ6-54
某覚書[覚](御手当頂戴につき、寛政10年7月～文化8年) 下ケ札・貼紙あり、朱書あり	申正月	1通・横切継紙	そ6-55

(諸書類綴)		2点	そ6-56
某用状(安政6年4月より明治2年12月15日まで家中某年譜書) 下ケ札あり		1通・横切継紙	そ6-56-1
勝之助内々申上書(商社方御用達の者御用弁願の件等につき) 勝之助→水野様	15日	1通・横切継紙	そ6-56-2
会計掛申上書(才覚金預け引戻し中借返上につき) 会計掛→	8月13日	1通・横切継紙	そ6-57
会計掛伺書(藩中給禄渡し不足のため玄米買上につき) 会計掛→	7月	1通・横切紙	そ6-58
会計掛申達(知事より心付支給のため賞典の内80石返上につき) 会計掛→鎌原渡九		1通・横切紙	そ6-59
南澤喜久人他一名廻状(御達のため9・10日の内旧新御殿へ出頭につき) 南澤喜久人・矢野清智→松木平右衛門様・五明万吉様・西村織右衛門様他8名	11月4日	1通・横切継紙	そ6-60
(塚田一郎金銭受取証文関係書類一括) 包紙一括			そ6-61
(包紙) 力石村塚田一郎→		1点・包紙	そ6-61-1
力石村塚田一郎代塚田久高金銭受取証文[一札之事](金1000両分手札受取につき) 力石村塚田一郎代堀田久高→御金掛御役所	明治3年午12月28日	1通・切紙	そ6-61-2
力石村塚田一郎代塚田久高金銭受取証文[一札之事](金510両分手札受取につき) 力石村塚田一郎代堀田久高→御金掛御役所	明治3年午12月27日	1通・切紙	そ6-61-3
監手申上書(某脱落の風聞穿鑿につき) 監手→ 前欠	(明治5年)壬申2月	1通・横切継紙	そ6-62
(大小鉄・御入用鉄買物関係書類綴)		3点	そ6-63
赤沢助之進達書(別紙両通・武具奉行の積書送付につき) 赤沢助之進→長谷川三郎兵衛殿	6月5日	1通・切紙	そ6-63-1
御勝手方元々申上書(小鉄並びに大鉄台・御用割鉄御買上の件伺につき) 御勝手方元々→	5月13日	1通・横切継紙	そ6-63-2
某用状(大小鉄・御入用鉄買物取積につき)		1通・横切紙	そ6-63-3
(武具関係書類一括) 巻込一括			そ6-64
緑川茂馬他二名武具受取証文[覚](短三千杭・玉葉等武具拝借につき) 緑川茂太・西沢八十馬・桑名左太郎→小野熊男殿		1通・横切継紙	そ6-64-1
武庫司事伺書(象皮・焚炭火工入料支給願につき) 武庫司事→	閏10月15日	1通・横切紙	そ6-64-2
某申渡状(長滞府拝借金上納免除につき)	11月23日	1通・横切継紙	そ6-65
(鬼無里村林見分関係綴)		4点	そ6-66
恩田靱負達書(別紙の通り申渡につき) 恩田靱負→興津権右衛門殿・馬場文治殿		1通・切紙	そ6-66-1
野中忠左衛門伺書[口上覚](手付出役等鬼無里村御林見分の取計いにつき) 野中忠左衛門→	5月	1通・横切紙	そ6-66-2
野中忠左衛門伺書(鬼無里村御林引訳金にて開発等につき) 野中忠左衛門→ 下ケ札あり	4月	1通・横切紙	そ6-66-3
某用状[去戌年鬼無里山品々御出方金](焚炭、山入人足入料等勘定書)	4月	1通・横切継紙	そ6-66-4

12 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか

勘定所・計政局

(御賞筋関係書類一括) 旧史料館紙紐一括			そ12-1
某褒状(騒擾事件の節知事様へ藩札十五両等献上につき) →野中喜左衛門 破損甚大、裏打ちされている	12月19日	1通・横切継紙	そ12-1-1
御用場守津国屋友七書状(御方様御付にて伊勢代参のため返報遅延の件侘等につき) 御用場守津国屋友七→宮(宮沢)善治様、野(野中)喜左衛門様、酒(酒井)市治様	西2月	1通・横切継紙	そ12-1-2
(借入金関係等一括) 巻込一括			そ12-1-3
某書状下書(6月中返済の2000両為替不足承知願につき) →白山彦五郎様		1通・横切継紙	そ12-1-3-1
宮下兵馬書状下書(内平の町出火の節手代衆等派遣の御札につき) (宮下)兵馬→(白山)彦五郎様	辰7月22日	1通・横切紙	そ12-1-3-2
某書状下書(借入金2000両返金月割の旨承知願につき) →白山彦五郎様	辰7月22日	1通・横切継紙	そ12-1-3-3
(御賞筋願書関係書類一括) 巻込一括力			そ12-1-4
草間一路他四名申上書(産物方役所・荷蔵出来普請の者へ御賞筋につき) 草間一路・佐藤為之進・岡野弥右衛門他2名→ 貼紙多数	8月	1冊・横長半	そ12-1-4-1
草間一路他四名申上書(廻村・説諭の者等へ御賞筋につき) 草間一路・佐藤為之進・岡野弥右衛門他2名→ 付箋剥離あり		1冊・横長半	そ12-1-4-2
某用状[商社取調覚](御番医より請取下げの分等勘定につき) 後半部開封不能	10月12日	1通・横切継紙	そ12-1-5
某用状(助成講・村方融通米金出金書出につき)		1通・切紙	そ12-1-6
某用状(新小越町長三郎買取りの盗難品・売上料引揚の件内々廻達願につき) 端裏欠損	10月14日	1通・横切継紙	そ12-1-7
小ね山村酒井長門願書[口上覚](小祢山村久米右衛門・金重郎領産麻是迄通り運上収納の件伺並び願いにつき) 小ね山村酒井長門→御産物御掛り駒村佐重郎殿	明治元年12月	1通・横切継紙	そ12-1-8
(下田町恩町与惣右衛門孫あき仕置関係書類一綴) そ12-1-9は貼付綴		2点	そ12-1-9
某用状(下田町恩町女盗み仕置方につき) 前欠	8月2日	1通・横切継紙	そ12-1-9-1
両名申上書下書(端裏書)[御差紙案](下田町恩町女盗の仕置方御尋ねのより評議の内容につき) 両名→	8月	1通・横切紙	そ12-1-9-2
某用状(盗人取調の節伺提出の旨依頼につき) 折紙一部切断、裏に献上目録などの書付あり	5月5日	1通・横折紙	そ12-1-10
某書状(端裏書)[御内々申上](八田慎蔵・増田徳左衛門産物開業・再興の御賞賜につき)	9月	1通・横切継紙	そ12-1-11
(包紙) 炭屋彦五郎→松本嘉十郎様・宮本慎助様 そ12-1-12-2の包紙		1点・包紙	そ12-1-12-1
炭屋彦五郎書状(寒中伺につき) 炭屋彦五郎知彰(花押)→松(松本)嘉十郎様・宮(宮沢)善次様・高(高野)覚之進様他1名	12月11日	1通・横折紙	そ12-1-12-2

惣市書状(御用箱差出・返済の件につき) 惣市→御三人様迄	5日	1通・横切継紙	そ12-1-13
(包紙) そ12-1-14-2の包紙		1点・包紙	そ12-1-14-1
坂本五一郎他二名用状(並便休みにつき書状遅延等につき) 坂本五一郎・権三郎・堤常之丞→(松本)嘉十郎様・(宮沢)善次様・(高野)覚之進様他1名	5月朔日	1通・横切継紙	そ12-1-14-2
某願書下案[乍恐以書付奉願上候](二万金の手形と塗物手形引替につき) 町誰印→御勘定所御金掛御役所		1通・横切継紙	そ12-1-15
御用場守友七書状(炭座・増田・岡本・御用場等別状なきにつき) 御用場守友七→松(松本)嘉十郎様・宮宮沢(善治様・宮宮本)慎助様他1名	辰8月18日	1通・横切継紙	そ12-1-16
某申上書(御供の御刀番等への慰労並び褒美につき)		1冊・横長半	そ12-1-17
某用状[御酒御下](御酒下賜社名面書)		1通・切紙	そ12-1-18
某願書[口上覚](吉窪村源之丞借財不分明一件の咎赦免につき) 御連名 下ケ札あり		1冊・横長半帳	そ12-1-19
横田権大属用状并渡辺大属勘返状(三人口身分引上げ願等につき) 権田権大属→渡辺大属様 端裏書「十二月廿日達」	12月14日	1通・横切継紙	そ12-1-20
(塩崎村一件関係書類綴)		4点	そ12-1-21
某願書(北沢氏へ書状の件につき)		1通・切紙	そ12-1-21-1
萃他一名書状并勘返状(塩崎村一件別紙の通りにつき) 萃・(岡嶋)莊蔵→(金井)左源太様・権之進様	8月12日	1通・横切紙	そ12-1-21-2
権之進他一名申上書(塩崎村示談にて退去等騒擾の様子等につき) 権之進・(金井)左源太→(岡嶋)莊蔵様	8月11日	1通・横切継紙	そ12-1-21-3
金井左源太用状(飛脚遅延のため注進につき) (金井)左源太→(岡嶋)莊蔵様・萃様	8月11日	1通・横切継紙	そ12-1-21-4
[寒中御進御下覚](寒中見舞の品書出) (金井)左源太→(岡嶋)莊蔵様・萃様 下ケ札あり	8月11日	1冊・横長半	そ12-1-22
山寺常心書状(倅の世話の依頼等につき) 山寺常心→小野忠政殿	霜月31日	1通・横切紙	そ12-1-23
(諸書類一括) 紙縫一括			そ12-1-24
(紙縫)		1点・紙縫	そ12-1-24-1
尚梅書状(訪問時来客中の件侘等につき) 尚梅→(久保)成様	2月19日	1通・切紙	そ12-1-24-2
某用状(矢沢龍幾久他11名分名面書)		1通・横切継紙	そ12-1-24-3
久保成書状(按摩来訪のため訪問不能につき) (久保)成→佐藤(則善)様	3月13日	1通・横切継紙	そ12-1-24-4
佐藤則善書状(断簡) (佐藤)則善→(久保)成様・(前島)好謙様		1通・切紙	そ12-1-24-5
八田知道書状(断簡) 八田知道→矢野何郎右衛門様		1通・切紙	そ12-1-24-6
某用状[記](上納金260円書出につき) 端裏一部破損	8月13日	1通・横切継紙	そ12-1-24-7
某用状(正金643円書出につき)		1通・切紙	そ12-1-24-8
秀吾用状(50疋入金上書につき) 秀吾→口後様		1通・切紙	そ12-1-24-9
佐藤則善用状[証](小山朝実・小野敬蔵へ金74円送	明治17年10月15日	1通・横切継紙	そ12-1-24-10

12 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか

金につき) 佐藤則善→春山喜平治殿 全文抹消			
某用状(長国寺への納金・茶4斤代金を差上につき) 裏面に計算メモあり	22日	1通・横切紙	そ12-1-24-11
均書状(婚姻祝義のお礼につき) 均→重脩様	3月20日	1通・横切継紙	そ12-1-24-12
山寺源太夫用状(西条殿眼痛につき) (山寺)源太夫→ (矢野)六蔵様		1通・横切紙	そ12-1-24-13
赤沢助之進願書并小山田老岐勘返状(不慮の次第に つき書類入用の延引につき) (赤沢)助之進→(小山 田)老岐様	正月19日	1通・横切継紙	そ12-1-25
岡野弥右衛門用状(駅通会議所の件衆会議に任せか ねにつき) 岡野弥右衛門→倉田三之丞殿	8月26日	1通・横切継紙	そ12-1-26
神谷音十郎他一名用状(潮沢村佐左衛門の明礬売捌 方筋取計の件につき) 神谷音十郎・加藤口太郎→磯 田音門様・佐藤為之進様	3月29日	1通・横切継紙	そ12-1-27
計監申上書并監察朱印(端裏書)「戸隠山産物の儀二付申 上」(竹細工類課税につき並びに裁可の旨) 計監→	7月24日	1通・横切継紙	そ12-1-28
某用状[覚](堀留深さ等につき)		1通・横切継紙	そ12-1-29
近藤権右衛門申上書(端裏書)「柴木町善江初右衛門 子元吉不屈一件二付中野条え出役仕候陣屋詰江右 産物其外御入科取調申上」(木町初右衛門子元吉不 屈一件他取調につき) 近藤権右衛門→ 端裏書 「(朱書)『二』」	4月	1通・横切継紙	そ12-1-30
某用状[記](生糸目方・代金につき)		1通・縦紙	そ12-1-31
[御巡見之節御曲輪内布砂場所絵図面]	天保9年5月	1点・鋪	そ12-1-32
某用状[水車御定](秤・石臼等見分・改・上納取立てに つき)		1通・横切継紙	そ12-1-33
廉助願書(糸麻売り悪きため産物方貸下につき) 廉 助→(水野)清右衛門様・善兵衛様・清十郎様	12月24日	1通・横切継紙	そ12-1-34
金児丈助伺書(産物方取調につき) (金児)丈助→(岡島) 荘蔵様 紙縫で端と奥を綴じている	2月15日	1通・横切紙	そ12-1-35
酒井市治申上書(商社引換金札手段等につき) (酒井) 市治→(水野)清右衛門様	7月24日	1通・横切継紙	そ12-1-36
半蔵用状(天覧の節用意等につき) 半蔵→		1通・切紙	そ12-1-37
三人用状[御年玉二下覚](江戸表へお知らせ願につ き) 三人→(宮下)謙大夫様 下ケ札あり		1冊・横長半	そ12-1-38
某用状(正人足賃銭払立の件宿々へ相達報知につき) 紙縫で右上を綴じている		1冊・縦半	そ12-1-39
某用状(釈尊お出でのため十万石以上の者使者献酒 につき) 上部汚損	5月7日	1通・横切継紙	そ12-1-40
青木謹一郎願書(善導寺才角金返済のため御下金につ き) (青木)謹一郎→計政副主司様 裏打ちあり、そ 12-1-41巻き込み一括力	12月25日	1通・横切継紙	そ12-1-41-1
青木謹一郎申上書(ピストル等買上金借入願につき) (青木)謹一郎→鎌(鎌原)伊野右衛門様 裏打ちされてい る、端裏書「別帳江[(虫損)]」	12月22日	1通・横切継紙	そ12-1-41-2
副隊長補伺書并副隊長補貼添(端裏書)[越州柏崎県 え荷物御差送り二付七拾老人路銭并御手元金御中 借之儀伺] 副隊長補→ 割番 下ケ札あり、端裏書	7月29日	1通・横切継紙	そ12-1-42

「割番」に貼紙「副隊長補」を付す (日記断簡、上下真嶋村若者ども不埒の件委細記載につき) 端書「日記摺入」	1通・竪紙	そ12-1-43
[文政九戌年普請改有之付見分之上記置 龍泉寺表分水場所図面]	1点・鋪	そ12-1-44

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

勘定所・計政局

某用状(中村嘉一郎他7名手当金書出につき) かぶせ紙付		1通・横切継紙	そ16-3-2
某用状(端裏書)[御見合](中村嘉一郎他4名手当金書出につき) 虫損大		1通・横切紙	そ16-3-3
(拝借金残金並びに預り金等差引勘定書) 朱書あり		1通・横折紙	そ16-3-4
某用状(御賄役蕎麦の取り計らい心得違一件につき)		1通・横折紙	そ16-3-5
某用状(献上・買物品等書出につき) 別紙継足し		1通・横折継紙	そ16-3-6
宮本慎助他一名書状(別紙にて承知願につき) (宮本) 慎助・嘉十郎→(宮沢) 孫兵衛様・(高野) 覚之進様	8月24日	1通・横切継紙	そ16-3-7
郷原力作書状并某卷上付札(請高3分1渡の件粉方手違い等につき) (郷原) 力作→御父上様 虫損甚大	12月21日	1通・横切継紙	そ16-3-8
某用状(郷原力作等2名番替えの通達写送付につき) 虫損甚大		1通・横切継紙	そ16-3-9
郷原力作書状(父上等痼病の見舞い等につき) (郷原) 力作→御父上様	9月28日	1通・横切継紙	そ16-3-10
某伺書(世帯道具等大御所様御付女中部屋分受取願につき) 端裏書あり	2月	1通・切紙	そ16-3-11
[御庭口より御出之次第](藩主の還御の節の次第) 朱書あり		1通・横切継紙	そ16-3-12
喜左衛門他一名願書(上坂の案内依頼等につき) 喜左衛門・(宮沢) 孫兵衛→吉兵衛様・松兵衛様 貼紙あり	9月	1通・横切継紙	そ16-3-13
水道役通達(掃除等御巡見御曲輪中御通行筋へ伝達につき) 水道役→ 虫損甚大		1通・横切継紙	そ16-3-14
某極内々伺書(御巡見御曲輪中御通行筋で見当らざる場の取計いにつき)	18日	1通・切紙	そ16-3-15
金児丈助申上書(小出重三郎他1名奇特のため困穀融通触の取計い願につき) 金児丈助→ 端裏書あり	10月28日	1通・横切継紙	そ16-3-16
(御用金受取証文綴)		3点	そ16-3-17
藤屋忠兵衛金銭受取証文[覚](御用菓子代3月分につき) 藤屋忠兵衛→御台所御役所	辰4月	1通・横切継紙	そ16-3-17-1
水上屋巳之助金銭受取証文[覚](御用膳代3月分につき) 水上屋巳之助→御台所御役所	4月	1通・横切継紙	そ16-3-17-2
田中新三郎金銭受取証文[覚](宿泊代金3月分につき)	6月	1通・横切紙	そ16-3-17-3
出納掛申上書(上々様用金他御用金手形取調につき) 出納掛→ 虫損大	4月12日	1通・横切紙	そ16-3-18

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

寺内友右衛門安正他一名書状(大御所様御移徙の旨貞札院様申上につき) 寺内友右衛門安正(花押)・馬場弥三郎(花押)→谷口弥右衛門様・山中鹿渡様・横田甚五左衛門様	10月25日	1通・横切紙	そ16-3-19
水野清右衛門他一名用状[覚](内借金300両明日支給につき) 水野清右衛門・酒井市治→市川繁司殿・北河原慶助殿	12月27日	1通・切紙	そ16-3-20
(宇和島様よりの御状関係書状一括) 紙縫一括			そ3-29
(紙縫)		1点・紙縫	そ3-29-1
望月帰一郎書状(宇和島様より箱入御状公用人より送付の旨につき) 望月帰一郎→御用番様	8月24日	1通・横切継紙	そ3-29-2
玉川一学申上書(端裏書)[宇和島様より之御状箱差上申上] 玉川一学→	8月24日	1通・横切紙	そ3-29-3
松本嘉十郎書状(小河原村より小布施其外3ヶ村掛り夫錢一条の義につき) 松本(嘉十郎)→岡嶋(莊藏)様	12月25日	1通・横切継紙	そ3-30
中澤孫右衛門書状(台坊村公訴一件につき) 中澤孫右衛門→青柳丈左衛門様	12月8日	1通・横切継紙	そ3-31
口望申上書(昨日の御品返却につき) 口望→浅右衛門様	5月3日	1通・横切継紙	そ3-32
柴丁書状(玉川嘉仲初掛の等につき) 柴丁→片葉様	7月17日	1通・横切継紙	そ3-33
金児丈助書状(刀沓腰の請取証文沓通印形済みにつき) 金児丈助→金児孫左衛門様・三井寿一郎様・関口甚五衛門様他5名 虫損	7月19日	1通・横切継紙	そ3-34
(参内上使関係書類綴)		4点	そ3-35
(包紙)		1点・包紙	そ3-35-1
某用状[御上京御道筋](表御門より左へ小石川御門外左へ等道順書出につき)		1通・横切継紙	そ3-35-2
村岡書状(天子龍顔を拝し参内につき) 村岡→駒の様		1通・横切継紙	そ3-35-3
某用状(参内上使御勤めにつき)	2月3日	1通・横切紙	そ3-35-4
(小幡柳兵衛組冠兵衛等名面)		1点・綴	そ3-36
[年代](粃・大豆相場年代記)		1冊・横半半	そ3-37
(小森村他12ヶ村金子書出につき) 青色罫紙使用		1通・縦紙	そ3-38
(町名・人名書出につき)		1冊・横長半	そ3-39
(諸御休冥加場等見分富田伺等諸伺目録断簡、去12月27日～当正月28日分)		1通・横折紙	そ3-40
木町兵八願書[乍恐以書付奉願上候](冥加金上納につき) 木町兵八→監督御役所・樹芸御掛り御役所 虫損	明治5年2月	1通・縦紙	そ3-41
[覚](肴町等御用達金受取証文留、亥9月～12月)		1冊・横長半	そ3-42
(大総督府下参謀印鑑) 虫損大		1通・切紙	そ3-43
(上納金・年賦等書付断簡、文政並びに天保年中) 虫損大、下ヶ札あり		1通・横折紙	そ3-44
松代富永新平他一名金銭受取証文[証](元官員出張手当金2085両につき) 松代富永新平・駒村佐十郎→長野県出納御中 黒色罫紙使用、下ヶ札あり	7月	1通・縦紙	そ3-45
(用紙・墨料等受取証文一括) 紙縫一括			そ3-46

(紙縫)		1点・紙縫	そ3-46-1
庶務申上書并某卷上付札(端裏書)[去巳七月より十二月迄請取候分取調申上](墨半紙等遣払入料につき並びに庶務申上考慮願の旨) 庶務→	午3月	1通・横切継紙	そ3-46-2
武庫庶務申上書并計政副主事朱印(端裏書)[御用紙請取方之儀伺](入料につき並びに裁可の旨) 武庫庶務→ 虫損大	午3月	1通・横切継紙	そ3-46-3
某用状(分米等書付につき)		1通・堅切紙	そ3-47
富岡宗三郎他一名用状(御蔵初請払込につき) 富岡宗三郎・林丈左衛門→ 前欠	亥7月	1通・横切継紙	そ3-48
勘左衛門用状(町人宅へ紛失物見改願につき) 勘左衛門→(宮下)主鈴様	7月朔日	1通・横切紙	そ4-1
高野寛之進願書(端裏書)[御内直覧可被成下候](同役の名前書渡につき) (高野)寛之進→	21日	1通・切紙	そ4-2
某済口証文(渡船場吟味前済口につき)		1通・堅紙	そ4-3
鶴や書状(御無沙の侘につき) 鶴や→だんな様		1通・横切継紙	そ4-4
鎌原伊野右衛門達書(伺承知につき) 鎌原伊野右衛門→草間一路殿		1通・切紙	そ4-5
前田原村彦右衛門用状(前田原新田高吟味指越しにつき) 前田原村彦右衛門→御影新田小右衛門様・小右衛門様	4月22日	1通・切紙	そ4-6
用度属伺書(御賞下ケ金・諸品代金送付の件再四願につき) 用度属→	11月	1通・横切継紙	そ4-7
御勝手元へ申上書(端裏書)[綿貫新兵衛大坂御内用入料上納方并御下ケ金之儀付申上](入費並びに手当支給の事恐縮等につき) 御勝手元へ→	正月28日	1通・横切継紙	そ4-8
某用状(端裏書)[反故](新女中選挙等孫兵衛奥向御用につき)[(切取)] 差出切取		1通・横切継紙	そ4-9
矢野倉惣兵衛他一名用状[拝借上納滞納村々] 矢野倉惣兵衛・斉藤善太郎→	未6月	1通・横切紙	そ4-10
某用状(松代藩本新田惣高書出)		1通・切紙	そ4-11
野中申上書(葉代につき) 野中→海沼様	8月11日	1通・横切継紙	そ4-12
水道役達書(長円寺参詣にて供揃につき) 水道役→		1通・横切継紙	そ4-13
某用状(到来品を長持へ収納願につき)	3月15日	1通・切紙	そ4-14
某願書(会所救助につき) 差出破損	19日	1通・横切紙	そ4-15
根村惣五郎書状(端裏書)[合葉之事](合葉の価格問合せ等につき) (根村)惣五郎→先生様	12月21日	1通・横切継紙	そ4-16
左二馬書状(元結金残金を才覚金へ繰廻し願につき) 左二馬→(宮本)慎助様	28日	1通・切紙	そ4-17
(諸勘定関係書類綴)		2点	そ4-18
某用状[御勘定所上問](銭2包内訳につき)	7月13日	1通・横切紙	そ4-18-1
(台所・武具関係等勘定帳)		1冊・横長半	そ4-18-2
某金銭勘定書(京都にて下賜品の買上代金につき)		1通・切紙	そ4-19
某用状(御側繰廻御礼金勘定書、文久2年12月)		1通・横折紙	そ4-20

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

某用状(御宛行切米・扶持・和術免許等書出につき)		1通・縦切紙	そ4-21
(下ヶ渡金等支給関係書類一括) そ5-3は旧史料館の紐で一括			そ5-3
桜井与平書状(別帳の通り女中米銀支給願につき) 桜井与平→片桐重助様・高野寛之助様	12月19日	1通・切紙	そ5-3-1
(上京供奉者への賄金関係書類綴)		2点	そ5-3-2
御勘定吟味願書(上京供の道中逗留中御賄い支給につき) 御勘定吟味→	3月9日	1通・横切紙	そ5-3-2-1
畑兎毛内々願書(上京供の道中逗留中御賄い支給につき) 畑兎毛→	3月	1通・横切紙	そ5-3-2-2
幾之助書状(上田行の拝借金頂戴願につき) 幾之助→(横田)数馬様	7月13日	1通・横切紙	そ5-3-3
旧割番伺書(馬場廣人・菅沼久左衛門借人手当金賄代金支給の件につき) 旧割番→ 端裏書あり	2月	1通・横切継紙	そ5-3-4
赤沢助之進用状(刀番へ9両づつ内借願につき) (赤沢)助之進→(真田)志摩	2月27日	1通・横切継紙	そ5-3-5
(包紙) 三村逸作・沢田与惣左衛門・宮地太郎作他1名 そ5-3-6-1の包紙		1点・包紙	そ5-3-6-1
中山保之允高基他三名書状(真田幸民上京のため通行取計らいの件につき) 中山保之允高基(花押)・宮地太郎作正雍(花押)・沢田与惣左衛門福謙(花押)他1名→寺内友右衛門様・谷口弥右衛門様・山中鹿渡様	6月15日	1通・横折紙	そ5-3-6-2
榎田弥惣兵衛長興他一名書状(宇治茶大前様へ献上につき) 榎田弥惣兵衛長興(花押)・久保極人利義(花押)→鹿野茂手木様・祢津刑左衛門様・山越右馬允様他4名	2月27日	1通・横切継紙	そ5-3-7
半田富寿用状(騒擾事件の御機嫌伺として正金を知事様へ献上につき) 半田富寿→ 虫損あり	3月20日	1通・横切紙	そ5-3-8
(小沢一二馬家督相続関係通達書類綴)		2点	そ5-3-9
御評掛用状(別紙の通り心得につき) 御評掛→	11月9日	1通・切紙	そ5-3-9-1
計政副主事用状(小沢一二馬家督相続につき) 計政副主事→	12月9日	1通・横切紙	そ5-3-9-2
(紙縫) そ5-3-10-2の紙縫		1点・紙縫	そ5-3-10-1
御普請奉行伺書并御勘定吟味他巻上付札(大殿様大銃稽古内覧の場所設置の者へ賄支給につき並びに普請奉行の伺に依存なき旨) 御普請奉行→ 付札など剥離、紙縫結	9月	1通・横切紙	そ5-3-10-2
宮膳方伺書(宮膳方庶務助吉池与一郎へ月給支給につき) 宮膳方→ 端裏書あり	2月	1通・横切紙	そ5-3-11
(元新小銃組北沢友次郎御咎赦免のため滞納料支給願関係書類一括) 紙縫一括			そ5-3-12
(紙縫)		1点・紙縫	そ5-3-12-1
割番伺書(元新小銃組北沢友次郎御咎赦免のため未支給料の支給願につき) 割番→ 下ヶ札あり、端裏書あり	未8月	1通・横切継紙	そ5-3-12-2
副隊長補伺書并計監朱印(元新小銃組北沢友次郎御咎赦免のため未支給料支給願につき並びに裁可の旨) 副隊長補→ 端裏書あり	8月	1通・横切継紙	そ5-3-12-3

(紙屋町ふくへの増手当願関係書類綴)		3点	そ5-3-13
大阪御内用掛申上書(紙屋町喜七女ふく房道明取持の増手当支給願につき) 大阪御内用懸→ 端裏書あり	巳9月晦日	1通・横切継紙	そ5-3-13-1
宮下三一馬用状(ふくへの手当の件別紙の通りに通達につき) →宮下三一馬 大坂御内用掛中		1通・横切継紙	そ5-3-13-2
某用状[写](ふく手当支給記録につき)		1通・横切紙	そ5-3-13-3
草間一路書状(路栄夫給の件渡方へ達の督促につき) (草間)一路→(宮下)孫兵衛様 端裏書あり	16日	1通・横切紙	そ5-3-14
栄作伺書(青木貫一郎の甲府手当願の件につき) 栄作→(水野)弥右衛門様	27日	1通・切紙	そ5-3-15
入弥左衛門他十名内々願書(端裏書)[御内々願書](明治3年よりの御賞支給願につき) 入弥左衛門・堀内莊作・坂西廣児他8名→ 端裏書あり	(明治5年)壬申2月	1通・横切継紙	そ5-3-16
某伺書(矢野唯見引換之義持参につき) 端裏上書「申上」	12月22日	1通・横切紙	そ5-3-17
春日儀左衛門用状(坂西正右衛門役替のため扶持の件伺につき) 春日儀左衛門→酒井栄助様	11月2日	1通・横切紙	そ5-3-18
御勝手元へ申上書(弥五兵衛組与右衛門太田表にて御咄中扶持方等につき) 御勝手元へ→ 端裏書あり	8月	1通・横切継紙	そ5-3-19
某用状(粗大口半並びに小口半老人9ヶ月分支給記録書出につき)		1通・横切継紙	そ5-3-20
某用状(扶持米代金書出につき)		1通・横切継紙	そ5-3-21
(家中扶持渡し方関係書類綴)		2点	そ5-3-22
前嶋友之進申上書(返報願につき) 前嶋友之進→赤(赤沢)助之進様	7月8日	1通・切紙	そ5-3-22-1
某申上書(家中扶持減略につき)	9月20日	1通・横切紙	そ5-3-22-2
(給所検見引歩辻関係書類綴)		2点	そ5-3-23
計監用状(給所検見引歩辻勘定帳) 計監→		1通・切紙	そ5-3-23-1
郡改正主事申上書(給所検見引歩辻につき) 郡改正主事→	午正月	1通・横切紙	そ5-3-23-2
(御供上下人数への貨物・渡物関係綴)		3点	そ5-3-24
前嶋友之進伺書(御供上下人数へ貨物・渡物につき) 前嶋友之進→	正月	1通・横切継紙	そ5-3-24-1
御台所目付他一名伺書(御供上下人数へ貨物・渡物につき) 御台所目付・御買物役→	正月	1通・横切継紙	そ5-3-24-2
赤沢助之丞用状(御供上下人数へ貨物の件今回限り承済みにつき) (赤沢)助之丞→(鎌原)伊野右衛門様		1通・横切紙	そ5-3-24-3
某書状(手当の件取調べにつき) → (近藤)晋様		1通・横切継紙	そ5-3-25
某用状(扶持並び手当等差引勘定につき)		1通・横切継紙	そ5-3-26
(諸買物関係書類一括) 紙縫一括			そ5-3-27
(紙縫)		1点・紙縫	そ5-3-27-1
(穀物売直段書出綴)		2点	そ5-3-27-2
紙屋勇右衛門用状[覚](穀物売直段につき) 紙屋勇	午2月	1通・横切紙	そ5-3-27-2-1

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

右衛門→御賄所			
藤屋吉郎右衛門用状[覚](穀物売直段につき) 藤屋吉郎右衛門→御賄所	午2月	1通・横切紙	そ5-3-27-2-2
金児丈助他一名内々用状(岩村寅松より商法の件認取べ別帳面差出の添状につき) 金児(丈助)・藤岡→岡野様	4月6日	1通・横切紙	そ5-3-27-3
御収納賄方申上書(端裏書)[松本町一文字屋清三郎儀二付御尋申上](得意先の件申上げ方なきにつき) 御収納賄方→	4月	1通・横切継紙	そ5-3-27-4
酒井市治申上書(飯山町上松吉左衛門酒下賜のため三輪村宇兵衛へ尋の件につき) (酒井)市治→	4月朔日	1通・横切継紙	そ5-3-27-5
計政副主事申上書(京地出入人扶持送付願につき) 計政副主事→	5月13日	1通・横切継紙	そ5-3-27-6
(姫路革御文庫注文関係書類一括) 紙縫一括			そ5-3-27-7
(紙縫)		1点・紙縫	そ5-3-27-7-1
姫路福中町板倉金兵衛断書[御断書](姫路革御文庫注文の件につき) (播州)姫路(福中町)板倉金兵衛→寺内様	亥3月17日	1通・横切継紙	そ5-3-27-7-2
某用状(姫路革御文庫注文書) 下ケれあり		1通・横切紙	そ5-3-27-7-3
宮下太兵衛用状(間数取調べ願につき) 宮下太兵衛→大坂掛中	3月3日	1通・横切紙	そ5-3-27-8
高岡村徳右衛門歎願書[乍恐以書付奉歎願候](渡世難渋のため御下げ金につき) 高岡村徳右衛門→諸務方御役所	明治5年壬申7月	1通・縦紙	そ5-3-27-9
(買物代金関係書綴)		8点	そ5-3-27-10
菊屋伝兵衛金銭受取証文[覚](寒令紗他反物代金につき) 菊屋伝兵衛→上	(明治5年)申2月16日	1通・横切継紙	そ5-3-27-10-1
きく屋角店金銭受取証文[覚](反物代金につき) (信州松代伊勢町)きく屋角店(伝兵衛)→上	(明治5年)申2月3日	1通・切紙	そ5-3-27-10-2
きくや栄治郎金銭受取証文[覚](白メリンズ他反物代金につき) (信州松代伊勢町)きくや栄治郎→上様	(明治5年)申2月1日	1通・横切継紙	そ5-3-27-10-3
返目村国治金銭受取証文[覚](小筆笥他調度品代金につき) 返目村国治→上	(明治5年)申2月	1通・切紙	そ5-3-27-10-4
菊屋伝兵衛金銭受取証文[覚](反物代金につき) 菊屋伝兵衛→上	(明治5年)申2月10日	1通・切紙	そ5-3-27-10-5
菊屋伝兵衛金銭受取証文[覚](反物代金につき) 菊屋伝兵衛→上	(明治5年)申2月20日	1通・切紙	そ5-3-27-10-6
柏屋藤作金銭受取証文[覚](縮緬等反物代金につき) 柏屋藤作→上	(明治5年)申2月20日	1通・横切継紙	そ5-3-27-10-7
ふじ屋与金兵衛金銭受取証文[覚](縮緬等反物代金につき) ふじ屋与金兵衛→上	(明治5年)申2月20日	1通・横切継紙	そ5-3-27-10-8
某用状(元松代藩旧官員の内出京の名前につき)		1通・横切紙	そ5-3-28
新潟県庁達書(新潟出張兵交代につき)	4日	1通・横切紙	そ5-3-29
松代藩公用人玉川一学願書(水害等のため軍資金9月分上納割合金猶予につき) 松代藩公用人玉川一学→大蔵省御役所 付札あり	12月10日	1通・横切継紙	そ5-3-30

矢野唯見申上書(端裏書)[関田慶次郎義申上](越奥出兵の際の御賞慶次郎のみ調べ直しは無理につき) 矢野唯見→	10月	1通・横切紙	そ5-3-31
玉川一学申上書(甲府城代職御免の件につき) 玉川一学→玉(玉川)左門様 端裏書あり	7月4日	1通・横切継紙	そ5-3-32
近藤民之助他一名申上書(関田慶次郎等級の件につき) 近藤民之助・河原理助→	12月10日	1通・横切紙	そ5-3-33
用度方申上書(端裏書)[羽尾村銀兵衛御賞筋之儀申上](越奥出兵の際賄御用精勤のため御賞願につき) 用度方→	(明治4年)辛未12月	1通・横切紙	そ5-3-34
西園寺・高倉感状写(長岡表で奮戦並びに御三卿よりの賞詞につき) 西園寺永・高倉公→松代隊長殿	6月18日	1通・横切継紙	そ5-3-35
某用状(民事方より孫六支配の者取調伺の件につき)	10月16日	1通・横	そ5-3-36
(禁中より貴邪払葉下賜関係書類綴)		2点	そ5-3-37
某用状(葉下賜の役職書出につき)		1通・切紙	そ5-3-37-1
御徒歩頭達書(警衛方家来へ禁中より貴邪払葉下賜につき) 御徒歩頭→		1通・切紙	そ5-3-37-2
東海道総督巡察使沙汰申渡書写(三国街道追撃のため勤王の旨につき) 東海道総督巡察使→高田藩二階堂良煩・笠原勘之助	(慶応4年)戊辰閏4月	1通・切紙	そ5-3-38
松代藩加藤直衛請書(新潟出張兵交代の件につき) 松代藩加藤直衛→軍務局御中	4月5日	1通・横切紙	そ5-3-39
銃兵小隊長再伺書并計監朱印(組之者願の件につき並びに裁可の旨) 銃兵小隊長→	2月24日	1通・横切紙	そ5-3-40
某触書(京都表戦争での金子送付につき)	8月18日	1通・横切継紙	そ5-3-41
某申渡状(追討先隊出兵の際諸品用意につき)			そ5-3-42
某沙汰申渡状(逆賊追討等につき)	(慶応4年閏)4月7日	1通・切紙	そ5-3-43
某用状(長野県官員名録)		1通・横切紙	そ5-3-44
松代県伺書(廃藩置県のため租税収納につき) 松代県→大史か御中	(明治4年)辛未9月	1通・横切継紙	そ5-3-45
[献金被下物割合積] 貼紙多数		1通・横切継紙	そ5-3-46
(青銅受取証文一括) 巻込一括		1通・横切継紙	そ5-3-47
上村何右衛門青銅受取証文[覚](年始祝儀の青銅24銅につき) 上村何右衛門→水野清右衛門殿	正月	1通・切紙	そ5-3-47-1
谷口左仲青銅受取証文[覚](年始祝儀の青銅24銅につき) 谷口左仲→水野清右衛門殿	明治2年巳6月	1通・切紙	そ5-3-47-2
(献上金受取証文一括) 巻込一括			そ5-3-48
春日与木作金銭受取証文[記](騒擾事件のため村々献上金1873両につき) 春日与木作→佐藤則道殿	明治6年12月	1通・縦紙	そ5-3-48-1
中嶋渡浪金銭受取証文[覚](献上金10両につき) 中嶋渡浪→樋口旗之助殿	明治3年12月	1通・縦紙	そ5-3-48-2
(長持差出関係書類綴)		3点	そ5-3-49
[長持御印鑑](包紙)		1点・包紙	そ5-3-49-1
真田信濃守家来玉川一学用状并督府印[覚](小銃入	明治元年辰4月29日	1通・横切紙	そ5-3-49-2

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

長持1棹差出につき並びに改済の旨 真田信濃守家来玉川一学→			
真田信濃守家来駒沢市兵衛用状并督府印[覚](小銃入長持2棹差出につき並びに改済の旨) 真田信濃守家来駒沢市兵衛→	明治元年辰4月朔日	1通・横切紙	そ5-3-49-3
(脱走兵江戸侵入につき応援兵出張指令関係書類一括) 貼付一括			そ5-3-50
真田幸民家来玉川一学届書(脱走兵江戸侵入のため応援兵出張の旨藩主より申越につき) 御名(真田幸民)家来玉川一学→ そ5-3-50-2の上に貼付	閏4月	1通・切継紙	そ5-3-50-1
真田幸民届書(端裏書)[御届下案](脱走兵甲府侵入風聞のため応援兵出張につき) 御名(真田幸民)→表御用人の取次	閏4月	1通・横切紙	そ5-3-50-2
(徴兵月給割増渡関係書類綴)		5点	そ5-3-51
[徴兵月給割増御渡通之事](封筒) 赤澤助之進→鎌原伊野右衛門様	8月9日	1点・封筒	そ5-3-51-1
某用状(真田信濃守徴兵2月分月給総計につき)		1通・横切継紙	そ5-3-51-2
長谷川平次郎申上書(徴兵月給割増過の件につき) 長谷川平次郎→ 端裏書あり	8月2日	1通・横切継紙	そ5-3-51-3
赤澤助之進用状(徴兵月給割増過返納の件取計らいにつき) 赤澤助之進→ 端裏書あり	8月4日	1通・横切継紙	そ5-3-51-4
御勘定吟味申上書(徴兵月給割増過分勘定元へ返上につき) 御勘定吟味→	8月10日	1通・横切紙	そ5-3-51-5
某差引勘定書(端裏書)[集議院へ御下問書抜](松代藩給禄につき) →集議院		1通・横切継紙	そ5-3-52
水野清右衛門他一名金銭受取証文[覚](計政方手段金80両につき) 水野清右衛門・酒井市治→岡野敬一郎殿・岸善八殿	明治2年末11月	1通・縦紙	そ5-3-53
[口論書取](真田幸民知事職返上につき)	(明治4年)辛未正月	1冊・豎半	そ5-3-54
(岩村田藩御預人守衛御徒士人関係書類綴)		4点	そ5-3-55
前嶋友之進申上書(岩村田藩御預人守衛御徒士人増員の件尋につき) 前嶋友之進→	2月	1通・横切継紙	そ5-3-55-1
御徒士願書[口上覚](岩村田藩御預人守衛御徒士人増員につき) 御徒士→	正月	1通・横切継紙	そ5-3-55-2
前嶋友之進申上書(岩村田藩御預人見廻り御徒歩目付受取物の件尋につき) 前嶋友之進→	2月	1通・横切継紙	そ5-3-55-3
御徒士目付申上書并御頭徒士頭巻上付札(岩村田藩御預人見廻り御徒歩目付蠟燭等受取物の件尋につき並びに徒士目付の申上考慮願の旨) 御徒士目付→	正月	1通・横切継紙	そ5-3-55-4
(献上者引直し分取調べ帳) 赤色罫紙使用	(明治9年)5月28日	1冊・豎半	そ5-3-56
(羽尾村商人冥加金献上願関係書類綴)		3点	そ5-3-57
岡野弥右衛門伺書(羽尾村商人冥加金100両献上願につき) 岡野弥右衛門→	6月	1通・横切紙	そ5-3-57-1
某申渡状(献上の件につき)	6月16日	1通・横切紙	そ5-3-57-2
羽尾村仙石組大善幸藏内々願書[乍恐以書付御内々奉願候](冥加金100両献上願につき) 羽尾村仙石組大善幸藏→御産物方郡御奉行所	明治2年巳6月	1通・縦紙	そ5-3-57-3

某用状(廃藩置県にて元知事殿深厚御心痛の旨申越につき)		1通・横切継紙	そ5-3-58
某内願書(端裏書)[宮島守人等内願之儀二付申上](拝借により年限中上納初納方の件につき)「留済」、付箋多数	12月22日登	1通・横切継紙	そ7-1
某書状(九十行中願の件小参事申含みなきにつき)		1通・横切紙	そ7-2
某用状(春光院様出立の際他供連れ書立につき、明和3年3月12日～寛政11年7月26日)		1通・横切継紙	そ7-3
前嶋友之進申上書(端裏書)[建仁寺等え御答礼之儀二付申上](加増のため建仁寺等に挨拶物送りの件際伺につき) 付箋あり	10月	1通・横切継紙	そ7-4
某用状[七月より之軍夫寄]	7月	1通・横切継紙	そ7-5
松代藩申入書雛形(端裏書)[開墾局反別人口調二帳](当藩管轄高反別・口数の義につき) 松代藩→民部省開墾局御出張御中	(明治4年)辛未4月	1通・横継紙	そ7-6
龍光寺願書[口上覚](家中へ切りのため用水不足の件取締いにつき) 龍光寺→宮下嘉平太様・山中見弥様 年代は付箋による	(安永2年巳)8月2日	1通・横切紙	そ7-7
[口上覚](包紙) 松木民左衛門→ 所7-8-2の包紙		1通・包紙	そ7-8-1
松木民左衛門願書[口上覚](苗字改につき) 松木民左衛門→岡嶋荘蔵様	3月25日	1通・横切紙	そ7-8-2
(奥向調度品関係書類一括) 紙縫一括			そ7-9
(紙縫)		1点・紙縫	そ7-9-1
某申上書[覚](貞松院様奥より拝借品返上の残分につき) 御収納郡方→		1通・横切継紙	そ7-9-2
某用状[拝借覚](急須等拝借品につき)		1通・横切継紙	そ7-9-3
御奥元へ役伺書(端裏書)[大御所様御三之間入用品之伺] 御奥元へ役→	2月	1通・横切継紙	そ7-9-4
某用状(勘定帳並びに証書類取扱いにつき)		1通・横切継紙	そ7-10
某申上書(端裏書)[元御徒目付等申立之伺二付申上](参府・帰城の御賞加増願等につき)	6月	1通・横切継紙	そ7-11
文五内々申上書(端裏書)[御内々申上](久保寺村宗作御用金内々献上につき) 文五→ 下ケ札あり		1通・横切継紙	そ7-12
(旅行の際の支給関係書類綴)		16点	そ7-13
[卯暮品々書類入](包紙)	11月より	1点・包紙	そ7-13-1
河原舎人用状(別紙伺いの件承済につき) 河原舎人→山寺源太夫	11月25日	1通・切紙	そ7-13-2
御収納郡方伺書(端裏書)[奥山忠左衛門折返出府御御手当之義二付伺](織返出府の御手当につき) 御収納郡方→	11月	1通・切紙	そ7-13-3
初方懸伺書(端裏書)[奥山忠左衛門折返出府御御手当之儀付伺] 初方懸→	11月	1通・横切紙	そ7-13-4
某用状(文政12年岡野陽之助他江戸出張の本途物成刺返につき)		1通・横切継紙	そ7-13-5
某申上書(在府御用の割返し高の件につき)	6月	1通・横切継紙	そ7-13-6

13 藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか

某申上書(端裏書)[詰番之上長詰被仰付候向割返高之儀二付申上](下ケ札振合の通り月割りにて支給等につぎ 下ケ札、掛紙あり)	11月	1通・横切継紙	そ7-13-7
某用状(端裏書)[御見合](長詰の割り返し高取り調べにつぎ)		1通・横切継紙	そ7-13-8
宮沢[]願書[口上覚](出府せず難渋のため御切米御前借願につぎ) 宮沢[]→御頭中様 虫損甚大	11月	1通・横切継紙	そ7-13-9
河原舎人用状(別紙御前借の件不承知の旨刀番へ通達につぎ) 河原舎人→嶋源大夫殿	11月25日	1通・横切継紙	そ7-13-10
喜藤太書状(若党寅之助の様子につぎ) 喜藤太→磯二様	11月20日	1通・横切紙	そ7-13-11
荒井弥平申上書[口上覚](帰城の節供奉の同心への下賜品等の件につぎ) 荒井弥平→	11月	1通・横切継紙	そ7-13-12
初方懸願書(江府より帰路の節の内借証文作成願につぎ) 初方懸→	11月	1通・横切紙	そ7-13-13
某用状(出府より長詰の支給品取調書につぎ)		1通・横切継紙	そ7-13-14
某用状(小林茂治組白沢清兵衛等組除以前の組名書入願につぎ)		1通・横切継紙	そ7-13-15
某伺書(御雇組へ下賜初めの割合につぎ) 掛紙付	12月	1通・横切継紙	そ7-13-16
某書状(寺社同心旅館除之事等書七ヶ条)	4月5日まで	1通・切紙	そ7-14
野中喜左衛門申上書(山年貢御手当引返上願につぎ) 野中喜左衛門→小林元辰様	11月2日	1通・横切継紙	そ7-15
(炭薪入料関係書類綴)		3点	そ7-16
某用状[四月中炭真木御入料]		1通・切紙	そ7-16-1
某勘定書(真木支給差引勘定書、中嶋寿三郎他1名分)		1通・横折紙	そ7-16-2
成田万蔵書状(焚炭渡し少し遅延につぎ) 成田万蔵→前嶋様		1通・切紙	そ7-16-3
岡嶋荘蔵用状并源五左衛門勘返状(志塩帰平御下げの件のため呼出等につぎ) (岡嶋)荘蔵→源五左衛門様	2月6日	1通・切紙	そ7-17
某書状(祭礼の際の着用等につぎ)		1通・横切継紙	そ7-18
某申上書(障子切紙等賞向の件達願につぎ)	8月21日	1通・横切紙	そ7-19
道橋方願書(別紙の通り申付の件承知願につぎ) 道橋方→御水道方様	5月5日	1通・横切継紙	そ7-20
御収納頭申上書(杖突酒井久兵衛請立置につぎ) 御収納頭→ 端裏紙「留済」	正月21日	1通・横切継紙	そ7-21
某書状下書(干柿2折御届け等につぎ)		1通・横切継紙	そ7-22
(月居院様無尽取揃覚等諸覚書) 綴紐脱		1冊・横半半	そ7-23
竹村権左衛門書状(大手御免の兩人書状未完成等につぎ) (竹村)権左衛門→(岡嶋)荘蔵様	27日	1通・横切継紙	そ7-24
牧野毅書状(書物次3綴・出納記1冊廻達等につぎ) 念三→宮嶋権兵衛様・宮下秀丈様 端裏書の差出は「牧野毅」	6月	1通・横切継紙	そ7-25
佐藤則道申上書(御家扶交代の取計いにつぎ) (佐藤)則道→(大熊)教政様 宛名苗字は端裏書による	9月2日	1通・横切紙	そ7-26

佐藤則道申上書(立産義社株金請取証等関の件侘につき) 佐藤則道→大熊真政 差出・宛名は端裏書による	8月31日	1通・横切紙	そ7-27
(封筒) 物見→宮下謙大夫様 そ7-28-2の包紙		1点・封筒	そ7-28-1
順操尼書状[口上](扶持差し支えにのため金子上納延引の件侘等につき) 順操尼→(宮下)謙太夫様	12月27日	1通・横切継紙	そ7-28-2
某用状(端裏書)[御賀籠半廻之事・初太郎之事](初太郎足輕並の御手当の件評議につき) 下書きか		1通・横切紙	そ7-29
(大坂内用金・京都留守居用夫金関係書類一括) 巻込一括			そ7-30
某書状(去々年分大坂御内用金繰廻帳探索等の件他につき)	3月22日	1通・横切継紙	そ7-30-1
荒町申上書(京都御留守居方御用夫給金請書発見につき) 荒町→水野(清右衛門)様 「別紙申入候」		1通・切紙	そ7-30-2
富永新平書状并父上勘返状(竹村先生養生叶わず等につき) (富永)新平→父上様	7月8日	1通・横切継紙	そ7-31
順吾書状(御内話願一条御聞済のお礼等につき) 順吾→張一郎様	12月4日	1通・横切紙	そ7-32
細田久作伺書[口上覚](関屋村とき母孝行の褒美筋につき) 細田久作→	5月	1通・横切継紙	そ7-33
(包紙) そ34-2に貼添		1点・包紙	そ7-34-1
塩野完爾廻状(早水のため関留につき) 塩野完爾→各様 差出・宛名は端裏書による	7月27日	1通・切紙	そ7-34-2
赤沢助之丞用状(附人兩人御用多く留守中拝借交付につき) 赤沢助之丞→宮下謙大夫殿	6月26日	1通・横切紙	そ7-35
永書状(挨拶につき) 永→高山様		1通・横切継紙	そ7-36
あや書状(無礼お許し願等につき) あや→あきやま様		1通・横切継紙	そ7-37
(献上者・褒章関係書類一括) 巻込一括			そ7-38
某申上書(巡見等の節献上の者の件につき)		1通・横切継紙	そ7-38-1
某用状(飯山町上松吉左衛門への褒章書出につき)		1通・切紙	そ7-38-2
小藤太書状(上納金飛脚にて送付につき) 小藤太→(宮下)孫兵衛様	正月16日	1通・横切継紙	そ7-39
さち書状(今晚の来訪の件につき) さち→秋山様		1通・横切継紙	そ7-40
某書状(丸山公より差上のもの御香人へ預けの件等につき) →(酒井)市治様 端裏書「則到」	28日	1通・横切継紙	そ7-41
小藤太書状(大殿様へ軍鶏肉等送付につき) 小藤太→(宮下)孫兵衛様	正月21日	1通・横切継紙	そ7-42
龍太書状(亡母年回にて早帰りにつき) 龍太→ 端裏書「尊酬」	25日	1通・横切継紙	そ7-43
岡嶋莊藏書状并源次兵衛勘返状(時切手並び書付の件承知願等につき) (岡嶋)莊藏→源次兵衛様	正月27日	1通・横切継紙	そ7-44
藤四郎他一名書状(島津様並び大村様出発等につき) 藤四郎・成→理助様・(佐藤)知則様	5月17日	1通・横切継紙	そ7-45
あや書状(この品披見願等につき) あや→秋山様		1通・横切継紙	そ7-46
(炭代金支払帳、卯年7月中・12月中) 裏打あり		1冊・横長半	そ7-47

14 藩政／番方／兵糧・武具・火薬購入ほか

(城下堰溜絵図、文政8年10月出来分)		1点・鋪	そ7-48
謹一郎用状(伴因永役所に不在につき) 謹一郎→家一郎様	18日	1通・切紙	そ7-49
某用状(拝領地絵図面返却につき) 裏打あり	11月24日	1通・切紙	そ7-50
津田軫他一名用状(殿様帰城日時同意の件感謝につき) 津田軫・畑権兵衛→寺内友右衛門・谷口弥右衛門・山中鹿人 裏打あり	8月25日	1通・横切紙	そ7-51
(殿様松代城内通御の際の家臣立場絵図) 朱書あり		1点・鋪	そ7-52

14 藩政／番方／兵糧・武具・火薬購入ほか

勘定所・計政局

(兵隊関係書類一括) 旧史料館麻紐一括			そ5-2
御勝手元へ申上書(鉄砲隊・台隊御用手間扶持支給につき) 御勝手元へ→	10月	1通・切紙	そ5-2-1
御徒目付伺書(車台隊御徒士中越後出張の手当支給願につき) 御徒目付→ 端裏書あり、端裏差出札「御徒士頭」	(明治2年)巳12月	1通・横切継紙	そ5-2-2
兵糧方用并徒歩士貼添[覚](払残金231両につき、3～4月分) 兵糧方→	(慶応4年)辰閏4月	1通・切紙	そ5-2-3
某用状(兵政局人数調の回達順につき)	12月13日	1通・横継紙	そ5-2-4
兵政庶務掌伺書き(日勤調並に不参の件につき) 兵政庶務掌→	12月	1通・横切継紙	そ5-2-5
小幡金一郎受取証文(紐・鏡等御下げにつき) 小幡金一郎→小山田久米殿	(明治4年)辛未5月8日	1通・横切紙	そ5-2-6
武庫司事用状[覚](双眼鏡・測量鏡・ピストル書出) 武庫司事→		1通・切紙	そ5-2-7
関田慶次郎内々申上書(戊辰弾薬取扱い並びに出張の御賞願につき) 関田慶次郎→ 端裏書あり	(明治4年)辛未9月	1通・横切継紙	そ5-2-8
(小隊役付取調帳) 端裏書あり	(明治2年)巳9月晦日	1冊・横半半	そ5-2-9
水原県出張銃兵小隊長伺書(銃兵世話御手当につき) 水原県出張銃兵小隊長→	12月25日	1通・横切紙	そ5-2-10-1
某用状(足軽砲術稽古の節世話役頭取への下賜品につき) そ5-2-10-1に巻込一括		1通・横切継紙	そ5-2-10-2
某用状(小隊助長・営膳司・武庫司事手当につき)		1通・横切継紙	そ5-2-11
真田幸民申上書(拝命次第上坂出立につき)	正月12日	1通・横切紙	そ5-2-12-1
真田幸民申上書(拝命次第上坂出立につき) 御名(真田幸民)→ そ5-2-12-3に巻込一括	正月12日	1通・横切紙	そ5-2-12-2
某用状(小隊軍服勘定書)		1通・横切継紙	そ5-2-13
某用状雛型[記](大砲・小銃・弾薬につき) 赤色罫紙使用		1通・縦半	そ5-2-14
(御床机廻砲術稽古入料宮下謙大夫受取証文綴)			そ5-2-15
久保極人金銭受取証文[覚](御床机廻砲術稽古10両	文久元年酉5月	1通・切紙	そ5-2-15-1

入料につき) 久保極人→宮下謙大夫			
磯田藤太金銭受取証文[覚](御床机廻砲術稽古10両入料につき) 磯田藤人→宮下謙大夫	文久元年酉5月	1通・切紙	そ5-2-15-2
磯田藤人金銭受取証文[覚](御床机廻砲術稽古10両入料につき) 磯田藤人→宮下謙大夫	元治元年子11月	1通・切紙	そ5-2-15-3
恩田奎書取(出府のため人馬賄につき) 恩田奎→岡嶋庄蔵様 虫損甚大	4月7日	1通・切紙	そ5-2-16
東寺尾村名主喜左衛門他三名御訴書[乍恐以書付御訴申上候](東寺尾村焰硝藏野火除の芝並びに麦取り少々残りの件につき) 東寺尾村名主喜左衛門・組頭吉兵衛・同断七郎右衛門他1名→御郡御奉行所	天保4年巳4月10日	1通・縦紙	そ5-2-17
(原桂仙航海の為替金等関係書類綴)		3点	そ5-2-18
佐藤美与喜申上書(原桂仙航海の為替金送り方と文通次第につき) 佐藤美与喜→	9月	1通・横切継紙	そ5-2-18-1
大熊薫用状(原桂仙航海の為替金等別紙の通承知願につき) 大熊薫→真田桜山様	9月15日	1通・横切紙	そ5-2-18-2
原桂仙願書(為替金支給の件につき) 原桂仙→	午8月	1通・横切紙	そ5-2-18-3
口兵衛書状(買置板材木渡し方申上につき) 口兵衛→(竹村)金吾様・口大夫様・(宮下)兵馬様他1名 裏打あり、破損甚大	12月16日	1通・横切紙	そ5-2-19
(岩崎勝介・赤澤助之進屋敷間用水堰絵図) かぶせ図あり	天保3年辰5月	1点・鋪	そ5-2-20
某用状(寺内刑部鏡拵えのため内々拝借につき)	3月23日	1通・切紙	そ5-2-21
用度属同書(東京表へ注文物代御下ケ金につき) 用度属→ 端裏書あり、端裏書「用度司」	5月13日	1通・横切継紙	そ5-2-22
酒井市治他一名内々申上書(大岡宮原組高掛借入金上納のため御賞交付願につき) 酒井市治・水野清右衛門→ 端裏書あり、端裏に貼紙付	7月	1通・横切継紙	そ5-2-23
会計掛内々伺書(小布施町市村彦兵衛へ御召金支給願につき) 会計掛→	3月	1通・横切継紙	そ5-2-24
某書状(甲州出張人員提出につき) 端裏書あり		1通・切紙	そ5-2-25
[載三立](陣立配置につき)		1通・横切継紙	そ5-2-26
[騎射中附] 虫損甚大		1通・横切継紙	そ5-2-27
河原左京用状(藩主に御目見の文・武術師範・行事等寄書につき) (河原)左京→		1通・横切継紙	そ5-2-28
(祢津刑事左衛門方門口北之方持場の件問合せにつき) 道橋方→水道方様	6月26日	1通・切紙	そ5-2-29
長谷川平次郎申上書(端裏書)[去辰年御拝借金札御返納御猶予願差出候儀二付](願の旨成り難きとの回答につき) 長谷川平次郎→ 端裏書あり	12月10日	1通・切紙	そ5-2-30
某用状(午年年貢上納辻取調につき)		1通・横折紙	そ5-2-31-1
某用状(午年郡役等取調につき) そ5-2-31-1に巻込一括		1通・横折紙	そ5-2-31-2
(兵学寮入寮生徒につき兵部省より呼出日記、7月21日～22日) 黒色罫紙使用		1通・縦半	そ5-2-32
(磯田音門江戸大銃御備玉薬入料金受取証文関係一括 嘉永元年11月～12月) 巻込一括			そ5-2-33

15 藩政／番方／京詰出兵費用

磯田音門金銭受取証文〔覚〕(江府大銃御備玉薬入料20両につき) 磯田音門→山岸助藏殿・片岡十郎兵衛・久保極人殿他1名	嘉永元年申11月	1通・竪紙	そ5-2-33-1
磯田音門金銭受取証文〔覚〕(江府大銃御備玉薬入料20両につき) 磯田音門→山岸助藏殿・片岡十郎兵衛・久保極人殿他1名 そ5-2-33-1に巻込一括	嘉永元年申12月21日	1通・竪紙	そ5-2-33-2
直衛書状(三小隊大垣藩と交代につき) 直衛→御同役中様	4月5日	1通・横切継紙	そ5-2-34
(豊明酒代金受取証文一括) 巻込一括			そ5-2-35
きく屋佐助金銭受取証文〔覚〕(豊明御入料の内酒代10両につき) (信州松城)きく屋佐助→用度方御役所	未12月	1通・切紙	そ5-2-35-1
現金屋租吉金銭受取証文〔覚〕(豊明御用代の内肴代102両につき) 現金屋租吉→用度方御役所	未12月	1通・切紙	そ5-2-35-2
(大隊関係書類綴)		2点	そ5-2-36
原久喜他一名仰渡書(九条十之進斥候隊並びに寄兵隊長兼任につき) 原久喜・坂野勝介→寄兵隊長差配役九条十之進	6月11日	1通・切紙	そ5-2-36-1
坂野勝介他一名用状(4月24日より6月11日まで手当支給につき) 坂野勝介・原久喜→		1通・切紙	そ5-2-36-2
某申上書(山内唯七の人馬賃銭不正の件故鉄砲鋳物師窪田良太郎嘆願につき) 下ヶ札あり	8月	1通・横切継紙	そ5-2-37
(小銃製造者への手当関係書類綴)		2点	そ5-2-38
計政副主事用状(小銃弾薬製造のものへの別紙の通り手当につき) 計政副主事→		1通・切紙	そ5-2-38-1
(小銃弾薬製造者への手当取調帳)		1通・横長半	そ5-2-38-2
根村熊五郎願書(フバルへの時計滞り金返済まで東京へ寄留願につき) 根村熊五郎→旧松代県御中	(明治5年)壬申4月9日	1通・竪半	そ5-2-39
権左衛門書状(役料引当証文・年賦証文引換え他拝借金返済に件につき) 権左衛門→岡荘(岡嶋荘蔵)様端裏書あり	11月13日	1通・横切継紙	そ5-2-40
某申上書(鉄砲師改めの件につき) 久助→		1通・切紙	そ5-2-41
[火薬拝借通帳] 金児弥高・佐藤伊与之進→小幡全一郎殿・矢野倉鎌兵衛殿	明治5年壬申4月	1通・横半半	そ5-2-42

15 藩政／番方／京詰出兵費用

勘定所

(足輕関係書類一括) 旧史料館麻紐一括			そ5-1
(京詰足輕詰増関係書類綴)		2点	そ5-1-1
[足輕詰増之事](封筒) 赤澤助之進→御用番様 封筒上書「御当用」「白筆」	11月22日	1点・封筒	そ5-1-1-1
長谷川深美申上書(京詰足輕人不足にて増詰の件につき) 長谷川深美→	11月12日	1通・横切継紙	そ5-1-1-2
赤澤助之進用状(京詰足輕増詰取計い願につき) (赤澤)助之進→御用番様	11月12日	1通・切紙	そ5-1-1-3

御勘定吟味申上書(端裏書)[京詰御足輕増之儀御尋申上](増詰より今までの詰辻へ手当支給の旨) 御勘定吟味→	11月	1通・横切継紙	そ5-1-1-4
片岡十郎兵衛他一名伺書(産物方へ手附加人につき) 片岡十郎兵衛・一場茂右衛門→	12月24日	1通・横切継紙	そ5-1-2
某用状(御役方御借人等減辻につき)		1通・切紙	そ5-1-3
矢沢将監用状(煤払い等人足の事吟味役より受取の件承知につき) 矢沢将監→一場茂右衛門殿	12月15日	1通・横切紙	そ5-1-4
菅沼源之進他三名用状(江戸詰等の足輕・借人の扶持につき) 菅沼源之進・興津藤左衛門・堀田寛兵衛他1名→	弘化3年午9月	1通・横切継紙	そ5-1-5
割番願書[口上覚](米高値のため足輕扶持引上につき) 割番→	未9月	1通・横切紙	そ5-1-6
(増本詰・大代本詰御下ケ金支給につき割番伺関係書類綴、6月12日)		5点	そ5-1-7
割番伺書并副隊長補貼添(端裏書)[去已九月代り増本詰御足輕江被下刎代金之儀伺] 割番→ 下ケ札あり	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-1
割番伺書并副隊長補貼添(端裏書)[去已六月御足輕大代本詰江被下刎代金御下金之儀伺] 割番→ 下ケ札あり	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-2
割番伺并副隊長補貼添(端裏書)[去已九月代増本詰御足輕え歩金給代被下置御下金之儀伺] 割番→ 下ケ札あり	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-3
割番伺書并副隊長補貼添(端裏書)[去已六月御足輕大代り本詰歩金之儀伺] 割番→ 下ケ札あり	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-4
割番伺書并副隊長補貼添(端裏書)[去已年六月御足輕大代り本詰出立入え馬銀雜用御下金之儀伺] 割番→ 端裏差出札「副隊長補」	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-5
割番伺書并副隊長補貼添(端裏書)[去々辰年大代り本詰等両金給代御下金之儀伺] 割番→ 下ケ札あり	6月12日	1通・切紙	そ5-1-7-6
某用状(大代り本詰等給代金勘定書)		1通・切紙	そ5-1-7-7

(借入金関係書類一括) 紙綴一括 (紙綴)	11月	1点・紙綴	そ16-3-1
計政方申上書(村々窮迫のため大坂白山彦左衛門借入金の件再嘆願につき) 計政方→		1通・横切継紙	そ16-3-1-2
[亡原権右衛門親類](包紙) そ16-3-1-3-2の包紙	(明治4年)庚午7月3日	1点・包紙	そ16-3-1-3-1
故原権右衛門親類願書(故原権右衛門借財莫太のため上納延期につき) 亡原権右衛門親類願→理事御中		1通・横切継紙	そ16-3-1-3-2

17 藩政／庶務方／各部署の人事・人員配置

(役職任免書類一括) 旧史料館の紐一括			そ17-2
(人員配置要請関係書類綴)		2点	そ17-2-1
綿貫泰蔵伺書(端裏書)[臨時出張支配之儀伺](兵糧方並び小荷駄方人員配置要請につき) 綿貫泰蔵→	2月29日	1通・切紙	そ17-2-1-1
御勘定吟味申上書(端裏書)[綿貫泰蔵申立之趣御尋申上](台所目付等増員願につき) 御勘定吟味→		1通・横切継紙	そ17-2-1-2
某用状(武庫司事等人別書出につき)	(明治5年)申2月	1通・横切継紙	そ17-2-2
計役副事用状(職務任官・罷免期日人別書出につき) 計役副事→	9月	1通・横切継紙	そ17-2-3
計役副事用状(職務任官・罷免期日人別書出につき) 計役副事→	10月	1通・横切継紙	そ17-2-4
郡奉行用状(出役人減員申渡につき) 郡奉行→		1通・横切継紙	そ17-2-5
用度司用状(御納戸元へ等御役差免につき) 用度司→		1通・横切継紙	そ17-2-6
太田藤右衛門用状(松代廟役人別書上につき) 太田藤右衛門→	(明治5年)壬申4月	1通・横切継紙	そ17-2-7
兵政副主事申渡状(小出陽之助他1名兵政局任命につき) 兵政副主事→		1通・横切継紙	そ17-2-8

18 藩政／庶務方／町在諸職等の名前書上

(諸役名面書一括) 紙縫一括			そ15-3
(紙縫)		1点・紙縫	そ15-3-1
(奥向関係役人書出書類綴)		2点	そ15-3-2
某用状(台所・湯殿等奥向役人書出につき)		1点・横切紙	そ15-3-2-1
某用状(台所・湯殿等奥向役人書出につき)		1点・横切紙	そ15-3-2-2
(預所足軽・仲間書出書類綴)		2点	そ15-3-3
某用状(預所足軽並びに仲間名面書)		1点・横切継紙	そ15-3-3-1
某用状(元預所仲間並びに定押名面書)		1点・切紙	そ15-3-3-2
某用状(木挽・左官等諸職人名面書)		1冊・横長半	そ15-3-4
某用状(木挽・左官等諸職人名面書)		1通・横切継紙	そ15-3-5
(鋳物師等諸職人名面書)		1通・横切継紙	そ15-3-6
某用状[山札見](村別一人別名面書)		1通・横切継紙	そ15-3-7
某用状[元御荷物会所](一人別書出につき) 朱書あり		1通・切紙	そ15-3-8

某用状(竹山藪見・道橋方仲間等諸役人名面書)		1通・横切継紙	そ15-3-9
某用状(定押並びに手廻り名面書)		1通・切紙	そ15-3-10
某用状(名面書)		1通・横切継紙	そ15-3-11
某用状(名面書)		1通・横切紙	そ15-3-12
某用状(正徳5より延享4年まで勘定役・代官等諸役人名面書) 奥書「郡方御役不相見」、裏打あり		1通・横切継紙	そ15-3-13
某用状(側役・奥元 ^ノ 役等諸役人名面書)	(明治5年)壬申2月	1通・横切継紙	そ15-3-14
某用状(定府のため無屋敷者名面) 「壬申二月調」		1通・横切継紙	そ15-3-15
某用状(各取扱雇組等諸役人名面)		1通・横切継紙	そ15-3-16
某用状(飛脚宰領組等各組土名面)		1通・横切継紙	そ15-3-17

19 藩政／庶務方／硝石製造褒賞

計政局

(褒章・御賞関係書類一括) 史料館麻紐一括			そ10
(下宇木村等硝石御製御賞関係書類綴)		4点	そ10-1
元武庫局伺書(端裏書)[去ル丑年来御旧領於下宇木村并小河原村硝石御製二付御賞被下之義付伺] 元武庫局→	(明治5年)壬申7月	1通・横切継紙	そ10-1-1
元武庫司事伺書(端裏書)[去ル丑年御旧領下宇木村并小河原村硝石御製付御賞被下之義別紙相添伺] 元武庫司事→	(明治5年)壬申7月26日	1通・横切継紙	そ10-1-2
某申上書(硝石製御賞として廐金等下賜につき)	8月6日	1通・切紙	そ10-1-3
某申上書(端裏書)[硝石製二付村方へ御賞賜之儀申上]		1通・切紙	そ10-1-4
(栄十郎等御用達金御賞関係書類綴)		4点	そ10-2
監督申上書(端裏書)[丹波嶋村栄十郎等へ御賞之儀付申上] 監督→	3月5日	1通・横切継紙	そ10-2-1
某伺書(栄十郎等御賞願につき)		1通・横切紙	そ10-2-2
某用状[栄十郎御目録](懸軸・具足・盃) そ10-2-4別紙	2月28日	1通・切紙	そ10-2-3
某用状(別紙の通り栄十郎に御賞につき)		1通・横切継紙	そ10-2-4
会計口用状(戊辰年の功勞により西条村良吉等に御賞につき) 会計口→	6月29日	1通・横切継紙	そ10-3
某伺書(御賞伺書雛型)		1通・横切継紙	そ10-4
酒井市治申上書(端裏書)[日名村斗越佐市義二而申上](御借入金に伴御賞願につき) 酒井市治→	6月	1通・横切紙	そ10-5
(大塚村西組政五郎別判願関係書類綴)		4点	そ10-6
(紙縫)		1点・紙縫	そ10-6-1
大塚村西組名主幸蔵他二名申上書[御内々御尋二付乍恐申上候御事](頭判之儀につき) 大塚村西組名主幸蔵・組頭若右衛門・長百姓常左衛門→御勘定所御元 ^ノ 御役所	文政8年西5月	1通・縦紙	そ10-6-2

19 藩政／庶務方／硝石製造褒賞

大塚村西組九十郎帳下乗合判人別政五郎他二名願書 [乍恐以書付奉願候](九十郎帳下より別判致した き旨につき、付頭判問い合わせにつき返答書写) 下ケ札あり		1通・横折紙	そ10-6-3
某用状(寛政年中頭判議定取極につき)		1通・切紙	そ10-6-4
(山平林村神主宮下肥前御賞関係書類一括) 紙縫一括			そ10-7
某申上書(端裏書)[山平林村神主宮下肥前御賞之儀 付申上](荒地開敷につき)		1通・横切継紙	そ10-7-1
某用状(山平林村神主宮下肥前、荒地切開・用水整備の 御賞願につき) そ10-7-1の写を貼り付け、裏に貼紙あり		1通・横切継紙	そ10-7-2
山平林村宮下肥前伺書[口上](宮下肥前功勞書出に つき) 山平林村宮下肥前→御懸り様		1通・横切紙	そ10-7-3
某申上書(端裏書)[柳沢一郎御賞之義付御内々申上] (荒地開敷につき)		1通・切紙	そ10-7-4
(大岡村硝石製御賞関係書類綴)		2点	そ10-8
武庫司事伺書前嶋有年朱印(端裏書)[於大岡村硝石 製之節献上仕候人別々御賞被下之義別紙相添伺] (並びに裁可の旨) 武庫司事→	(明治5年) 壬申5月	1通・横切継紙	そ10-8-1
元硝石合業製掛元 ^ノ 北村團之丞伺書(端裏書)[大岡村 硝石御製中懸り之者共々御賞之儀申上] 元硝石合業 製懸り元 ^ノ 北村團之丞・同宮入半左衛門→ 下ケ札あり	(明治5年) 壬申5月	1通・横切継紙	そ10-8-2
殿町故議員願書赤沢蘭溪他三名朱印[時春中上金二 付格別大儀仕候向御賞奉願](宮澤彦治・高橋清蔵 上金の節出向幹旋等につき) 殿町故議員→	2月	1通・横切継紙	そ10-9
(白紙)		1枚・豎紙	そ10-10
一場茂右衛門申上書(苗字対等許可の者明日御礼回 勤につき) 一場茂右衛門→	12月24日	1通・横切継紙	そ10-11
某奏達雛型(稗之違作大儀により酒代下賜につき)	12月	1通・横切紙	そ10-12
一場茂右衛門差紙(田中村の者へ御尋につき) 一(一 場)茂右衛門→右組(御安口)肝煎	正月23日	1通・横切継紙	そ10-13
某奏達(紺屋町甚右衛門へ御用達金につき初五俵下 賜申渡の旨)→町奉行中		1通・横切継紙	そ10-14
(関屋村とき行状関係書類綴)		3点	そ10-15
関屋村名主助左衛門他二名申上書[御尋ニ付以書付 奉申上候](関谷村とき等の行状につき) 関屋村名 主助左衛門・組頭小兵衛・長百姓清左衛門→御代官所	明治2年巳2月	1通・豎紙	そ10-15-1
欠村名主伝治他二名申上書[御尋ニ付乍恐以書付奉 申上候](関谷村とき等の行状につき) 欠村名主傳 治・組頭伊之助・長百姓健兵衛→御代官所	明治2年巳5月	1通・豎紙	そ10-15-2
平林村名主金左衛門他二名申上書[御尋ニ付乍恐以 書付奉申上候](関谷村とき等の行状につき) 平 林村名主金左衛門・組頭源兵衛・長百姓由三郎→御代官所	明治2年巳5月	1通・豎紙	そ10-15-3
郡政副主事市場源七郎伺書(端裏書)[孝心寄特之者 御褒賞筋伺](関谷村とき稀なる孝心者のため褒美 願につき) 郡政副主事(市場源七郎)→	12月	1通・横切継紙	そ10-16
調役申上書(荒町村ふさ非人への施行、家業精勤等 風説の旨)	5月	1通・横切継紙	そ10-17

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

真田家家令・会計掛

(差出金褒状綴)		47点	そ10-18
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→倉島茂左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-1
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→大島梅吉	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-2
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→小坂良之助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-3
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→太田忠八郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-4
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→松本吉左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-5
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→石台周左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-6
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→若林惣助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-7
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→坂口直記	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-8
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→中村喜一	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-9
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→樋村吉三郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-10
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→宮本直左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-11
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→櫻井久太	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-12
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→飯島和平太	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-13
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→齋藤半次郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-14
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→湯本徹	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-15
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→倉田新兵衛	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-16
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→清水莊左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-17
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→松崎喜十郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-18
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→瀧澤操太郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-19
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)(真田幸民)→中條賀助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-20
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき)	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-21

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

き) (真田幸民)→和田元右衛門			
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→池田千之助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-22
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→渡邊五左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-23
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→山川虎治	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-24
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→松林七郎右衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-25
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→青山奥右衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-26
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→北澤友之丞	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-27
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→柳澤伊左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-28
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→山崎巖	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-29
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→松本當作	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-30
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→米倉元左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-31
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→飯島三郎兵衛	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-32
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→田口喜右衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-33
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→松本芳三郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-34
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→永原新之助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-35
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→峯村惣右衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-36
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→荒井良作	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-37
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→吉野健治	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-38
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→木下和助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-39
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→青木斧兵衛	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-40
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→山崎朝治郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-41
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→小幡柳兵衛	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-42
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→山浦孝作	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-43
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→富岡茂助	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-44

真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→中村甚蔵	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-45
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→萩原仙次郎	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-46
真田幸民褒状(差出金褒美として紋付・盃下賜につき) (真田幸民)→野本甚左衛門	(明治7年)甲戌3月15日	1通・横切継紙	そ10-18-47
(旧御藩中献金褒状綴)		4点	そ10-19
某奏達(岡田荘之助他1名差出金につき)		1通・切紙	そ10-19-1
某奏達(献金褒美につき) →柳澤作兵衛 後欠か		1通・横切継紙	そ10-19-2
某奏達(献金褒美につき) →岡田荘之助 文面墨消	2月15日	1通・横切継紙	そ10-19-3
某奏達(献金褒美につき) →柳澤作兵衛 文面墨消	3月15日	1通・横切継紙	そ10-19-4
(用水関連褒状綴)			そ10-20
真田幸民褒状(小市村田用水路鑿貫穴普請褒美として 帷子下賜につき)(真田幸民)→倉田三之丞	(明治7年)12月1日	1通・横切継紙	そ10-20-1
真田幸民褒状(佐野村田方用水破損来歴)(真田幸民) →三木茂右衛門 内容後欠、褒状か	(明治7年)	1通・横切継紙	そ10-20-2
真田幸民褒状(村内用水路鑿貫穴普請褒美として上 下下賜につき)(真田幸民)→塚田源吾	(明治7年)12月1日	1通・横切継紙	そ10-20-3
(旧御藩中献金褒状綴)		57点	そ10-21
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →相原邦治郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-1
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →成本忠兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-2
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →嶋田緑左衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-3
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →依田新之助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-4
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →内田初右衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-5
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →岸田栄五郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-6
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →和田ふく	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-7
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →宮澤儀作	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-8
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →清水万作	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-9
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →西山荘三郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-10
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →竹内茂助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-11
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →五朋藤太	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-12
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につ き) →小林正九郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-13

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →北澤要右衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-14
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →伴織之進	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-15
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →北村喜藤太	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-16
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →寺嶋五郎助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-17
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →小池惣治郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-18
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →石塚熊吉	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-19
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →清水彌助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-20
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →小池清三郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-21
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →山井與兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-22
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →田中熊治郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-23
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →澤久太郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-24
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →町田覚左衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-25
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →植田嘉七	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-26
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →小田切総作	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-27
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →岸田喜十郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-28
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) →東山丈吉	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-29
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →大信寺地中	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-30
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →と組代官町横町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-31
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →へ組肝煎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-32
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →は組河原新田献	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-33
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →ろ組東裏	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-34
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →た組長国 守地中外組合	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-35
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →の組八田 慎蔵抱屋敷	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-36
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →井組東荒町南組	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-37
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →う組東十人町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-38
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) →む組東荒 町北組	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-39

某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → な組御安口	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-40
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → 子組新御安口新組	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-41
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → を組大英寺新組	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-42
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → を組大英寺地中	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-43
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → 仲町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-44
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → ち組馬場町同心町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-45
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 出茂右衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-46
某奏達(献金褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 松本芳之助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-47
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → 伊勢町御用地守	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-48
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → や組御厩町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-49
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → つ組十人町上	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-50
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → 子組新御安口	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-51
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → れ組三光院寺中地中	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-52
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → た組寺町惣兵衛抱屋敷	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-53
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → か組藤兵衛屋敷	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-54
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → か組年番肝煎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-55
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → 子組柴町千鉢堂	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-56
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → り組柴町横町	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-57
某奏達(献金褒美として酒下賜につき) → ん組表町差切	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-21-58
(慶応2年甲府出兵の節献金上納褒状綴)		23点	そ10-22
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 小市村二ッ柳吉太郎	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-1
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 市村竹内久右衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-2
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 布野村高崎海左衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-3
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 布野村坂本幸右衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-4
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 市村今井柳右衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-5
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 布野村小林龍助	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-6
某奏達(褒美として紬羽織・一巻下賜につき) → 東福	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-7

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

寺村山越藤太郎			
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 川合村丸山磯五郎	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-8
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 鍛冶町大宮秀次郎	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-9
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 矢代村石黒喜左衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-10
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 東福寺村大津新平	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-11
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 小市村ニッ柳倉吉	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-12
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) 前欠	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-13
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 西寺尾村吉津又五郎	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-14
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 東福寺村内田民八	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-15
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 東福寺村大津政右衛門	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-16
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 矢代村中津金作	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-17
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 矢代村大西吉郎二	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-18
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 布野村坂本助蔵	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-19
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 市村込山大作	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-20
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 布野村小林嘉藤治	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-21
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 市村小山鯛吉	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-22
某奏達(褒美として紬羽織・一卷下賜につき) → 小市村小林清太夫	(明治7年)甲戌1月15日	1通・横切継紙	そ10-22-23
(慶応元年松代騒動献金上納褒状綴)		42点	そ10-23
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 立岩新治郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-1
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 小林吉兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-2
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 百瀬甚右衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-3
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 池田富作	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-4
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 小嶋茂七郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-5
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 海沼はつ	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-6
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) →	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-7

脇川源兵衛			
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 和田儀助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-8
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 真峯常左衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-9
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 広瀬善三郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-10
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 相澤半六	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-11
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 丸山與助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-12
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 伊東治助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-13
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 堀井茂三郎 文面墨消	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-14
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 関野源左衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-15
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 北村さね	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-16
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 倉島正次郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-17
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 唐澤太古	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-18
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 岩佐卯作	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-19
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 小島幸之助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-20
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 山崎藤助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-21
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 唐澤租吉	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-22
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 大日方惣之助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-23
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 宮澤源太	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-24
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 飯島彦兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-25
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 馬場長兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-26
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 井嘉十郎	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-27
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 小林演之助	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-28
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 北村はな	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-29
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 中田清右衛門	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-30

20 藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金

某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 井田宇兵衛	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-31
某褒状(慶応元年献金上納につき) → 宮下多七 内容後欠	(明治7年)	1通・横切継紙	そ10-23-32
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) 人名欠	(明治7年)6月1日	1通・横切継紙	そ10-23-33
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 宮下多七	(明治7年)12月1日	1通・横切継紙	そ10-23-34
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 熊井勇右衛門 文面墨消	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-35
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 堀内定蔵 文面墨消	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-36
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 堀内定蔵 後欠	(明治7年)	1通・横切継紙	そ10-23-37
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 堀内定蔵 文面墨消	(明治7年)2月15日	1通・横切継紙	そ10-23-38
某褒状(褒美として盃下賜につき) → 熊木定右衛門 後欠	(明治7年)	1通・横切継紙	そ10-23-39
某褒状(褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 山崎藤助 文面墨消	(明治7年)3月15日	1通・横切継紙	そ10-23-40
某褒状(慶応元年献金上納褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 国胎寺	(明治7年)6月15日	1通・横切継紙	そ10-23-41
某褒状(金穀配布の褒美として別紙目録の通り下賜につき) → 下租山村宮川源十郎	(明治5年)壬申12月朔日	1通・横切継紙	そ10-23-42
(御賞授与者関係書類綴)		3点	そ10-24
会計掛用状(別紙の通り尽力のため御賞につき)		1通・切紙	そ10-24-1
神山町裏町他六町故議員用状(端裏書)[御賞奉願候名面書](松代城下分人別書出しにつき) 各町(神山町裏町・代官町・馬場町他4町)故議員→		1通・横切継紙	そ10-24-2
某用状(村方分御賞奉願人別書出につき)		1通・横切継紙	そ10-24-3
御郡方内々伺書(田野口牟田勇七他5名社倉等へ献上金の御賞につき) 御郡方→	4月	1通・横切継紙	そ10-25
草間一路伺書[沓野村湯田中両村人別え御賞筋之儀伺](穀留の節融通穀取計い者への御賞御勘定役申上につき、計17名分) 草間一路→ 下ケ札あり、端裏貼紙あり	12月	1通・横切継紙	そ10-26
某用状(端裏書)[御旗表試案](荒町村平吉養子與右衛門他3名孝心奇特のため粉子下賜につき)		1通・横切継紙	そ10-27
某用状(宮川国蔵他1名恵明寺土蔵火防方により金子下賜につき並びに2月12日調済の旨)		1通・横切継紙	そ10-28
某用状(土口牟田佐右衛門孝心のため粉子下賜につき)		1通・横切継紙	そ10-29

表題・作成等	年代	数量・形態	整理番号
た (F)			
1 藩主(藩侯)／吉凶／葬送 勘定所			
太政官布告(廃藩置県につき) 太政官→松代藩知事真田幸民	(明治4年)辛未7月	1冊・豎半	た218
(真松院御用遺物御入料品買上関係書類一括 文化14年) 包紙一括	文化14年12月		た209
「真松院様御用遺物御入料品々御買上御調帳并売上入 外二御憧幡御入料売上入」(包紙)南沢甚之丞→ 一 209一括の包紙	文化14年丑11月	1点・包紙	た209-1
真松院様御遺物御買上御調帳 南沢甚之丞／(奥書)渡辺友右衛門・山越平角→	(文化14年)	1冊・横長半	た209-2
(文化14年12月真松院様如鐘幡他代金買上関係書類5点一継) 切紙等を横継で一括している	(文化14年)丑12月		た209-3
帷子屋淡五郎金銭受取証文[覚](17両5分) 帷子屋淡五郎→南沢甚之丞様	(文化14年)12月29日	1通・豎切継紙	た209-3-1
戌屋清五郎・清次郎金銭受取証文[覚](53匁) 戌屋清五郎・清次郎→南沢甚之丞様	(文化14年)丑12月	1通・横切継紙	た209-3-2
萬屋源八金銭受取証文并下ケ札[覚](4匁1分2厘二付並びに和盤は盛徳屋納入の旨) 萬屋源八→南沢甚之丞様	(文化14年)丑12月	1通・豎切継紙	た209-3-3
帷子屋淡五郎金銭受取証文[覚](1両) 帷子屋淡五郎→南沢甚之丞様	(文化14年)丑12月	1通・豎切継紙	た209-3-4
南沢甚之丞売上金書上(18両3分12匁6分2厘) 南沢甚之丞 一 209-2-1～4の合計金額が表記されている		1通・切継紙	た209-3-5
(文化14年10から11月まで真松院御用遺物買上関係書類19点一継) 切紙等を横継で一括したものを、さらに綴に簿冊形式に仕立てている		5点	た209-4
清兵衛金銭受取証文[覚](白羽二重代等 金82両3歩2匁) 近江屋甚兵衛代清兵衛／(奥印)渡辺友右衛門・山越平角→渡辺友右衛門様・山越平角様御役人衆中様	(文化14年)丑11月	1通・豎継紙	た209-4-1
帷子屋淡五郎金銭受取証文[覚](縞縮綿代等 金27両2分につき) 帷子屋淡五郎→南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・豎継紙	た209-4-2
つちや定七金銭受取証文[覚](薪芝縄相紐代等 金20両2歩分323文につき) つちや定七→南沢甚之丞様	(文化14年)10月	1通・豎継紙	た209-4-3
松坂屋庄兵衛金銭受取証文[覚](小袖帯代 金1両1歩2朱につき) 松坂屋庄兵衛→御奥南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・豎切継紙	た209-4-4
升屋少七金銭受取証文[覚](綸子帯代 金41両3分につき) 升屋少七→南沢甚之丞様	(文化14年)11月17日	1通・横切紙	た209-4-5
升屋与兵衛金銭受取証文[覚](花色七子帯代 金23匁につき) 升屋与兵衛→北澤昂三郎	(文化14年)10月28日	1通・横切継紙	た209-4-6
とくら屋伝吉受取証文[覚](うこん・もめん等代 銀44匁3厘につき) とくら屋伝吉→御役所	(文化14年)11月	1通・横切継紙	た209-4-7
小村喜兵衛受取証文[覚](御掛物箱代等 銀80匁8分につき) 小村喜兵衛→南沢甚之丞様	(文化14年)10月	1通・豎継紙	た209-4-8

2 藩主(藩侯)／吉凶／婚姻

平松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](御所雛4対代 ^ペ 4両1分2朱につき) 平松屋吉兵衛→南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・竪紙	た209-4-9
奈良屋幸之助金銭受取証文[覚](梨地蒔絵代等 ^ペ 銀212匁5分につき) 奈良屋幸之助→南沢甚之丞様	(文化14年)10月	1通・竪紙	た209-4-10
萬屋金右衛門金銭受取証文[覚](煙草盆1面代 ^ペ 銀28匁につき) 萬屋金右衛門→御役人衆中様	(文化14年)11月	1通・横切紙	た209-4-11
伊勢屋善次郎金銭受取証文[覚](高蒔絵代等 ^ペ 銀224匁につき) 伊勢屋善次郎→御役人衆中様	(文化14年)丑11月12日	1通・竪切継紙	た209-4-12
近江屋藤助金銭受取証文[覚](煙草盆代等 ^ペ 銀29匁5分につき) 近江屋藤助→南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・竪紙	た209-4-13
樽物屋助三郎金銭受取証文[覚](煮黒之瓶14箱分代等 ^ペ 335匁1分につき) 樽物屋助三郎→南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・竪切継紙	た209-4-14
松屋伊兵衛金銭受取証文[覚](長持5棹等 ^ペ 5両2分2朱6匁につき) 松屋伊兵衛→南沢甚之丞様	(文化14年)丑11月	1通・竪紙	た209-4-15
橋塚友右衛門金銭受取証文[覚](御表具等仕立て直し代 ^ペ 32匁2分9厘につき) 橋塚友右衛門→	(文化14年)丑10月	1通・竪継紙	た209-4-16
永野庄兵衛金銭受取証文[覚](立物・指物等仕立直し代 ^ペ 264匁につき) 永野庄兵衛→御奥御役所様	(文化14年)丑11月	1通・竪切継紙	た209-4-17
南沢甚之丞用状[覚](葬式諸入用白無垢代支払願につき) 南沢甚之丞→	(文化14年)丑10月	1通・竪継紙	た209-4-18
南沢甚之丞用状(真松院遺物についての売上証文18枚 ^ペ 168両余につき) 南沢甚之丞／(奥印)渡辺友右衛門・山越平角→ た209-4-1～18までの売上証文を合計したもの	(文化14年)丑11月	1通・竪継紙	た209-4-19

2 藩主(藩侯)／吉凶／婚姻

勘定所

(晴姫婚姻関係書類綴一括 嘉永6～7年) 旧史料館封筒に一括		14点	た33
(晴姫婚姻書類関係綴)		9点	た33-1
(内裏・御人形等婚礼道具目録)		1通・横折紙	た33-1-1
某用状(掛盤等夫婦道具目録渡しにつき)		1通・横切継紙	た33-1-2
(掛盤目録)		1通・横切継紙	た33-1-3
某用状[覚](御焼物皿・梅盆等膳道具9筆分目録)		1通・横切継紙	た33-1-4
某用状(姫様着物の件すわ申出につき)		1通・切紙	た33-1-5
(伽羅割・四ツ盤書上)		1通・横切紙	た33-1-6
宮梨用状[覚](大鏡掛・御鏡掛等御婚礼御用につき) 宮梨→福井様	2月17日	1通・横切紙	た33-1-7
福井書状(婚礼支度の件につき書状) 福井→駒の様		1通・横折紙	た33-1-8
村岡書状(婚礼支度の件につき書状) 村岡→駒の様		1通・横切紙	た33-1-9
(時姫婚姻関係書類綴)		5点	た33-2
(御夜具・御中夜具等小川町へ引移しの諸品書付)	4月7日	1通・切紙	た33-2-1

(御夜着・御中夜着等書付)		1通・切紙	た33-2-2
村岡書状(御式召の夜具の件につき) 村おか→駒の様	4月2日夕	1通・横折紙	た33-2-3
村岡書状(時姫様婚禮品の帳面の件につき) 村おか→駒の様	4月2日	1通・横折紙	た33-2-4
村岡書状(御式召の夜具の件につき) 村岡→駒の様 欠損あり	4月8日	1通・横折紙	た33-2-5
(殿様御定用・大殿様御賄料等年間諸入用覚) 下ケ札あり		1冊・豎半	た4
[年賀屏風和歌](真田幸専他武家衆和歌詠草12点)		1冊・豎半	た13
[□法于草文] 浪華知良→ 奥書「寛政二庚戌年四月」、写本、虫損甚大	享保19年甲寅6月	1冊・豎半	た14
(御側御納戸・御供筆頭御番士他在府中賄料についての 手元金取調伺書)	11月	1冊・横長半	た47
(若殿様御乗出より御叙爵まで他諸入用取調帳 嘉永2 年～慶応3年分)		1冊・横長半	た160-3
[元治元子年十月十五日御移徙二付諸申立扣](貞松院 南部坂へ移徙一件記録並びに貞松院守役の書状4 通・繕付)		1冊・横長美	た171
堀内荘治申上書[御内々申上](大嶋湊殿屋敷購入につ き) 堀内荘治→		1冊・豎半	た174
[秀姫様御葉借主方留](7月25日～8月1日分)		1冊・横長半	た196

3 真田家／家政／白鳥神社金銭勘定

真田家会計掛

(白鳥神社関係書類一括) 封筒一括			た31
[御両社御入料御払切証入](封筒)	明治16年3月	1点・封筒	た31-1
(白鳥神社金銭関係綴 明治5～22年)		89点	た31-2
[白鳥神社古御中借証書差向片附兼候分并調書類入] (袋)	明治20年1月	1通・封筒	た31-2-1
祢津静衛中借金受取証文[記](15円受取証文) 祢津 静衛→中沢保孝殿 朱書「十五」あり	(明治)亥11月	1通・切紙	た31-2-2
祢津静衛他一名中借金受取証文[記](舞鶴山雨宮入 料として10円につき) 矢嶋清人・祢津静衛→中沢保 孝殿 朱書「三」あり	(明治)亥11月29日	1通・切紙	た31-2-3
祢津静衛中借金受取証文[記](白鳥神社常入料とし て15円につき) 祢津静衛→中沢保孝殿 赤罫紙使用、 朱書「白鳥」「二十五」あり	明治9年12月31日	1通・豎紙	た31-2-4
祢津静衛中借金受取証文[記](社番給分として4円に つき) 祢津静衛→中沢保孝殿 朱書「白鳥」「二十二」	(明治10年)2月18日	1通・横切紙	た31-2-5
世話方祢津静衛中借金受取証文[記](白鳥神社祭典 嘆願入料借金40円につき) 世話方祢津静衛→中沢 保孝殿 赤色罫紙使用、朱書「二十」		1通・豎切紙	た31-2-6
祢津静衛中借金受取証文[記](白鳥神社祭典嘆願入 料45受取証文) 祢津静衛→中沢保孝殿 赤色罫紙使 用、朱書「二十」	明治9年9月20日	1通・豎切紙	た31-2-7

3 真田家／家政／白鳥社金銭勘定

祢津静衛中借金受取証文〔記〕(白鳥神社常用嘆願入用のうち15円につき) 祢津静衛→中沢保孝殿 赤色罫紙使用、朱書「十七」	明治9年6月28日	1通・横切紙	た31-2-8
祢津静衛中借金受取証文〔記〕(白鳥神社入用のうち中借金10円につき) 祢津静衛→佐藤則善殿 朱書「十八」	(明治)9年9月25日	1通・横切紙	た31-2-9
祢津静衛中借金受取証文〔記〕(白鳥神社常用入用として6円50銭受取証文) 祢津静衛→中沢保孝殿 朱書「二十一」	(明治)9年11月9日	1通・横切紙	た31-2-10
祢津静衛中借金受取証文〔記〕(白鳥神社所々普請入料として5円につき) 祢津静衛→中沢保孝殿 朱書「二十三」	明治10年9月18日	1通・切紙	た31-2-11
祢津静衛中借金受取証文〔記〕(白鳥神社入用のうち5円につき) 祢津静衛→中沢保孝殿 赤罫紙使用、朱書「二十四」	明治10年10月7日	1通・切紙	た31-2-12
矢嶋清人中借金受取証文〔記〕(舞鶴山祭典宮入料等14円につき) 矢嶋清人→中沢保孝殿 朱書「白鳥」・「六」・「七」	(明治)10年4月5日	1通・横切紙	た31-2-13
矢嶋清人中借金受取証文〔記〕(常用金等9円余受取証文) 矢嶋清人→中沢保孝殿 朱書「八」・「九」あり	明治10年8月	1通・横切紙	た31-2-14
矢野倉謙兵衛中借金受取証文〔記〕(望月教愛へ手元金6円につき) 矢野倉謙兵衛→中沢保孝殿 朱書「四十九」あり	(明治)10年10月15日	1通・横切紙	た31-2-15
矢野倉謙兵衛中借金受取証文〔記〕(玉串入用料として2円13銭受取証文) 矢野倉謙兵衛→中沢保孝殿 朱書「五十一」	明治10年10月31日	1通・横切紙	た31-2-16
白鳥社世話方野村光貞中借金受取証文〔記〕(常用の内より10円75銭受取証文) 白鳥社世話方野村光貞→中沢保孝殿 朱書「五十五」	(明治)10年12月1日	1通・切紙	た31-2-17
野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分として3円78銭受取証文) 野村光貞→中沢保孝殿 朱書「五十六」	(明治)10年12月23日	1通・横切紙	た31-2-18
野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分として4円につき) 野村光貞(光貞)→中沢保孝殿 朱書「五十七」	(明治)11年3月2日	1通・切紙	た31-2-19
惣代野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分割金4円につき) 惣代野村光貞→中沢保孝殿 朱書「五十八」	(明治)11年4月	1通・横切紙	た31-2-20
惣代野村光貞中借金受取証文〔記〕(白鳥社春季祭典入料として5円につき) 惣代野村光貞→中沢保孝殿 朱書「〇」あり	(明治)11年4月	1通・横切紙	た31-2-21
野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分仮渡として4円につき) 野村光貞→中沢保孝殿 朱書「五十九」	(明治)11年6月25日	1通・横切紙	た31-2-22
野村光貞中借金受取証文〔記〕(白鳥社社番勤金3円につき) 野村光貞→中沢保孝殿 第十三大区四小区赤色罫紙使用、朱書「六十」	(明治)11年6月29日	1通・縦紙	た31-2-23
白鳥山世話人惣代野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分として5円につき) 白鳥山世話人惣代野村光貞→中沢保孝殿 第十三大区四小区赤色罫紙使用、朱書「六十一」	(明治)11年9月	1通・縦切紙	た31-2-24
野村光貞金銭借用証文〔借用証〕(至急入用のため40円借用証) 野村光貞→中沢保孝殿 朱書「六十四」	(明治)10月1日	1通・切紙	た31-2-25
野村光貞中借金受取証文〔記〕(社番給分5円につき) 野村光貞→中沢保孝殿 第十三大区四小区赤色罫紙使用、朱書「六十二」	(明治)11年10月26日	1通・縦切紙	た31-2-26
世話惣代野村光貞中借金受取証文〔証〕(白鳥社入料	(明治)11年12月	1通・縦切紙	た31-2-27

として16円67銭5厘6毛受取証文) 御世話惣代野 村光貞→中沢保孝殿 朱書「六十三」			
[御中借通取調] 赤色罫紙使用		1冊・竪半	た31-2-28
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治)10月	1通・横切継紙	た31-2-29
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治12年)卯4月9日突合	1通・横切紙	た31-2-30
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治)12年12月13日突合	1通・横切紙	た31-2-31
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治13年)辰6月9日	1通・横切紙	た31-2-32
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治13年)辰12月27日納	1通・横切継紙	た31-2-33
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書)	(明治)10月31日納	1通・横切継紙	た31-2-34
某用状[記](白鳥神社関係金銭差引勘定書) 端裏書 あり	(明治13年)9月4日納	1通・横切紙	た31-2-35
白井玉静領収書[記](社番給等33円支払領収書) 御 当用并御普請掛り白井玉静→佐藤則通殿	明治15年午8月	1通・竪切継紙	た31-2-36
某中借金受取証文「記」(明治5～15年分白鳥神社関 係金銭差引勘定書)	明治5年～15年	1冊・横長半	た31-2-37
某中借金受取証文[証](白鳥社入料として25円につ き) →佐藤則通殿 閉じて開封不能		1通・横切紙	た31-2-38
某中借金受取証文[証](白鳥社祭典のため27円50銭 受取証文) 閉じて開封不能	明治14年9月20日	1通・横切紙	た31-2-39
某中借金受取証文[証](白鳥社祭典料として30円につ き) 閉じて開封不能	明治14年10月7日	1通・横切紙	た31-2-40
某中借金受取証文[証](白鳥社祭料として時借金60 円につき) 閉じて開封不能	明治14年10月19日	1通・横切紙	た31-2-41
[諸向受取証書](包紙) 表に「従四位様御家令扶御中廣 田正様御披露」とあり		1通・包紙	た31-2-42
白鳥神社氏子惣代会計主務佐野秀中借金借用証文 [記](金10円につき) 白鳥神社氏子惣代会計主務佐 野秀→佐藤則通殿	明治18年4月4日	1通・切紙	た31-2-43
白鳥神社惣代会計主務佐野秀中借金借用証文[記] (金10円につき) 白鳥神社惣代会計主務佐野秀→佐 藤則通殿	明治18年12月27日	1通・横切継紙	た31-2-44
白鳥神社惣代会計掛佐野秀中借金借用証文[記](金 10円につき) 白鳥神社惣代会計掛佐野秀→佐藤則通殿	明治18年2月3日	1通・切紙	た31-2-45
白鳥惣代佐野秀中借金借用証文[記](金10円につ き) 白鳥社惣代佐野秀→佐藤則通殿	明治18年10月12日	1通・切紙	た31-2-46
白鳥神社氏子惣代会計掛佐野秀中借金借用証文[記] (金10円につき) 白鳥神社氏子惣代会計掛佐野秀→ 佐藤則通殿	明治18年6月18日	1通・切紙	た31-2-47
白鳥神社氏子惣代会計掛佐野秀中借金借用証文[記] (金10円につき) 白鳥神社氏子惣代会計掛佐野秀→ 佐藤則通殿	明治18年8月3日	1通・切紙	た31-2-48
白鳥社惣代佐野秀中借金借用証文[記](金5円につ き) 白鳥社惣代会佐野秀→佐藤則通殿	明治18年11月24日	1通・横切継紙	た31-2-49
某用状(明治18から22年まで家扶股利金勘定書) - →御家扶殿	(明治18～22年)	1通・横切紙	た31-2-50
(中沢保孝書出) 赤色罫紙使用	3月～6月	1通・竪紙	た31-2-51

3 真田家／家政／白鳥社金銭勘定

(第一期徴収金等金銭書出) 赤色罫紙使用		1通・縦紙	た31-2-52
(明治16年から21年まで久保成殿他白鳥社手段金利金勘定書)	(明治16年～21年)	1通・横切紙	た31-2-53
(明治16年から21年まで佐藤則通殿他白鳥社手段金利金勘定書)	(明治16年～21年)	1通・横切紙	た31-2-54
矢島清人中借金受取証文[記](白鳥山勘定内預ヶ金引戻し9円49銭3厘9毛につき) 矢島清人→佐藤則通殿	(明治)15年2月2日	1通・切紙	た31-2-55
氏子惣代水野乱金銭領収書[証](秋季祭典費10円につき) 氏子惣代水野乱→真田從四位様御家扶御中	明治20年9月28日	1通・縦紙	た31-2-56
佐藤則通時金銭預証[証](雪折松払代金40円につき) 佐藤則通→金井貞通殿・中沢保孝殿	明治20年2月11日	1通・横切紙	た31-2-57
佐藤則通時金銭預証[証](雪折松払代金30円につき) 佐藤則通→金井貞通殿・小川広倉殿・中沢保孝殿他1名	明治20年1月27日	1通・横切継紙	た31-2-58
白鳥神社氏子惣代榎田長與中借金受取証文[証](白鳥神社惣入料明治19年分53円33銭5毛につき) 白鳥神社氏子惣代榎田長與→佐藤則通殿 黒色罫紙使用	明治19年12月12日	1通・縦紙	た31-2-59
氏子惣代水野乱中借金受取証文[証](神官へ給料支払金10円受取につき) 氏子惣代水野乱→旧新御殿御家扶御中	明治20年11月9日	1通・切紙	た31-2-60
白鳥神社氏子惣代水野乱中借金受取証[領収証](白鳥神社諸費20円につき) 白鳥神社氏子惣代水野乱→旧新御殿御家扶御中	明治20年12月	1通・縦切紙	た31-2-61
白鳥神社氏子惣代長谷川甲之進中借金受取証文[証](白鳥神社惣入料明治17年分70円につき) 右(白鳥神社)氏子惣代長谷川甲之進→御家扶佐藤則通殿 赤色罫紙使用	明治17年11月	1通・縦紙	た31-2-62
融通会社社長井知則他一名中借金受取証文[預り金証書](金20円につき) 融通会社社長井知則・斉藤金固→佐藤則通殿・久保成殿	明治16年12月26日	1通・縦紙	た31-2-63
富永新平中借金受取証文[記](神宮給料15円につき) 前鶴山会社掛富永新平→佐藤則通殿 赤色罫紙使用	(明治)8月2日	1通・縦紙	た31-2-64
富永新平中借金受取証文[覚](白鳥神社入料として9円99銭3厘につき) 富永新平→佐藤則通殿	(明治)21年9月4日	1通・縦紙	た31-2-65
富永新平中借金受取証文[記](神官給料等21円45銭につき) 富永新平→佐藤則通殿	明治21年12月19日	1通・横切継紙	た31-2-66
富永新平中借金受取証文[記](皇典講究所有志のため5円につき) 富永新平→佐藤則通殿	(明治)21年12月25日	1通・切紙	た31-2-67
富永新平中借金受取証文[証](白鳥社社番手当等5円につき) 富永新平→佐藤則通殿	(明治)12月25日	1通・切紙	た31-2-68
富永新平中借金受取証文[証](白鳥社社番給等3円50銭につき) 富永新平→佐藤則通殿	(明治)12月17日	1通・横切継紙	た31-2-69
白鳥神社氏子惣代成本治左衛門中借金受取証文[証](白鳥神社入料10円につき) 白鳥神社氏子惣代成本治左衛門→佐藤則通殿	明治21年2月11日	1通・切紙	た31-2-70
富永新平中借金受取証文[証](白鳥社社番給3円50銭につき) 富永新平→佐藤則通殿	(明治)22年1月25日	1通・縦紙	た31-2-71
富永新平中借金受取証文[記](白鳥社祭典料10円につき) 富永新平→佐藤則通殿	明治21年9月27日	1通・縦紙	た31-2-72
湊分清作申上書[記](幟仕立代金等19円につき) 湊	(明治)4月14日	1通・横切継紙	た31-2-73

分清作 (書出) [記] (白鳥社諸入料差引勘定書) 白鳥神社氏子惣代会計中村秀俊用状[記] (明治15年12月から明治16年11月まで白鳥神社諸入料勘定書) 右(白鳥神社)氏子惣代会計中村秀俊→ 大惣代会計掛桜井佳人他三名中借金受取証文[証] (明治15年度分白鳥神社諸入料3円2銭3厘7毛につき) 大惣代会計掛桜井佳人・中村秀俊・藤田高明他1名→御家令扶御中 赤色罫紙使用 [舞鶴山両社賞典名代中沢保孝取扱心得違ひ申上一件] (包紙) 小出茂助中借金受取証文[記] (長国寺靈屋修復入料金50両につき) 小出茂助→中沢平左衛門殿 小出茂助中借金受取証文[記] (長国寺靈屋修復・新殿土蔵入料金50両につき) 小出茂助→中沢平左衛門殿 小出茂助中借金受取証文[記] (新殿土蔵・真常院様石碑入料金50両につき) 小出茂助→中沢平左衛門殿 (明治12年分両社賞典金70円等差引勘定書) 文面朱書 中沢保孝金銭預証[記] (封金269円2銭4厘2毛につき) 中沢保孝→富永新平殿・佐藤伊之進殿 (普請並びに修復入料金等諸入料勘定書) (四ヶ年分諸入料差引勘定書) [十一年寅九月舞鶴山御賞典受払中沢保孝取調差出候書面訳] (舞鶴山関係入料につき) 中沢保孝伺書[口上書取] (舞鶴山賞典52円50銭分払切か中借かについて詮議願につき) 中沢保孝→前嶋好謙様 中沢保孝申上書(両社賞典渡金疑念の件取り下げ願につき申上書) 中沢保孝→御家令御中 綴紐脱	(明治12年) (明治)16年12月10日 明治15年12月 (明治)5月28日 (明治)5月22日 (明治)6月19日 (明治12年) (明治7年)甲戌2月28日 (明治11年) (明治)12年12月15日 (明治)13年10月10日	1通・横切継紙 1冊・竪半 1通・竪紙 1通・竪紙 1点・包紙 1通・横切継紙 1通・横切継紙 1通・横切継紙 1通・切紙 1通・横切継紙 1通・横切継紙 1通・切紙 2通・横切継紙 1通・横切継紙 1通・横切紙	た31-2-74 た31-2-75 た31-2-76 た31-2-77 た31-2-78 た31-2-79 た31-2-80 た31-2-81 た31-2-82 た31-2-83 た31-2-84 た31-2-85 た31-2-86 た31-2-87 た31-2-88
--	--	--	--

4 真田家／家政／旧松代藩調達上納金証書再交付願い

真田家会計掛

(調達金証書焼失分還付一件関係書類留一括) 包紙・紐一括 (括り紐) (包紙) 長野縣横田数馬→松代四ノ小区矢野唯見殿 た44を一括した包紙 (旧松代藩調達金関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫) 畔上模仙嘆願雛形[旧松代藩江調達金之儀二付嘆願] (旧松代藩への調達金証書焼失分公債証書還付につき) 第十三大区四小区埴科郡松代安町長国寺住職畔上模仙印・右町用掛→長野縣公債局御中 最後の	10月31日認 明治7年9月	1点 1通・竪切紙 1点・紙縫 1冊・竪半	た43 た43-1 た43-2 た43-3 た43-3-1 た43-3-2
--	---------------------------	------------------------------------	--

4 真田家／家政／旧松代藩調達上納金証書再交付願い

頁に「末書 戸長—— 奥書 区長——」とあり、端朱書「長国寺」			
(天保3年正月から明治4年11月分長国寺他旧松代藩への調達金借用証文留書)		1冊・豎半	た43-3-3
願行寺住職菅原隆泉願書〔御旧藩へ調達金之儀二付歎願〕(旧松代藩への調達金証書焼失のため公債証書還付につき) 四小区松代御安町願行寺住職菅原隆泉印→旧松代県会計掛御中 青色罫紙使用	明治7年10月	1冊・豎半	た43-3-4
〔歎願〕(願行寺旧松代藩への調達金証書焼失分公債証書下渡し願一件関係書類留、嘉永3年正月～明治7年9月) 青色罫紙使用、掛紙あり		1冊・豎半	た43-4
富永新平願書〔旧松代藩債之儀二付願〕(旧松代藩への調達金証書焼失分還付につき) 旧松代県大属会計掛富永新平→長野県参事榑崎寛直殿 青色罫紙使用	明治7年10月	1冊・豎美半	た43-5
(天保2年12月から明治7年9月まで蓮乗寺調達金証書焼失分下渡し一件関係書類留) 青色罫紙使用		1冊・豎半	た43-6
(明治2年7月から明治7年9月分伊勢町児嶋孝之助調達金証書焼失分公債証書願下渡し一件関係書類留) 青色罫紙使用		1冊・豎半	た43-7
児嶋孝之助他一名嘆願〔御旧藩へ調達金之儀二付嘆願〕(旧松代藩への調達金より還付につき) 四小区松代伊勢町七十四番屋敷之内四番借宅児嶋孝之助・町用掛金兒伝右衛門→旧松代県会計掛御中 青色罫紙使用	明治7年9月	1冊・豎半	た43-8
大蔵少輔吉田清成用状写(蓮乗寺・願行寺の株還付の件につき) 大蔵卿大隈重信代理大蔵少輔吉田清成→ 朱書	明治7年5月2日	1通・切紙	た43-9
横田数馬申上書(長国寺住職等の藩債苦情不採用の件取計につき申上書) 横田数馬→ 「長野県」罫紙使用	(明治)10年31日	1通・豎紙	た43-10
(明治3年正月から明治7年9月まで長国寺調達金証書焼失分公債証書下渡し願一件関係書類留)		1冊・豎美半	た43-11
山崎孝友願書〔御旧藩へ調達金之儀二付歎願〕(旧松代藩への調達金証書焼失分公債証書下渡し願につき) 四小区松代田町長国寺住職畔上樺山当節在出二付代判山崎孝友→旧松代県会計掛御中 青色罫紙使用	明治7年10月	1冊・豎半	た43-12
富永新平願書〔旧松代藩債之儀二付願〕(旧松代藩への調達金証書焼失分公債証書下渡し願につき) 旧松代県大属会計掛富永新平→長野県参事榑崎寛直殿 青色罫紙使用	明治7年10月	1冊・豎半	た43-13
蓮乗寺看守緑川性達他一名歎願〔旧松代藩江調達金之儀二付歎願〕(旧松代藩への調達金証書焼失分公債証書下渡し願につき) 四小区松代御安町蓮乗寺看守緑川性達印・町用掛富岡茂助印→旧松代県会計掛御中 青色罫紙使用	明治7年10月	1冊・豎半	た43-14
(長国寺旧松代藩への調達金証文焼失届一件関係書類留)	(天保3年正月～明治5年11月)	1冊・豎美半	た43-15
(住職名書付)		1点・切紙	た43-16
(御用地御小作入上糊帳一括) 紙縫り一括			た70
(紙縫)		1点・紙縫	た70-1
〔御用地御小作入上糊〕(郡村・本八幡村他20村分)		1冊・横長半	た70-2
(奈良井村等元道橋方取付糊高帳へ加入分の用地小作入上糊帳) 朱書き加筆あり		1冊・横長半	た70-3

5 藩政／財方／御蔵初入払勘定ほか諸勘定

(中越村・桐原村等引方直し分の御用地小作入上初帳) 朱書き加筆あり		1冊・横長半	た70-4
(森村・倉科村等村々へ尋ね分の用地御小作入上初帳) 朱書き加筆あり		1冊・横長半	た70-5
(中牧村新田等起高分の用地小作入上初帳) 朱書き加筆あり		1冊・横長半	た70-6
[順操院殿御在所江立帰被相越候哉被仰出候二付申立諸事取調控](安政3年11月28～安政4年4月12日分)	安政3年辰11月	1冊・横長半	た106
真田家家令大熊董他三名願書并大蔵大輔井上馨下ケ札[御賞典米御下ケ渡願](並びに承知の旨井上の回答) 従四位真田幸民家令大熊董・旧松代縣権大参事河原均・同断赤澤蘭溪他1名→長野県御庁	(明治5年)壬申8月	1冊・豎美半	た221
松代庁願書(東京為替会社よりの借入金返済猶予願につき) 松代庁→ 黒色罫紙使用	(明治5年)壬申正月	1冊・豎美半	た222
[長国寺御霊屋并御位牌堂是迄御供養料別当え渡方取調]		1冊・横長半	た223

5 藩政／財方／御蔵初入払勘定ほか諸勘定

勘定所

(御蔵初入払関係書類一括) 旧史料館の紐で一括			た134
(拝借金返済記録)	(天保3年)	1冊・横長半	た134-1
(御蔵入積積関係書類綴)		16点	た134-2
御郡方伺書并付札(酉年御蔵初入積伺並びに伺の通りの旨につき) 御郡方→	(文政8月)10月	1通・横切紙	た134-2-1
(酉年御蔵初入払勘定帳) 初方掛→ た135-2-1の関連の帳面	(文政8月)酉10月	1冊・横長半	た134-2-2
(文政8年初支払記書上)		1通・横切紙	た134-2-3
某伺書(端裏書)[巳十月より午九月迄玄米御払伺]		1通・横切紙	た134-2-4
(文政8年御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→ 綴により開封不能	午10月	1冊・横長半	た134-2-5
御収納郡方伺書并付札[口上覚](辰年御蔵初入積伺並びに伺の通りにつき) 御収納郡方→	(辰)10月	1通・横切紙	た134-2-6
[覚](辰年御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→ た135-2-6に關係の帳面	辰10月	1冊・横長半	た134-2-7
磯田音門他三名伺書并付札[口上覚](丑年御蔵初入積伺並びに伺の通りにつき) 磯田音門・成沢勘左衛門・草間一路他1名→	(丑)11月	1通・横切紙	た134-2-8
[覚](丑年御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→ た135-2-8に關係の帳面	丑11月	1冊・横長半	た134-2-9
岡野弥右衛門他三名伺書[口上覚](未年御蔵初入積伺につき) 岡野弥右衛門・寺内多宮・岡嶋莊蔵他1名→ 下ケ札あり	未10月	1通・横切紙	た134-2-10
(未年御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→	未10月	1冊・横長半	た134-2-11
(卯年御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→	卯10月	1冊・横長半	た134-2-12
[覚](御蔵初入払積勘定帳) 初方掛→	10月	1冊・横長半	た134-2-13

6 藩政／財方／収納勘差引ほか諸勘定

[覚](辰御蔵入払積勘定帳) 初方掛→	辰10月	1冊・横長半	た134-2-14
[覚](辰御蔵入払積勘定帳) 初方掛→ 竹村金吾作成の掛紙あり	辰10月	1冊・横長半	た134-2-15
(御蔵入払積勘定帳)		1冊・横長半	た134-2-16
(初・玄米扶持渡方勘定帳)		1冊・縦半	た134-3
(分限帳)		1冊・横長半	た134-4
(分限帳)		1冊・横長半	た134-5
(稗島川水式尺高普請一件関係書類写留) た134-6は合綴	安政6年	1冊・横長半	た134-6-1
(稗島川水式尺高普請一件関係書類写留)	(安政8年)	1冊・横長半	た134-6-2
[御払ノ取計御勘定不相済分](草履・蕎麦代他未決済分勘定帳)		1冊・横長半	た134-7
[丑大検見廻村中昼泊雑用代村々割合上納覚帳扣]鈴木→		1冊・横長半	た134-8
(小堂見村仙之助小作初一件につき評定記録留書) 小堂見村→	2月25日	1冊・横長美	た134-9
(取立金取調につき上山田村他各村返答書綴)	(8月)	1冊・横長半	た134-10
(御供・名主等へ切米・給初他支給分勘定書)	天保元年寅	1冊・横長半	た134-11
(村別金銭書上)		1冊・横長美	た134-12
(裏町御用地借長屋・眼鏡購入関係書状留)		1冊・横長半	た134-13
(正月初会取入金2000両分差引勘定帳)		1冊・横長半	た134-14
(正月初会取入金2000両差引勘定帳)		1冊・横長半	た134-15
(南沢村他四ヶ村分薪・茶・萱代金勘定帳)		1冊・横長半	た134-16
(御側金・手段金返済分他代金書上)		1冊・横長半	た134-17
(初貸分返済分他入費勘定帳)		1冊・横長半	た134-18
(京都・大坂・江戸在住の松代藩士等へ扶持書上)		1冊・横長半	た134-19
(御荷物駄賃・招魂場御普請御雇大工木挽代等書上)		1冊・横長半	た134-20
(を印・ぬ印戸前の米俵数勘定書)		1冊・横長半	た71
莊二郎他一名書状(源次郎御預所役就任の事につき) 莊二郎・左源太→源次郎様 朱書き加筆あり	2月3日	1通・横切継紙	た72
(御赦・寛典のため減刑の者等書付)	明治3年正月	1冊・横長半	た73

6 藩政／財方／収納勘差引ほか諸勘定

勘定所

(諸帳面断簡綴)		7点・綴	た110
(山方里分作毛書出)		1通・横折紙	た110-1
(収納勘差引勘定書)		1通・横折紙	た110-2

[覚](御膳米摺拵分上納高差引勘定書)		1通・横折紙	た110-3
(日記断簡)		1通・横折紙	た110-4
某申上書[覚](人別御免高銭につき)		1通・横折紙	た110-5
(初高差引勘定書出)		1通・横折紙	た110-6
(鉦・手風呂呂他諸品書出)		1冊・横長半	た110-7

7 藩政／財方／上納金取立帳 勘定所

(利金他取立帳一括) 紙縫一括			た103
(紙縫)		1点・紙縫	た103-1
(利金取立帳) 虫損甚大		1冊・横長半	た103-2
[御武器](利金取立帳) 虫損甚大、綴紐脱		1通・横折紙	た103-3
[御飼料](利金取立帳) 虫損甚大、綴紐脱		1通・横折紙	た103-4
(利金取立帳)		1冊・横長半	た103-5
[御残金](利金取立帳)		1冊・横長半	た103-6
[献金](上納金取立帳)		1冊・横長半	た103-7
[評定所](利金取立帳) 虫損甚大		1通・横折紙	た103-8
[献金](上納金取立帳) 虫損甚大		1冊・横長半	た103-9
(社倉之口他貸付金取立帳)		1冊・横長半	た103-10

8 藩政／財方／中借金運用 勘定所・計政局

(内預金等引替関係書類一括) 包紙一括			た1
[金手形御中借御納戸内預其外引換元帳入](包紙) 出納懸→ た1を一括した包紙と括紐あり、この包紙は明治2年11月酒井市治他二名金子借用証文[覚](御才覚金50両借用証文)作成月岡善平・水野清右衛門・酒井市治、請取春山喜平次、園野敬一郎・岸善八の奥書有り、を反故として使用	明治2年巳11月	1点・包紙	た1-1
草間一路金子借用証文[覚](差掛御用のため中借金1万両につき) 草間一路→佐藤美与喜殿・竹内新七殿・鹿野外守殿	明治2年巳11月14日	1通・堅切継紙	た1-2
出納懸申上書(端裏書)[製造金手形純金引替請払の尋につき] 出納懸→ 掛紙2枚あり、1枚は剥離	12月5日	1通・横切継紙	た1-3
某用状(草間一路中借金差引勘定につき)		1通・切紙	た1-4
某用状[覚](正金カケ居り金銭等差引勘定につき)		1通・横切紙	た1-5
伊東清兵衛他二名用状[覚](伊東清兵衛等への下渡手形金勘定につき) 伊東清兵衛・山崎斗一郎・玉井吉十郎→	巳12月24日	1通・横切継紙	た1-6

9 藩政／財方／藩札引替用資金中借

某用状(預ヶ金2350両勘定書につき)		1通・切紙	た1-7
某用状(正金1万9963両分差引勘定書につき)		1通・横切紙	た1-8
[内預金請取通] 佐川又八郎・水井市治・谷口大角他3名 →岡野敬一郎殿・岸善八殿	明治2年巳11月	1冊・横半半	た1-9
(純金引替金高・金手形等司金方関係金銭勘定帳)		1冊・横長半	た1-10
[記](元松代藩出納掛諸帳面並びに証文他書類取調 につき) 酒井市治→	明治6年11月	1冊・横長半	た1-11
[金手形御中借正金納戸内預并御家中町方引替元 帳] 出納掛→	明治2年巳11月	1冊・横長半	た1-12

9 藩政／財方／藩札引替用資金中借

計政局

(藩札引換関係書類一括 明治4年) 計政局→ 封筒一括			た2
[上金之口官札請取証文入](封筒)	明治4年末2月	1点・封筒	た2-1
(中借金受取証文綴 明治4年2月～9月)		35点	た2-2
宮沢善治中借金受取証文[覚](差懸御用のため官札 にて5000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池田富 之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月10日	1通・縦紙	た2-2-1
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて3000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月14日	1通・縦紙	た2-2-2
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて500両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月15日	1通・縦紙	た2-2-3
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月18日	1通・縦紙	た2-2-4
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月20日	1通・縦紙	た2-2-5
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末2月28日	1通・縦紙	た2-2-6
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて2000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月7日	1通・縦紙	た2-2-7
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて500両余につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・ 池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月13日	1通・縦紙	た2-2-8
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年辛未3月17日	1通・縦紙	た2-2-9
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため 官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池 田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末3月28日	1通・縦紙	た2-2-10
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため	明治4年末3月28日	1通・縦紙	た2-2-11

官札にて1560両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名			
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて3480両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末4月12日	1通・豎紙	た2-2-12
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて1000両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末4月12日	1通・豎紙	た2-2-13
宮沢善治中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて1700両につき) 宮沢善治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	明治4年末4月20日	1通・豎紙	た2-2-14
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末5月2日	1通・豎紙	た2-2-15
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末5月9日	1通・豎紙	た2-2-16
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて2700両につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年辛未5月15日	1通・豎紙	た2-2-17
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・斉藤善九郎殿他1名 請取人の箇所に掛紙あり	(明治)4年辛未5月22日	1通・豎紙	た2-2-18
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・助斉藤善九郎殿他1名	明治4年末5月28日	1通・豎紙	た2-2-19
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて1900貫文につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・斉藤善九郎殿他1名	明治4年末6月3日	1通・豎紙	た2-2-20
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて金300両につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・同斉藤善九郎殿他1名	明治4年末6月4日	1通・豎紙	た2-2-21
富永新平受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・助斉藤善九郎殿他1名	(明治)4年辛未6月8日	1通・豎紙	た2-2-22
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両と銭1000貫文につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・斉藤善九郎殿他1名	明治4年辛未6月15日	1通・豎紙	た2-2-23
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・助成本治左衛門殿・助斉藤善九郎殿他3名	明治4年末6月22日	1通・豎紙	た2-2-24
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて400両と銭1000貫文につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他2名	(明治)4年末6月28日	1通・豎紙	た2-2-25
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて400両銭1000貫文につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末7月8日	1通・豎紙	た2-2-26
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて400両銭1000貫文につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末7月18日	1通・豎紙	た2-2-27
富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	(明治4年)辛未8月	1通・豎紙	た2-2-28

9 藩政／財方／藩札引替用資金中借

富永新平中借金受取証文[覚](藩札引替御用のため官札にて500両につき) 富永新平→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	(明治4年)辛未8月12日	1通・竪紙	た2-2-29
宮沢善治他一名中借金受取証文[覚](官札返済分藩札で返済のため1000両につき) 宮沢善治・所式分見合富永新平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末8月24日	1通・竪紙	た2-2-30
富永新平中借金受取証文[覚](旧藩中上金官札納分藩札払残金の内有合分908両2分1朱につき) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未9月	1通・竪紙	た2-2-31
富永新平中借金受取証文[覚](旧藩中上金官札納分藩札払残銭8071貫73文につき) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未9月	1通・竪紙	た2-2-32
富永新平中借金受取証文[覚](旧藩中上金官札納分追々上納の内有合分50両と銭42貫724文につき) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月晦日	1通・竪紙	た2-2-33
富永新平中借金受取証文[覚](旧藩中上金官札納分追々上納の内有合分130両銭484貫743文につき) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月18日	1通・竪紙	た2-2-34
(藩札引換代幣金関係書類綴 明治4年)		15点	た2-3
高野莠叟用状[記](議員局より会計方へ移管つき上金の内藩札引替残金等取計い願につき) 高野莠叟→司金御中	(明治4年)辛未8月	1通・竪紙	た2-3-1
高野莠叟用状[記](宮沢善治の引換え藩札代についての懸合の旨承知につき) 高野莠叟→	(明治4年)辛未4月	1通・竪紙	た2-3-2
高野莠叟用状[記](宮沢善治の手札引換代についての懸合の旨断りにつき) 高野莠叟→	(明治4年)辛未4月12日	1通・竪紙	た2-3-3
高野莠叟他一名用状[記](宮沢善治の藩札引纏代についての懸合の旨断りにつき) 恩田新六・高野莠叟→	(明治4年)辛未3月	1通・竪紙	た2-3-4
高野莠叟他一名用状[記](宮沢善治の藩札引換代についての懸合の旨承知につき) 恩田新六・高野莠叟→	(明治4年)辛未3月	1通・竪紙	た2-3-5
高野莠叟用状[記](宮沢善治の藩札引換代の中借金2000両請け取りの旨承知につき) 恩田新六・高野莠叟→	(明治4年)辛未3月7日	1通・竪切紙	た2-3-6
恩田新六書状(藩中の指出官札の内3000両会計局富永氏へ受渡し願につき) 恩田新六→司金方様	(明治4年)2月28日	1通・横切紙	た2-3-7
菅鉞太郎用状[記](宮沢善治申年分藩札引替代高1000両中借願の旨承知につき) 菅鉞太郎→	(明治4年)辛未2月28日	1通・竪切紙	た2-3-8
菅鉞太郎用状[記](宮沢善治藩札引換代幣中借金1000両について懸合の旨承知につき) 菅鉞太郎→	(明治4年)辛未2月12日	1通・竪切紙	た2-3-9
菅鉞太郎他一名用状[記](宮沢善治の藩札引換代幣中借金受取りについて懸合の旨承知につき)並び菅鉞太郎他一名用状[記](宮沢善治の藩札引換代幣中借金受取りについて懸合の旨承知につき) 高野莠叟・菅鉞太郎／恩田新六・菅鉞太郎→/- 2通一継	(明治4年)辛未2月15日 ～18日	1通・竪切継紙	た2-3-10
菅鉞太郎用状[記](引換代幣金1000両立ち戻しの件会計方より懸合の旨承知につき) 菅鉞太郎→	(明治4年)辛未2月12日	1通・竪切紙	た2-3-11
高野莠叟用状[記](上田管下戸部村去冬借入藩札日々引換返済金について宮沢善治懸合の旨承知につき) 高野莠叟→	(明治4年)辛未5月15日	1通・竪切紙	た2-3-12
大日方四郎兵衛他一名用状(金300両銭1900貫文引替の上受渡しにつき) 議院当参内牧野大右衛門・大	(明治4年)6月5日	1通・横切紙	た2-3-13

日方四郎兵衛→司金御中			
議員願書(残金10両余支配卒へ至急納入の件取計い願につき) 議員→用度方様・用金方様	(明治4年)6月17日	1通・横切紙	た2-3-14
菅帰一郎他一名書状(官札引換代幣下ヶ渡願等につき)(菅)帰一郎・鉦太郎→用金方様	(明治4年)6月22日	1通・横切継紙	た2-3-15
庶務用状(藩札上納分官札にて上納の旨につき) 庶務→	(明治4年)未7月12日	1通・横切紙	た2-4
某用状(上金官札分・藩札金銭差引勘定書) た2-3に挟み込まれていたもの、後欠か	(明治4年)	1通・横切継紙	た2-5
矢代村新村安兵衛願書[乍恐以書付奉申上候](東京御用達金官札にて引換へ下渡し願等につき) 矢代村新村安兵衛→会計方出納方御役所	明治4年末11月	1冊・縦冊	た3
(藩札引替関係書類一括) 巻込一括			た20
某通達留(紙幣統一のため藩札引換相談取調につき)「松代藩」黒色罫紙使用	(明治4年)辛未7月	1冊・縦紙	た20-1
某申上書(引替準借金と現金高等取調につき)	(明治4年)	1通・横切紙	た20-2

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

勘定所・計政局

[表御納戸御内借通帳入](袋) 御払方→	文久2年戊8月改	1点・袋	た64-2
(御勘定帳断簡)		1通・横切紙	た64-3
越前国新潟町大月屋藤藏他一名願書[乍恐以書附奉願上候](松代商法会社の御国産物売却・御国用物品質上願につき) 越前国新潟町大月屋藤藏・同国亀田町村木知之助→松代商法御掛り御役人御衆中様	明治2年巳8月	1通・縦継紙	た64-4
笹平村名主米藏他二名申上書(末年居家惣潰・流失につき本新田開発人足積書上) 笹平村名主米藏・組頭勝右衛門・同断源右衛門→	嘉永2年酉8月	1通・横折紙	た64-5
(御用日記断簡) 虫損甚大		1通・縦切紙	た64-6
(境新田村薬王寺除地願につき反別書上)		1通・横折紙	た64-7
[桜村広土開発田直用水溜池新構築立御普請御積] 道橋附宮下吉大夫・立台海沼喜一郎→ 綴紐脱	卯8月	1冊・横長半	た64-8
(次坂村御藏納高等諸役高書付) 綴紐脱		1冊・横長半	た64-9
某願書(大雨につき新町村居家水入人別手当支給につき) 後欠		1冊・横長半	た64-10
(元利金差引勘定書)		1冊・横長半	た64-11
(古拝借積金等元利書付一括) 紙縫一括			た64-12
(紙縫)		1点・紙縫	た64-12-1
(古拝借積金等元利書付綴)		3点	た64-12-2
[増治引請之方](評議役の口等元利金書付)		1冊・横長半	た64-12-2-1
[荘治引請之方](評議役の口等辰年元利金につき)		1冊・横長半	た64-12-2-2
(拝借積金年々元利書付差引勘定帳)		1冊・横長半	た64-12-2-3

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

(勘定帳断簡)		1通・横切紙	た64-13
(江戸出御用金・中借金等金銭関係一括) 袋と紙縫で一括			た64-14
[御賄料仕分帳・天保十二丑閏正月申立扣岡本広人、元分より御用金渡置渡通帳・卯三月十七日竹花へ渡遣、同断御勘定帳御払中借調帳、御奥女中金子拝借受払帳](袋) た64-14-3～13を入れる、袋の表と裏に括紐あり		1通・袋	た64-14-1
(紙縫) た64-14-3～13を一括		1点・紙縫	た64-14-2
[辰年中江戸出御用金元帳へ出]		1冊・縦半	た64-14-3
[巳年中江戸出御用金元帳へ出] 下ケ札あり		1冊・縦半	た64-14-4
[覚](本文残金引違いにつき) 下ケ札あり		1通・切紙	た64-14-5
[午年中江戸出御用金元帳へ出]		1冊・縦半	た64-14-6
(残金辻未閏引違いにつき書付)		1通・横切紙	た64-14-7
(御側・順母・弟お手当金内借金日記書抜)	天保9年戌12月 ～天保14年12月	1冊・横長半	た64-14-8
(御納戸御手入置取替作事代上納等金銭書付)	寅7月17日～卯3月朔日	1通・横切紙	た64-14-9
[卯正月より九月中迄御中借金請払調帳] 竹花甚右衛門→杉田九八郎殿 後半御中借金同年九月～十月分一部山本嘉十郎へ引渡書付があり	天保14年10月	1冊・縦半	た64-14-10
[御上納金受取手帳]	天保13年8月より	1冊・横半半	た64-14-11
[年々御勘定帳分高書抜](天保7年から14年まで勘定帳歩高書抜) 杉田九八郎操→	天保13年6月調	1冊・横長半	た64-14-12
[御前様御守政所置附御日記書抜](天保6年～14年) 杉田九八郎→	天保6年末～天保12年	1冊・横長半	た64-14-13
(金子送金願等につき書状) 九八郎→口美様 破損甚大で判読不能部分多し		1通・横切紙	た64-14-14
(諸入費関係書類一括) 紙縫一括			た64-15
(紙縫)		1点・紙縫	た64-15-1
(給禄等諸費受取証文)		1冊・横長半	た64-15-2
(割番・小納戸等役職の諸費用書付)		1冊・横長半	た64-15-3
(未年中江戸御用金臨時引訳一紙) 御勝手元へ→	寅11月	1冊・横長半	た64-15-4
[文久四子年正月より表御納戸金銭被仰覚]	文久4年子正月～7月	1冊・横長半	た64-15-5
[見出し](高掛り上納・京都出銭等勘定覚)		1冊・横長半	た64-15-6
[女中分](女中分上納金名面書)	亥6月～寅6月	1冊・横長半	た64-15-7
[家中中等借金・借入金関係留]	戊正月15日～巳年8月5日	1冊・横長半	た64-15-8
(亥年初年貢収支差引勘定帳)	亥	1冊・横長半	た64-15-9
(南沢・中島分初年貢収支差引勘定帳)		1冊・横長半	た64-15-10
(山中分・里分村別納入金銭書付帳)		1冊・横長半	た64-15-11
(嘉永3年から万延元年まで利足金・御内用金書付)	嘉永3年戊正月16日～ 万延元年2月18日	1冊・横長半	た64-15-12

(金銭勘定一括) 巻込一括			た64-15-13
(年別荷物会所掛金等金銭調覚)		1冊・横長半	た64-15-13-1
(末年切米差引金銭勘定等書付)		1通・横切紙	た64-15-13-2
(預所手附・物書の金銭書付) 貼紙あり		1通・横折紙	た64-16
(城内諸番所番人御賞典高書付)		1冊・横長半	た64-17
[覚](郡村騒立のため市郎兵衛等風聞取調覚)		1冊・横長半	た64-18
岸田欽治他一名申上書[覚](鶴屋与惣方による止宿飯料下金につき申上書) 岸田欽治・山崎甚兵衛→ 民事懸の掛紙あり、下ケ札あり	未5月20日	1冊・横長半	た64-19
下横田村金三郎願書[口上覚](山王神事前の自普請場にて右取り勤めの始末についての執成願につき) 下横田村金三郎→	文政10年亥4月	1冊・横長半	た64-20
西組頭嘉金治他一名願書[御内々密々御伺申上候](石横領等利左衛門不埒への事へ取計らいの件内々執成願につき) 西組頭嘉金治・同長百姓和重郎→	文政10年亥4月	1冊・横長半	た64-21
岡崎荘蔵他三名伺書(下宮野尾村等拝借金上納年賦利下げ願の件につき) 岡崎荘蔵・竹村金吾・山寺源大夫他1名→	11月	1冊・横長半	た64-22
[御余計懸より銭請取元帳]	戌3月	1冊・横長半	た64-23
(去卯年振替米代上納返済延期につき内願書・返事等留) 真田信濃守内玉井繁之助/金沢会計掛→-/	5月	1冊・横長半	た64-24
(柘植彦六等藩士へ支給の石代金一人別勘定書) 下ケ札あり		1冊・横長半	た64-25
(郡方・御目付等二等之下支配下の藩士書付)		1冊・横長半	た64-26
割付取立掛り丸山平右衛門他一名用状[覚](大検見雜用代取立覚につき) 割付取立掛り丸山平右衛門・渡辺承之助→	5月	1冊・横長半	た64-27
(藩士分拝借金・上納金覚 文政9年4月～嘉永4年3月)		1冊・横長半	た64-28
(更級郡田野口等村別高覚)		1冊・横長半	た64-29
(藩士他の拝借金・暇等例書)		1冊・横長半	た64-30
銅山惣兵衛用状[覚](銅山稼方入用道具拝借につき) 銅山惣兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様 継紙あり	安政3年辰10月	1冊・横長半	た64-31
(犀川通村々堤延長間・川巾杭等覚)		1冊・横長半	た64-32
中尾村与代勘九郎受取状(片岡八郎兵衛分の米・横手役人米等) 中尾与代勘九郎→角間川吉右衛門殿	寛政9年巳12月26日	1冊・横長半	た64-33
(松代藩・他国の僧侶等覚)		1冊・横長半	た64-34
[六月中東京御用金出積] 下ケ札あり	6月25日	1冊・横長半	た64-35
(下目付等藩士御賞高書付) 付箋あり		1冊・横長半	た64-36
(一人別献金高覚)		1冊・横長半	た64-37
(一人別頂戴金・拝借金覚)		1冊・横長半	た64-38
(藩士耆人別貸付金元金および利足覚)		1冊・横長半	た64-39
(慶応2年から明治4年まで差掛御用や官札御入料等のため中借金覚)	慶応2年寅12月晦日～明治4年未7月2日	1冊・横長半	た64-40

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

(おまさ様床上内祝他祝儀関係留) 付箋あり		1冊・横長半	た64-41
(紋付硯箱・吸物碗等調度品代金覚)		1冊・横長半	た64-42
(北越軍用金・御蔵内並びに向々品々払金等金銭覚)		1冊・横長半	た64-43
(辰下金・才覚金等奥向差引勘定書) 綴紐で結付		1通・横折紙	た64-44
[已暮御払御減積](京都御用金等減積) 朱書で項目分けの数字あり、下ケ札あり		1冊・横長半	た64-45
(吉田村加茂十太夫口留番出精のため永浪人申渡し関係留)	天保15年辰6月27日 ～(弘化2年)2月	1冊・横長半	た64-46
[戌毛附馬亥馬杭口銭上納請取元帳] 片桐惣右衛門・宮原莊左衛門／(奥印)高野覚之進／(奥印)寺内多宮・岡嶋莊蔵・金児丈助→	天保10年亥10月	1冊・横長半	た64-47
[金銭請払取調](筆墨料や出張の酒肴料等諸入用の差引勘定並びに相原織之助上納寄出)		1冊・横長半	た64-48
割番申上書(弘化4年から嘉永6年まで飛脚賃に関する例書提出につき) 割番→	(嘉永6年)丑2月	1冊・横長半	た64-49
(川口村等村別金銭覚)		1冊・横長半	た64-50
(桑原村等村高覚)		1冊・横長半	た64-51
(鈕・碓地代金等覚)		1冊・横長半	た64-52-1
(駄賃等差引勘定書) た64-52-1に挟込み		1通・横切継紙	た64-52-2
[懸出作分取米調](倉科村等4ヶ村分)		1通・横折紙	た64-53
(京都・甲府御供の賄代・入料等覚)		1冊・横長半	た64-54
(七金・献金等礼金差引勘定書)		1冊・横長半	た64-55
(丹波島村礼金の元利と滞納分勘定書)		1冊・横長半	た64-56
(自普請勘定帳・人足遣勘定帳等文書目録) 綴紐で結付		1冊・縦半	た64-57
元松代県少属近藤義鋼他三名嘆願書[外国負債金拝借願](小銃等買上代洋引負金返済のため洋銀拝借につき) 元松代県少属近藤義鋼・元松代県権大属小野忠政・元松代藩権大参事大熊教正他1名→大蔵省御中 松代藩算紙使用	(明治5年)壬申4月	1冊・縦半	た64-58
(諸用状一括)			た128
石川新八申上書(御名代御使者等八朔の献上の件落着につき) 石川新八吉春(花押)→寺内友右衛門殿・谷口弥左衛門殿・山寺源太夫殿 裏打あり	8月1日	1通・横切紙	た128-1
はして用状(盃下賜の件問い合わせの返答につき) はして→片羽様	正月4日	1通・横切継紙	た128-2
(宮原柔兵衛横浜での御用状綴)		5点	た128-3
更級郡大黒屋大谷幸蔵用状(宮原柔兵衛横浜にて鉄砲購入資金用達遅滞の旨奉行へ執成しの件につき) 大谷幸蔵→酒井市治様 下ケ札あり、虫損甚大	7月1日	1通・横切継紙	た128-3-1
大谷幸蔵用状(御用達金出金遅滞の件勘弁の旨につき) (大谷)幸蔵→酒井(市治)様 虫損甚大		1通・横切紙	た128-3-2
大谷幸蔵用状(先刻御願の件執成し願につき) 大谷幸蔵→酒井市治様	13日	1通・横切紙	た128-3-3
某用状[覚](鉛・洋銀勘定書)		1通・横切紙	た128-3-4

宮原柔兵衛用状(横浜にて蚕種紙売込みのため下ヶ金頂戴願等につき)(宮原)柔兵衛→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	6月23日	1通・横切継紙	た128-3-5
(藩主神宮参詣関係書類綴)		2点	た128-4
望月帰一郎願書(殿様神宮無事参詣につき) 望月帰一郎敬愛(花押)→鹿野茂手木様・河原敬之進様・祢津刑左衛門様 虫損甚大	4月14日	1通・横切紙	た128-4-1
吉沢助之進願書(殿様神宮無事参詣につき) 吉沢助之進安実(花押)→鹿野茂手木様・河原敬之進様・内林平蔵様他6名 虫損甚大	4月	1通・横切紙	た128-4-2
(雑書状綴)		4点	た128-5
某用状(書状拝見と請の執成し願につき)	8月4日	1通・横切継紙	た128-5-1
五郎右衛門請書(書下一封拝見につき) 五郎右衛門→孫兵衛様	8月7日	1通・横切紙	た128-5-2
孫兵衛請書(明日真常院様御霊屋参詣のため先詰勤仕につき) 孫兵衛→極人様	5月26日	1通・横切紙	た128-5-3
佐藤敬之進用状(大殿様よりの書下につき)(佐藤)敬之進→孫兵衛様	正月15日	1通・横切継紙	た128-5-4
真田志摩守用状(儉約中のため参府の節馳走無用につき) 真田志摩守→一場茂右衛門殿 裏打あり	10月4日	1通・横切紙	た128-6
包紙[御用答] 伊藤善蔵→岡野敬一郎殿 た128-7は合綴		1点・包紙	た128-7-1
佐藤美与喜与喜用状(朝廷へ提出の式金落手につき)(佐藤)美与喜→(岡野)敬一郎様	(明治3年)庚午11月3日	1通・横切継紙	た128-7-2
草間一路用状(水野真次郎台場陣屋へ出張等江戸の状勢並びに本状密読につき)(草間)一路→御兩人様	正月7日	1通・横切継紙	た128-8
(江戸守役書状一括 安政2年5月) 紙縫一括			た128-9
(紙縫)		1点・紙縫	た128-9-1
[東照宮天下御一統之干支公辺之御祝](封筒) 伊藤肇→山寺源太夫様・高山内蔵進様 た128-9-1-2の包紙	(安政2年)	1点・封筒	た128-9-2-1
伊藤環申上書(東照宮天下一統の干支のため能開催につき)(伊藤)環→(山寺)源太夫様・三右衛門様・(高山)内蔵進様	(安政2年)5月4日	1通・横切継紙	た128-9-2-2
(八丁堀様江戸深川下屋敷借用の件等南部坂守役書類一括) 封筒一括			た128-9-3
[御用 御送物并八丁堀御前様深川御屋敷拝借等之事](封筒) 小野肇・谷口弥右衛門→山寺源太夫様・高山内蔵丞様 裏印「松代南奥守役之記」	(安政2年)	1点・封筒	た128-9-3-1
谷口源太夫他一名用状(御前様八丁堀深川屋敷借用の件につき)(谷口)弥右衛門・(小野)肇→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様	(安政2年)5月4日	1通・横切継紙	た128-9-3-2
谷口弥右衛門他一名用状(殿様道中の荷物進上等につき)(谷口)弥右衛門・(小野)肇→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様	(安政2年)5月4日	1通・横切継紙	た128-9-3-3
兩人用状(別紙送付の件につき) 兩人(谷口弥右衛門・小野肇)→御三人様(山寺源太夫・磯田音門・高山内蔵進)	(安政2年)5月4日	1通・切紙	た128-9-3-4
[御用](封筒) 伊藤環→山寺源太夫様・高山内蔵丞様 た128-4-2の封筒、裏印「在府松代側役之記」印あり	(安政2年)	1点・封筒	た128-9-4-1

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

伊藤環用状(高川森嶺下田より帰着の件につき)(伊藤)環→(山寺)源太夫様・三右衛門様・(高山)内蔵進様	(安政2年)5月4日	1通・横切継紙	た128-9-4-2
(八丁堀様深川屋敷移転等の件南部坂守役書状一括)封筒一括	(安政2年)		た128-9-5
[御用、八丁堀様十四日南部坂様へ御入り之事](封筒) 小野肇・谷口弥右衛門→山寺源太夫様・高山内蔵丞様 裏印「松代南奥守役之記」あり	(安政2年)	1点・封筒	た128-9-5-1
谷口弥右衛門他一名用状(奥様深川八丁堀屋敷の件につき)(谷口)弥右衛門・(小野)肇→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 端裏書あり	(安政2年)5月10日	1通・横切継紙	た128-9-5-2
某用状[書状着](書状6通達し依頼につき)	(安政2年)5月14日達	1通・切紙	た128-9-5-3
玉川一学願状(昨年中の職禄その筋へ支給伝達願の件につき)(玉川)一学→草間寛覚	10月2日	1通・横切継紙	た128-10
国蔵願状(梅漬り献上通知につき) 夏和村元五右衛門と申先の別家国蔵	4月27日	1通・横切継紙	た128-11
恩田鞆負用状(京都大法院利安全について評議の件につき) 恩田鞆負→岡嶋永蔵殿	11月13日	1通・横切継紙	た128-12
真田志摩用状(人馬帳完成につき) 真田志摩→一場茂右衛門殿	10月10日	1通・切紙	た128-13
水野清右衛門用状(東京表御用金上納のため先触下ヶ渡等の件につき)(水野)清右衛門→酒井(市治)様	7月29日	1通・横切継紙	た128-14
大助用状(矢代塩崎論所並びに御乗出振舞いの件につき) 大助→(岡嶋)莊蔵様・(水野)権右衛門様 端裏書あり	9月13日	1通・横切継紙	た128-15
水野権右衛門用状(御用物料3両落手願等につき)(水野)権右衛門→孫兵衛様	正月22日	1通・横切継紙	た128-16
七右衛門願状(肴町出張三戸郡良之助内願の件執成し願につき) 七右衛門→(一場)茂右衛門様	12月24日	1通・横切継紙	た128-17
茂之助用状(賞典並びに土族明細短冊等の件差図取計い願につき) 茂之助→橋之助様・(馬場)廣人様・(馬場)数馬様	2月26日	1通・横切継紙	た128-18
駒村十郎申上書(熊野三山へ割合金返済引当金督促につき)(駒村)佐十郎→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月9日	1通・横切継紙	た128-19
某建議書(人減反対につき月給減略等仕法書)		1冊・横長半	た128-20
佐藤則通用状(山穂苅村社額面染筆の件執成し願等につき)(佐藤)則通→御兩人様	7月3日	1通・横切継紙	た128-21
兩人用状(貞松院上京の件内談等並につき) 兩人→御兩人様 端裏書「御内披」	2月28日	1通・横切継紙	た128-22
兩人用状(磯田大老人九十五歳の高齢且功勞のため手当支給願等につき) 兩人→御兩人様	7月25日	1通・横切継紙	た128-23
包紙[御用答] 斎藤友衛・祢津繁人→中俣一平様・師岡源兵衛様		1点・包紙	た128-24-1
祢津繁人他二名用答(大殿様より殿様へ直書進上の件言上願につき)(祢津)繁人・敬之進・(斎藤)友衛→(中俣)一平様・儀右衛門様・(師岡)源兵衛様	7月23日	1通・横切継紙	た128-24-2
[御用](封筒) 中俣一平→宮下謙大夫様		1点・封筒	た128-25-1
中俣一平用状(御供の医師や坊主への代料についての書面回覧の件につき)(中俣)一平→(宮下)謙大夫様	3月1日	1通・横切継紙	た128-25-2

中俣一平他一名用状(京地赤銅の掟金送金の件等につき) 中俣一平・宮下孫兵衛	8月9日	1通・横切紙	た128-26
(上京関係真田志摩用状綴)		4点	た128-27
真田志摩用状(御趣意により明朝に延引の旨につき) 真田志摩→中俣一平殿 差出・受取は端裏書による	3月20日	1通・横切紙	た128-27-1
真田志摩用状(他用のため26日発足不能旨につき) 真田志摩→中俣一平殿 差出・受取は端裏書による	3月23日	1通・横切紙	た128-27-2
真田志摩用状(明日内々帰路につき) 真田志摩→中俣一平殿 差出・受取は端裏書による	3月24日	1通・横切紙	た128-27-3
真田志摩用状(御不快のため明後日まで逗留の心得えの旨につき) 真田志摩→中俣一平殿 差出・受取は端裏書による	11月1日	1通・横切紙	た128-27-4
望月主水用状(先般夜面会の件につき) 望月主水→山寺源太夫殿・磯田音門殿・高山内蔵進殿 端裏書「正月五日付二而返事済」	12月晦日	1通・横切継紙	た128-28
恩田奎用状(某家老職任命出府のため増馬の件につき) 恩田奎→岡嶋庄蔵殿 差出・受取は端裏書による	4月5日	1通・横切継紙	た128-29
斎助用状(御家内様東京へ発向にかかる用支給願につき) 斎助→清右衛門様 差出・受取は端裏書による	10月10日	1通・横切継紙	た128-30
鎌原溶水用状(貞松院借財返済仕法の取計いの指示につき) 鎌原溶水→馬場弥三郎殿 差出・受取は端裏書による、端裏書「老印」	3月15日	1通・横切継紙	た128-31
(包紙) 山田庄左衛門→宮澤善治様・水野清右衛門様 た128-32は合綴		1点・包紙	た128-32-1
山田庄左衛門用状(金融の件盆前のため交付延期の件につき) 山田庄左衛門→宮澤善治様・丸山清右衛門様・水野清右衛門様	7月20日	1通・横切継紙	た128-32-2
幡場潤蔵他一名申上書(課業金取調べの件につき) 近藤伊前・幡場潤蔵→酒井市治様 差出・受取は端裏書による	1月21日	1通・横切継紙	た128-33
佐藤美与喜用状(蔵俵取調の件につき) (佐藤)美与喜→(富永)新平様	1月23日	1通・横切継紙	た128-34
某用状(利初一条の件につき)	11月11日	1通・横切継紙	た128-35
大川町兩人願書(金銀銭等売買の者穿鑿取調願につき) 大川町兩人→御詰合中様	7月28日	1通・横切継紙	た128-36
堀内太一郎友宜用状(暑中見舞いにつき) 堀内太一郎友宜(花押)→宮下孫兵衛様	6月25日	1通・横切紙	た128-37
太田藤右衛門他一名申上書(大蔵省への返納金1500両等につき) 太田藤右衛門→酒井市治様 端裏書「金札五百両添え」	1月8日	1通・横切紙	た128-38
(包紙) 草間元司→高田幾太様 掛紙あり、た128-39は一綴		1点・包紙	た128-39-1
草間元司申上書并指示札(中澤修左衛門用立金並びに坂本常之丞へ伺う旨につき) 草間元司→(高田)幾太様	2月7日	1通・横切継紙	た128-39-2
松木源八用状(与兵衛嘆願の件用談につき) 松木(源八)→岡嶋(莊蔵)様	11月13日	1通・横切継紙	た128-40
草間元司用状(逗留のため後日挨拶の旨承知につき) (草間)元司→守衛様		1通・切紙	た128-41
松木源八用状(下河原村訴訟の訴状加筆前のものと	1月28日	1通・横切継紙	た128-42

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

引替えの件につき) (松木)源八→(岡嶋)莊藏様			
佐藤美与喜用状(鷹札引換一件につき) 佐藤美与喜 →真桜山(真田志摩)様	11月27日	1通・横切継紙	た128-43
惣五郎用状(学問のこと等近況報告につき) 惣五郎 →御兄様	7月9日	1通・横切継紙	た128-44
野中軍兵衛用状(下げ金引渡しの日限り等につき) 野中軍兵衛→酒井市治様	5月10日	1通・横切継紙	た128-45
野中軍兵衛申上書(回収の贖金札蔵入りの件何等に つき) 野中軍兵衛→酒井市治様	5月9日	1通・横切継紙	た128-46
茂用状(貞松院通行通りの掃除につき) 茂→(山本)権 平様	10月8日	1通・横切紙	た128-47
関田恭蔵申上書(借人交代のため手当・賄代等の件に つき) (関田)恭蔵→(酒井)市治様 端裏書「達 関田氏」	10月7日	1通・横切継紙	た128-48
宮沢善治用状并喜十郎勘返状(杏仁荷出しの仕方の 件並びに承知の旨につき) (宮沢)善治→(松本)嘉十 郎様・(高野)覚之進様・(宮本)慎助様	8月29日	1通・横切継紙	た128-49
(伊藤環書状綴)		4点	た128-50
伊藤環書状「(端裏書) [伊藤氏月琴等之返事] (伊藤) 環→ (山寺)源太夫様・音右衛門様・(高山)内蔵進様	正月22日	1通・横切継紙	た128-50-1
伊藤環書状(端裏書) [伊藤氏朋笛之事] (伊藤)環→(山 寺)源太夫様・音右衛門様・(高山)内蔵進様	正月24日	1通・横切継紙	た128-50-2
伊藤環書状(端裏書) [八丁堀御前様御事] (伊藤)環→ 御三君様(山寺源太夫・音右衛門・高山内蔵進)	正月24日	1通・切紙	た128-50-3
伊藤環書状(端裏書) [伊藤氏] (信玄弁当の事につき) (伊藤)環→(山寺)源太夫様	正月24日	1通・横切継紙	た128-50-4
柘植嘉兵衛申上書(玉川一学用番任命等諸事用向に つき) 柘植嘉兵衛→鎌(原)伊野右衛門様	11月30日	1通・横切継紙	た128-51
(上坂関係書類綴)		3点	た128-52
某用状(松兵衛御蔵所にて他勤の旨他につき)		1通・横切紙	た128-52-1
某用状(京都・大坂諸色高直の旨他につき)		1通・横切紙	た128-52-2
御用場守友七用状(小山安兵衛大坂への出立金借用 の旨承引願他につき) 御用場守友七→宮(宮沢)善治 様・野(野中)喜左衛門様・酒(酒井)市治様 端裏書「亥二月」	正月18日	1通・横切継紙	た128-52-3
花尾相原用状(太政官日誌等諸日誌送付につき) 花 尾相原→入様	7月12日	1通・横切継紙	た128-53
(御殿普請金他諸用状綴)		14点	た128-54
坂本五一郎書状(端裏書) [坂本氏より御飯米之事] (御殿普請金他につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助 様・[]様 裏打あり	9月27日	1通・横切継紙	た128-54-1
坂本五一郎書状(御殿普請金等送金の件につき) (坂 本)五一郎→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様 裏打あり	8月7日	1通・横切継紙	た128-54-2
草間元司他一名書状(端裏書) [御出張其外御普請御 引当出之事] (草間)元司・(竹村)金吾→(磯田)音門 様・(宮本)兵馬様 裏打あり		1通・横切継紙	た128-54-3
坂本五一郎書状(御殿普請金等運用の仕法等につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様 裏打 あり	5月6日	1通・横切継紙	た128-54-4

坂本五一郎書状(貞姫様入用金伺書提出の件承知等入用金関係につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已閏5月7日	1通・横切継紙	た128-54-5
坂本五一郎書状(端裏書)[坂本氏御状](内用金利足の件他につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已閏5月7日	1通・横切継紙	た128-54-6
坂本五一郎用状(恒照院仁怒講掛金出勤の件他につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	4月2日	1通・横切継紙	た128-54-7
坂本五一郎用状(端裏書)[村上英俊老拝借御聞済之事](100両拝借の件等につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	已10月7日	1通・横切継紙	た128-54-8
草間元司他一名願書(端裏書)[御金出之事](御殿普請金並びに内海警護金他出金願につき)(草間)元司・(竹村)金吾→(磯田)音門様・(宮本)兵馬様・(高田)幾太様	6月7日	1通・横切継紙	た128-54-9
坂本五一郎用状(端裏書)[坂本氏より](御殿普請金の拝借の件他につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已6月8日	1通・横切継紙	た128-54-10
坂本五一郎用状(端裏書)[坂本氏より](御殿普請臨時入用金伺の件につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已6月7日	1通・横切継紙	た128-54-11
草間元司他一名願書(端裏書)[御金出之事](御殿普請金並びに内海警護金他出金願につき)(草間)元司・(竹村)金吾→(磯田)音門様・(高田)幾太様	4月7日	1通・横切継紙	た128-54-12
坂本五一郎用状(端裏書)[坂本氏御殿壺之割之内并表御門御入用且正より四月迄共御引当也](坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已2月7日	1通・横切継紙	た128-54-13
坂本五一郎用状(端裏書)[坂本より](恒照院仁怒講掛金出勤の件他につき)(坂本)五一郎→(片桐)重之助様	已2月19日	1通・横切継紙	た128-54-14
清志願書(内願米の下賜の件内々伺につき) 清志→富永(新平)様	8月	1通・横切継紙	た128-55
某用状(本証書取極済分他諸入用勘定書)		1冊・豎半	た5
(玄米御買上間金請払勘定書一括 安政3年2月～文久元年2月) 旧史料館の紐一括			た28
中澤修左衛門他一名勘定書(申年中玄米買上間金請払につき) 中澤修左衛門・寺沢収蔵／(奥書)春山吉治→	文久元年酉2月	1冊・豎半	た28-1
酒井栄助勘定書(辰年中玄米買上間金請払勘定書上) 酒井栄助／(奥書)玉井繁之助→	安政4年巳3月	1冊・豎半	た28-2
中澤修左衛門勘定書(卯年中玄米買上間金請払勘定書上) 中澤修左衛門／(奥書)玉井繁之助→	安政3年辰2月	1冊・豎半	た28-3
(午12月～申3月皆納関屋・小松原等御林竹藪御払冥加金上納書上) 朱書あり		1冊・横長半	た45
(馬飼料・名主給・川除代金等勘定書付)	3月24日	1冊・横長半	た46
(土産代等諸入用及び元金・利息勘定書)		1冊・横長半	た50
(金銭関係書類一括) 旧史料館の封筒に同封			た51
(御入料内借高および大筒・12ポンド台等の代金書付)	(戌11月～子2月15日)	1冊・横長半	た51-1
(元金・利息・書替等勘定書付)		1冊・横長半	た51-2
[質品調](か八屋覚兵衛殿へ糸1包の引当として、金6両貸出等につき質品調)		1冊・横長半	た52
輻重属申上書(月々御入料積・御出立以来御入料取調につき) 輻重属→		1冊・横長半	た53

10 藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか

[御借入金当暮御返済之分書抜](寅2月～寅4月)まで 大坂分預り所等に)		1冊・横長半	た54
(老人別代金・切溜等品代等書付)		1冊・横長半	た55
(牧野嶋村等上納金書上) 朱書あり		1冊・横長半	た56
(久保三郎等へ内預けの金銭書付) 帳外れ		1通・横折紙	た57
(寅8月から辰正月4日まで伊藤賢治等へ内預けの金銭 につき書付)	辰	1冊・横長半	た58
(長国寺御霊屋・御位牌堂への供養料等につき伺書) 朱書あり	10月	1冊・横長半	た59
(御前様賄料・才覚金返済等へ引当の操廻丑元金等につ き書付)		1冊・横長半	た60
(戸籍編制大概・刑法規則改正につき達書) 旧史料館ラ ベル付		1冊・縦半	た61
(最樹院法事につき上野御霊参詣留) 旧史料館ラベル付	2月21日	1冊・縦半	た62
(加藤文八郎他6名へ松代藩への献上金・初等一部還付 につき勘定書)		1冊・縦美半	た63
小諸庁返答書(旧松代藩土族席順等小諸庁より問合せ につき) 小諸庁→松代庁御中 「小諸藩」罫紙使用	(明治4年)辛未12月20日	1冊・縦半	た66
(真田家藩主・士族・卒へ家禄書出)		1冊・縦美半	た67
(貸金・御用金等諸費勘定帳)		1冊・横長半	た68
遠田直右衛門他三名伺書[碧松院様御遺物被下伺](遺 物矢沢将監・河原左京等へ御硯箱・御鉢等下ヶ渡につ き) 遠田直右衛門・内村平藏・依田右衛門他1名→ 奥書 あり	3月	1冊・横長半	た74
(上納金等勘定関係書類一括) 紙縫一括			た75
(紙縫)		1点	た75-1
(菅鉞太郎調達金返済記)		1冊・縦半	た75-2
(妻料村・中越村・小布施村他上納金差引勘定帳) 清 右衛門・芳馬・富治→ 下ヶ札、付札あり	閏4月	1冊・横長半	た75-3
(諸普請入用関係伺・調査書類留) 書類7点留		1冊・横長半	た98
(水災・羅災村への救済金書付帳)		1冊・横長半	た99
(御側御武器御修復代並びに晴姫様御普請金入用等御 蔵方差引勘定帳) 端書「榮作手」		1冊・横長半	た100
(近藤権内・富永新平等内借金・銭高書上)		1通・横折紙	た101
[御払切之口](佐久間賄石御買上代・貞姫様築地御逗留 中御膳部一式代金等諸費支払書付、巳・子・未・午年分)		1冊・横長半	た102
(高坂守之助並びに菊池市五郎等伊東賢治取扱分諸土 借金帳)		1冊・横長半	た104
[水貧村々之分残金] 端書「伊東賢治方」		1冊・横長半	た105
[高掛御用金三分式割合残](細田久作支配村々極難に より御用達金未払分取調帳) 端裏「久作方」		1冊・横長半	た107
(諸帳面一括) 紙縫一括			た109
(紙縫)		1点・紙縫	た109-1

(天保4・7年分真粃・覆粃・大豆俵数書上)		1冊・横長半	た109-2
(御上納金御家中江差上受取覚帳他諸書類取引帳)	11月	1冊・横長半	た109-3
[盆暮御払調控](国役御普請金並びに7月渡御切米代他諸費差引勘定帳)		1冊・横長半	た109-4
[通帳之分](山屋友蔵等の餅米・味噌・塩等代金書出)		1冊・横長半	た111
(午年分御水屋御用代金勘定帳)	午正月～12月	1冊・横長半	た112
(勘定方作成御納戸引替証文留)	(慶応3年10月)	1冊・横長半	た114
(文学所・剣術所・鎗術所等御極金勘定書類)	9月	1冊・横長半	た115
(御余計方宛払切証文書留) 御兩人→御余計宛所	嘉永6年丑2月	1冊・横長半	た116
(御余計方宛払切証文書留) 御兩人→御余計宛所	嘉永6年丑	1冊・横長半	た117
(江戸向々内借代等書上取調帳)		1冊・横長半	た118
(払金銭書上)		1冊・横長半	た119
(御余慶方宛払切証文書留) 御兩人→御余計宛所 綴紐脱につき取り扱い注意	嘉永6年丑	1冊・横長半	た120
[九月中御勘定帳](蠟燭・真綿代等につき)		1冊・横長半	た121
(御髪剃研代等入用帳)		1冊・横長半	た122
(黒塗割盆御状箱・御菓筆筒等の代金書上)		1冊・横長半	た123
(年諸入用取調帳一括 嘉永2年～慶応3年) 紙綴一括			た160
(紙綴) ペン書「嘉永二年ヨリ慶応二年マデ年中出入下調書上帳 慶応四年 三冊」あり		1点・紙綴	た160-1
(嘉永2年から慶応3年分定納粃辻取調帳)		1冊・横長半	た160-2
(井上河内守・松平越中守様他への反物等献上品目録)	8月18日	1冊・横長半	た162
(玄米買上代問金請払勘定取調帳) 酒井栄助→ 奥書に「右御勘定相違無御座候、以上 海沼龍助印」とあり	嘉永2年子正月	1冊・縦半	た163
(粃代金書上) 2通一括		1通・横折紙	た172
(元金・利息等書上)		1通・横折紙	た173
(御礼金・軍用金他拝借金引替一紙留) 拝借掛→	丑8月	1冊・横長半	た182
(松代藩国許目付宛触留)		1冊・縦美半大	た184
(金銭書上断簡) 虫損甚大		1通・横折紙	た185
(権大参事・理事他着座図)		1通・縦紙	た186
(東条村牧内村山境矯所境立絵図面袋) 袋のみ、袋に「農林省 林政治革調査資料」の紙が貼付、借入が昭和6年6月8日、所蔵者は長野県埴科郡松代町の真田伯別邸の旨の記述あり		1点・袋	た187
(教学院その他へ金出し等につき用状) 虫喰甚大		1通・横折紙	た188
(法如庵物置御普請雑費につき書上)		1通・横折紙	た189
(紙代・宿支度第等諸入用につき書上)		1通・横折紙	た190
(古金銀・一朱銀取調等につき書上) 虫喰甚大		1通・横折紙	た191
(断簡) 虫喰甚大により判読不能		1通・横切継紙	た192

11 松代庁／財方／旧松代藩家臣借入金ほか諸勘定

大嶋武左衛門用状(村々上納金残金引渡につき) 大嶋 武左衛門→関口庄助殿	文化3年寅11月	1冊・横長半	た193
(荒地につき免除村々と高辻書上)	午5月	1冊・横長半	た194
(丑・辰年御金受取調)		1冊・横長半	た195
(仏具・物置等に関する仕様帳) 綴紐脱、乱丁あり、仏 具・物置などの図面付、紙縫一括		1冊・横長半	た197
(建具・食器類他代金書上)		1冊・横長半	た198
[覚](御礼金・軍資金他入金勘定帳)	10月	1冊・横長半	た200
(嘉永7年分江戸・在所よりの借入金返済証文並びに安 政2年分借入金書上) 御口人→御余計宛所	慶応3年卯9月	1冊・横長半	た202
(粃・玄米他収納分勘定帳)		1冊・横長半	た203
(藩主入部・西丸普請他入費留、嘉永2年5月16日～慶 応4年26日分)		1冊・横長半	た204
(藩主入部・和宮下向他諸入料書留)		1冊・横長半	た205
(綿貫新兵衛大坂御用のため御用達金取計い一件留)	(8月)	1冊・横長半	た206
勘定所申上書(およし様御七夜参宮御祝入用料の件申 上につき) 掛紙あり	2月14日	1冊・横長半	た207

11 松代庁／財方／旧松代藩家臣借入金ほか諸勘定

計政局

(斉藤雲平元利金108両返済分勘定書)		1冊・豎半	た77
(供連給金・道中往来人馬賃銭等某上坂入料記)		1冊・豎半	た78
(赤沢蘭溪・青木直馬他松代藩士年賦金書上帳) 綴紐は ずれ		1冊・豎半	た79
真田家家令他三名願書写并大蔵大輔井上馨下ケ札[御 賞典米御下ケ渡願](東京為替換会社への弁済金滞納 のため御賞典米下賜願並びに不許可につき) 従四位 真田幸民家令大熊薫・旧松代縣権大参事河原均・同断赤澤蘭 溪他1名→長野縣御庁 黒色罫紙使用、下ケ札付	(明治5年) 壬申8月	1冊・豎半	た80
(明治5年7月真田幸民上納金支払い猶予願関係書類 綴)		3通	た81
大熊薫願書写(真田幸民願書提出書類の旨執奏願に つき) 従四位真田幸民家令大熊薫→東京府御庁 黒色 罫紙使用	(明治5年) 壬申7月	1通・豎紙	た81-1
真田幸民願書写(賞典を士族卒へ分与のため上納金 支払い猶予願につき) 華族従四位真田幸民→東京府 御中 黒色罫紙使用	(明治5年) 壬申7月	1通・豎紙	た81-2
(海軍資金・国役高掛り金・酒造冥加金書上) 黒色罫 紙使用		1通・豎紙	た81-3
(明治3年度海軍資金・市中取締り金他政府への上納金 差引勘定帳並びに1ヶ月分入用金高積) 掛紙あり	(明治4年)	1冊・豎半	た82
市政副主事伺書[臨時御借入并御用達金御下金之義伺] (大災・寒天の中家財・貯蓄金等焼失者救済につき) 市政副主事→	12月17日	1冊・豎半	た83

市政副主事伺書[臨時御借入并御用達金御下金之義伺] (大災・寒天の中家財・貯蓄金等焼失者救済につき) 市政副主事 た83と内容同一	12月17日	1冊・豎半	た84
(神武天皇遥拝式次第書) 神祇懸り・神主等の配置図あり	5月16日	1冊・豎半	た85
(口留役人卒身分への編入伺関係書類綴)		3点	た86
某伺書[元管下村々口留之儀二付伺書](口留の者卒へ編入・給米支給につき) 松代庁黒色罫紙使用、下ケ札あり	(明治5年)	1通・豎紙	た86-1
松代庁伺書(元管下村々口留の者卒へ編入・給米支給につき) 松代庁→ 口留人書上の別紙写しあり	(明治5年)壬申2月	1冊・豎半	た86-2
[古書写書抜并申伝等之写](万治・延宝年間口留役人勤方関係文書写)		1冊・豎半	た86-3
[壬申御賞典仕訳控](賞典差引勘定書) 綴紐はずれ		1冊・豎半	た87
(借入金取調関係書類一括) 紙縫一括			た88
平林貞太郎願書写[書取ヲ以申上候](大蔵省負債掛へ提出の借入金関係書類至急取調につき) 平林貞太郎→水野清右衛門様・酒井市治様「老通」 た88を一括する帯封付	明治6年酉6月	1通・豎紙	た88-1-1
酒井市治他一名願書写并下ケ札[筑摩郡上生坂村平林文五左衛門ヨリ借入金之儀申上](平林文五右衛門よりの借入金取調不届の件大蔵省負債掛へ執成し願につき) 酒井市治・水野清右衛門→「老通」、平林文五右衛門よりの借入金内訳の写付	明治6年10月	1冊・豎半	た88-1-2
元松代県返答書(比企新三郎よりの借入金滞納分問合につき) 元松代県→長野県参事榑崎寛直殿 端書あり	明治6年酉10月	1通・豎紙	た88-2
(廃藩置県並びに秩禄処分に関係大蔵省・文部省通達留帳) 松代県黒色罫紙使用、7通留	(明治4年)	1冊・豎半	た89
(廃藩置県関係財政処理連係書類綴)		2点	た90
大蔵大輔井上馨達書(前繰金藩債として出納表へ記入の件等につき) 大蔵大輔井上馨→「松代県」黒色罫紙使用、端朱書「辛未十一月二日御達」	(明治4年)辛未10月22日	1通・豎紙	た90-1
松代県伺書[税収納物之義付伺](大蔵省達の租税収納の仕方についての達と松代県の慣行と相違のため取いの件につき) 松代県→大蔵省御中	(明治4年)辛未9月15日	1冊・豎半	た90-2
第式拾九区植科郡東寺尾村源田孫六申上書[記](渡初虫喰い等にて相違のため違金取調につき) 第式拾九区植科郡東寺尾村百九十四番屋敷居住源田孫六→代理長野県権参事榑崎寛直殿	明治6年癸酉5月	1冊・豎半	た91
(旧松代県藩札贋札等取調関係書類綴) 綴紐切れ		2点	た92
佐藤則道他四名申上書写[旧松代藩札之儀二付御尋申上](旧松代県藩札贋造・紛失の件につき) 佐藤則通・富永新平・草間一路他2名→		1冊・豎半	た92-1
某用状[六月廿日取調](沓分札・式朱札の増減差し引き等取調につき)		1通・豎紙	た92-2
(武器御手当金并長国寺寄付金等貸借金差引勘定帳) 端書「藤作手」、「り」「ち」等朱書あり		1冊・横長半	た93
[御手元拝借渡方帳](人減後出精者への拝借金)	明治3年午7月	1冊・横長半	た94
旧松代県元大属他二名願書(士族賞典分与禄書改につき) 旧松代県元大属樋口旗之助・元少参事竹間一路・元権		1冊・豎半	た212

12 藩政／財方／家臣・町在献金勘定ほか

大参事長谷川昭道→長野県参事榑崎寛直殿 青色罫紙使用 (長野県参事榑崎寛直上申書他旧松代藩士卒給米他滞納金処置願関係書類綴、明治8年～11年)		4点	た213
第十三大区会所詰小林仁兵衛用状(松代官員へ通達取計い願につき) 第十三大区会所詰小林仁兵衛→小四区戸長副 青色罫紙使用	(明治11年)1月22日	1通・罫紙	た213-1
第十三大区区长達書(松代藩士卒給米他滞納金に対し通達につき) 第十三大区区长→ 青色罫紙使用	(明治11年)	1通・罫紙	た213-2
長野県参事榑崎寛直上申書[第百三拾三号](松代藩士卒給米他滞納金処置願につき) 長野県参事榑崎寛直→大蔵卿大隈重信 青色罫紙使用	明治7年11月25日	1通・罫紙	た213-3
大蔵卿大隈重信達書(松代藩士卒給米他滞納金公債処分決定につき) 大蔵卿大隈重信→ 青色罫紙使用、文面朱書	明治8年1月13日	1通・罫紙	た213-4
(士族卒禄渡不足赤切手引換伺一件関係書類綴 明治7年9月～11月)		4点	た220
横田数馬申上書(別紙達についての旧松本県日記抜書提出につき) 横田数馬→第十三区会所詰「長野県」青色罫紙使用	(明治7年)10月22日	1通・罫紙	た220-1
横田数馬通達(士族卒禄米等至急取調につき) 横田数馬→旧松代県会計課「長野県」青色罫紙使用	(明治7年)9月19日	1通・罫紙	た220-2
東京出張所申上書并大蔵大輔井上馨返答書[番外](旧松代藩士族卒禄旧記に不明のため初発伺至急回覧の件につき) 東京出張所→本県出納課「長野県」青色罫紙使用	(明治)7年10月17日	1通・罫紙	た220-3
長野県申上書[元松代県へ御渡相成候赤切手引換之義伺] 長野県→大蔵省	(明治5年)7月18日	1通・罫紙	た220-4

12 藩政／財方／家臣・町在献金勘定ほか

勘定所

(松代藩士御納戸への上納金関係書類一括 亥年11月～卯12月) 紙綴一括			た49
(紙綴) た49を一括の紐		1点・紙綴	た49-1
[御残金之口](三輪村和左衛門等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」		1冊・横長半	た49-2
[七分以上之口](高坂民左衛門等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」		1冊・横長半	た49-3
[御馬飼料](八田喜兵衛等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」、虫喰甚大		1冊・横長半	た49-4
[江府御囲穀之口](宮澤善治等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」		1冊・横長半	た49-5
[江夫御扶持方之口](高坂民左衛門等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」		1冊・横長半	た49-6
[御武器之口](八田嘉助・八田喜兵衛等の元金・利息・礼金等書付) 表紙右端「子取立下」		1冊・横長半	た49-7

[大砲之口](小林盛之丞等の元金・利息・礼金等書付)		1冊・横長半	た49-8
(断簡)		1通・横折紙	た49-9
[差上之口](酒井栄助等の元金・利息・礼金等書付)		1冊・横長半	た49-10
(歩兵銃仕立代のうち武具方へ支給分等につき書付) 前欠・後欠	(亥4月11日～子2月19日)	1冊・横長半	た49-11
(町村内献上者関係届書綴)		4点	た11
(代官丁等献上者関係届書)		1冊・横長美	た11-1
(松山町等献上者関係届書)	10月21日	1冊・横長半	た11-2
(西條町等献上者関係届書)	22日	1冊・横長美	た11-3
(伊勢町等献上者関係届書)	10月22日	1冊・横長半	た11-4
(明治3年分諸職人冥加金書上) 冥加金を雑税へ詰め込む旨の掛紙あり	明治3年午	1冊・豎半	た15

13 藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金

計政局

(献上金関係書類綴 明治3～5年)		50点	た29
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金10両につき) 徳嵩廣馬→河原敬之進殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-1
阿藤通碩用状[覚](昨年12月の献上藩札15両今年7月の献上金へ引当願につき) 阿藤通碩→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末7月	1通・横切紙	た29-2
小野善四郎金銭受取証文[證](榎本純達献上金還付金15両につき) 小野善四郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿他1名	明治5年申3月2日	1通・豎紙	た29-3
富永新平金銭受取証文[證](山寺丙太郎献上金還付5両2金につき) 富永新平→徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)正月2日	1通・横切継紙	た29-4
山内庫治郎金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 山内庫治郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月27日	1通・横切紙	た29-5
前嶋有平金銭受取証文[覚](前嶋権兵衛献上金5両につき) 前嶋有平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月23日	1通・横切紙	た29-6
宮本慎助金銭受取証文[覚](献上金61両2金につき) 宮本慎助→中嶋渡浪殿	明治4年辛未12月17日	1通・横切紙	た29-7
成本治之助金銭受取証文[覚](献上金御還付7両2金につき) 成本治之助→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末12月	1通・横切継紙	た29-8
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金藩札20両受取司金方へ納入につき) 池田富之進→	明治3年午12月	1通・横折紙	た29-9
村上覚次郎金銭受取証文[覚](献上金1両につき) 村上覚次郎→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月28日	1通・横切紙	た29-10
小林常男金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 小林常男→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月	1通・横切紙	た29-11
西村半六金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 西村半六→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月	1通・横切継紙	た29-12

13 藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金

小山東弥太金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金5両につき) 窪田富之助・代判小山東弥太→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 小山東弥太は窪田富之助の代判	(明治4年) 辛未9月24日	1通・横切継紙	た29-13
青山喜平次金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金10両につき) 岸田総雄・代判青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 青山喜平次は岸田総雄の代判	明治4年末	1通・横切継紙	た29-14
小山織江金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金2金につき) 竹内茂代判小山織江→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 小山織江は竹内茂の代判	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-15
鈴木慶一郎金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金4両につき) 鈴木慶一郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切継紙	た29-16
小野里清之進金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金1両につき) 小野里清之進→中島渡浪殿 小野里清之進は町田善左衛門の代判	明治4年末9月	1通・横切継紙	た29-17
徳嵩廣馬金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金2両2金につき) 徳嵩廣馬→中島渡浪殿 徳嵩廣馬は長谷川直太郎の代判	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-18
宮本慎助金銭受取証文〔覚〕(騒擾のため献上金還付金38両2金につき) 宮本慎助→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-19
徳嵩廣馬金銭受取証文〔覚〕(献上金100両につき) 徳嵩廣馬→齊藤善九郎殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-20
竹内権平金銭受取証文〔覚〕(騒擾につき献上金還付金1両につき) 竹内権平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-21
池村猪三郎金銭受取証文〔覚〕(騒擾につき献上金還付金1両につき) 池村猪三郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末8月	1通・横切紙	た29-22
宮岡宗清金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金2両につき) 宮岡宗清→中島渡浪殿	(明治4年) 辛未9月	1通・横切紙	た29-23
小林善蔵金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金2両2金につき) 小林善蔵(印文「盛明」)→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治4年) 未9月5日	1通・横切紙	た29-24
戸根山徳三郎金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金2両2金につき) 戸根山徳三郎→徳嵩廣馬殿	(明治4年) 未9月4日	1通・横切紙	た29-25
矢沢龍幾久金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金100両につき) 矢沢龍幾久→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月3日	1通・横切継紙	た29-26
関田慶左衛門金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金14両2金につき) 関田慶左衛門→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治4年) 辛未8月	1通・縦切紙	た29-27
阿藤通碩金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金7両2金につき) 阿藤通碩→中島渡浪殿	(明治4年) 未9月朔日	1通・横切紙	た29-28
中島渡浪金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金12両2金につき) 白川祝、代判中島渡浪→徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 中島渡浪は白川祝の代判者	明治4年末8月28日	1通・横切紙	た29-29
阪野柔次郎金銭受取証文〔覚〕(献上金還付金保字小判1枚につき) 阪野柔次郎→徳嵩廣馬殿	(明治4年) 未8月23日	1通・横切紙	た29-30
徳嵩廣馬金銭受取証文〔覚〕(献上金2両につき) 徳	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-31

嵩廣馬→駒沢瀧人殿			
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金3両2金につき) 中島渡浪→原忠次郎殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-32
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金50両につき) 上村何右衛門→松村左金吾殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-33
野中喜左衛門金銭受取証文[覚](騒擾につき献上金 還付金2両2金につき) 野中喜左衛門→中島渡浪殿・ 池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末8月	1通・横切紙	た29-34
入弥左衛門金銭受取証文[覚](献上金還付金7両2金 につき) 右(立田秀英・長岡茂市)兩人親類入弥左衛門 →中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末8月18日	1通・横切紙	た29-35
大日方良之助金銭受取証文[覚](献上金還付金10両 につき) 大日方良之助→中島渡浪殿	(明治4年)末8月18日	1通・横切紙	た29-36
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金25両につ き) 上村何右衛門→青山喜平治殿	明治3年午12月	1通・縦切紙	た29-37
田沢廉助金銭受取証文[覚](献上金還付金10両につ き) 田沢廉助→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿 他1名	(明治)8月18日	1通・横切紙	た29-38
倉田三之丞金銭受取証文[覚](献上金下ヶ渡10両に つき) 倉田三之丞→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣 馬殿他1名	明治4年末8月	1通・横切紙	た29-39
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金10両3金につき) 徳嵩廣馬→鈴木富治殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-40
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金10両3金につき) 中島渡浪→田中増治殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-41
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金20両につき) 中 島渡浪→関口勝馬殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-42
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金5両につき) 池田富之進→中島渡浪殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-43
松本仙治金銭受取証文[覚](献上金還付金30両につ き) 松本仙治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿 他1名	(明治4年)辛未8月10日	1通・横切紙	た29-44
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金20両につき) 池田富之進→毛利喜作殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-45
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金20両につ き) 上村何右衛門→木内中殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-46
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金30両につき) 徳 嵩廣馬→長谷川徳太郎殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-47
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金50両につき) 池田富之進→高野車之助殿・高野右金吾殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-48
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金15両につき) 池田富之進→平林吉之助殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-49
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金10両につき) 中 島渡浪→高橋清蔵殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-50

14 藩政／家臣・財方／家臣借入金

勘定所・計政局

(旧松代庁借金穀取調関係書類一括)			た76
(紙紐) た76を一括		1点・紙紐	た76-1
(嘉永6年～明治3年松代藩調達金関係書類綴)		6点	た76-2
太田藤右衛門用状写[覚](嘉永6年～明治3年旧松代藩調達金につき) 士族太田藤右衛門→	(明治3)庚午12月	1冊・豎半	た76-2-1
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金50両につき) 高野覚之進・片桐重之助／(奥印)竹村金吾→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	嘉永6年丑12月	1通・豎紙	た76-2-2
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金50両につき) 高野覚之進・片桐重之助／(奥印)竹村金吾→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	嘉永6年丑12月	1通・豎紙	た76-2-3
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金140両につき) 高野覚之進・片桐重之助／(奥印)磯田音門→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	安政3年辰12月	1通・豎紙	た76-2-4
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金100両につき) 高野覚之進・片桐重之助／(奥印)磯田音門→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	安政3年辰12月	1通・豎紙	た76-2-5
相原音五郎金銭借用証文写[証](藩用のため才覚金17両2分につき) 相原音五郎／(奥印)三澤清泰→太田藤右衛門殿 た76-2-1の別紙	明治3年庚午12月	1通・豎紙	た76-2-6
[東京下総屋半七相模屋徳兵衛ヨリ借金穀証書写](慶応3年10月～明治元年12月) 元松代庁→		1冊・豎美	た76-3
(藩士手当金拝借分返済記録)		1冊・横長半	た48
(南沢甚之介・久保三郎等利安借入金差引勘定帳)	(慶応2)寅7月	1冊・横長半	た108
(藩士上納帳綴)		3点	た210
[笠原九左衛門御役中御勘定不足金口人并口弁合い古帳面今度望月治部左衛門指図ヲ以新帳面立合引取相極候付古帳面封印致置候](封筒、裏書「宝暦三酉年之帳面笠原九右衛門・落合瀬左衛門共二入置申候、以上」 中俣最角／(裏書)桜井口口・鈴木弥惣左衛門・三井九郎兵衛・高山文左衛門→	明和2年乙酉2月	1点・封筒	た210-1
[落合瀬左衛門上納帳](帳消の旨、明和元年12月三井九郎左衛門他一名署名付)	宝暦3年酉12月	1冊・豎美半大	た210-2
[笠原十五郎関口要之進上納本帳](帳消の旨、明和元年12月22日三井九郎左衛門他一名署名付) 緑川条右衛門・三井九郎左衛門／(奥書)三井九郎左衛門・高山文左衛門→ 奥書は明和元年12月22日付	宝暦10年卯12月	1冊・豎美半大	た210-3

15 藩政／番方／新小銃隊用買物・出勤調

勘定所

(諸書類一括) た64はビニール紐一括、※10 藩政／財 方／勘定諸務・勘定向き用状ほかにもあり			た64
(新小銃組関係一括) 紙縫一括			た64-1
(紙縫)		1点・紙縫	た64-1-1
[御買物所より品々受取通] 御足輕奉行→	慶応2年寅正月	1冊・横長半	た64-1-2
割番申上書[覚](御上京御供のうち帰着・不帰着の者 取調につき) 割番→	已8月27日調	1冊・横長半	た64-1-3
[大御総督府御印章差出覚]		1冊・横長半	た64-1-4
(7月26日から8月3日まで名面書) 綴紐脱		1冊・横長半	た64-1-5
(金児丑兵衛取扱番組書付)		1冊・横長半	た64-1-6
(牧野大右衛門組等足輕隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-7
(牧野大右衛門組等新小銃組入隊者書付)		1冊・横長半	た64-1-8
(新小銃組隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-9
(新小銃組根井小右衛門隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-10
(新小銃組隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-11
(新小銃組吉村左織隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-12
(新小銃組5月分懈怠調人調綴)		7点	た64-1-13
[五月中懈怠調](新小銃組山中隊分) 山中組→	6月	1通・横切継紙	た64-1-13-1
(新小銃組蟻川隊分五月中懈怠人調) 蟻川隊→	5月届参	1通・横切継紙	た64-1-13-2
(新小銃組金児隊分五月中懈怠人調) 金児隊→	5月	1通・横切紙	た64-1-13-3
[五月中不参人別](新小銃組六番隊分) 六番隊→	6月	1通・横切紙	た64-1-13-4
[五月中懈怠調](新小銃組牧野隊分) 牧野隊→	6月	1通・切紙	た64-1-13-5
[五月中懈怠調](新小銃組山越隊分) 山越隊→		1通・横切紙	た64-1-13-6
[五月中懈怠覚](新小銃組寺内隊分) 寺内隊→	6月	1通・切紙	た64-1-13-7
割番申上書(巳年4月中新小銃組懈怠人別取調) 割番→	5月	1冊・横長半	た64-1-14
(新小銃組3月中懈怠調綴)		5点	た64-1-15
[牧野隊三月中懈怠調](新小銃組牧野隊分) 牧野隊→		1通・横切紙	た64-1-15-1
[三月中不参人別] 池田儀左衛門・山崎栄作→	4月	1通・横折紙	た64-1-15-2
[一番隊三月中不参人別] 浅井佐一郎・竹内龍之助→	4月	1通・横折紙	た64-1-15-3
[山越隊三月懈怠調] 小山伝治・米倉元蔵→		1通・横切紙	た64-1-15-4
[三月中不参人別](新小銃組六番隊分) 六番隊→	4月	1通・横切継紙	た64-1-15-5
(新小銃組4月中懈怠調人別綴)		6点	た64-1-16
[四月中不参](新小銃組蟻川隊分) 蟻川隊→		1通・切紙	た64-1-16-1

16 藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調

(四月中懈怠調、新小銃組牧野・山中両隊分)		1通・切紙	た64-1-16-2
[四月山越組](四月中不参人別、小銃組山越隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-3
[金児隊四月中不参人別](新小銃組金児隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-4
(不参人別調、新小銃組柘植隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-5
[覚](4月中懈怠取調) 桜井師之丞・岡沢万亀太→		1通・横切継紙	た64-1-16-6
(不参取調・長病之者覚綴)		2点	た64-1-17
[五番隊不参取調二月分] 三村官右衛門・高野利之丞→	2月	1通・横折紙	た64-1-17-1
[長病之者覚]		1通・横切紙	た64-1-17-2
掛り割番申上書(新小銃組壹番～五番隊分当已5月中 懈怠人別取調につき) 掛り割番→	6月	1冊・横長半	た64-1-18
割番申上書(壹番～五番隊分新小銃組当已2月中懈怠 人別取調につき) 割番→	3月	1冊・横長半	た64-1-19
[貳番隊不参人別二月分] 池田儀左衛門・山崎栄作→	2月	1通・横折紙	た64-1-20
[六番隊二月中不参人別]		1通・横折紙	た64-1-21
(新小銃隊年齢別書上) 割番→	午3月	1冊・横長半	た64-1-22
割番申上書(新小銃組隊入替取調下調帳) 割番→ 貼り紙・下ケ札あり	6月	1冊・横長半	た64-1-23
(新小銃組人別勤日書付)		1通・横折紙	た64-1-24
割番申上書[覚](新小銃組隊入替取調下調帳) 割番→	午8月	1冊・横長半	た64-1-25

16 藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調

計政局

(越後表出兵の宰領等勤務取調書類綴 明治4年) 紐綴一括		20点	た8
割番申上書(飛脚荷物宰領等勤め者の内褒賞なき者 取調につき) 割番→	(明治4年)未8月	1通・横切継紙	た8-1
御飛脚宰領組町田元吉申上書[御尋ニ付口上書ヲ以 奉申上候](御荷物宰領等勤日数尋ねにつき申上 書) 御飛脚才領組町田元吉→御割番所	明治4年未8月	1冊・豎半	た8-2
御飛脚宰領組新村八重治申上書[口上覚](荷物宰領等勤 め方取調につき申上書) 御飛脚才領組新村八重治→	明治4年未8月	1通・横切継紙	た8-3
御飛脚宰領組宮尾三左衛門申上書[覚](荷物宰領等勤 め方取調につき) 御飛脚才領組宮尾三左衛門→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-4
御飛脚宰領組羽生田徳左衛門申上書(荷物宰領等勤 め方取調につき) 御飛脚才領組羽生田徳左衛門→	(明治2年)已8月	1冊・豎半	た8-5
割番申上書(桜井勇作組本詰名代近藤子代吉荷物宰 領出着日限取調につき) 割番→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-6
御飛脚宰領組池田千之助申上書[覚](越州御用勤取 調につき) 御飛脚宰領組池田千之助→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-7
御飛脚宰領組富岡豊蔵申上書[覚](偽官軍探索等飛 脚宰領組の下筋勤方取調につき) 御飛脚才領組富	(明治4年)未8月	1通・横切継紙	た8-8

岡豊蔵→			
宰領組宮尾小文治申上書[覚](弾薬宰領等下筋勤につき) 宰領組宮尾小文治→御割番所	明治4年末8月	1通・竪紙	た8-9
塚原健三郎組堀井惣兵衛申上書[口上覚](御荷物宰領等勤め方お尋ねにつき) 塚原健三郎組八郎右衛門倅柳之助改名堀井惣兵衛→御割番所 「六月十三日帰着仕候 割番」の下ケ札あり	(明治4年) 辛未8月	1通・横切紙	た8-10
宰領組海沼国治申上書(玉葉宰領等下筋勤め方につき) 才領組海沼国治→御割番所		1通・竪紙	た8-11
御飛脚宰領組神山藤次郎申上書(弾薬宰領等下筋御用勤め方取調につき) 御飛脚才領組神山藤次郎→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-12
御飛脚宰領組百瀬梅司申上書[覚](病人付添ほか越州出張先用勤取調につき) 御飛脚宰領組百瀬梅司→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-13
割番申上書(高野新之丞組名代本詰長崎儀野右衛門下筋勤めのための出着日限取調につき) 割番→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-14
元吉沢喜源太組倉嶋太兵衛申上書[口上覚](荷物宰領の勤め方取調につき) 元吉沢喜源太組倉嶋太兵衛→御割番所	明治4年末8月	1通・竪切紙	た8-15
元御飛脚宰領組後見小池元作申上書[口上覚](玉葉宰領等勤め方取調につき) 元御飛脚宰領組後見小池元作→	(明治4年) 未8月	1通・竪紙	た8-16
海沼辰之丞跡組宮本平三郎申上書(玉葉送付の宰領等勤めにつき) 海沼辰之丞跡組宮本平三郎→	(明治4年) 辛未8月	1通・竪紙	た8-17
御飛脚宰領組鳥羽友作申上書[覚](荷物宰領の勤務取調につき) 御飛脚宰領組鳥羽友作→	(明治4年) 未8月	1通・横切紙	た8-18
小林玉三郎組瀧沢平十郎申上書(荷物宰領等勤務につき) 小林玉三郎組源左衛門孫瀧沢平十郎→	明治4年辛未8月	1通・横切紙	た8-19
御飛脚宰領組荒井善市申上書(小千谷戦争等勤務につき) 御飛脚宰領組荒井善市→	(明治4年) 未7月	1通・竪紙	た8-20
大島村取締役根岸久兵衛他四名願書[上](慶応4年飯山表への出兵諸入費立替え分下ケ渡願につき) 高井郡小布施村他11ヶ村右村々役人惣代小布施村名主市村忠助・同関谷縫右衛門・元名主平松幸右衛門他2名→元松代御県御役所	明治4年末12月	1冊・竪半	た7
兵部廻章順達写書留(記録編輯のため諸戦争の形状届書等提出ほかの件につき)	(明治)3年6月10日～12日	1冊・竪半	た17
某嘆願書(戊辰戦争兵食料等賄料払い残り滞り分を再取調べ下ケ金につき)	(明治)7年12月	1冊・竪半	た23
(飯山迄出張手当金等書上帳)		1冊・横長半	た157

17 藩政／番方／戊辰出兵錦御印

(御印一括) 紙縫一括			た208
[錦御印](包紙) た208-1-2入		1点・包紙	た208-1-1
(西村孝三郎返上錦袖御印)		1点・御印(織布)	た208-1-2
[片岡主計](包紙) 包紙のみ		1点・包紙	た208-2

18 藩政／庶務方／明治職制

[増田助之丞] (包紙) た208-3-2入 (錦袖御印)		1点・包紙	た208-3-1
[御印 秋里初平] (包紙) た208-4-2入 (錦袖御印)		1点・御印(織布)	た208-3-2
[甲府御渡 宮澤富輔] (包紙) た208-5-2入 (錦袖御印)		1点・包紙	た208-4-1
		1点・御印(織布)	た208-4-2
[鉄炮胴乱笠法被御印二ツ 元左衛門組宣次郎 勘 右衛門殿御借人二而甲府出立之節返上] (包紙) た208-6-2入 紐付		1点・包紙	た208-5-1
(錦袖御印)		1点・御印(織布)	た208-5-2
某用状(小役勤務等につき) 紐付		1点・御印(織布)	た208-6-1
(家中任命書綴)		1冊・豎半	た208-6-2
(宮沢喜平治御家給使助勤任命書)	12月	2点	た10
(清水瀬左衛門給使並びに任命書)	明治14年12月28日	1通・横切紙	た127
(牧野毅兵部権大尉と八等関係書類一括) 封筒一括		1通・横切紙	た127-1
(封筒) 渡辺元大属→長谷川元権大参事殿			た127-2
兵部省任命書(牧野毅兵部権大尉と八等任命につき) 兵部省→兵部権大録牧野毅		1点・封筒	た216
東京出張所用状(牧野毅陸軍大尉任命につき) 東京 出張所→松代庁御中	(明治5年) 壬申2月25日	1通・横切紙	た216-1
渡辺元大属用状(小林常男帰村の節便状渡しにつき) 渡辺元大属→長谷川元権大参事殿	(明治5年) 2月25日	1通・横切紙	た216-2
(天保11年7月屋敷引渡関係書類一括)	(明治5年) 壬申3月4日	1通・切紙	た216-3
[天保十一子年七月より御願 屋敷地被下之者江引 移之儀御達之扣 但向後御達有之分其時々認入候 様被仰渡] (包紙)		1通・横切紙	た217
(御番士増田助之丞等23名の屋敷地引き移し達留)	(天保5年10月15日～ 天保11年7月24日)	1点・包紙	た217-1
		1冊・豎半	た217-2

18 藩政／庶務方／明治職制

(大政奉還後徳川氏関係綴 慶応4年)		2点	た6
徳川亀之助駿河国領地70万石下賜に関する書留(徳 川亀之助駿河国府中城主令達廻状順達につき)	(慶応4年) 5月25日～26日	1冊・豎半	た6-1
徳川慶喜恭順謹慎の勅諭に関する書留(徳川慶喜恭 順謹慎の勅諭の写廻状順達等につき)	(慶応4年) 4月7日	1冊・豎半	た6-2
山寺丙太郎用状(養老の典舉行停滯の旨のため迅速に 執達願につき) 山寺丙太郎→理事御中	(明治4年) 辛未正月26日	1冊・豎半	た27
[弘化五申年他所文通留書抜]	(弘化5年4月28日～ 9月26日)	1冊・横長半	た44

某申上書〔御人減シ之事〕(家中窮乏のため正権大属・書記・兵器庶務等につき)		1冊・横長半	た69
(御在所日記) 旧史料館の整理カード添付、虫損甚大	(天明7年)10月～12月	1冊・豎半	た129
(松代藩国許目付触書断簡) 虫損甚大、松代藩国許目付作成の幕府触留	正月24日	1通・豎折紙	た130
(西和田村与吉・中越村幸七等の初代金他金銭書上帳) 掛紙あり		1冊・横長半	た131
御手附稟藤孝作他一名申上書(紛失の品詮索につき) 御手附稟藤孝作・同木下伝五郎→	已10月	1冊・豎半	た132
〔御借入金御返済取調〕(預所・里郷村他分)		1冊・横長半	た133
(甲斐守・造酒正他褒章品書上)		1冊・横長半	た135
(御殿絵図) 鉛筆書で「真田絵図未整理分」と記された用紙同封、一部の施設は立体的に復元可能		1通・鋪	た136
(伊勢御代参につき殿中服穢改他真田家中へ触留断簡)		1通・豎紙	た137
(4月6日から4月12日まで松代城詰番日記)		1冊・豎半	た138
(西條村藤右衛門酒酩酊の上不法一件書抜) 日記の断簡か、た140は旧史料館封筒に同封		1通・豎折紙	た139-1
(盗賊のため紛失品有無調査の件他届書書抜)		1通・豎折紙	た139-2
(丸茂宗弥他江戸出立記) 日記の断簡か		1通・豎折紙	た140
(6月9日江戸当番日記)		1冊・豎半	た141
(忌御免・江戸出立の仕方他書抜) 日記の断簡か		1通・豎折紙	た142
(直姫井上河内守養女の件祝儀につき綿貫五郎兵衛伺他日記書抜) 日記の断簡か	(文化11年6月)	1冊・豎半	た143
〔日記〕(江戸当番日記) 当番は小松文治・関山三弥	(享和3年)	1冊・豎半	た144
(6月1日分殿様松代発籠一件他日記断簡) 矢沢将監の表記あり		1通・豎折紙	た145
(正月4日から14日まで江戸当番日記) 当番は八田競・興津政野右衛門、若殿様の官位叙任に記事あり		1冊・豎半	た146-1
(松代藩御用番へ有金銭報告他日記書抜) 日記の断簡か、た147は史料館の封筒に同封		1通・豎折紙	た146-2
〔日記 控〕 河原舎人→	嘉永5年子8月	1冊・豎半	た147
(御礼金書上、金253両余) 掛紙・下ケ札あり		1冊・豎半	た151
(日記書抜) 日記の断簡か、た146の関連文書か	8月朔日	1冊・豎半	た152
(上京・上坂関係等留書一括) 紙綴一括		5点	た175
(関田荘助上坂一件書類留)		1冊・豎半	た175-1
(扶持方代金等につき用状留) 虫損甚大		1冊・豎半	た175-2
(市兵衛・荘助在坂中借入金の件につき書状留) 虫損甚大		1冊・豎半	た175-3
(京坂の風聞等在京中書状留)		1冊・豎半	た175-4
(藩主代替の節白山彦五郎他への加増関係書類留)		1冊・豎半	た175-5
(9月3日から9日まで日記書抜) 日記の断簡か		1冊・豎半	た176

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟

(2月14日から3月18日望月治郎左衛門日記) 紐一括		1冊・美大	た183
高田幾太廻状(程島一件に関する回章・存意書並びに入用者人別帳)(高田)幾太→守右衛門様	3月11日	1冊・横長半	た199
(職制表一括) た38は紙縫一括、旧史料館封筒入			た38
(紙縫)		1点・紙縫	た38-1
[松代藩職制表]		1点・鋪	た38-2
[常備一番小隊表](第一中隊) 付箋・貼紙あり、朱書あり		1点・鋪	た38-3
[常備三番小隊表](第二中隊) 貼紙あり		1点・鋪	た38-4
(御武具方調役・手附・運夫等等級付)		1点・鋪	た38-5
(高島藩・忍藩等藩治職制表) 朱書あり		1通・縦継紙	た38-6
(松代藩職制表一括) 巻込み一括			た38-7
[松代藩職制表] 兵政局についてはた38-6-2より記述が詳細		1点・鋪	た38-7-1
[松代藩職制表]		1点・鋪	た38-7-2
[松代藩職制表] 朱書あり、兵政局の欄に貼紙あり、付箋あり		1点・鋪	た38-7-3
[職制](松代藩職制表) 貼紙あり		1点・鋪	た38-7-4
某触書[貞享四年卯二月朔日御触](御構の土手・御曲輪・屋敷裏通路禁止等松代城内関係につき)→松村彦之丞殿・白川清左衛門殿	貞享4年卯2月朔日	1冊・縦半	た9

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟

勘定所

(市村・千田新田・川合3ヶ村境論所見分関係書類一括 文政2年) 袋一括			た30
[文政二寅年四月市村千田新田川合三ヶ村境論所見分願出候付被仰渡罷越右場所明細見分詮議之上三ヶ村共内済和談致度旨願出候付右和談之境筋見分絵図面并品々書類共入](袋) 古岩彦作・小野四郎三郎→ た30-18まで史料館括紐一括		1通・袋	た30-1
千田村名主七左衛門他三ヶ村十八名請書[乍恐以口上書御受申上候御事](論所見分につき御受一札) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村16名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「老番」	文政2年卯4月9日	1通・縦継紙	た30-2
千田村名主七左衛門他三ヶ村十九名差出一札[差上申一札之御事](逗留中御賄並諸入料書上) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「夫銀書上書面」、下ケ札あり	文政2年卯4月	1通・縦継紙	た30-3
千田村名主七左衛門他十九名願書[差上申一札之御事](千田村・新田川合村・市村境目の定め願につき連印一札) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他17名3ヶ村20名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「老印」	文政2年卯4月	1通・縦継紙	た30-4

千田村重立惣代久右衛門他三ヶ村七名申上書〔別紙惣代御書上仕候〕(千田村等3ヶ村の重立惣代・小前惣代書上につき) 千田村重立名主久右衛門・小前惣代七右衛門・市村北組重立惣代太吉他5名→論所御見分御役人中様 破損甚大、端裏に貼紙あり	文政2年卯4月9日	1通・豎紙	た30-5
市村北組惣代多吉他四名願書〔御日延奉申上候御事〕(千田村等3ヶ村三ツ境御立の請書差出し日延願につき) 市村北組惣代多吉・市村南組惣代三左衛門・惣代幾左衛門他2名→論所御見分御役人衆中様 端裏貼紙「式印」	文政2年卯4月11日	1通・豎継紙	た30-6
新田川合村名主吉三郎他四名返答書〔御尋二付以上書御答申上候御事〕(新田川合村と千田村境筋満水での変地尋ねにつき返答書) 新田川合村名主吉三郎・組頭覚右衛門・長百姓武助他2名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-7
市村北組名主茂左衛門十四名願書〔差上申一札之御事〕(市村・新田川合村分地境目取決め願につき) 新田川合村名主吉三郎・組頭覚右衛門・長百姓武助他2ヶ村12名／(奥印)千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他2名→論所御見分御役人中様 端裏に貼紙あり	文政2年卯4月15日	1通・豎継紙	た30-8
(市村・新田川合村分地境目取決め願の添絵図) 千田村久右衛門・七右衛門・新田川合村吉郎右衛門他3ヶ村6名→ 端裏貼紙「五印江添」	文政2年卯4月15日	1通・豎紙	た30-9
市村南組帳元栄蔵他三名請書〔差上申御請一札之御事〕(千田村・新田川合村・市村境論内済につき御請一札) 市村南組帳元栄蔵・喜左衛門・幾左衛門他1名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎継紙	た30-10
千田村重立惣代久右衛門他十九名請書〔指上申御請一札之事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論所改めにつき千田村重立惣代他につき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎継紙	た30-11
千田村名主七左衛門他四名返答書〔御尋二付以上書御答申上候御事〕(千田村と市村境筋満水による変地の件尋ねにつき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他2名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月17日	1通・豎継紙	た30-12
千田村名主七左衛門他十九名願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境見分・取極願につき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「四印」	文政2年卯4月	1通・豎継紙	た30-13
某願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論につき) 端裏貼紙「六印」、虫損甚大、開封不能のため後半は判読不能	(文政2年4月)	1通・豎継紙	た30-14
田村名主七左衛門他十九名願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため一件訴答書類貰下ケにつき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他17名3ヶ村20名→論所御見分御役人中様 端裏に「七印」の付箋あり、虫損甚大、開封不能のため後半部判読不能	文政2年卯4月	1通・豎継紙	た30-15
(新田川合村千田村市村論所見分提出書類一括 文政2年) 袋一括	(文政2年)4月	4点	た30-16
[新田川合村千田村市村論所見分申上](袋) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→	(文政2年)4月	1点・袋	た30-16-1
古岩彦作他一名申上書(端裏書)〔口上覚〕(新田川合村・千田村・市村三ツ境論所見分の件申上書) 古岩彦作・小野四郎三郎→	(文政2年)4月	1通・横切継紙	た30-16-2
古岩彦作他二名申上書(端裏書)〔口上覚〕(新田川合	(文政2年)4月	1通・横切紙	た30-16-3

村・千田村・市村境目取決の際地所切取り件返答の旨) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→			
古岩彦作他二名申上書[口上覚](新田川合村・千田村・市村三ツ境論所見分の旨申上につき) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→		1冊・横長半	た30-16-4
(新田川合村千田村市村論所争論内済関係書類一括 文政2年) 紙縫一括	文政2年卯4月	6点	た30-17
(紙縫)	文化11年戌4月	1点・紙縫	た30-17-1
新田川合村願書[乍恐以口上書奉願候御事](千田村へ地所切り取りの件これまでの和談通り差置願につき) 新田川合村 端裏書「御他領千田村江被切取候地所之義其俟差置度願」あり、包紙上書「上 新田川合村」	文政2年卯4月	1通・縦継紙	た30-17-2
富竹御領分千田村惣代助左衛門他三名取替一札[為取替一札之事](千田村と新田川合村の大境について仮境取極につき) 富竹御領分千田村惣代助左衛門・惣代伝兵衛・松代御領分新田川合村惣代惣右衛門他1ヶ村1名→ 包紙上書「上 千田村」	文政2年卯4月	1通・縦紙	た30-17-3
市村南組帳元永蔵他三名申上書[差上申一札之御事](逗留中御賄と諸入料書上) 市村南組帳元永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様端裏書「三境見分遣候夫銀三ツわり申立」	文政2年卯4月	1通・縦紙	た30-17-4
市村南組帳本永蔵他三名願書[乍恐以口上書奉願候御事](千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため一件訴答書類貰下げにつき) 市村南組帳本永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様 端裏書「三境和談相成候付是迄書類下願」	文政2年卯4月	1通・縦紙	た30-17-5
市村南組帳本永蔵他三名願書[乍恐以口上書奉願候御事](千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため和談絵図面頂戴願につき) 市村南組帳本永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様端裏書「三境和談二付惣図面願」あり	文政2年卯午4月	1通・縦継紙	た30-17-6
(千田村・新田川合村・市村三ツ境争論内済につき墨引絵図) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→		1点・鋪	た30-18
[三印](貼紙) た30文書の内より剥離したものか		1点・切紙	た30-19
[御料所下戸倉村与地境論二付、上山田村地並絵図御見分順書上控地並帳老帳](袋) 海沼八十郎印→		1袋・袋	た124-1
[両使山田村地押改二付山田村案内順内見分絵図] 虫損甚大		1通・縦紙	た124-2
下横田村嘉金治申上書[覚](彦右衛門女房と同村利左衛門芦・石取り相論について白州での返答とは相違の事内々申上につき) 下横田村嘉金治→ 末尾に文政9年12月利左衛門・荘右衛門他6名から嘉金治宛の取替証文あり		1冊・横長半	た159
(塩代金不払出入訴訟関係書類綴 明治4年9月)		2点	た181
大坂府掛合状写(塩代金不払出入の相手松代県田町の男他2名の取計い依頼につき) 大坂府→松代県・長野県 「松代藩」黒色罫紙使用	(明治4年) 辛未9月29日	1冊・縦半	た181-1
安倍川村淡路屋儀助他二名訴状写[乍恐訴訟](塩代金不払出入のため松代県田町の男他2名相手につき) (安倍川南四丁目川崎屋武十郎借家願人) 淡路屋儀助・(船宿淡路屋増次郎方旅宿淡州那賀浦信濃丸) 船頭藤兵衛・船宿淡路屋増次郎／(奥印) 北を(大)組三番少年寄	明治4年末9月28日	1冊・縦半	た181-2

築部弥兵衛→大坂府御庁 「松代藩」黒色罫紙使用

20 藩政／在方・町方／市場定・川除など諸取計い

勘定所・計政局

小市村名主弥五右衛門他四名願書〔乍恐以書付奉願候〕 (馬市結定日延願書) 小市村名主弥五右衛門・組頭四郎 兵衛・長百姓喜代吉他2名→郡御奉行所	慶応4年4月20日	1冊・豎半	た32
(提灯雛形図) 彩色		1通・豎紙	た34
(諸書類一括 享保8年～慶応3年)			た35
某触書〔覚〕(間竿の長さ・田畑下げ等につき触)	享保8年卯	1冊・綴	た35-1
御産物世話役市場世話役兼南沢善右衛門他一名申上 書〔内川村重郎治先年紬市之儀二付骨折候哉御尋 二付以書取申上候〕(市立並びに江戸御用商人幹旋 等につき) 御産物世話役市場世話役兼南沢善右衛門・ 同断酒井嘉十郎→御産物方御掛衆中様	慶応3年卯7月	1冊・豎半	た35-2
(境町市立鑑札関係綴 寛文4年～嘉永7年)	嘉永7年寅7月	2点	た36
境新田村名主栄吉他二名申上書〔乍恐以書付奉申上 候〕(村市鑑札所持につき) 境新田村名主栄吉・組頭 長治郎・同断弥五蔵→当(境町新田)村御改御役人中様	寛文4年辰7月20日	1通・豎紙	た36-1
矢嶋源右衛門他一名定写(境町市立につき) 矢嶋源 右衛門・師岡十良右衛門→	安政4年巳	1通・豎紙	た36-2
神門郡今市町年寄栄蔵・同半左衛門・同嘉市・目代彦一 左衛門願書〔乍恐御愁訴申上口上之覚〕(郡中鍛冶座 肝煎役設置願につき) 年寄栄蔵・同半左衛門・同嘉市・ 目代彦一左衛門→下郡猪蔵殿・与彦・佐兵 差出・宛先は奥 書による、標題〔乍恐御愁訴申上口上之覚〕の差出は神門郡 鍛冶惣代今市町鍛冶惣右衛門印・同嘉三郎印・同兵三郎印・ 宛先は目代彦一左衛門殿・年寄嘉市殿・年寄半左衛門殿・年 寄栄蔵殿となっている、端裏書「郡中鍛冶屋共之内無座二 而職分仕近年別而口掛り合二付以來為掛り合鍛冶肝煎被仰 付被下度旨愁訴書」	3月	1通・豎切継紙	た40
三村大之助嘆願書〔御内々奉嘆願候〕(賞典高調査違 いのため賞典高改め願につき) 三村大之助→ 貼紙「丙 子一月十八日」	享保7年壬寅	1冊・豎半	た41
山本幸内言上書(金銀出入公事取り上げ並びに御家人 の切米他当世上につき) 山本幸内→ 虫損甚大		1冊・豎美	た42
(年貢割付書) 前欠		1冊・豎半	た149
(嘉永2年から慶応3年まで千曲川等川除普請他諸入用 取調帳)		1冊・横長半	た160-4
〔願書聞届之分〕(米相場下値・割番役廃止並びに鑑札他 諸願書聞届帳)	8月19日	1冊・豎半	た161
中村順太郎嘆願書〔口上覚〕(病気のため御役御免願に つき)	8月	1冊・豎美半	た177
草間一路金銭受取証文〔覚〕(犀川御普請代々金123両1 分10匁につき) 草間一路／(奥印) 前嶋有年→佐川又八 郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名	明治3年午2月	1通・豎切継紙	た178-1
草間一路金銭受取証文〔覚〕(吉窪村等8ヵ村組合往来道 欠落場普請入用料々4両3分13匁8につき) 草間一	明治3年午2月	1通・豎切継紙	た178-2

21 藩政／在方／村々御救い用資金中借

路／(奥印)前嶋有年→佐川又八郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名			
草間一路金銭受取証文[覚](古関屋川筋等堀浚自普請代ノ3両1分7匁8分につき) 草間一路／(奥印)前嶋有平→佐川又八郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名	明治3年午2月	1通・堅切継紙	た178-3
(年貢割付関係書類断簡) 前・後欠		1通・堅紙	た179
田野口村治右衛門申上書(弘化元～嘉永元年分上納夫錢御尋につき) 田野口村治右衛門→御代官所	2月	1冊・横長半	た214
(安政2年から4年まで千曲・犀川出水および本丸普請他御役書上につき)		1冊・横長半	た215
旧松代縣佐藤則通他六名再嘆願書[旧松代縣管下村々賄代他渡殘御下金之義再歎願書] 旧松代縣佐藤則通・富永新平・矢野唯見他4名→長野縣參事植崎寛直殿 青色罫紙	(明治7年)3月	1冊・堅美半	た219

21 藩政／在方／村々御救い用資金中借

勘定所

(白紙)		1通・堅紙	た125
(文久元年11月分中借金受取証文一括) 紙縫一括			た126
(紙縫)		紙縫	た126-1
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](村方拝借願のため5052両余請につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元司／(裏印)藤岡伊織→齊藤善藏殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名 高坂守之助他2名の奥印あり	文久元年酉11月	1通・堅紙	た126-2
(中借金受取証文綴)		4点	た126-3
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](変災のため家中手元拝借のため166両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善藏殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名 高坂守之助他2名の奥印あり	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-1
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](村方手元拝借のため2861両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善藏殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-2
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](家中並びに村方拝借願のため金2651両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善藏殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿・綿貫泰藏殿・西村源兵衛殿	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-3
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](伊藤佐右衛門取計村方へ貸出のため637両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善藏殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-4

22 藩政／在方／凶作状況調

勘定所

(天保飢饉村況取調関係書類一括) 紙縫一括 (紙縫)			た113
(村々米・小豆・大豆他高値につき村況風聞取調帳) 末尾に「天保七申九月写」とあり	天保7年申9月写	1点・紙縫	た113-1
(作毛不作につき村況風説申上書等留)		1冊・横長半	た113-2
(北長池村・北尾張部村・北平林村等の村高・新田高他 書付) 綴紐脱		1冊・横長半	た113-3
(代官山田兵次支配山上條村佐五右衛門他年賦金延 期願留) 綴紐脱、前後欠、取扱い注意		1冊・横長半	た113-4
(廣田村恒治所持内証潰れ一件書類留) 綴紐脱、前後 欠、取扱い注意	(天保2年6月23)	1冊・横長半	た113-5
某申上書[申上](清野村・小森村・石川村等稲作・畑作 の作柄他村況風説取調につき) 綴紐脱、取扱い注 意、末尾に「右八月廿八日御下ヶ」とあり	8月20日	1冊・横長半	た113-6
			た113-7

23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与

勘定所

(天保飢饉救済関係書類一括) 封筒一括			た65
[天保七申年違作後御救方書類之趣并在出向御賄御 差次伺等入](封筒) た65一括の封筒、紙縫付、虫損 甚大	(天保9年)戊6月	1点・封筒	た65-1
(天保飢饉困窮者へ御救い関係書類書類一括) 封筒 一括			た65-2
[極窮品々書類](封筒) た65-2-2～4一括の封筒		1点・封筒	た65-2-1
御郡方書并下ヶ札(困窮者へ稗・玄米・塩等融通申し 立てにつき並びに伺の通がよい旨) 御郡方→ 3 月25日御下げ、朱書あり	3月24日	1冊・横長半	た65-2-2
岡部八十喜伺書(瀬戸川村難渋人へ米・稗等下賜の件 につき) 岡部八十喜	6月	1通・横切紙	た65-2-3
(鬼無里村難渋者名面書) 虫損が激しく、もう一点付、 ただし史料が破損してしまう可能性があるため、分離は していない		1通・横切紙	た65-2-4
[口上覚](包紙) 依田甚兵衛→ 包紙上書あり		1点・包紙	た65-2-5-1
代官依田甚兵衛申上書[口上覚](支配地村々難渋人 御救につき) 依田甚兵衛→ 虫喰が甚大	3月	1通・横切紙	た65-2-5-2
(3月21日～4月29日分天保飢饉の村々への下賜穀関 係書類綴) 綴紐脱、取扱注意		6点	た65-2-6
(村々へ渡し of 刻昆布・刻荒布他書付)		1通・横切紙	た65-2-6-1
御蔵番申上書[覚](村々へ渡し of 刻昆布・刻荒布他に	4月28日迄御払	1通・横切紙	た65-2-6-2

23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与

つき) 御蔵番→			
(村々へ下ケ渡の昆布・刻荒布他書付)	4月29日	1通・横切紙	た65-2-6-3
(村々へ下ケ渡の刻昆布・刻荒布他書付)	4月28日調	1通・横切紙	た65-2-6-4
御蔵番用状(村々へ下ケ渡の刻昆布他書付) 御蔵番→ 下ケ札あり	4月28日改	1通・横切継紙	た65-2-6-5
(中縄・蕨等買上代金他書付)	3月21日	1通・横切紙	た65-2-6-6
岡部八十喜伺書[口上覚](古山村・瀬戸川村の難渋人へ米・稗等下げ穀の件つき) 岡部八十喜→	6月	1通・横切紙	た65-2-7
[口上覚](包紙) 御手代 た65-2-8一括の包紙		1点・包紙	た65-2-8-1
御手代内々申上書[口上覚](村々廻村の折難渋人の賄数調べ落としにつき内々申上書) 御手代→依田甚兵衛様	3月	1通・横切継紙	た65-2-8-2
(五十里村ほか8ヵ村の御救粥釜場見廻出役につき書付)		1通・横切紙	た65-2-8-3
(2月24日から5月11日まで分天保飢饉村々難渋人へ米・稗御下げ穀関係書類綴)		7点	た65-2-9
西沢軍治用状(志垣村難渋人へ米・稗御下げ穀につき) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-9-1
西沢軍治用状(下祖山村難渋人へ米・稗下げ穀につき) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-9-2
岡部八十喜用状[覚](竹生村難渋人へ米・稗下げ穀につき) 岡部八十喜→		1通・横切紙	た65-2-9-3
(小鍋村千木組難渋人へ御下げ穀につき)		1通・切紙	た65-2-9-4
西沢軍治用状(栃原村平組難渋人へ米・稗御下げ穀不足分につき) 西沢軍治→	5月	1通・横切紙	た65-2-9-5
某用状(下宮野尾村難渋人へ稗等下ケ渡穀につき)	5月11日	1通・切紙	た65-2-9-6
西沢軍治用状(鬼無里村上組難渋人へ稗御下げ穀につき) 西沢→	戊2月24日	1通・切紙	た65-2-9-7
(天保飢饉村々難渋人へ米・稗御下げ穀関係書類綴 4月3日～4月29日)		29点	た65-2-10
岡部八十喜伺書[覚](山上条村・山穂苅村等難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-1
依田用状(上宮野尾村・栃木村へ稗・粉糠支給につき書付) 依田→	4月27日	1通・横切紙	た65-2-10-2
西沢軍治伺書[口上覚](念仏寺村上組・同村下組ほか3ヵ村の難渋人へ玄米・稗等支給につき) 西沢軍治→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-3
(五十里村・小鍋村の難渋人へ下げ穀につき)	4月	1通・横切紙	た65-2-10-4
宮下善左衛門用状[覚](大田原村難渋人へ米・下げ穀につき書付) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-5
岡部八十喜伺書(水内村平組・同村安用組の難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月27日	1通・横切継紙	た65-2-10-6
宮下善左衛門用状[覚](軽井沢村難渋人へ米・稗支給につき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-7
岡部八十喜伺書(本鹿谷村・山穂苅村・花尾村の難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月27日	1通・横切継紙	た65-2-10-8

山田兵次伺書[覚](専納村・和佐尾村の難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月27日	1通・横切紙	た65-2-10-9
山田兵次伺書[覚](地草原村上組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-10
岡部八十喜伺書并下ヶ札[覚](瀬戸川村難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-11
西沢軍治用状(日影村・鬼無里村元組の難渋人へ玄米・稗支給につき書付) 西沢軍治→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-12
(山田中村・中条村の難渋人へ支給につき書付)		1通・横切紙	た65-2-10-13
山田兵次伺書[覚](高野村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-14
依田甚兵衛用状(長井村・倉亦村の難渋人へ支給につき) 依田甚兵衛→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-15
岡部八十喜伺書(久木村・古山村・下越道村の難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-16
山田兵次伺書[覚](奈良井村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月29日	1通・横切紙	た65-2-10-17
岡部八十喜伺書(大原村難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月29日	1通・横切紙	た65-2-10-18
山田兵次伺書[覚](市村南組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-19
山田兵次伺書[覚](椿峯村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-20
西沢軍治用状(鬼無里村東京組難渋人へ支給につき) 西沢軍治→	4月29日	1通・切紙	た65-2-10-21
西沢軍治用状(梅木村三組ほか3ヵ村の難渋人へ下げ穀につき書付) 西沢軍治→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-22
山田兵次伺書[覚](伊折村中組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-23
山口兵次伺書[覚](伊折村上組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	5月	1通・横切紙	た65-2-10-24
西沢軍治用状(追通村難渋人へ下ヶ渡につき) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-10-25
岡部八十喜用状(瀧本新田村へ夫銀支給につき) 岡部八十喜→	4月3日	1通・横切紙	た65-2-10-26
宮下善左衛門用状[覚](牧野嶋村難渋人へ米・稗支給届書につき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-27
宮下善左衛門届書[覚](野沢村困窮者へ米・稗支給しにつき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-28
[西御救粥被下取調一紙] 西沢軍治→	(天保9年)戊3月	1冊・横長半	た65-3
西沢軍治願書[口上覚](鬼無里村・日影村等村役人・世話人施粥実施のため褒賞下賜願につき) 西沢軍治→	(天保9年)2月	1冊・横長半	た65-4
(括り紐) 何を括っていたのか不明			た65-5
和佐尾名主兵左衛門他四名村申上書[極難渋人別御書上帳](和佐尾村分) 和佐尾村名主兵左衛門・組頭儀兵衛・長百姓牧太郎他1名→	天保9年戊4月	1冊・横長半	た65-6

23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与

(支配所軽井沢村難渋之者御手元伺書一括) 封筒一括			た65-7
[支配所軽井沢村難渋之者御手元伺](封筒) 宮下善左衛門→	(天保9年)5月	1点・封筒	た65-7-1
某用状(困窮人へ手元稗へ支給関係書付につき)	(天保9年)	1通・縦切紙	た65-7-2
(天保9年輕井沢村困窮人夫食支給関係書類綴)		2点	た65-7-3
宮下善左衛門伺書[口上覚](軽井沢村の内夫食差し支えの者へ稗支給につき) 宮下善左衛門→	(天保9年)5月	1通・横切紙	た65-7-3-1
軽井沢村村役人願書[乍恐以書付奉願候御事](軽井沢村困窮人へ夫食支給願につき) 軽井沢村名主吉左衛門・組頭友左衛門・長百姓利右衛門→御代官所 虫損あり	天保9年戊5月	1通・縦紙	た65-7-3-2
(天保9年瀬戸川村高曲組困窮人への御救穀支給関係書類綴)		3点	た65-8
[瀬戸川村高曲組難渋人別御救穀頂戴願伺](封筒) 虫損甚大	(天保9年閏4月)	1点・封筒	た65-8-1
岡部八十喜伺書[口上覚](瀬戸川村桐山・明賀両組の困窮者へ夫食支給につき) 岡部八十喜→ た65-8-3の添状、虫損甚大	(天保9年)	1通・横切継紙	た65-8-2
瀬戸川村村役人願書[乍恐以書付奉願候](瀬戸川村桐山・明賀両組の困窮者へ御救穀支給につき) 瀬戸川村馬曲組名主[]五郎・組頭[]・長百姓善三郎→御代官所	天保9年戊4月	1通・縦紙	た65-8-3
(不作のため廻村中へ賄分粉支給の件につき伺他関係書類綴)		13点	た65-9
御郡方伺書并付札(不作のため廻村中へ賄分粉支給につき件並びに伺通りの旨) 御郡方→	(天保8年)11月	1通・横切紙	た65-9-1
岡部八十喜伺書[口上覚](瀬戸川村馬曲組等へ廻村中の賄分収粉の内より支給の件につき) 岡部八十喜→	2月	1冊・横長半	た65-9-2
岡部八十喜伺書[口上覚](内川村・矢代村等へ出役中の賄分収粉の内より支給の件につき) 岡部八十喜→	3月	1冊・横長半	た65-9-3
岡部八十喜願書[口上覚](先月石川村・山上条村等へ出役中の賄分収粉のうちより支給の件につき) 岡部八十喜→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-4
山田兵次伺書[口上覚](市村南組・笹平村へ出役中の賄分収粉のうちより支給の件につき) 山田兵次→	4月	1冊・横長半	た65-9-5
山田兵次伺書[口上覚](久保寺村・市村南組等へ出役中の賄御収納の内より支給につき) 山田兵次→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-6
宮下善左衛門伺書[村々賄粉御差遣伺](桑原村・八幡村等へ出役中の賄粉分収納粉の内より支給の件につき) 宮下善左衛門→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-7
宮下善左衛門用状[覚](桑原村・大田原村等へ廻村中の賄支給につき) 宮下善左衛門→	3月	1通・横切継紙	た65-9-8
西沢軍治申上書[違作二付出役向村々賄取調一紙](鬼無里村・日影村等へ出役中の賄粉取調につき) 西沢軍治→ 掛紙あり	(天保8年)西10月	1冊・横長半	た65-9-9
依田甚兵衛伺書[正月中より四月迄村賄御差遣伺](腰村・小鍋村等へ出役中の賄粉収納の粉内より支給の件につき) 依田甚兵衛→	4月	1冊・横長半	た65-9-10
依田甚兵衛伺書[村賄御差遣伺](森村・内川村等へ出役中の賄粉分収納粉の内より支給の件につき)	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-11

依田甚兵衛→			
西沢甚右衛門申上書[廻村中村々賄方申上](上平村・羽尾村等廻村中村役人より賄い差し出しにつき) 西沢甚右衛門→	4月	1冊・横長半	た65-9-12
西沢甚右衛門伺書[村々賄方申上](追通村・栃原村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 西沢甚右衛門→	5月	1冊・横長半	た65-9-13
某伺書[村々御救粥御入料伺](水内村・牧野嶋村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 表紙上書「老番」		1冊・横長半	た65-10
某伺書[御救粥被下村々調元帳](瀬戸川村・和佐尾村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 表紙上書「二番」	(天保8年)酉10月	1冊・横長半	た65-11
(市村南組・上祖山村等困窮者へ米・稗下渡しにつき書上)		1冊・横長半	た65-12
大岡川口村弥五兵衛願書[乍恐以書付御内々奉願上候](違作のため金20両にて御救い執成し願につき) 大岡川口村弥五兵衛→[](御勘定)所御元々御役所 裏打あり、破損甚大、判読不能箇所多	(天保)8年9月	1通・縦紙	た12
宮下主鈴他一名伺書[町々外之者共御内借金差滞上納方歎願之儀二付御内慮伺](内借金上納延滞のため証文切替え願につき) 宮下主鈴・一場茂右衛門→	8月	1冊・縦半	た16-1
会計官用状(上納金切替の規約書につき) 会計官→紙綴で折綴	9月	1通・縦紙	た16-2
(久保肅藏家督相続関係綴 文政11年～明治4年)		9点	た21
(譲り証文・内規定等久保家家督相続関係書類留) 小林唯藏/久保規→久保規殿/小林内藏太殿 朱書「老印」	文政11年戊子9月～天保2年11月	1冊・横長半	た21-1
(久保喜伝治別家相続につき除地等引分け方規定書) 久保喜伝治→倅本家家督久保又次郎殿 朱書「式印」、惣親類11名の奥書あり	嘉永2年己酉閏4	1冊・横長半	た21-2
(高地減少・健治出入差留等尋の件につき答書写) 朱書「三印」		1冊・横長半	た21-3
久保肅藏口上書[口上覚](借財等不行跡の件につき父喜伝治へ取繕願につき) 久保肅藏→孫内右衛門様・嶋田全隆様 朱書「四印」	文久3年亥8月	1冊・縦半	た21-4
久保肅藏口上書[口上覚](高地減少の取計い方・健治出入差留の件等尋ねにつき返答書) 久保肅藏→朱書「五印」	文久3年亥9月	1冊・縦半	た21-5
[田地借財取調帳] 朱書「六印止」	慶応2年寅7月調	1冊・横半半	た21-6
某申上書(久保肅藏死去跡式未決一件穿鑿につき)	(明治4年)辛未4月	1冊・横長半	た21-7
某申上書(久保肅藏死去埋葬の件穿鑿につき)	(明治4年)辛未4月	1冊・横長半	た21-8
水内郡新町村久保慎兵衛嘆願書[乍恐以書付奉申上候](勝手向不如意につき利廻拝借の件につき) 水内郡新町村久保慎兵衛→松代御役所	明治4年辛未8月	1冊・縦美	た21-9
[安政六未向々拝借之口本上納御払切留帳] 御余慶方→	万延元年申	1冊・縦半	た37
[申年以来御救方之内え差上金](包紙) 表紙のみ		1通・縦切紙	た39-1
矢沢監物用状(差上金社倉へ加金につき) 矢沢監物→岡[]殿 虫損甚大	13日	1通・横切継紙	た39-2

24 藩政／鉾山経営 25 松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定

(掛紙)「真月院様格被下候人御礼」(拝領品目録)		1冊・横長美大	た154
(拝借掛貸出金元金取調官系書類一括) 麻紐一括			た155
(麻紐)		1点・紙縫	た155-1
拝借掛申上書[覚](家中・町方・村方への拝借貸出元金取調につき) 拝借掛→	子6月	1冊・横長美	た155-2
拝借掛申上書控[覚](家中・町方・村方への拝借貸出元金取調につき) 拝借掛→ 表紙「九月廿三日迄 控」	子9月	1冊・横長美	た155-3
拝借掛申上書[覚](中借・上納金納入につき) 拝借掛→	申正月	1冊・横長美	た155-4
(元御預所村々へ貸出金書上帳)		1冊・豎半	た164

24 藩政／鉾山経営 勘定所

(鉾山入用他諸費勘定帳綴)		2点・横長半	た95
(鉾山入用および銀座返納灰吹銀買上代等勘定帳)		1冊・横長半	た95-1
[酉七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山諸経費勘定帳)		1冊・横長半	た95-2
[酉七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山自分稼ぎへ仕法替につき諸経費と吹銅買上分の差引勘定帳)	2月	1冊・横長半	た96
(銅山経営関係差引勘定帳綴)		2点	た97
(銅山経営関係差引勘定帳)		1冊・横長半	た97-1
[酉七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山自分稼ぎへ仕法替につき諸経費と吹銅買上分の差引勘定帳)	2月	1冊・横長半	た97-2

25 松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定

真田家家令・家扶

成本治之助申上書[記](月給等駆通関係費差引勘定につき) 成本治之助→	明治8年5月10日	1冊・豎紙	た18
元松代庁嘆願書[国役高掛金酒造冥加金上納方差滞儀二付歎願](国役高掛金酒造冥加金を旧藩事真田御賞典より差引上納につき) 元松代庁→長野県御中 黒色罫紙使用	(明治5年)壬申5月	1冊・豎紙	た19
(旧松代藩御林払下げ関係書留) 青色罫紙使用	明治5年壬申4月	1冊・豎美	た22
(負債金消却仕法取調書)「真田家」罫紙使用		1冊・豎半	た165
[旧御藩債消却方手順并御囲金等之事] (長谷川)昭道→「真田家」罫紙使用	明治8年10月	1冊・豎半	た166
某内々申上書(旧松代藩士族等へ真田家家禄分与等につき) 掛紙あり、下ケ札あり	戊4月	1冊・豎半	た167
某内々申上書[御内々御含近二申上](旧松代県の負債消却方法等につき)「真田家」罫紙使用		1冊・豎半	た168

(賞典米・藩用払残代金等東京と松代取計分勘定書)		1冊・豎半	た169
[戌年御賞典取計]		1冊・豎半	た170

26 その他

某書状(年中行事の書状の出し方につき書状) 福江→ 駒の殿 五節句御奉文差し出しの別紙目録綴		1綴・横折紙	た24-1
(上杉様・亀井様他への年中行事の手紙の差し出し方につき書付)		1通・横折紙	た24-2
[志母の古稀を祝て](短歌二首) 棟重→	(明治)43年1月1日	1通・豎切紙	た25
(諸書類一括 天保9年4月～明治4年8月) 巻込一括			た26
(藩主への年頭御礼日記写) 表紙朱書「大手当番扣写 天保十五辰年」	天保9年辰正月4日～晦日	1冊・豎半	た26-1
桑名四角之助親類寺内多宮他一名嘆願書(桑名左太郎 咎赦並びに免身分取復願につき) 桑名四角之助 親類寺内多宮・宮嶋嘉織→県庁御中	(明治4年)辛未8月	1冊・豎半	た26-2
片山岩男他三名嘆願書(出奔人石黒八郎姉大病のため 救助願につき) 片山岩男・大熊謙・成沢荘蔵他1名 →理事御中	正月	1冊・豎半	た26-3
甲州山梨郡千塚村長百姓尾沢嘉七郎他十一名願書写 (天朝領へ編入のための触達等支配仕方願につき) 甲州山梨郡千塚村長百姓尾沢嘉七郎印・同州巨摩郡志田村 同平助印・同州同郡上石田村武兵衛院他9名→	慶応4年戊辰4月	1冊・豎半	た148
(登城挨拶他御座敷向習礼書上)		1冊・豎半	た150
公廨御開御式書(付座敷図)		1冊・豎半	た156
(三步立他合12万2680人名面書)	(弘化4年)	1冊・横長半	た158
(享保18年から寛政11年まで名面書)		1冊・豎半	た180
(錦袖御印) 包紙あり 紐付		1点・御印(織布)	た211
(文化4年4月24日から26日まで八幡村他2ヵ村と桑原 村・中原組との水論日記)		1冊・豎半	た153

史料目録 第88集

しなののくにまつしろさなだ けもんじょもくろく
信濃国松代真田家文書目録（その9）

印刷発行 平成21年3月31日
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館
編集 調査収集事業部
〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
電話番号 050-5533-2900（代）
印刷所 睦美マイクロ株式会社
〒744-0002
山口県下松市松神町本通り

©人間文化研究機構 禁無断複写
（本文用紙は中性紙を使用）

本書は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。

978-4-87592-134-9

978-4-87592-134-9